
会 告 ・ 通 知

会告欄は本会ホームページからも御覧になれます
<http://www.ieice.org/jpn/kaikoku/kaikoku-tsuuchi.html>
(本会ホームページ→左側 MENU 上から3番目会告ページ入る)

平成 25 年 3 月号 会 告 ・ 通 知 目 次

◇第一種研究会開催案内（平成 25 年 3 月 1 日～3 月 29 日）	2
◇第二種研究会開催案内・発表募集案内	43
◇2013 年総合大会開催案内	47
◇FIT2013 第 12 回情報科学技術フォーラム講演募集案内	48
◇講演会・講習会・学術研究集会等	
・関西支部 電気四学会関西支部「平成 25 年度合同報告会・講演会」	51
・東海支部 平成 24 年度第 4 回一般講演会	51
・フォトニックネットワークシンポジウム 2013—確かな社会基盤を支えるポスト 100 Gb/s 光伝送技術—	51
・本会が協賛等のもの	51
◇国際会議	53
◇受賞候補者募集等	54
◇求人欄	55
◇お知らせ	
・平成 25 年度会費お払込みのお願い	55
・転勤・引越し及び学生員申請の届出について	55
・平成 25 年 3 月号及び 4 月号和・英論文誌特集・小特集テーマ	56
◇平成 25 年度電子情報通信学会技術研究報告予約募集案内・予約申込書・取扱う主要研究分野	56
◇論文特集原稿募集	
・アナログ回路技術小特集（英文論文誌 A）	66
・イメージメディアクオリティ小特集（英文論文誌 A）	67
・ホワイトスペースの有効利用技術小特集（英文論文誌 B）	67
◇論文特集論文募集カレンダー	69
◇IEICE Communications Express（ComEX）投稿案内	71
◇IEICE Electronics Express 投稿案内	72
◇各種証明，閲覧の手数料について	46
◇複写される方へ	53
◇新刊案内	
・現代電子情報通信選書「知識の森」シリーズ	
[画像入力とカメラ]	47
[宇宙太陽発電]	54
[電子システムの電磁ノイズ—評価と対策—]	68
◇総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開について	50

電子情報通信学会各研究会開催通知

第一種研究会 平成 25 年 3 月 1 日～3 月 29 日

開催プログラムは変更になることがあります。
最新情報は学会ホームページのイベント日程等で御確認下さい。
<http://www.ieice.org/event/workshops.php>

◎基礎・境界ソサイエティ

研究会名	日 時	会 場	告 頁
応 用 音 響	12 日(火) 10 : 00～17 : 20	KDDI 研究所	6
安 全 性	14 日(木) 13 : 00～17 : 00	明治大学・駿河台キャンパス・紫紺館	10
非 線 形 問 題	14 日(木) 9 : 30～17 : 20 15 日(金) 9 : 00～17 : 15	千葉大学・西千葉キャンパス・アカデミックリンクセンター	10
回 路 と シ ス テ ム 信 号 処 理 通 信 方 式	14 日(木) 9 : 30～17 : 50 15 日(金) 9 : 00～16 : 00	慶應義塾大学・鶴岡タウンキャンパス	17
スマートインフォメディアシステム	7 日(木) 9 : 40～18 : 15 8 日(金) 9 : 20～12 : 15	クリエート浜松	20
情 報 理 論 情 報 セ キ ュ リ テ ィ ワ イ ド バ ン ド シ ス テ ム	7 日(木) 10 : 30～18 : 15 8 日(金) 10 : 30～16 : 25	関西学院大学・大阪梅田キャンパス	21
I T S	11 日(月) 9 : 30～16 : 00	京都大学・吉田キャンパス	23
技 術 と 社 会 ・ 倫 理 イ ン タ ー ネ ッ ト ア ー キ テ ク チ ャ	14 日(木) 10 : 40～17 : 30 15 日(金) 10 : 00～16 : 30	東大寺総合文化センター	24
シ ス テ ム 数 理 と 応 用 ソ フ ト ウ ェ ア サ イ エ ン ス	6 日(水) 13 : 20～18 : 00 7 日(木) 9 : 30～16 : 50	福岡県志賀島休暇村	28
V L S I 設 計 技 術	4 日(月) 13 : 50～17 : 00 5 日(火) 10 : 00～16 : 50 6 日(水) 10 : 30～16 : 00	沖縄県青年会館	前号
イ メ ー ジ ・ メ デ ィ ア ・ ク オ リ テ ィ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ク オ リ テ ィ 画 像 工 学 マ ル チ メ デ ィ ア ・ 仮 想 環 境 基 礎 福 祉 情 報 工 学	11 日(月) 9 : 20～17 : 30 12 日(火) 9 : 45～16 : 35	福岡工業大学	36
3 月 休 会 の 研 究 会 ; 信 頼 性 , 超 音 波 , 思 考 と 言 語			

◎通信ソサイエティ

研究会名	日 時	会 場	告 頁
環 境 電 磁 工 学	8 日(金) 9 : 30～17 : 20	機械振興会館	5
ア ン テ ナ ・ 伝 播	14 日(木) 10 : 30～16 : 50	湯河原商工会館	10
モ バ イ ル マ ル チ メ デ ィ ア 通 信 ア ド ホ ッ ク ネ ッ ト ワ ー ク	14 日(木) 9 : 00～17 : 20 15 日(金) 9 : 00～16 : 25	東京大学・駒場リサーチキャンパス	11
通 信 方 式 回 路 と シ ス テ ム 信 号 処 理	14 日(木) 9 : 30～17 : 50 15 日(金) 9 : 00～16 : 00	慶應義塾大学・鶴岡タウンキャンパス	17
イ ン タ ー ネ ッ ト ア ー キ テ ク チ ャ 技 術 と 社 会 ・ 倫 理	14 日(木) 10 : 40～17 : 30 15 日(金) 10 : 00～16 : 30	東大寺総合文化センター	24
ネ ッ ト ワ ー ク シ ス テ ム 情 報 ネ ッ ト ワ ー ク	7 日(木) 9 : 00～12 : 10 8 日(金) 9 : 00～16 : 10	沖縄残波岬ロイヤルホテル	29
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ク オ リ テ ィ イ メ ー ジ ・ メ デ ィ ア ・ ク オ リ テ ィ 画 像 工 学 マ ル チ メ デ ィ ア ・ 仮 想 環 境 基 礎 福 祉 情 報 工 学	11 日(月) 9 : 20～17 : 30 12 日(火) 9 : 45～16 : 35	福岡工業大学	36
フ ォ ト ニ ッ ク ネ ッ ト ワ ー ク	11 日(月) 10 : 30～16 : 40 12 日(火) 13 : 20～15 : 40	沖縄県青年会館	39

情報通信マネジメント	14日(木) 15日(金)	9:40~11:50 9:40~16:40	屋久島環境文化村センター	42
3月休会の研究会;宇宙・航行エレクトロニクス, 衛星通信, 電子通信エネルギー技術, 光通信システム, 無線通信システム, 光ファイバ応用技術, ソフトウェア無線, ユビキタス・センサネットワーク				

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日時		会場	告頁
機構デバイス	1日(金)	13:00~16:35	日本工業大学・宮代キャンパス	5
有機エレクトロニクス	8日(金)	13:00~17:20	機械振興会館	6
磁気記録・情報ストレージ	8日(金)	13:05~17:30	名古屋大学・IB電子情報館	前号
マイクロ波	6日(水)	10:00~17:10	広島工業大学・広島校舎(6日) 広島大学・東広島キャンパス・学士会館 (7日・8日)	25
	7日(木)	8:40~17:05		
	8日(金)	9:50~16:55		
有機エレクトロニクス	5日(火)	9:45~18:00	産業技術総合研究所・九州センター	27
3月休会の研究会;超伝導エレクトロニクス, 電子ディスプレイ, 電子デバイス, 電子部品・材料, 電磁界理論, シリコン材料・デバイス, 集積回路, 光エレクトロニクス, レーザ・量子エレクトロニクス, エレクトロニクスシミュレーション, マイクロ波・ミリ波フォトニクス				

◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日時		会場	告頁
MEとバイオサイバネティクス ニューロコンピューティング	13日(水)	10:15~16:50	玉川大学・工学部	7
	14日(木)	9:30~17:40		
	15日(金)	10:15~16:50		
パターン認識・メディア理解	14日(木)	9:00~18:00	電気通信大学・西9号館	13
	15日(金)	9:00~18:00		
知能ソフトウェア工学	14日(木)	9:30~17:50	芝浦工業大学・芝浦キャンパス	15
	15日(金)	9:30~17:15		
サービスコンピューティング	15日(金)	13:10~18:30	国立情報学研究所	16
情報通信システムセキュリティ	25日(月)	10:20~16:20	横浜国立大学	16
人工知能と知識処理	11日(月)	13:30~14:45	ルスツリゾートホテル	17
	12日(火)	9:00~21:45		
	13日(水)	8:30~10:10		
情報論的学習理論と機械学習	4日(月) 5日(火)	(未定)	名古屋工業大学	19
コンピューテーション	18日(月)	9:30~17:30	岐阜大学・産官学融合本部	21
マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント	7日(木)	13:30~18:00	ATR	23
	8日(金)	9:00~12:15		
教育工学	29日(金)	9:25~17:30	愛媛大学・城北地区	26
ソフトウェアサイエンス システム数理と応用	6日(水)	13:20~18:00	福岡県志賀島休暇村	28
	7日(木)	9:30~16:50		
ライフインテリジェンスとオフィス情報システム	7日(木)	9:10~17:00	宮古島マリンターミナル	35
	8日(金)	9:10~17:00		
画像工学 イメージ・メディア・クオリティ コミュニケーションクオリティ マルチメディア・仮想環境基礎 福祉情報工学	11日(月)	9:20~17:30	福岡工業大学	36
	12日(火)	9:45~16:35		
コンピュータシステム ディペンダブルコンピューティング	13日(水)	13:00~18:20	対馬市交流センター	39
	14日(木)	8:45~15:55		
3月休会の研究会;言語理解とコミュニケーション, データ工学, 音声, 医用画像, ソフトウェアインタプライズモデリング, リンフィギャラブルシステム, クラウドネットワークロボット				

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

研究会名	日時		会場	告頁
ヒューマンコミュニケーション基礎	4日(月) 5日(火)	10:30~18:30 9:00~16:45	ホテルウェルシーズン浜名湖	19
マルチメディア・仮想環境基礎 福祉情報工学 イメージ・メディア・クオリティ コミュニケーションクオリティ 画像工学	11日(月) 12日(火)	9:20~17:30 9:45~16:35	福岡工業大学	36
ヒューマン情報処理	13日(水) 14日(木)	9:00~17:40 9:00~17:50	沖縄産業支援センター	41

◇第二種研究会開催案内

2013年情報通信マネジメントワークショップ	3月14日(木)	屋久島環境文化村センター	43
第50回機能集積情報システム研究会	3月15日(金)	宮崎大学・木花キャンパス	43
第4回通信行動工学研究会	3月16日(土)	早稲田大学・早稲田キャンパス	44
第1回ネットワークソフトウェア研究会	4月18日(木), 19日(金)	輪島商工会議所	44

◇第二種研究会発表募集案内

第5回情報ネットワーク科学 (NetSci) 研究会	5月24日(金)	首都大学東京・秋葉原キャンパス	45
第28回量子情報技術研究会	5月27日(月), 28日(火)	北海道大学・創成科学研究棟	45
第3回安全・安心な生活のための情報通信システム (ICSSSL) 研究会	6月13日(木), 14日(金)	芝浦工業大学・豊洲キャンパス	46

★機構デバイス研究会 (EMD)

専門委員長 長谷川 誠 副委員長 関川純哉・久我宣裕
幹事 服部康弘・阿部宜輝 幹事補佐 上野貴博

日時 3月1日(金) 13:00~16:35

会場 日本工業大学宮代キャンパス情報工学科棟(14号館)5F
会議室(南埼玉郡宮代町学園台4-1. 東武日光/伊勢崎線:東武動物公園駅西口から徒歩15分, スクールバス(有料)5分.
<http://www.nit.ac.jp/guide/> TEL [0480] 34-4111 (当日会場内線 2748) 上野貴博)

議題 卒論・修論特集(ショートノート)

1. 雰囲気温度変化における銀スリップリングと銀ブラシの摺動特性に関する研究 ○大貫 克・福田直紀・上野貴博(日本工大)
2. 各種燃料中における自動車用燃料ポンプ用DCモータの整流に関する研究 ○坂本一真・佐藤智寛・澤 孝一郎・上野貴博(日本工大)
3. WS2/W 基複合材料コンタクトの低速しゅう動時の電流依存性・荷重依存性の研究 ○末永 崇・福田優也・新井正臣・渡辺克忠(工学院大)
4. WS2/W 基複合材料コンタクトの高速使用時での荷重, 速度依存性によるしゅう動メカニズムの研究 ○塩野 徹・篠 友輝・新井正臣・渡辺克忠(工学院大)
5. 探触子振動法による生体骨の音響インピーダンス計測のための改良探触子の開発 ○山本哲也・吉澤昌純(都立産技高専)
6. 淡水魚探査用小型発信器の製作と特性測定 ○土屋直大・春日貴志(長野高専)・井上 浩(秋田大)
7. 5インチゲージ大形模型電気機関車における主電動機並列・直列接続での牽引力比較 ○渡邊文雄・齋藤直大・上野貴博(日本工大)
8. mbed マイコンを用いた模型電車の自動走行制御 ○瀧本美布佑・アルオタイピ ムクリン・上野貴博(日本工大)
9. 電流分布観察による接点に対するコンタクトオイルの影響評価 ○森 勇輔・飯田和生・澤田 滋・清水 敦(三重大)・服部康弘(オネット研)
10. 電気接点の損傷形状評価システムの構築と転移・消耗現象の検討 ○高橋佳佑・河村大地・平野雄也・長谷川 誠(千歳科技大)
11. 電磁コンタクトにおけるCu系接点材料の諸特性 ○大山 峻・米嶋大介・澤 孝一郎・吉田 清(日本工大)
12. 小信号用スリップリングの接触メカニズムの研究 ○嶋田直樹・太田理恵子・渡辺克忠(工学院大)
13. 金属同士の多点接触のスポットを規則的な配置とランダムに配置した時のシミュレーション計算 ○佐藤慶介・梅岡大嗣・齋藤紀人・渡辺克忠(工学院大)

◎研究会終了後, 懇親会を予定しています。

(会費: 社会人 2,000 円, 学生 無料)

☆EMD 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月17日(金) 千歳アルカディア・プラザ [3月1日(金)]
テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

関川純哉(静岡大)

第一種研究会開催案内

TEL & FAX [053] 478-1618

E-mail: tjsekik@ipc.shizuoka.ac.jp

久我宣裕(横浜国大)

TEL & FAX [045] 339-4279

E-mail: kuga@ynu.ac.jp

服部康弘(住友電装)

TEL [059] 382-8634, FAX [059] 382-8591

E-mail: yasuhiro-hattori@gate.sws.co.jp

阿部宜輝(NTT フォニクス研究所)

TEL [046] 240-2262, FAX [046] 270-6421

E-mail: abe.yoshiteru@lab.ntt.co.jp

◎EMD 研究会に関する最新の情報は, <http://www.ieice.org/es/emd/jpn/> を御参照下さい。

★環境電磁工学研究会 (EMCJ)

専門委員長 桑原伸夫 副委員長 多氣昌生

幹事 王 建青・内海邦昭 幹事補佐 平井義人・青柳貴洋

日時 3月8日(金) 9:30~17:20

会場 機械振興会館地下3階2号室(港区芝公園3-5-8. 東京メトロ日比谷線: 神谷町駅下車徒歩10分, JR: 浜松町駅下車徒歩20分, 都営地下鉄三田線: 御成門駅・大江戸線: 赤羽橋駅下車徒歩10分. http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map_kaikan.htm TEL [03] 3434-8211)

議題 放送, EMC, 一般

- EMCJ-1. 生活支援ロボットにおける帯電フレームモデルのESD イミュニティ試験法の検討—ロボット使用者からの放電の模擬— ○村上真之(都産技研)・池田博康(安衛研)
- EMCJ-2. 基板接触放電の解析モデルと伝播メカニズム ○小宮泰磨・横田 等・原 敦・大坂英樹・須賀 卓(日立)
- EMCJ-3. 印加点と同一基板面上にある伝送線路に伝播する基板接触放電ノイズの伝播挙動 ○原 敦・小宮泰磨・須賀 卓・大坂英樹・横田 等(日立)
- EMCJ-4. 等価回路による車載インバータの伝導ノイズ解析手法の検討 ○白木康博・佐々木雄一・岡 尚人(三菱電機)
- EMCJ-5. 照明器具の過渡電流評価法に関する検討 ○菅野 伸・秋山佳春(NTT)
- EMCJ-6. 雷サージ流入に起因する光回線端末機器の各ポートに発生する電圧特性 ○新宅幹雄・加藤 潤(NTT)
- EMCJ-7. 一般の木造家屋におけるPLC漏洩電界の強度計測実験 ○中城智之(福井工大)・大石雅寿(国立天文台)・土屋史紀(東北大)・立澤加一・岡保利佳子(国立天文台)
- 午後(13:05~)

8. 東京スカイツリー電波障害の実例—電波伝搬に50年以上興味を持ち続けた老人からの提言— 草間 昇(市民)
9. マルチフォーマットテスト画像を用いた超高精細映像の所要ビットレート評価 西田幸博(NHK)
10. Modified Matching Pursuit based Channel Estimation for OFDM System ○Ziji Ma・Tomonori Sato・Minoru Okada(NAIST)・Hideki Furudate(Fujitsu Lab.)
11. Matching Pursuit を用いた伝搬路推定のOFDMシステムへの応用 ○古館英樹・梅田雅歌・岩松隆則(富士通研)・馬 子驥・佐藤智紀・岡田 実(奈良先端大)
12. 移動中継用FPUの周波数移行を考慮したSAR低減手法の検討 ○小郷直人・池田哲臣(NHK)

EMCJ-13. 異なる環境下における ELF 電界曝露に伴う体毛運動の解析 ○飯田 謙 (北大)・清水久恵 (北海道工大)・清水孝一 (北大)

EMCJ-14. 空間周波数領域インピーダンス行列を用いたマルチポート LSI モデルの検討 ○森下拓海 (京大)・日高青路・山長 功 (村田製作所)・佐藤高史 (京大)

EMCJ-15. 外来波の高誘起電圧環境下における中波アンテナ基部インピーダンス測定と応用 ○大北健児・岡本卓也・山添雅彦 (NHK)

EMCJ-16. LTE 級 RFIC における新しい帯域内スプリアス抑制法の提案—バックエンドプロセスによる磁性薄膜集積化—
○室賀 翔・遠藤 恭・伊藤哲夫・田中 聡 (東北大)・村上元己・堀 和明 (ルネサスエレクトロニクス)・高橋 覚 (ルネサスマイール)・東 直矢・永田 真 (神戸大)・山口正洋 (東北大)

EMCJ-17. [特別講演] 車載電気電子システムの EMC
中村克己 (デンソー)

◆映像情報メディア学会; 放送技術研究会連催, IEEE EMC Society Japan Chapter, URSI-E 分科会共催, IEEE EMC Society Sendai Chapter 協賛

☆EMCJ 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
4月12日(金) 岡山大学 [締切済] テーマ: EMC, 一般
5月10日(金) 東工大 [3月8日(金)] テーマ: EMC, 一般
6月21日(金) 京大 [4月8日(月)] テーマ: EMC, 一般

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合せ先]

青柳貴洋 (東工大大学院社会理工学研究科人間行動システム専攻)
〒152-8552 目黒区大岡山 2-12-1-W9-110
TEL & FAX [03] 5734-2992
E-mail : emcj@mail.ieice.org

★有機エレクトロニクス研究会 (OME)

専門委員長 白井博明 副委員長 加藤景三
幹事 松田直樹・中村二郎 幹事補佐 鴻野晃洋

日時 3月8日(金) 13:00~17:20

会場 機械振興会館地下1階2号室

議題 有機エレクトロニクス, 一般

有機エレクトロニクス・フォトンクス

1. 長寿命三重項励起子を利用した低パワー光誘起屈折率変調
○堀 友恵・戸谷健朗 (東京農工大)・平田修造 (東工大)・渡辺敏行 (東京農工大)
2. 有機フォトンニック結晶と有機/シリコン融合フォトンクス
○井上振一郎・大友 明 (NICT)
3. キャリア発生層挿入ペンタセン電界効果トランジスタの構造と特性評価
○薄葉 俊・後藤貴俊・横山大地・馬場 暁・新保一成・加藤景三・金子双男 (新潟大)・皆川正寛 (長岡高専)
4. 新しい有機半導体分子の設計と有機電界効果トランジスタへの応用
○中野幸司 (東京農工大/JST-さきがけ)・茶山奈津子, チョン ミンアン, 児玉俊輔, 野崎京子 (東大)
5. 無修飾フラーレンを用いた高分子光起電力素子の作製
多田和也 (兵庫県立大)
6. 効率的な生体白色高分子発光素子の開発と特性

○小野田光宣 (兵庫県立大)・

Pramod Kumar Bhatnagar (Univ. of Delhi)

プロセス技術, 展望

7. グラビアオフセット/フレキシ印刷法によるフレキシブルデバイス用精密パターン形成技術 泉田和夫 (ミナ技研)
8. ラミネーションプロセスによる半透明有機薄膜太陽電池
○深田健太・島田千恵子・白鳥世明 (慶大)
9. 熱プレス法による有機薄膜トランジスタの作製
○酒井正俊・岡本樹宜・山崎陽太・山口祥平・林 潤郎・山内 博・國吉繁一・工藤一浩 (千葉大)
10. 静電塗布法を用いた積層型有機薄膜太陽電池
○福田武司・高木健次・Liao Yingjie・本多善太郎・鎌田憲彦 (埼玉大)
11. [特別講演] 有機電子デバイス研究の歩みと分子コンピュータ創成への展望—変化する産業構造とオープンイノベーション—
松重和美 (龍谷大)

[問合せ先]

松田直樹 (産総研)

E-mail : naoki.matsuda@aist.go.jp

中村二郎 (NTT)

E-mail : jnaka@aecl.ntt.co.jp

★応用音響研究会 (EA)

専門委員長 小野一穂 副委員長 三好正人・岩谷幸雄
幹事 大谷 真・戸上真人 幹事補佐 水町光徳

日時 3月12日(火) 10:00~17:20

会場 KDDI 研究所 (ふじみ野市大原 2-1-15. 東武東上線: 上福岡駅下車, 東口出口より徒歩 15分. <http://www.kddilabs.jp/lab/access.html> TEL [049] 278-7312 堀内俊治)

議題

1. 睡眠時無呼吸症候群の簡易診断システム構築に向けた音環境調査とハードウェア要件の明確化 ○数納聖牙・神藤徳彦・加藤優基・中島弘史・三好和憲 (工学院大)
 2. 音源の再帰的補正によるスピーカの非線形歪低減の検証
○加藤優基・中島弘史・三好和憲 (工学院大)
 3. スマートミキサー—時間周波数平面上での位相操作—
○大脇 渉・有北知弘・宮地紘司・高橋弘太 (電通大)
 4. 時間伸長音声のための局所的ピッチ変換規則の検討
○井上愛梨・高橋弘太 (電通大)
- 午後
5. ステレオオーディオシステムにおける音像補正法に関する検討
○大黒聡士・梶川嘉延 (関西大)
 6. 2次非線形歪み補正効果の聴感上での評価
○岸 龍平・梶川嘉延 (関西大)
 7. ECM マイクロホンの音孔配置条件に関する検討
○武市和久・梶川嘉延 (関西大)・宮倉隆志 (ホソデン)
 8. 多点制御法と音声の残差信号分解法を用いた音のエリア再生
○安枝和哉・片岡章俊 (龍谷大)
 9. グラディエント・インデックスの修正—提案と解析, および一次自己相関係数との比較—
○藤枝 大・矢頭 隆 (OKI)
 10. Multiple Vertical Panning を用いた立体音響システムのための視聴覚実験
○木村敏幸・安藤広志 (NICT)
 11. 拡散器を設置した函館市公民館の数値シミュレーションと評価
○川口和也・高橋信行 (公立はこだて未来大)・

三木信弘 (公立はこだて未来大名誉教授)

12. 任意断面形状の音響管解析のための構造メッシュ自動生成

○久保幸司・高橋信行・三木信弘 (公立はこだて未来大)

◆日本音響学会；電気音響研究会共催

◎研究会終了後、見学会、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆EA 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月16日(木), 17日(金) 岡山大〔未定〕テーマ：電気音響, 信号処理, 音声一般

6月14日(金) 機械振興会館〔未定〕テーマ：一般

【問合先】

戸上真人 (日立中研)

TEL [042] 323-1111, FAX [042] 327-7823

E-mail: masahito.togami.fe@hitachi.com

★ME とバイオサイバネティクス研究会 (MBE)

専門委員長 小池康晴 副委員長 中尾光之

幹事 井澤 淳・渡邊高志 幹事補佐 吉村奈津江・中村和浩

★ニューロコンピューティング研究会 (NC)

専門委員長 西井 淳 副委員長 古川徹生

幹事 小澤誠一・宮下真信 幹事補佐 佐藤直行・木村聡貴

◎本研究会は MBE 研究会と NC 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 3月13日(水) 10:15~16:50

14日(木) 9:30~17:40

15日(金) 10:15~16:50

会場 玉川大学工学部大学8号館(町田市玉川学園6-1-1. 小田急線:玉川学園前駅より徒歩10分. <http://www.tamagawa.jp/access/index.html> TEL [042] 739-8863 (8号館事務室) 相原 威・酒井 裕)

議題 ME, 一般

13日午前 NC-A 会場 (1-1) (10:15~11:55)

NC-1. 事後分布の対数尤度比を用いた学習モデルの特異性判定法 ○加藤 尊・渡辺澄夫(東工大)

NC-2. ニューラルネットワークが階層構造に基づいた危点を持たないための十分条件 新田 徹(産総研)

NC-3. スパース結合動的バイナリニューラルネットワークの学習とその応用 ○森安淳吾・上月良太・斎藤利通(法政大)

NC-4. 連想を演算単位とする脳型計算機モデル—神経回路発火と連想との対応付け— 関根優年(東京農工大)

NC-B 会場 (1-1) (10:15~11:55)

NC-5. 周辺視刺激と振動刺激による歩行誘導と感覚統合

○森 文彦(玉川大)・渡邊紀文(東京工科大)・大森隆司(玉川大)

NC-6. 腱振動刺激による運動錯覚を用いた動作教示法の検討

○仲田佳弘・石黒 浩(阪大)・上田 淳(ジョージア工科大)

NC-7. 目標設定及び達成が与える内発的動機づけへの影響の実験的検証 ○井浦陽一郎・田中琢真・中村清彦(東工大)

NC-8. 短時間で集中力を高めるパターンの提案

○小野沢文也・宇田隆哉・菊池真之(東京工科大)

MBE-C 会場 (1-1) (10:15~11:55)

MBE-9. 心房細動における心拍制御メカニズムの解明を目指し

た心房心室間興奮伝導シミュレーション

○小野多佳子(東京電機大)・稲田 慎(国立循環器病センター)・

柴田仁太郎(新宿三井ビルクリニック)・岩田倫明・

原口 亮(国立循環器病センター)・Mark R. Boyett・

Halina Dobrzynski(マフチェスター大)・三井和幸(東京電機大)・

中沢一雄(国立循環器病センター)

MBE-10. 心臓の三次元的構造を効果的に理解するためのマルチタッチインタラクション手法の開発 ○小山裕己・

五十嵐健夫(東大)・井尻 敬(理研)・稲田 慎・白石 公・

中沢一雄(国立循環器病センター)

MBE-11. プルキンエ線維-心室筋移行部の伝導非対称性についての基礎的検討—興奮膜モデルを用いたシミュレーション実験— ○原口 亮(国立循環器病センター)・

芦原貴司(滋賀医科大)・稲田 慎(国立循環器病センター)・

池田隆徳(東邦大)・中沢一雄(国立循環器病センター)

MBE-12. 在宅心不全患者 Web 管理システムの開発—被災地での利用をめざして— ○谷 昇子(国立循環器病センター)・

稲田 紘(兵庫県立大)・安斉俊久(国立循環器病センター)・

中尾寿成・川上清和・上野直子(シー・エー・エヌシステム)・桑田成規・

中沢一雄・宮本恵宏(国立循環器病センター)

13日午後 NC-A 会場 (1-2) (13:20~15:00)

NC-13. 追学習の機構を備えた Spiking Hopfield Network の提案 ○池田英彬・山内ゆかり(日大)

NC-14. 3段構成ネオコグニトロン:最適しきい値探索と細胞密度の間引き ○山本千尋・林 勲(関西大)・

福島邦彦(フジ研)

NC-15. カーネル関数を用いた教師なし学習によるスパース表現の獲得 ○横山裕樹・渡部 修(室蘭工大)

NC-16. ヘブ則による遷移確率の学習:神経回路モデルの研究

○齋藤 大・瀧山 健(東大)・岡田真人(東大/理研)

NC-B 会場 (1-2) (13:20~15:00)

NC-17. 面表現に基づく情報統合により生じられる曲率選択性

○羽鳥康裕・酒井 宏(筑波大)

NC-18. 視覚野 V1 及び V2 の電気刺激によって惹起される光覚のシミュレーション ○神谷雄斗・奥野弘嗣・亀田成司・

八木哲也(阪大)

NC-19. FPGA を用いた網膜神経節細胞応答の実時間シミュレーション ○石田椋也・長谷川 潤・奥野弘嗣・

林田祐樹・八木哲也(阪大)

NC-20. 海馬 CA1 錐体細胞におけるシナプス可塑性と Ca ダイナミクスとの相関 ○伊藤幸祐・岩井俊哉(日大)

MBE-C 会場 (1-2) (13:20~15:00)

MBE-21. A novel fiber tracking method with MR-DTI based on curvature and torsion for crossing area of multiple nerve bundles ○Utako Yamamoto・Akifumi Hisada・

Tetsuo Kobayashi (Kyoto Univ.)

MBE-22. 神経磁場計測のための spin-lock sequence を用いた MRI 手法に関する基礎的検討 ○永原静恵(京大/学振)・

上野雅仁・小林哲生(京大)

MBE-23. K-Rb ハイブリッドセルを用いた光ポンピング原子磁気センサによる生体磁気計測に向けた磁場分布計測

○伊藤陽介・佐藤大地・大西宏征・鎌田啓吾・

小林哲生(京大)

MBE-24. シミュレーションモデルを用いた拡散機能 MRI 信号の時系列特性の解析 ○中村和浩(秋田脳研)・

築瀬雄志・陳 国躍(秋田県立大)・木下俊文(秋田脳研)

NC-A 会場 (1-3) (15:10~16:25)

NC-25. 自己組織化写像の対応づけと学習評価への応用

○大原成裕・渡辺澄夫 (東工大)

NC-26. 自己組織化マップを用いたプローブの頻度情報による DNA 配列の解析

○金子勇太郎・堂菌 浩 (佐賀大)

NC-27. 複素性と対数線形モデルを用いた深層格解析システム

○梶間広暁・萩原将文 (慶大)

NC-B 会場 (1-3) (15:10~16:25)

NC-28. 人間の行動意図の推定を目指した自律ロボットの追従行動

○吉岡裕彬・宮本賢良 (慶大)・

渡邊紀文 (東京工科大)・武藤佳恭・石崎 俊 (慶大)

NC-29. 運動知覚における脳内の適応的な計算メカニズムに関する研究

○神田雄介・渡部 修 (室蘭工大)

NC-30. ショウジョウバエ幼虫の走化性行動における連続的な偏向前進運動

○大橋春平 (東工大/東京薬科大)・

森本高子・宮川博義 (東京薬科大)・青西 亨 (東工大)

MBE-C 会場 (1-3) (15:10~16:50)

MBE-31. 非正規性の観点に基づいた脳波モデル

○山井智博・戸田尚宏 (愛知県立大)

MBE-32. Dual-Energy CT における組織同定

○青山昌弘・

山崎陽一・戸田尚宏 (愛知県立大)

MBE-33. ERG フリッカー検査における適応フィルタ係数平滑化による交流雑音除去

○村松慎也・戸田尚宏 (愛知県立大)

MBE-34. ワイヤレス型 MMG/EMG ハイブリッドセンサの開発

○岡 久雄・小西有人・北脇知己・岡本 基 (岡山大)

14 日午前 シンポジウム (D 会場) (9:30~11:30)

[シンポジウム] BMI と倫理

石井 信 (京大/ATR)・

川人光男 (ATR)・青木 清 (上智大)・

佐倉 統 (東大/ATR)

14 日午後 NC-A 会場 (2-1) (12:50~14:30)

NC-1. 機械学習によるアメリカンフットボールの戦略推定

○中村俊輔・池田和司 (奈良先端大)

NC-2. 身体運動の協調構造を利用した到達運動の先読みシステム

○西田泰明・阪口 豊 (電通大)

NC-3. モデル予測制御に基づくヒトの目標追従運動の間欠的制御モデル

○田中雅人・井上康之・阪口 豊 (電通大)

NC-4. ウェーブレット解析を用いた運動間欠性の抽出手法の開発

○井上康之・阪口 豊 (電通大)

NC-B 会場 (2-1) (12:50~14:30)

NC-5. 短期記憶課題の記録時 α 波脳磁場振幅の変調

○横澤宏一・千年涼太・馬場聡美・榎木拓也・

高橋 誠 (北大)・栗城眞也 (東京電機大)

NC-6. 近赤外分光計測と機能的核磁気共鳴画像法を用いた脳血流動態推定

○愛須亮太 (奈良先端大/ATR)・山下宙人・

下川丈明・佐藤雅昭 (ATR)

NC-7. RB-ARQ における N-gram 情報の利用と P300 speller への応用

○佐溝恵里・吉川大弘・古橋 武 (名大)

NC-8. Recurrent Self Organizing Map による BCI に向けた信号解析

○木野裕麻・山内ゆかり (日大)

MBE-C 会場 (2-1) (12:50~14:30)

MBE-9. 表面筋電信号を用いた打撃動作による主動筋・拮抗筋の関係

○大和田敬吾 (公立はこだて未来大)・

戸田真志 (熊本大)・櫻沢 繁 (公立はこだて未来大)・

秋田純一 (金沢大)・近藤一晃・中村裕一 (京大)

MBE-10. アレイ電極を用いた表層筋と深層筋の活動の推定

○小塩俊貴・櫻沢 繁 (公立はこだて未来大)・

戸田真志 (熊本大)・秋田純一 (金沢大)・近藤一晃・

中村裕一 (京大)

MBE-11. FES 足漕ぎ車椅子における走行速度に基づく刺激タイミングの検討

○村上卓弥・大橋研斗・渡邊高志・

半田康延 (東北大)

MBE-12. 慣性センサを用いた下肢 3 次元運動の計測に関する検討—剛体リンクモデルによる評価—

○大橋研斗・

渡邊高志 (東北大)

NC-A 会場 (2-2) (14:40~16:20)

NC-13. 感覚信号から抽出した特徴量を用いた低次元フィードバック制御モデル

○濱村 徹・西井 淳 (山口大)

NC-14. 軌道追従タスクにおける多関節腕の協調制御

○東郷俊太・香川高弘・宇野洋二 (名大)

NC-15. トルク変化最小規範に基づく全身リーチング運動の解析

○崔 珪炯・香川高弘・宇野洋二 (名大)

NC-16. 視空間イメージの生成と変換の脳内メカニズム

○朝倉暢彦・笹岡貴史 (京大)・佐藤直行 (公立はこだて未来大)・

乾 敏郎 (京大)

MBE-B 会場 (2-1) (14:40~16:20)

MBE-17. サイレントスピーチ BCI—Single-trial EEGs を利用したサイレントジャンケン予測—

○久野友貴人・

山本圭一・上野修平・山田雅也・山崎敏正 (九工大)

MBE-18. アルファ波成分を用いた脳波 ASSR データの 2 クラス判別

○南波寛直・中村 堯・松本 隆 (早大)

MBE-19. ランダムドットモーション刺激と組み合わせた Go/NoGo 課題における誤り前後の脳活動に関する研究

○加藤太陽 (奈良先端大)・相原孝次・藤原祐介 (ATR)・

大高洋平 (ATR/慶大/東京湾岸リハビリテーション病院)・

大須理英子・井澤 淳 (ATR)

MBE-20. UWB による体内-体外無線通信機能を備えた超多チャンネル BMI システムの開発

○安藤博士・

滝沢賢一 (NICT)・吉田 毅 (広島大)・松下光次郎・

平田雅之・吉峰俊樹 (阪大)・鈴木隆文 (NICT)

MBE-C 会場 (2-2) (14:40~16:20)

MBE-21. 上肢到達運動中の衝撃力に対する誤差修正

○月澤拓哉・杉山空良・渡辺達哉・佐多正至・

高橋 誠 (北大)

MBE-22. 視覚情報が無い状態での到達運動における力学的外乱に対する修正運動

○杉山空良・北村 信・月澤拓哉・

渡辺達哉・佐多正至・高橋 誠 (北大)

MBE-23. 静電型 4 自由度力センサのための変位推定法の有効範囲の評価

○村上知里・高橋 誠 (北大)

MBE-24. 生体情報に基づいたテニスのフォアハンドストロークにおけるスイング動作と筋活動の関係性

○山本光太郎・

木竜 徹 (新潟大)

特別講演 D 会場 (16:30~17:40)

共通-25. [招待講演] コラボレーションによるスキル開発と説得性の追及

○古川康一 (嘉悦大)・升田俊樹 (フェリス)

15 日午前 NC-A 会場 (3-1) (10:15~11:55)

NC-1. 非定常ガウス過程を用いた GTM におけるベイズ法

山口暢彦 (佐賀大)

NC-2. ボルツマン・マシンを応用したトポグラフィック・マップの形成モデルについて

○伊達 章 (宮崎大)・

倉田耕治 (琉球大)

NC-3. concurrent Q learning における relaxation の改良

○村上和謙・尾関智子 (東海大)

NC-4. ニューラルネットを用いた強化学習による行動の学習を通じた色恒常性の創発 ○柴田克成・栗崎俊介 (大分大)

NC-B 会場 (3-1) (10:15~11:55)

NC-5. NIRS を用いた基礎的なドラム演奏の熟達に伴う皮質活動変化の調査 ○上田公介・柴田智広・池田和司 (奈良先端大)

NC-6. サポートベクターマシンと粒子群最適化を用いた聴覚事象関連電位の分類に関する検討

○ゴンザレス アレハンドロ・南部功夫・穂刈治英・和田安弘 (長岡技科大)

NC-7. 音楽を聴いた時の脳活動と感性評価について

○掛川菜祐・小宮山 諒・政倉祐子・菊池眞之 (東京工科大)

NC-8. 脳内で予測された次時刻シーンのデコーディング

○鹿内友美・石井 信 (京大)

MBE-C 会場 (3-1) (10:15~11:55)

MBE-9. ビーム光の散乱体内部伝搬式を用いた生体透視像改善手法の開発 ○奥山雄基・浪田 健・加藤祐次・清水孝一 (北大)

MBE-10. 未知の光学定数の散乱媒質中における蛍光体の深さ推定及び画像改善 ○夏 ジアウォ・浪田 健・加藤祐次・清水孝一 (北大)

MBE-11. 2 波長励起による散乱媒質中の蛍光体厚さ推定のための基礎的検討 ○小幡恭平・浪田 健・加藤祐次・清水孝一 (北大)

MBE-12. 後方散乱光の時間分解計測による組織酸素飽和度断面イメージングの基礎的検討 ○森本拓朗・浪田 健・加藤祐次・清水孝一 (北大)

15 日午後 NC-A 会場 (3-2) (13:20~15:00)

NC-13. Experimental Comparison of Classification Methods for Key Kinase Identification ○Yuji Yoshida・Kei Majima・Tatsuya Yamada・Yuki Maruno (NAIST)・Yuichi Sakumura (Aichi Pref. Univ.)・Kazushi Ikeda (NAIST)

NC-14. 複素自己組織化マップによるセキュリティ用ミリ波イメージングの提案 小野島昇吾・有馬悠也・廣瀬 明 (東大)

NC-15. 類似度を考慮した近傍学習による適応型自己組織化マップ ○中倉昌哉・山内ゆかり (日大)

NC-16. 多重解像度 SOM による音響信号の構造化 烏田光一郎 (名工大)

MBE-B 会場 (3-1) (13:20~15:00)

MBE-17. 手指の随意運動における運動開始前での運動意志の中断に関連した脳電位 ○福田浩士・樋脇 治 (広島市大)

MBE-18. 脳波を特徴づける安定分布によるてんかん発作の兆候 ○吉田謙介・木船雅弥・渡辺俊平・森 康久仁 (千葉大)・斎藤陽一・原田 元 (脳波計量解析研)・松葉育雄 (千葉大)

MBE-19. 視覚誘発電位と眼球情報の特徴を用いた注視刺激サイズの推定 ○中山 実・藤本正志 (東工大)

MBE-20. 多変量確率モデルによる脳波の信号分離 ○栗花悠輔・宮部滋樹・ルトコフスキ トマシュ・松本佳泰・山田武志・牧野昭二 (筑波大)

MBE-21. 光透視像を用いた散乱体表面構造の 3 次元再構成—視野角限定による再構成の試み— ○松浦太紀・浪田 健・加藤祐次・清水孝一 (北大)

MBE-22. 位相共役光によるタイムリバース法を用いた散乱体イ

メージングの実験的検討 ○横田 峻・浪田 健・加藤祐次・清水孝一 (北大)

MBE-23. 光による手掌を介した人体通信の試み ○秋山潤吉・浪田 健・加藤祐次・清水孝一 (北大)

MBE-24. 医用内視鏡への搭載を目的とした光音響式粘弾性測定器の試作 和田森 直 (長岡技科大)

NC-A 会場 (3-3) (15:10~16:25)

NC-25. 自己増殖型ニューラルネットワーク SOINN を用いた未知の音の検知 高崎彰斗 (名工大)

NC-26. パルスニューラルネットワークを用いた聴覚情報処理システムにおける混合音認識手法に関する研究 ○渡辺淳郎・黒柳 奨 (名工大)

NC-27. 複素ニューラルネットワークを用いた広帯域ビームフォーミング手法による音響イメージング ○寺林光太郎・廣瀬 明 (東大)

MBE-B 会場 (3-2) (15:10~16:50)

MBE-28. 自己組織化マップを用いた COPD 患者の呼吸波形分類 ○青木広宙 (広島市大)・辻村周子 (東京済生会中央病院)・仲村秀俊 (埼玉医科大)

MBE-29. イモリ心傷害後の再生組織抽出液添加によるラット心筋細胞増殖能変化と拍動能解析 ○松山大輔 (北大)・新井茉那 (東海大)・河原剛一 (北大)

MBE-30. 呼吸訓練による心臓自律神経活動への影響の評価 ○齋藤宏志・中村英夫 (阪電通大)

MBE-31. 柔軟ポリマーセンサによる睡眠時ブラキシズム中に発生する下顎の動き計測 ○坂上友介・清水貴弘 (立命館大)・松島基実・松浦幹也・高橋活栄・浅原和彦 (ケル)・岡田志麻・牧川方昭 (立命館大)

MBE-C 会場 (3-3) (15:10~16:25)

MBE-32. 短時間音長の再生誤差と再生開始時刻の関係 ○佐藤貞郷・二見亮弘 (福島大)

MBE-33. 時間に関わる二重課題での心理的処理資源配分 ○古谷卓也・二見亮弘 (福島大)

MBE-34. 等価回路法を用いた漏洩型樹冠の樹木画の解析 ○藤原 徹・神農雅彦 (神心会)

◆日本生体医工学学会; ME とバイオサイバネティクス研究会, 日本神経回路学会, IEEE Computational Intelligence Society Japan Chapter, 計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門生体・生理工学部会共催

◎14 日 17:40 より懇親会 (会場: 大学 8 号館前「けやき食堂」)

☆MBE 研究会

【問合先】 吉村奈津江 (東工大)

〒226-8503 横浜市緑区長津田町 4259-J3-10
TEL [045] 924-5054, FAX [045] 924-5085
E-mail: yoshimura@cns.pi.titech.ac.jp

☆NC 研究会

【問合先】 佐藤直行 (公立はこだて未来大)

E-mail: satonao@fun.ac.jp

★安全性研究会 (SSS)

専門委員長 向殿政男 副委員長 平尾裕司
幹事 木村昌臣・鈴木喜久 幹事補佐 佐藤吉信・高橋 聖

日時 3月14日(木) 13:00~17:00

会場 明治大学駿河台キャンパス紫紺館(千代田区神田駿河台
1-1. JR中央線/総武線:御茶ノ水駅, 東京メトロ丸ノ内線:
御茶ノ水駅から徒歩3分)

議題 食品の安全を主として

1. こんにやく入りゼリーによる小児窒息事故事例における窒息メカニズムの検討 池田隆壽(元日立)
2. こんにやくゼリーのリスク低減方策について—消費者庁事故情報分析タスクフォースでの検討経過— 松尾敬子(消費者庁)・山田哲也(国交省)・向殿政男(明大)
3. 乳製品の微生物学的安全性確保のための法体系と微生物管理の実際 上門英明(明治)
4. 食品の信頼・安心確保のための手法について 湯川剛一郎(東京海洋大)
5. 規格に基づく衛生設計の普及に対する法令要求の影響 〇大村宏之(日本食品機械工業会)・福田隆文(長岡技科大)
6. RFIDシステムを応用した危険点近接作業の保護装置構築に関する研究 〇関山瞬太郎・中村英夫・高橋 聖(日大)・清水尚憲・梅崎重夫(労働安全衛生総研)

【問合先】

木村昌臣(芝浦工大工学部情報工学科)
TEL & FAX [03] 5859-8507
E-mail: masaomi@shibaura-it.ac.jp

★アンテナ・伝播研究会 (A・P)

専門委員長 宇野 亨 副委員長 菊間信良
幹事 石井 望・高橋 徹 幹事補佐 道下尚文

日時 3月14日(木) 10:30~16:50

会場 湯河原商工会館302号室(足柄下郡湯河原町土肥1-7-1.
JR東海道線:湯河原駅, 南徒歩すぐ. <http://yugawara-sci.or.jp/map/ekimae.htm> 高橋 徹(三菱電機))

議題

1. 起電力法によるリフレクトアレー設計法の一検討 〇今野佳祐・陳 強・澤谷邦男・亀田 卓・末松憲治(東北大)
 2. プラスチック基板上に装荷されたデュアルバンドループスロット型周波数選択板の広帯域化, 小型化 〇熊木清高(小島大)・榊原久二男・立川克之(名工大)・堀 智(小島大)・菊間信良・平山 裕(名工大)
 3. 保持角度と到来波偏波の相互影響を考慮したタブレット端末用MRCアレーアンテナの高感度化 〇山崎 誠・本田和博・小川晃一(富山大)
- 午後
4. Sパラメータのみに基づくMIMOチャネル容量式とその評価 〇本間尚樹(岩手大)・小川晃一(富山大)・恒川佳隆(岩手大)
 5. ユーザ側固定指向性形成によるMU-MIMO伝送 〇西森健太郎・堅岡良知・牧野秀夫(新潟大)
 6. フェーズドアレーアンテナの全相状態における素子電界誤

差を考慮した高精度ビーム形成手法に関する検討

〇中本成洋・高橋 徹・小西善彦(三菱電機)

7. 副アレーにより分割した大規模移相アレーアンテナの放射特性 〇高野 忠・三枝健二(日大)

A・P研チュートリアル講演

8. [チュートリアル講演] MIMOデカップリング回路の設計法 〇武田茂樹・鹿子嶋憲一(茨城大)

IEEE AP-S Japan Chapter 特別講演

9. [特別講演] ユーザセントリックワイヤレスホームネットワークに向けた空間信号処理技術の研究開発(口頭発表) 鷹取泰司(NTT)

◆IEEE AP-S Japan Chapter 共催

◎研究会終了後,懇親会を予定しておりますので,御参加下さい。

☆A・P研究会今後の予定 []内発表申込締切日

4月18日(木) 関西学院大西宮上ヶ原キャンパス [締切済]
テーマ:一般

5月16日(木), 17日(金) 別府国際コンベンションセンターピーコンプラザ [3月10日(日)] テーマ:一般

5月31日(金) 松山市総合コミュニティセンター [4月10日(水)] テーマ:無線設備・アンテナシステム測定技術

6月13日(木) 機械振興会館 [4月10日(水)] テーマ:一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

高橋 徹(三菱電機)
E-mail: ap_ac-secretary@mail.ieice.org

★非線形問題研究会 (NLP)

専門委員長 上田哲史 副委員長 池口 徹
幹事 高坂拓司・神野健哉 幹事補佐 坪根 正・木村貴幸

日時 3月14日(木) 9:30~17:20

15日(金) 9:00~17:15

会場 千葉大学西千葉キャンパスアカデミックリンクセンターI棟一階コンテンツスタジオ「ひかり」(千葉市稲毛区弥生町1-33. <http://alc.chiba-u.jp/index.html> TEL [043] 290-3258 関屋大雄)

議題

14日午前

1. 強化学習ベース多船航路探索法における行動選択制限の改良 〇谷川大洋・神尾武司(広島市大)・三堀邦彦(拓殖大)・田中隆博(海上保安大)・藤坂尚登・生岩量久(広島市大)
2. 二次割当問題の交換要素を適応的に決定するカオスの局所探索法 〇渡辺明生・藤原寛太郎・池口 徹(埼玉大)
3. リング結合されたPSOを用いる非線形ブラインド信号源分離 〇栗原拓哉・神野健哉(日本工大)
4. PSOに基づくブラインド信号分離における分布誤差の影響について 〇木許雅則・富田翔矢・神野健哉(日本工大)
5. ノイズ環境下での周波数引き込みによる位相応答曲線の推定 〇吉川貴博・西山英里・田中久陽(電通大)

14日午後(12:35~)

6. A consideration on the generation of extremely ill-conditioned matrices 〇Tetsuo Nishi・S. Rump・Shin'ichi Oishi (Waseda Univ.)

7. Parallel connected class D amplifiers for RF power source applications
Suetsugu Tadashi・
○Xiuqin Wei (Fukuoka Univ.)・Tomoharu Nagashima・
Hiroo Sekiya (Chiba Univ.)
8. ドレイン電流の立下り時間を考慮した E_M 級増幅器の解析
○張 志才・永島和治 (千葉大)・魏 秀欽 (福岡大)・
関屋大雄 (千葉大)
9. いくつかの加振機構による電気接点の劣化現象—接触抵抗変動のモデリング(3)—
○和田真一・越田圭治・
久保田洋彰 (TMC システム)・澤 孝一郎 (日本工大)
10. 有色非ガウス雑音環境における微弱信号取り出しのための最適非線形フィルタ特性の導出
○一木輝久・
田所幸浩 (豊田中研)
11. ハイブリッドシステムにおけるリミットサイクル振動子に対する位相縮約法とその応用
○白坂 将・紅林 亘・
中尾裕也 (東工大)
12. 前後に動く受動歩行機の実機による検証
○竹本雅哉・
小西啓治・原 尚之 (阪府大)
13. A study on periodic rotation of parametric pendulum with second harmonic vibration
○Yuichi Yokoi・
Tsuyoshi Higuchi (Nagasaki Univ.)
14. 3つのスパイクニューロンによるリング結合時のダイナミクスについて
○柴田 翔・松岡祐介 (米子高専)
15. 符号特性を持つ電流源を含むカオススパイク発振器について
○田中貴裕・松岡祐介 (米子高専)
16. 2-トラスと3-トラスの境界について
○藤原澄人・
稲葉直彦 (明大)・関川宗久 (東大)・藤本憲市・
吉永哲哉 (徳島大)・遠藤哲郎 (明大)

15 日午前

1. 経済時系列データモデルの性能比較と金融商品への応用
○中野友希・白田卓史・森 康久仁・松葉育雄 (千葉大)
2. 環境データを用いた非線形振動子の共通ノイズ同期現象の解析
○風間正弘・養島勇太・紅林 亘・中尾裕也 (東工大)
3. Analysis on real networks by classical multidimensional scaling
○Yong Gao (Saitama Univ.)・
Yutaka Shimada (FRIST AiharaPJ/JST)・
Kantaro Fujiwara・Tohru Ikeguchi (Saitama Univ.)
4. Prediction of growth of complex networks
○Suguru Yaginuma (Saitama Univ.)・Yutaka Shimada
(Aihara Innovative Mathematical Modelling Project)・
Kantaro Fujiwara・Tohru Ikeguchi (Saitama Univ.)
5. 粘菌を模擬したネットワーク最適化手法の外力に対する応答
高木直広・○清水邦康 (千葉工大)
6. 二次割当問題のための同期更新指数減衰カオスタブサーチへの区分線形モデルの導入
○小澤将人・豊田皓仁・
堀尾喜彦 (東京電機大)・合原一幸 (東大)

15 日午後 (12:30~)

7. 探索次元を制限した PSO
○井瀧悠平・神尾武司・
藤坂尚登・生岩量久 (広島市大)
8. 同期現象が生じる遅延結合カオス写像系の設計—結合遅延に依存しない設計手法の提案—
○杉谷栄規・小西啓治・
原 尚之 (阪府大)
9. 非同期セルオートマトンに基づいた Multi-Compartment 神経細胞モデル
○島田直季・鳥飼弘幸 (阪大)
10. 強い摂動を受けるリミットサイクル振動子への位相縮約法の拡張とその応用
○紅林 亘・白坂 将・中尾裕也 (東工大)

11. カオス乱数とルベークスペクトラムフィルタに基づく粒子群最適化法の性能評価
○長崎大都・梅野 健 (京大)
12. 直交カオス拡散符号を用いた符号分割多元接続システム—フェージングチャネルにおけるシステム性能評価及び電力線通信への応用について—
○岩田真聡・梅野 健 (京大)
13. 電子回路を用いたカオス振動子における共通ノイズ同期現象
○楠見僚也・川井 翼・藤原寛太郎 (埼玉大)・
神野健哉 (日本工大)・池口 徹 (埼玉大)
14. 最適注入同期とその応用
○西山英里・吉川貴博・
田中久陽 (電通大)
15. 内耳螺旋神経節細胞の非同期セルオートマトンモデル
○伊澤真人・鳥飼弘幸 (阪大)
16. A mathematical model of beta-cell
○Chuying Cui・
Kantaro Fujiwara・Tohru Ikeguchi (Saitama Univ.)
17. カオス写像に基づく q-Gauss 乱数生成法の提案
梅野 健・○佐藤彰洋 (京大)

【問合せ先】

高坂拓司 (大分大)

TEL [097] 554-7799, FAX [097] 554-7790

E-mail: takuji@oita-u.ac.jp

★モバイルマルチメディア通信研究会 (MoMuC)

専門委員長 横田英俊 副委員長 井上真杉

幹事 鶴岡行雄・榎原 茂

幹事補佐 上村郷志・北形 元・小林基成

★アドホックネットワーク研究会 (AN)

専門委員長 松井 進 副委員長 渡辺 尚・村田英一

幹事 山野 悟・山本高至 幹事補佐 大和田泰伯・門田和也

◎本研究会は MoMuC 研究会と AN 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 3月14日(木) 9:00~17:20

15日(金) 9:00~16:25

会場 東京大学駒場リサーチキャンパス (目黒区駒場 4-6-1)

<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/access.html>

議題 モバイルアドホックネットワーク、モバイル時代を支える次世代無線技術、フィールドセンシング及び一般

14 日午前 UBI-1 インタフェース・情報提示 (9:00~10:20)

1. Google Maps を利用した三次元位置タグ情報表示システムの設計と実装
○丹後偉也・三原進也・南 雄典・島田秀輝・
佐藤健哉 (同志社大)

2. マルチユーザ認識可能なテーブルトップインタフェース "Suzuri" の開発
○吉谷拓真・新井イスマイル (明石高専)

3. スマートフォン向けテキスト入力システム
○鈴木孝宏・
美馬義亮 (公立はこだて未来大)

4. 移動型カメラを用いたヘアセルフカット支援システム
○双見京介・寺田 努・塚本昌彦 (神戸大)

UBI-2 位置推定・経路推定 (1) (10:30~11:50)

5. Wi-Fi 位置計測における計測エラーの検出及び修正手法
津田祐輝・○孔 全・前川卓也 (阪大)

6. 近傍携帯端末群によるばねモデルを用いた協調的屋内位置推定手法の提案
劉 曉鵬・○前川卓也 (阪大)

7. スマートフォン内蔵ジャイロセンサによる屋内方位推定精度

- 向上 ○北川 拓・新井イスマイル (明石高専) 加藤聰彦 (電通大)
8. 人感センサネットワークを用いたスマートビル—焦電型赤外線センサによる人物通過判定に関する検討— ○秦 淑彦・麻生圭祐・比良健人・福庭 涼・永瀬 司 (広島工大)
- 14 日午後 招待講演 1 (13:00~13:45)
9. [招待講演] クラウドサービスと融合する M2M 応用技術 池田博樹・石田宏樹 (フュービット)
- UBI-3 行動認識・状況推定 (13:55~15:15)
10. O-MUSUBI: 環境音を利用するアドホックグルーピング—音場の情報理論的素性に基づく類似度— ○寺本幸生・野田 潤 (NEC)
11. スマートフォン利用者のコンテキストログを用いたアプリケーション推薦システム ○嶋谷健太郎・間下以大・西尾章治郎・原 隆浩・清川 清・竹村治雄 (阪大)
12. 時間帯と同行者の状況変化に追従した歩幅推定手法の提案と評価 ○三宅孝幸・新井イスマイル (明石高専)
13. 携帯電話の格納場所連続監視手法—歩行時及び格納動作時判定処理の文脈的併用— ○河内智志・藤波香織 (東京農工大)
- UBI-4 センサネットワーク (15:25~16:25)
14. 小型無線センサノード用仮想マシン CILIX の適用事例 ○柳沢 豊・須山敬之 (NTT)・寺田 務・塚本昌彦 (神戸大)
15. センサネットワークを用いた温湿度制御システムの研究 ○小林悠一・鈴木雄也・鈴木良典・今原淳吾・峰野博史 (静岡大)
16. 端末間の機能分散による消費電力平滑化手法の提案 ○長堀 哲・荒川 豊 (九大)・田頭茂明 (関西大)・福田 晃 (九大)
- 招待講演 2 (16:35~17:20)
17. [招待講演] タイトル未定 曆本純一
- 14 日午前 MBL-1 スマートフォン (9:00~10:20)
18. モバイルアプリのファセット検索を実現するインデクシング手法 ○片岡泰之・渡部智樹・田中 清・東野 豪 (NTT)
19. 携帯端末を用いたマルチディスプレイ間でのコンテンツ操作手法 ○松元崇裕・瀬古俊一・青木良輔・小林 透 (NTT)
20. スマートホームにおける電力コストと生活満足度を考慮した行動スケジューリング手法の提案 ○中村笙子・廣森聡仁・山口弘純・東野輝夫 (阪大)
21. Android におけるセンサ単位の機能仮想化 三宅弘士・○荒川 豊 (九大)・田頭茂明 (関西大)・福田 晃 (九大)
- MoMuC1 (10:30~11:30)
- MoMuC-22. ストリーミングアプリケーションのトラフィック特性と周期的切断が与える影響の解析 ○山本和広・寺田雅徳・寺岡文男・金子晋丈 (慶大)
- MoMuC-23. 放送を用いた道路地図データの効率的な更新箇所抽出手法の提案 ○城島君守 (九大)・田頭茂明 (関西大)・荒川 豊・福田 晃 (九大)
- MoMuC-24. エラスティックコア: ステート情報分離アーキテクチャによる IMS の信頼性と可用性の向上 ○山崎敬広・中村哲也・田村 基 (NTT ドコモ)
- 14 日午後 AN1 (13:55~14:55)
- AN-25. 移動センサネットワークにおけるクラスタリングを考慮した位置情報利用型トポロジ ○池田一樹・塩川茂樹 (神奈川工科大)
- AN-26. 無線 LAN における NAV 期間の動的制御を用いた高優先度メディアアクセス制御 ○熊谷雄太・大坐島 智・
- AN-27. ヘテロジニアスマルチホップロボット群制御無線通信の研究 田中 晶 (東京高専)
- MBL-2 通信 1 (15:25~16:25)
28. レーザレンジスキャナと Wi-Fi Fingerprint を併用した歩行者の位置推定手法の提案 ○和田悠佑・山口弘純・東野輝夫 (阪大)
29. Android 端末における Wi-Fi/3G 間のシームレスハンドオーバーの提案と実装 ○福山陽祐・上醉尾一真・旭 建作・鈴木秀和・渡邊 晃 (名城大)・内藤克浩 (三重大)
30. 仮想化ネットワークインターフェースを用いたトリガ駆動に基づく Wi-Fi アクセスポイントの動的負荷分散方式 ○河田真宏・玉井森彦・安本慶一 (奈良先端大)
- 15 日午前 UBI-5 行動認識・状況推定 (2) (9:00~10:20)
1. マルチモーダルデータによる携帯映像閲覧者の興味推定 ○倉野大二郎・松村耕平・角 康之 (公立はこだて未来大)
2. イベントの内容、感情、話者情報をロギングするリッチなサウンドライフログの実装と評価 ○綾部櫻子・田野俊一・市野順子 (電通大)・岩田 満 (都立産技高専)・橋本智訓 (電通大)
3. ライフログにおける自動タグ付けのための笑顔認識機構の設計と実装 ○福本くらら・寺田 努・塚本昌彦 (神戸大)
4. 暗黙的な実世界交通ルール提示に基づく歩行支援システム ○佐々木裕昭・寺田 努・塚本昌彦 (神戸大)
- UBI-6 システム性能 (10:30~11:50)
5. センサネットワークにおけるグループ鍵管理の通信量について ○楯 勇一 (奈良先端大)・野田 潤 (NEC)
6. ARAR アルゴリズムによる欠損データ補完を用いたウェアラブルセンサ行動認識技術の耐故障性向上 ○内田稜真・堀野豊人・大村 廉 (豊橋技科大)
7. 複数モデルの利用を考慮したホームシミュレータの設計 ○牧野義樹 (NICT/北陸先端大)・グェン ホアイソン・金 準修・楊 鉦国・リム アズマン オスマン・丹 康雄 (北陸先端大)
8. A distributed system architecture for pedestrian flock detection with participatory sensing ○Leppanen Teemu (Univ. of Oulu)・Alvarez Lacasia Jose・Masayuki Iwai・Kaoru Sezaki (Univ. of Tokyo)・Yoshito Tobe (Aoyama Gakuin Univ.)・Rieki Jukka (Univ. of Oulu)
- 15 日午後 招待講演 3 (13:00~13:45)
- 共通-9. [招待講演] ロボット制御の視点で見た無線通信の課題と期待 内村 裕 (芝浦工大)
- UBI-7 位置推定・経路推定 (2) (13:55~15:15)
10. 気圧センサと数値標高モデルを用いた移動経路推定手法の提案と評価 ○岩波慶一郎・新井イスマイル (明石高専)
11. 姿勢センサと画像特徴量マッチングによる端末位置・姿勢推定の精緻化 ○安部陽平 (立命館大)・新井イスマイル (明石高専)・西尾信彦 (立命館大)
12. 機種差・個体差補正による Wi-Fi クラスタ間遷移グラフの個人間統合に関する一考察 ○榎堀 優・間瀬健二 (名大)
13. 看護師モバイルセンサからの看護行動区間の推定 中村優斗・○井上創造 (九工大)・野原康伸・中島直樹 (九大病院)
- UBI-8 照明とその応用システム (15:25~16:25)
14. 照明状態の動的変化を検知可能な LED 制御システム

○小林祥朋・栗山 繁 (豊橋技科大)

15. スマートフォン搭載照度センサの集合知による街灯照度安全性判定システムの開発 ○松田裕貴・新井スマイル (明石高専)

16. LED 照明の色変調を用いた間接光型空間タグ ○荻野雅泰・栗山 繁 (豊橋技科大)

15 日午前 MBL-3 GPS・位置 (9:00~10:20)

17. 間欠的切替測位による省電力入圏検出方式の評価 ○中川智尋・太田 賢・稲村 浩 (NTTドコモ)・森川博之 (東大)

18. GPS からの習慣モデル獲得法と「気づき」提供サービス構成法 ○松尾宣夫・高見一正 (創価大)

19. 帰宅困難者のための GPS を用いたリアルタイム地図作成システム ○于 文龍・榎原博之・松崎頼人 (関西大)・ラガワン ベンカテッシュ (阪市大)

20. 画像処理に基づいた効率のよい渋滞動画の収集・共有方式 ○玉井森彦・尾上佳久・安本慶一 (奈良先端大)・福倉寿信・岩井明史 (テソー)

AN-2 (10:30~11:50)

AN-21. 受信端末駆動型通信方式に基づいた大規模スマートメータリングシステムにおけるデータ収集のための手法の提案と評価 ○清水太一 (阪大)・菅野正嗣 (阪府大)・若宮直紀 (阪大)

AN-22. 無線メッシュネットワークにおけるブリッジトポロジーを対象とした指向性アンテナの導入検討 ○笹部聖也・山本尚生 (東京都市大)

AN-23. MANET における端末移動速度ベクトルを用いた経路安定化ルーティングプロトコルの研究 ○松下 敦・山本尚生 (東京都市大)

AN-24. 電気ヘリコプターを用いた被災地モニタリングシステムにおける飛行高度測定方式 ○菅原大地・間瀬憲一 (新潟大)

15 日午後 MBL-4 通信 2 (13:55~14:55)

25. Experimental Study on Channel Congestion and Radio Propagation using IEEE 802.11p Communication System ○Kenta Mori (NAIST)・Shagdar Oyunchimeg (National Inst. for Research in Computer Science and Control)・Satoshi Matsuura (NAIST)・Manabu Tsukada・Ernst Thierry (National Inst. for Research in Computer Science and Control)・Kazutoshi Fujikawa (NAIST)

26. 視覚的情報を利用した指向性電波無線通信システムのための点滅点光源追跡手法の実装 ○石川晃平・石原 進 (静岡大)

27. 伝搬耐性を備えた音波情報伝送技術の提案 ○岡野 裕・寺本幸生・野田 潤 (NEC)

MoMuC2 (15:25~16:05)

MoMuC-28. 都市環境における人流推定を目的としたセンサ配置最適化手法の提案 ○金谷拓実・廣森聡仁・山口弘純・東野輝夫 (阪大)

MoMuC-29. 通信被害地域におけるモバイル端末のバッテリー消費を考慮した要救助者情報収集手法の評価 ○鈴木規之・ジェーン ルイ フレスコ ザモーラ・檜原 茂・山口 英 (奈良先端大)

◆情報処理学会; モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会/ユビキタスコンピューティングシステム研究会連催

◎14 日 17:40~, 暦本研デモツアー&懇親会を行います。

☆MoMuC 研究会

【問合先】

金子晋丈 (慶大)
E-mail: kaneko@dmc.keio.ac.jp

田村 基 (NTTドコモ)
E-mail: tamuramo@nttdocomo.co.jp

☆AN 研究会

【問合先】

大和田泰伯 (NICT)・門田和也 (日立)
E-mail: an-kanji@mail.ieice.org

◎最新情報は AN 研究会のホームページを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/~an/>

★パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)

専門委員長 山田敬嗣 副委員長 大町真一郎・柏野邦夫
幹事 飯山将晃・関 真規人 幹事補佐 田中 宏・堀田政二

日時 3月14日(木) 9:00~18:00

15日(金) 9:00~18:00

会場 電気通信大学西9号館1階135教室/115教室(調布市調布ヶ丘1-5-1。京王線:調布駅中央口より東地区キャンパス正門まで徒歩5分。正門から中門経由で徒歩7分。もしくは、調布駅中央口より西地区キャンパス西門経由で徒歩12分。
<http://www.uec.ac.jp/about/profile/access/> <http://www.uec.ac.jp/about/profile/access/pdf/map.pdf> (68の建物の1階が受付・会場) 柳井啓司)

議題 文字・文書の認識と理解及びアルゴリズム・システム評価
14日午前 テーマセッション1 (9:00~10:30)

- 意味と音韻の最小単位である文節一文法の連鎖スイッチは文節がもつのではないか— 得丸公明 (システムエンジニア)
- 学習型テキスト画像検出 千葉直樹 (楽天)
- Text Detection based on Adaptive Edge Detection and its Application for Transparent Text Extraction
○Liu Xinhao (Tokyo Inst. of Tech./Rakuten)・Naoki Chiba (Rakuten)

一般セッション1 (9:00~10:30)

- Validation of Dimension Reduction Methods for Two-Dimensional Image Pattern Classification ○Hayato Itoh・Atsushi Imiya (Chiba Univ.)・Tomoya Sakai (Nagasaki Univ.)
- 複数の画像特徴と Passive-Aggressive を用いた fine-grained classification ○郡司直之・樋口貴之・安本晃基・村岡宏是・牛久祥孝 (東大)・原田達也 (東大/JST)・國吉康夫 (東大)
- 正規分布に基づく Fisher 判別分析の補正項
横田達也 (東工大)・若原 徹 (法政大)・坂野 鋭 (NTT)・山下幸彦 (東工大)

テーマセッション2 (10:45~12:15)

- 文字の選択的隠蔽に向けた試み—文字で文字を隠蔽できるか?— ○稲井浩平・フォン ヤオカイ・内田誠一 (九大)
- 文書画像検索と画像検索とのハイブリッド方式の提案
○杉本恭隆・黄瀬浩一・岩田 基 (阪府大)
- 適応的撮像による書籍電子化のためのリアルタイムページ3次元トラッキングとその状態評価 ○野口翔平・溜井美帆・山田雅宏・渡辺義浩・石川正俊 (東大)

一般セッション2 (10:45~11:45)

10. 画像局所特徴と 3D モデルを用いた大型車両の距離と方位の推定法 ○森 俊介・岡嶋克典 (横浜国大)
11. 車載カメラと GPS を組み合わせた走行環境適応型歩行者検出に関する検討 ○鈴木大地・吉田英史・出口大輔・井手一郎・村瀬 洋 (名大)・町田貴史・小島祥子 (豊田中研)
- 14 日午後 特別講演 (13:30~14:30)
12. [特別講演] データ圧縮・オープンソース・オープンデータ
奥村晴彦 (三重大)
- テーマセッション 3 (14:45~16:15)
13. フォントネットワーク—大規模フォントセットの分布構造解析— ○中本千尋・小泉壮太・石田良介・フォン ヤオカイ・内田誠一 (九大)
14. OCRopus を用いた数式を含む科学技術文献の読取りシステム ○古郡史啓・白井啓一郎・岡本正行 (信州大)
15. 離散最適化による片面文章画像のショーブルー除去法
○向井祐一郎・和田俊和・大池洋史 (和歌山大)
- 一般セッション 3 (14:45~16:15)
16. 疎分散カメラにおける前景領域間の移動量推定による広域人流計測 ○中崎孝之・新田直子・中村和晃・馬場口 登 (阪大)
17. 画像認識に基づくマーケティング映像における人物姿勢・行動認識 ○高橋俊允・上條俊介 (東大)
18. 頭部姿勢を考慮した視線方向推定に関する検討
○船津暢宏 (名大)・高橋友和 (岐阜聖徳学園大)・出口大輔・井手一郎・村瀬 洋 (名大)
- テーマセッション 4 (16:30~18:00)
19. 学習プロセス可視化技術による LVQ 学習の分岐する位置の観察 黒沢由明 (東芝ソリューション)
20. 大規模パターンを使った Self-Corrective Learning の挙動解析 ○佐藤洪太・フォン ヤオカイ・内田誠一 (九大)
21. 分布構造を利用した半教師あり学習による文字認識
○柿迫良輔・石田良介・フォン ヤオカイ・内田誠一 (九大)
- 一般セッション 4 (16:30~18:00)
22. 位置同定における局所特徴の選択に関する考察
○村山修一・フォン ヤオカイ・内田誠一 (九大)
23. Study of Robust Facial Feature Localization by Modified Active Shape Model ○Li Yan・Luo Dan・Jun Ohya (Waseda Univ.)
24. SNS・マイクロブログサービスのための画像からの叙情文自動生成 ○小林寛子・藤縄展宏・栗林英範・佐々木豊春・中島伸一・松尾武史 (コソ)
- 15 日午前 テーマセッション 5 (9:00~10:30)
1. Large Scale Camera Captured Dataset Using Real Time Document Image Retrieval ○Sheraz Ahmed (DFKI)・Koichi Kise・Masakazu Iwamura (Osaka Prefecture Univ.)・Marcus Liwicki・Andreas Dengel (DFKI)
2. A ground-truthing tool for making a database of online handwritten mathematical expressions ○Anh Le Duc・Masaki Nakagawa (Tokyo Univ. of Agriculture and Tech.)
3. up・down 判定付きカメラペンスシステムの精度評価
○工藤 力・鈴木若菜・黄瀬浩一 (阪府大)
- 一般セッション 5 (9:00~10:30)
4. k-means による局所特徴量抽出と皿検出器による食事画像認識の改良 ○松田裕司・柳井啓司 (電通大)
5. Wevelet denoising による前処理を加えたコンブ漁場における海藻類抽出 ○萩沢武志・榎本洗一郎 (公立はこだて未来大)
- 戸田真志 (熊本大)・田村正勝 (歯舞漁協)・木村賢史 (根室水技)・武田 榮 (利尻水技)・長崎 健 (公立はこだて未来大)
6. グラフの共起性に着目した複数オブジェクトを含む画像からの自動オブジェクト発見 ○南部貴之・古賀久志・渡辺俊典 (電通大)
- テーマセッション 6 (10:45~11:45)
7. 毛筆書写熟練度を定量評価する手法の開発 ○大山 航・伊藤克徳・若林哲史・木村文隆 (三重大)
8. 第 16 回 PRMU 研究会アルゴリズムコンテスト実施報告「これは誰の字?—筆跡鑑定にチャレンジ!—」
○島田敬士 (九大)・斎藤正孝 (中京大)・高木勇一郎 (広島市大)・藤井 聡 (静岡大)・日高雄太 (宮崎大)・横溝将成 (広島市大)・西田和博 (新居浜高専)・宍戸英彦 (筑波大)・近藤敏志
- 一般セッション 6 (10:45~11:45)
9. 胸部 X 線 CT 画像からの見え方に基づく肺結核検出の性能比較 ○柳原毅暢・滝沢穂高 (筑波大)
10. 空間的相互関係を考慮したマルコフ確率場モデルによる単眼視画像からのブロックワールドの認識 ○谷井大地・滝沢穂高 (筑波大)
- 15 日午後 特別講演 (13:00~14:00)
11. [特別講演] 数式や図式を含む文書の認識と理解—そのニーズと課題 鈴木昌和 (サイエンス・アクセス・ディリティ・ネット)
- テーマセッション 7 (14:15~15:45)
12. 2 次ベジェ曲線として入力された手書き文字のマッチング技法—漢字検定相当の試験を自動採点するための方法—
井戸伸彦 (岐阜経済大)
13. On-line Handwritten English Cursive Word Recognition Using Segmentation-free Markov Random Field
○Bilan Zhu (Tokyo Univ. of Agriculture and Tech.)・Arti Shivram・Ranga Setlur・Venu Govindaraju (Univ. at Buffalo)・Masaki Nakagawa (Tokyo Univ. of Agriculture and Tech.)
14. part-based オンライン文字認識における特徴表現に関する検討 ○松尾崇史・フォン ヤオカイ・内田誠一 (九大)
- テーマセッション 8 (14:15~15:45)
15. 属性付き構造学習を用いた情景内文字認識 寺田有吾・フォン ヤオカイ・内田誠一 (九大)
16. Reading-Life Log の実装 ○木村崇志・フォン ヤオカイ・内田誠一 (九大)・岩村雅一 (阪府大)・大町真一郎 (東北大)・黄瀬浩一 (阪府大)
17. 情景文字画像に対する自動ラベル付けの検討
○塚田真規・岩村雅一・黄瀬浩一 (阪府大)
- テーマセッション 9 (16:00~17:30)
18. 筆記の姿勢が自由な空中手書き文字認識 ○中井 満・草島広志・長井貴大 (富山県立大)
19. 時空間連続 DP を用いた空中文字認識 ○新妻佑記・松崎 隆・矢口勇一・岡 隆一 (会津大)
- テーマセッション 10 (16:00~18:00)
20. 文書画像検索を用いたリーディングライフログの提案
○川市仁史・黄瀬浩一・Kai Kunze (阪府大)
21. reading-skimming 識別に有効な特徴量の選定
○吉村和代・川市仁史・Kai Kunze・黄瀬浩一 (阪府大)
22. ストロークの方向分布を考慮した文字認識 ○渡邊寛基・鈴木道孝・伊藤彰義 (日大)

23. 文書に対する視点情報を利用した情報表示システムの提案

○鈴木若菜 (阪府大)・外山託海 (DFKI)・

黄瀬浩一 (阪府大)・Andreas Dengel (DFKI)

☆PRMU 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

・5月24日(金) 25日(土) 愛知工大 [3月1日(金)]

テーマ: 医用画像の計測・認識・理解, 少子高齢化社会の課題

医用画像処理が実際の臨床現場で使われるためには, 様々な機器で計測され日々生じる大量のデータを統合して認識・理解することが望まれています. 今回の共催研究会のテーマ企画の一つとして, 医療現場で使われるビジョンシステムの代表例である拡張現実感に関して議論したいと考えました. 拡張現実感とは, 計測した画像情報を実際の患者に適切に重畳表示することで, 医師が病変やそれに関連する臓器・血管の構造を把握するなど, 診断や治療を安全かつ高度にするための技術として期待されています.

そこで, PRMU 研究会, MI 研究会, IE 研究会の合同研究会では, 拡張現実感の医療応用を中心に, 医療現場への導入と実利用を意識したビジョン技術 (画像計測・認識・生成), 及びその応用技術に関して, 広く皆様からの研究発表を募集致します. また, 「本当に役に立つ医療システム」を目指して研究開発を推進されている東京大学正宗賢先生による特別講演も予定しております. 実利用を想定した医療応用のための技術として, コンピュータビジョンだけでなく, センサ, ロボット, 表示デバイス, 診断・治療学など, 多岐にわたる議論が展開されることを期待しています.

一方, 医療応用にも深い関わりがある大きな社会的課題として, 「少子高齢化」に関連したテーマセッションも企画致します. 特に高齢社会の問題は個別分野の取り組みによる解決が困難であり, 高齢者自身の心理状態, 身体状態, 社会的立場などを考慮した分野横断的の視点が必要とされています. そのため, 研究手法から現場を巻き込んだ研究体制に至るまで, 課題解決へ向けてのアプローチに関する議論も欠かせません. 本テーマセッションでは, 工学技術のみならず, 人文学・社会科学的観点も含め, あらゆる観点から問題解決の可能性を追究するためのきっかけとなるような議論が展開できることを期待しております. 本分野の最先端で活躍されている方をお招きし, 社会背景から実践的取り組みを含め紹介して頂く特別講演も企画しております.

また, これらテーマセッションのほか, 一般セッションの発表も広く募集致します. 多数の御投稿, 御参加をお待ち申し上げます.

・6月10日(月), 11日(火) NTT 武蔵野研究開発センター [4月5日(金)] テーマ: 一人称ビジョン

一人称ビジョン (First Person Vision) は, 人の頭部にカメラを装着し, 人の視点に近い位置から装着者の視界と同じような画像を観測し, 利用者の行動認識やライフログデータの収集, 蓄積されたデータから解析や予測をして, 利用者の行動支援や生活補助を目的とした試みです. Google が発表した Google glass は, このようなシステムが生活をどのように変えていくのか, 大きな話題となっています. 本研究会では, 一人称ビジョンのための画像生成・計測・認識技術だけでなく, その応用事例についてアイデア段階から実用化の手前の研究まで幅広く議論したいと思います.

また, 社会課題テーマとして「セキュリティとプライバシーの確保」に関連する研究を募集します. 凶悪犯罪や交通事故など, 市民の生命に関わる危険が増加する中, 映像サーベイランスは, セキュリティを確保するための一手段として認知されてきています. 膨大な数の防犯カメラの映像や各種センシング情報を人間がリアルタイムにモニタリングするのは極めて難しく, また, 映像

の記録・管理にもコストを要するため, PRMU が関連する技術 (人物追跡・人物認証・行動認識等) の更なる高度化が期待されています. 一方, 直接的な技術課題以外に, 個人情報保護, プライバシー侵害, コンテンツ・センサ情報へのアクセス管理なども総合的に解決する必要があります. その解決手段にも PRMU 技術が貢献できる面があると考えられます. 他分野との連携や新たな研究の方向性など, このような研究テーマについて幅広く議論できる場を提供することを狙いとしており, 関連する多方面の研究者の方々からの活発な御投稿をお願い致します. なお, 上のようなテーマセッションに加え, 一般セッションも開催致しますので, こちらへの御投稿も併せてよろしくお願い致します.

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

PRMU 研究会幹事宛

E-mail : prmu-kanji@mail.ieice.org

★知能ソフトウェア工学研究会 (KBSE)

専門委員長 松浦佐江子 副委員長 飯島 正

幹事 猿渡卓也・檀山淳雄 幹事補佐 糸野文洋・竹内広宣

日時 3月14日(木) 9:30~17:50

15日(金) 9:30~17:15

会場 芝浦工業大学芝浦キャンパス 306 教室 (港区芝浦 3-9-14, JR 山手線・京浜東北線: 田町駅芝浦口から徒歩 3 分または都営地下鉄三田線三田駅から徒歩 5 分. http://www.shibaura-it.ac.jp/about/campus_shibaura.html)

議題

14 日午前

1. モデル検査を使ったデッドロック可能性検出

○猿渡卓也・塚本英昭・神谷慎吾・宮田俊介 (NTT)

2. 開発現場を想定したモデル検査に基づくプログラムの不具合検証—検査支援ツールを用いた安定的な検査—

○青木善貴 (日本エニス)・松浦佐江子 (芝浦工大)

3. Simulink モデルの品質特性分析支援ツールの開発と適用事例

○佐々木 翼・峯岸賢吾・上田賀一 (茨城大)

4. 実行履歴解析による UML シーケンス図の抽象化手法

○上條康司・宮城翔一・上田賀一 (茨城大)

5. Web アプリケーション開発のためのソフトウェアセキュリティ知識ベース KBSSD の提案 檀山淳雄 (学芸大)

14 日午後 (13:35~)

6. 要求構造明確化のためのゴールグラフの多次元拡張

○井上 渉・林 晋平 (東工大)・鶴飼孝典 (富士通研)・佐伯元司 (東工大)

7. アセットフロー図と配置図を用いた情報システムのセキュリティ要求分析支援ツール ○瀧澤悠介・阪井隼也・海谷治彦・小形真平・海尻賢二 (信州大)

8. 要求定義の実現可能性保証のためのシミュレーションによるテスト設計手法 ○式見 遼 (芝浦工大)・小形真平 (信州大)・松浦佐江子 (芝浦工大)

Session D (15:30~16:40)

9. ソフトウェアプロジェクトデータの外れ値除外方法の違いによるバス解析結果への影響 ○野中 誠 (東洋大)・阿部玲子・矢野雅嗣 (三菱電機)

10. 変動するパターンの文字列検索 ○山口 信・島田 諭

三浦孝夫 (法政大)

KBSE 研究会 20 周年記念講演

11. [招待講演] 知能ソフトウェア工学の意義と KBSE 研究会への期待
上野晴樹 (NII)

15 日午前

1. ディペンダビリティケース用語構成規則の適用評価
○松村昌典・山本修一郎・松野 裕 (名大)
2. ディペンダビリティケース分解パターンについての考察
○山本修一郎・松野 裕 (名大)
3. アシユアランスケースツールへのプログラミング言語技術の適用
○松野 裕・山本修一郎 (名大)
4. アーキテクチャに基づく検証ケースの提案
山本修一郎 (名大)
5. プログラム実行時の状態を再現する機能を持つ回帰テスト支援ツール
○大谷雄平 (芝浦工大)・橋浦弘明 (東洋大)・古宮誠一 (芝浦工大)

15 日午後 KBSE 研究会 20 周年記念講演 (13:35~)

6. [招待講演] ソフトウェア知識体系の次元
山本修一郎 (名大)
7. リメディア教育のための CAI システム—学習者モデルと不得意分野探索アルゴリズム—
○廣瀬史典 (芝浦工大)・上之蘭和宏 (青学大)・古宮誠一 (芝浦工大)
8. 講義内容の要約字幕作成支援システム—意思決定手法に基づく支援方法の提案—
○古宮誠一・工藤永貴 (芝浦工大)・上之蘭和宏 (青学大)・八重樫理人 (香川大)
9. DSL による多様な知識の統合
飯島 正 (慶大)
10. フレームワークを用いた Web アプリケーションの変更容易性
○高橋明日香・小林 洋 (東海大)

【問合先】

猿渡卓也 (NTT データ)

E-mail: saruwatarit@nttdata.co.jp

○最新の情報は KBSE 研究会ホームページで御確認下さい。

<http://www.sayo.se.shibaura-it.ac.jp/kbse/>

★サービスコンピューティング研究会 (SC)

専門委員長 村上陽平 副委員長 石川冬樹

幹事 田仲正弘

日時 3月15日 (金) 13:10~18:30

会場 国立情報学研究所 12F 会議室 (1210/1208) (千代田区一ツ橋 2-1-2. <http://www.nii.ac.jp/about/access/> 石川冬樹)

議題 「サービス及びクラウドの QoS・SLA・ポリシー」及び一般

1. ビジネスプロセスにおけるコンプライアンス要求分析から実装への対応づけに向けて
石川冬樹 (NII)・高橋竜一 (早大)
2. Towards Provenance-Based Security Risk Assessment
○Ramirez Caceres Guillermo Horacio・Yohei Murakami・Koji Zettsu・Takeshi Takahashi・Shin-ichiro Matsuo (NICT)
3. サービスコンピューティングプラットフォームによるアプリケーションプロトタイピング
○須永 宏・松本尚也・波戸亜衣莉・梶山千裕・黒岩香葉子 (阪工大)
4. Constructing Web-Scale Functional Map on Global Social Service Network for Workflow-as-a-Service
○Tetsuya Tashiro・Wuhui Chen・

Incheon Paik (Univ. of Aizu)

5. Social Influence Analysis in Global Social Service Network for Better Quality
○Wuhui Chen・Incheon Paik・Tetsuya Tashiro (Univ. of Aizu)
6. Context-Aware な Web サービスをクラスタリングするための単語類似度計算
○大橋宏輝・白 寅天 (会津大)
7. Applied and Scalable Optimization of Long-term and Network-aware Service Compositions
Adrian Klein (NII)
8. Robust Workflows by Applying Functional Clustering on Multi-Objective Service Composition
Florian Wagner (NII)

★情報通信システムセキュリティ研究会 (ICSS)

専門委員長 森井昌克 副委員長 菊池浩明・盛合志帆

幹事 井上大介・西出隆志 幹事補佐 白石善明

日時 3月25日 (月) 10:20~16:20

会場 横浜国立大学環境情報 1 号棟 5 階 515 室 (横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-7. <http://www.ynu.ac.jp/access/index.html> 吉岡克成)

議題 通信セキュリティ, 一般

1. ブログにおける誕生日の本人性判別方式の提案
○川原正隆・金井 敦 (法政大)
2. 統計情報を用いた個人情報露出量計算方式の検討
○滝澤栄耶・松永大希・金井 敦 (法政大)
3. ペアリング演算フレームワークの設計と実装
○伴 拓也 (名工大)・毛利公美 (岐阜大)・白石善明 (名工大)
4. 部分的に二重暗号化する ID ベース暗号化方式とその評価
○佐藤 誠 (名工大)・毛利公美 (岐阜大)・土井 洋 (情報セキュリティ大)・白石善明 (名工大)

午後

5. Finding Malicious Authoritative DNS Servers
○Yin Minn Pa Pa・Daisuke Makita・Katsunari Yoshioka・Tsutomu Matsumoto (Yokohama National Univ.)
6. 動的解析による Android マルウェアの DNS 通信の観測
○金井文宏・吉岡克成・松本 勉 (横浜国大)
7. 入出力プログラムの実行トレース差分によるバッカー特定手法
○ファム アンフォン・吉岡克成・松本 勉 (横浜国大)
8. Android 携帯によるリモートエクスプロイト攻撃の可能性
○森 博志・金井文宏・庄田祐樹・吉岡克成・松本 勉 (横浜国大)
9. UUID に着目したリモートエクスプロイト攻撃のネットワークベースの分類
○高橋佑典 (横浜国大)・神菌雅紀・星澤裕二 (セキュアブレイン社)・吉岡克成・松本 勉 (横浜国大)
10. [招待講演] PRACTICE プロジェクトの紹介 (仮)
吉岡克成 (横浜国大)

【問合先】

E-mail: icss-request@mail.ieice.org

○最新情報は, ICSS 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/icss/index.html>

★人工知能と知識処理研究会 (AI)

専門委員長 栗原 聡 副委員長 松原繁夫・菅原俊治
幹事 森山甲一・片上大輔

日時 3月11日(月) 13:30~14:45
12日(火) 9:00~21:45
13日(水) 8:30~10:10

会場 ルスツリゾートホテル(虻田郡留寿都村字泉川13.
<http://www.rusutsu.co.jp/hotel/> TEL [0136] 46-3331)

議題 社会システムと情報技術研究

11日

- 国際金融危機と市場の相関—ランダム行列理論を用いた分析—
榎原悠太・陳 昱・
鳥海不二夫・大橋弘忠(東大)
- 東日本大震災時における Twitter 上のデマの収集及び分析
石津亮輔・秋山英三(筑波大)・鳥海不二夫(東大)
- 動的避難誘導を考慮したエージェントベース避難シミュレーション
岡谷 賢(名城大)

12日午前

- コンピュータ会話の流れに応じた時事情報の選択手法
栢下洋一・吉村枝里子・土屋誠司・渡部広一(同志社大)
- 単語の共起情報に基づいた音声認識誤り単語の補正手法
角地良太・芋野美紗子・土屋誠司・渡部広一(同志社大)
- 系列パターン評価指標群に基づく転移型クリックストリーム予測モデル構築の検討
阿部秀尚(文教大)

12日午後(20:30~)

- ラバン理論とプルチック感情モデルを用いたコミュニケーションロボットの動作生成方法
古田哲朗・吉村枝里子・
土屋誠司・渡部広一(同志社大)
- クラスタリングによるデータ精練を用いた脳波による感情判断方式
泉 啓太・芋野美紗子・土屋誠司・
渡部広一(同志社大)
- MLB 詳細スコアデータから学習した試合構成要素群間の確率的因果構造に基づく野球投手の投球戦術推定
上原 司・荒井秀一(東京都市大)

13日

- 結び目理論による回遊行動のトポロジカルな特徴の抽出
太田昌克(NTT)
- 世観学(Semistry)—EPN-PNUT 表現上での一般システム学—
渡辺俊典(電通大)
- 集団内の多様性創出メカニズムの解明
浅谷公威・
大橋弘忠(東大)
- 株式市場からの異常注文観測に基づく相転移の検出
梅岡利光(名大)・鳥海不二夫(東大)・
平山高嗣・榎堀 優・間瀬健二(名大)

◆人工知能学会; 知識ベースシステム研究会/社会における AI 研究会/データ指向構成マイニングとシミュレーション研究会, 情報処理学会; 知能システム研究会連続開催

★回路とシステム研究会 (CAS)

専門委員長 中野敬介 副委員長 山路隆文
幹事 前田義信・三友敏也 幹事補佐 高藤大介・宮北和之

★信号処理研究会 (SIP)

専門委員長 大田恭士 副委員長 澤田 宏・梶川嘉延
幹事 大谷 猛・木下慶介 幹事補佐 西浦敬信

★通信方式研究会 (CS)

専門委員長 葉玉寿弥 副委員長 坪井利憲
幹事 小崎成治・梅原大祐

日時 3月14日(木) 9:30~17:50
15日(金) 9:00~16:00

会場 慶應義塾大学鶴岡タウンキャンパス(鶴岡市馬場町14-1.
JR 鶴岡駅からバスで約15分. <http://www.ttck.keio.ac.jp>
TEL [090] 5434-1530 池原雅章)

議題 ネットワークプロセッサ, 通信のための信号処理, 無線 LAN/PAN, 一般

14日午前 CS(1)(A会場)(9:30~12:00)

- CoMP 送信における QO-STBC を用いたセル端スループットの改善
○大久保 慧・安 昌俊・大森達也・
橋本研也(千葉大)
- I/Q Imbalance Estimation and Compensation Schemes using TFI-OFDM System
○Hikaru Oka・Chang-Jun Ahn・
Tatsuya Omori・Ken-ya Hashimoto (Chiba Univ.)
- Performance improvement with channel ranking and cutting the symbol candidate branches for the complexity reducing sequential decision with QRM-MLD
○Tomoki Yoshimura (Chiba Univ.)・
Yuta Ida (Hiroshima City Univ.)・Chang-Jun Ahn・
Tatsuya Omori・Ken-ya Hashimoto (Chiba Univ.)
- A Large Receiver Multiple-Input Multiple-Output IDMA System over Frequency Selective Fading Channel
P. Niroopan・○Yeon-ho Chung (Pukyong National Univ.)
- UWB インパルス無線方式を用いた光ファイバ無線融合通信システム
○三浦浩志・小原友里・大柴小枝子(京都工繊大)
- 時分割信号点配置切換えに基づく不均一誤り保護と周波数領域等化を融合した移動通信システム—RING 型と TRAP 型配置の特性比較—
○山崎悟史(沼津高専)・
デービッド アサノ(信州大)

14日午後 SIP(1)(A会場)(13:00~15:05)

- HDR 画像の非可逆圧縮のためのレンジ写像の変更
○出口太陽・黄 正顕・菊池久和(新潟大)・
篠田一馬(宇都宮大)・奥田正浩(北九州市大)
- 指向性非分離オーバーサンブル重複変換を利用した画像復元
○相澤夏希・村松正吾(新潟大)
- 単純ビットブレン符号化による 32 ビット RGBE フォーマット高ダイナミックレンジ画像の可逆圧縮
○福本利典・
Jungheun Hwang・菊池久和(新潟大)・
篠田一馬(宇都宮大)・奥田正浩(北九州市大)
- Non-local Means を基にした画像拡大
○吉田太一・
村上朋也・池原雅章(慶大)
- L2 ノルムによる自己学習型超解像
○我妻大樹(慶大)

三柴 数 (鳥取大)・池原雅章 (慶大)

CS 招待講演 (1) (A 会場) (15:10~16:00)

12. [特別招待講演] デマンド・アドレスサブル・センサネットワーク—要求駆動型広域センシングを目指して—

○宮崎敏明・林 隆史・東原恒夫・Song Guo・北道淳司 (会津大)

SIP 招待講演 (1) (A 会場) (16:05~16:55)

13. [招待講演] 複数音源の到来方向推定と分離問題を巡って
浜田 望 (慶大)

SIP 招待講演 (2) (A 会場) (17:00~17:50)

14. [招待講演] IT マーケティングから見たこれまでの DSP の戦略
西谷隆夫 (首都大東京)

14 日午前 SIP (2) (B 会場) (10:20~12:25)

15. 逐次更新ヒストグラムに基づく音源追尾の複数音源への拡張
○鈴木 毅・陶山健仁 (東京電機大)

16. マイクロホンアレイ及びチャネルショートニングを用いた音響 OFDM の伝送特性改善
○河野翔太・梶川嘉延 (関西大)

17. Krylov 部分空間の直和分解と FIR/IIR 適応フィルタ
○川田義広, 鳥村徹也 (埼玉大)

18. 直和分解法による LCMV フィルタと MUSIC 法
○川田義広, 鳥村徹也 (埼玉大)

19. SUPERVISED NMF AS A SPARSE OPTIMIZATION PROBLEM
○Yu Morikawa・Masahiro Yukawa (Niigata Univ.)

14 日午後 CAS (1) (B 会場) (13:25~15:30)

20. セルオートマトンを用いた待ち状態を含む避難行動シミュレーション
○横川京平・谷 賢太郎・荻原さなえ (新潟大)・小西孝史 (富山短大)・前田義信 (新潟大)

21. DTN における統計情報を利用したエピソード伝送に関する考察
○加藤 新・早津峻佑・中野敬介 (新潟大)

22. コロモゴロフの多変数の重ね合わせ表現問題と掛け算の恒等式
○岡崎秀晃・中野秀夫 (湘南工科大)

23. グラフの細分のスタックキューミックスレイアウト
榎本彦衛 (早大)・○宮内美樹 (NTT)

24. センサノード間静電容量結合に基づく距離推定に向けた電極形状の検討
○信田龍哉・橋本昌宣・尾上孝雄 (阪大)

15 日午前 CAS (2) (A 会場) (9:50~10:40)

1. 貨幣的交換モデルを利用した DTN の効率化に関する一検討
○浅間祐人・升田 隆・宮北和之・前田義信・中野敬介 (新潟大)

2. 遅延耐性ネットワークにおける情報の滞留に関する考察
○早津峻佑・中野敬介 (新潟大)

CAS (3) (A 会場) (10:45~12:00)

3. 方向統計学を用いた位相限定相関関数の統計的解析
○八巻俊輔・阿部正英・川又政征 (東北大)

4. 不均一伝送線路における ABCD パラメータの零点交換の計算手順
加藤文夫 (東海大)

5. 分枝限定法を用いた, 重ね合わされるプリント基板への素子配置手法
○松浦哲也・藤吉邦洋 (東京農工大)

15 日午後 CS 招待講演 (2) (A 会場) (13:00~13:50)

6. [特別招待講演] ワイヤレス電力伝送技術の実用化に向けた課題と取り組み
庄木裕樹 (東芝)

CS (2) (A 会場) (13:55~16:00)

7. 送信電力制御を行う市街地シェードライトのパルスデューティ比
高橋 賢 (広島市大)

8. 送信信号間の相関を利用した MIMO レーダのビーム形成とその性能評価
○実 克洋・梅原大祐・若杉耕一郎 (京都工繊大)

9. クリップ送信方式に基づく SDM-PON に関する伝送特性評価
○本間拓哉・覺張佑亮・上田裕巳 (東京工科大)

10. エラスティック光ネットワークに向けた可変冗長度 FEC の提案と GPU による実装・評価
○山田義朗・田中貴章・北村 圭・久留賢治・手島光啓・平野 章 (NTT)

11. WFQ を用いた QoS 制御に関する研究
船原淳一 (明大)

15 日午前 CS (3) (B 会場) (9:00~10:40)

12. MUDiv/OFDMA における中継局割り当てを用いたチャネル歪み軽減
○井田悠太 (広島市大)・安 昌俊 (千葉大)・神尾武司・藤坂尚登・生岩量久 (広島市大)

13. MUDiv/OFDMA システムにおける周波数サブキャリア拡散法
○黒羽晃洋・安 昌俊・大森達也・橋本研也 (千葉大)

14. Throughput Performance Enhancement applying Adaptive Modulation for Single Symbol Decodable QO-STBC with Full Diversity
○Masayuki Kitakata・Chang-Jun Ahn・Tatsuya Omori・Ken-ya Hashimoto (Chiba Univ.)

15. SP-MIMO/OFDM におけるガードインターバルを超える遅延延波に対する Null 信号を用いた ISI 及び ICI の補償
○坂上太一・安 昌俊・大森達也・橋本研也 (千葉大)

CS (4) (B 会場) (10:45~12:00)

16. 無線シングルキャリア位相変調信号に適した 1bit A/D 変換器の構成と性能評価
○兼本大輔・牟田 修・古川 浩・金谷晴一・吉田啓二 (九大)

17. 1bitADC を用いる無線シングルキャリア位相変調システムの伝送特性評価
○牟田 修・兼本大輔・福永龍太・古川 浩 (九大)

18. Joint Optimization Design for Multiple Underlay MIMO Cognitive Transceivers with Channel Uncertainty
○Bassant Abdelhamid (Kyushu Univ.)・Maha Elsabrouty (EJUST Univ.)・Masoud Alghoniemy (Univ. of Alexandria/EJUST Univ.)・Salwa Elramly (Ain Shams Univ.)・Osamu Muta・Hiroshi Furukawa (Kyushu Univ.)

15 日午後 SIP (3) (B 会場) (13:55~16:00)

19. オーバラップ FFT に関する一考察
山崎悟史 (沼津高専)

20. 水中音声帯域 OFDM 通信におけるダイバーシティ技術の導入に関する検討
○鈴木大作 (沖縄高専/琉球大)・中山康弘・和田知久 (琉球大)

21. AM ラジオ信号に重畳した周期性ノイズ除去法に関する検討
○玉城太志・和田知久 (琉球大)

22. マルチモーダル生体認証システムの認証精度向上に関する検討
○西野 豪・梶川嘉延・棟安実治 (関西大)

23. 運転行動予測に向けた運転操作時系列データへのノンパラメトリックベイズ法の適用
○濱田龍之介・久保孝富・池田和司・張 祖杰・柴田智広 (奈良先端大)・坂東誉司・江川万寿三 (アソソ)

◆IEEE Signal Processing Society Japan Chapter 共催

☆CAS 研究会

【問合先】
宮北和之 (新潟大)

TEL [025] 262-7581

E-mail: miyakita@cais.niigata-u.ac.jp

◎回路とシステム研究専門委員会では, 研究会の振興を目的とし

て「回路とシステム研究会学生優秀発表賞」を制定しました。優秀な学生発表は、3月の総合大会にて表彰致しますので、ふるって申し込み・投稿をお待ちしております。受賞資格は回路とシステム研究会で御自身で発表され、かつ予稿にて第一著者のIEICE学生会員（申し込み中でも可）の方です。詳しくは幹事までお問い合わせ下さい。

☆SIP研究会今後の予定〔 〕内発表申込締切日

5月16日（木）、17日（金）岡山大〔未定〕テーマ：電気音響、信号処理、音声一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

大谷 猛（富士通研）

TEL〔044〕874-2489

E-mail: otani.takeshi@jp.fujitsu.com

☆CS研究会今後の予定〔 〕内発表申込締切日

4月18日（木）、19日（金）佐渡島開発総合センター〔未定〕
テーマ：サービス品質、クラウド、SDN（Software-Defined Network）、コンテンツ配信、一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

小崎成治（三菱電機）

TEL〔03〕3218-6305, FAX〔03〕3218-6454

梅原大祐（京都工繊大）

E-mail: kanji2012@csken.org

◎最新情報は、CS研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/>

——東海支部における開催——

★情報論的学習理論と機械学習研究会（IBISML）

専門委員長 上田修功 副委員長 鷲尾 隆・樋口知之
幹事 杉山 将・井手 剛 幹事補佐 持橋大地・大羽成征

期日 3月4日（月）、5日（火）

会場 名古屋工業大学（名古屋駅から地下鉄桜通線：吹上駅下車、5番出口から西へ約900m。またはJR中央本線：鶴舞駅下車、名大病院口から東へ約400m）

議題 統計数理・機械学習・データマイニング・一般

◎開催プログラムはIBISML研究会のHP等を御参照下さい。

★ヒューマンコミュニケーション基礎研究会（HCS）

専門委員長 渡辺昌洋 副委員長 伊藤京子・松田昌史

幹事 井上智雄・渡邊伸行

幹事補佐 林 勇吾・小森政嗣・田中貴紘

日時 3月4日（月） 10:30～18:30

5日（火） 9:00～16:45

会場 ホテルウェルシーズン浜名湖（浜松市西区館山寺町1891。
<http://wellseason.jp/html/access/index.html> 伊藤京子（阪大））

議題 「場のデザイン」及びコミュニケーション一般

4日午前

第一種研究会開催案内

1. 運動視差に基づく3DCGエージェントを用いた実空間上の注視対象の明確化

○吉田直人・中谷友香梨・米澤朋子（関西大）

2. 街歩き支援システムにおける街並みの雰囲気可視化の効果

○塚中 諭・木下雄一朗・郷 健太郎（山梨大）

3. 仮想現実技術を用いた車両系作業機械シミュレーション装置の開発

呂 健（労働安全衛生研）

4. ソーシャル付箋—感性を用いた読者間コミュニケーション支援—

○酒井紗希・関 洋平（筑波大）

4日午後

5. ワークショップを導入したプロジェクト型ものづくり学習のデザインと実践

○森 幹彦（京大）

村上正行（京大）・元木 環・喜多 一（京大）

6. コミュニケーション実践の直後のリフレクションを可能にするビデオ閲覧環境の開発

○高 悠史（京大）・高梨克也（JST/京大）

7. ビジネスワークショップデザインの解明に向けたコンサルテーションデータとの対応づけ手法の提案

○白田泰如（京大）・高梨克也（JST/京大）

8. 馴致環境の未知化を促すためのワークショップデザイン

白木菜々重・○松下光範（関西大）・花村周寛（阪府大）

9. [招待講演] 話す、自分を見せる、変わる：対話から場を考える

本間直樹（阪大）

10. 仕掛学による草の根イノベーション構想

松村真宏（阪大）・○山根承子（近畿大）

11. 身体コミュニケーションを言語化すること—ダンスと対話の融合—

○西川 勝（阪大）・砂連尾 理（神戸大）・榎本直樹（阪大）

12. 民俗的計画学から見たコミュニケーション発生の場

森栗茂一（阪大）

13. 参加人数の多い研究ワークショップに向けた夕食席決めシステムのデザインと運用

西田健志（神戸大）

5日午前（9:00～12:15）

1. ゆるいつながりと密なつながり—コミュニケーションストレスに着目した環境配慮行動促進のためのオンラインコミュニティ設計—

○青柳西蔵（情報・システム研究機構）

石井裕剛・下田 宏（京大）

2. Twitter解析によるうつ傾向の推定

○津川 翔（阪大）

茂木佑希子・菊地佑介・岸野文郎（関西学院大）

藤田和之・伊藤雄一・大崎博之（阪大）

3. 他者の存在を示唆する表現を通じた電子掲示板における荒らし行為の抑制手法

○渡辺成美・竹内勇剛（静岡大）

4. 離れた家族をつなぐコミュニケーションの事例研究—電話チャンネルを用いた5年間の記録—

山口真澄（NTT）

5. 子の情報をきっかけとした別居親子間コミュニケーション促進手法

○濱口菜々・朝井大介・浅野陽子（NTT）

6. 遠隔会議での円滑なコミュニケーションに与えるファシリテータの影響の評価

○櫻橋 淳・神武直彦（慶大）

5日午後（13:00～16:45）

7. アクセシブル災害情報デザインに関する検討

○渡辺昌洋・橋本 遼・宮田章裕

瀬古俊一・青木良輔・井原雅行・小林 透（NTT）

8. 高齢者施設内コミュニケーションにおける潜在ニーズ—ラビッドエスノグラフィーによるデザインサーベイから—

榎 勝彦（京都工繊大）

9. 3人会話における発話時間伸長が非言語動作と発話交替に及

ほす影響—老人性難聴者の会話を支援するシステムを目指し
て—

○瀬戸洋紀・斎藤博人・徳永弘子・
武川直樹 (東京電機大)

10. お好み焼きの協同調理行為を伴う食卓の場のデザイン—座席
配置がコミュニケーションに与える影響の分析—

○坂井田瑠衣・加藤文俊・諏訪正樹 (慶大)

11. 遠隔操作における入出力の時間的同時性が運動主体感へ及ぼ
す影響

○山本紗織・竹内勇剛 (静岡大)

12. 舞踊振付システムによる指揮者エージェントと舞者エー
ジェントの擬人化表現手法の検討

○吉田侑矢・
米澤朋子 (関西大)

13. 拡張現実感を利用したプロ野球現地観戦における観戦者間野
次共有支援アプリケーションの提案

○宮本章弘・
西田健志 (神戸大)

5日午前 (9:00~12:15)

14. ロボットがもつ潜在的な機能を示す動物を用いたピクトグラ
ムの提案

○中村有美香・竹内勇剛 (静岡大)

15. 作業パフォーマンスに影響を与える情報表示パラメータに関
する一考察

○吉田 悠・池上輝哉・福住伸一 (NEC)

16. 金銭概念を賦活する状況が規範意識におよぼす影響

上原依子 (阪大)

17. web 上テキストコミュニケーションへのアバター付与によ
る場の共有に関する検討

○中谷友香梨・米澤朋子 (関西大)

18. 自走式デジタルテーブルを使った空間行動の誘導によるコ
ミュニケーション支援に関する検討

○坂本 登・高嶋和毅・横山ひとみ・北村喜文 (東北大)

19. coremo—トレンドと併せた関連情報を提示するユーザー参
加型システム—

○中村将達・西田健志 (神戸大)

5日午後 (13:00~16:45)

20. 基本6感情の組合せによる高次感情の検討

○宮澤史穂・高木幸子・田中章浩 (東京女子大)

21. 嘘判断における感情が及ぼす影響

○朴 喜静 (阪大)・
大坊郁夫 (東京未来大)

22. Effects of schematic face on attention-spreading

○Xinfang Ding (Peking Univ.)・Tetsuko Kasai・
Ryuji Takeya・Yuji Yamada・Fei Yang (Hokkaido Univ.)

23. インディアンポーカーにおける対戦者の顔方向の分析 (第2
報)

○渡邊榮治 (甲南大)・尾関孝史 (福山大)・
小濱 剛 (近畿大)

24. 視線一致知覚範囲の個人差及び状況要因の進化論的解釈—接
近—回避の観点から—

○松田昌史 (NTT)・
本間元康 (精神研)・石井 亮・熊野史朗・大塚和弘・
大和淳司 (NTT)

25. 抽象的な表象の動きに対する意図性認知のためのインタラク
ションのモデル化

○渡瀬 傑・竹内勇剛 (静岡大)

26. 協力ゲーム中の対話における発話リズムの同調と視覚情報の
関係

○山本知仁 (金沢工大)・三宅美博 (東工大)

○本研究会は、合宿形式とし、会場に宿泊し、交流を深めたいと
思います。多くの皆様の御宿泊申込 (後日、ホームページで受
け付け) を期待しております。

☆HCS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月30日 (木), 31日 (金) 沖縄産業支援センター [3月15
日 (金)] テーマ: コミュニケーション支援及びヒューマン
情報処理一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

渡辺昌洋 (NTT)

E-mail: watanabe.masahiro@lab.ntt.co.jp

○最新情報は、HCS 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/hcs/>

★スマートインフォメディアシステム研究会 (SIS)

専門委員長 尾上孝雄 副委員長 棟安実治・田中宏和
幹事 吉澤真吾・筒井 弘 幹事補佐 目黒光彦・田中 豪

日時 3月7日 (木) 9:40~18:15

8日 (金) 9:20~12:15

会場 クリエイト浜松 51 会議室 (浜松市中区早馬町 2-1, JR 浜
松駅より徒歩 10 分または遠州鉄道: 遠州病院駅東隣。 [http://
www.hcf.or.jp/facilities/create/access/](http://www.hcf.or.jp/facilities/create/access/) TEL [052] 872-
5191 田中 豪 (名古屋市大))

議題 ソフトコンピューティング, 一般

7日午前

1. A study on test image production using frequency domain
correlation with convex function for radiographic inspection
equipments

○Yoichi Kato (Aichi Prefectural Univ.)・
Tetsuya Tanizaki (Nagoya Electric Works)・
Hiroshi Yasukawa (Aichi Prefectural Univ.)

2. ステガノグラフィの手法を用いた画像拡大法の一検討

○石田優子・安川 博 (愛知県立大)

3. 線構造を考慮した画素値修復法の一提案

○義 如・
石 宝・田中 豪 (名古屋市大)

4. 形式概念分析を用いた国会議事録の束構造可視化と時空間解
析

○澤勢一史・延原 肇 (筑波大)

5. Twitter における極大部分文字列の反復度及び時系列相関を
用いた類似単語判定

○久野雄一郎・澤勢一史・
延原 肇 (筑波大)

6. マイクロホンアレイによる車両と歩行者の検知に関する一検
討

○板井陽俊 (中部大)・安川 博 (愛知県立大)

7. 人感センサシステムによる通信特性を考慮した人の歩行軌跡
推定に関する一検討

○横尾晃大・安川 博 (愛知県立大)

7日午後 (13:30~)

8. 組み込みシステムにおける Kinect データのリアルタイム処理に
関する検討

○古賀崇了・
チンデグスレン チンバト (徳山高専)

9. A Study on High Performance HDTV Image Wireless
Transmission

○Yuya Miyaoka・Leonardo Lanante Jr.・
Masayuki Kurosaki・Hiroshi Ochi (Kyushu Inst. of Tech.)

10. 全域通過フィルタを用いる MCMA 等化における QAM 伝送
に関する一検討

○石原正庸・柴田宗平・
笹岡直人 (鳥取大)・ジェームス オケロ (NEC)・
伊藤良生 (鳥取大)

11. [チュートリアル講演] 屋外 MIMO 無線伝送装置の開発と
実験評価

吉澤真吾 (北見工大)

12. 輝度/彩度濃度勾配ヒストグラムを用いたカラー画像強調

○中居敬太・田口 亮 (東京都市大)

13. 携帯電話を考慮した印刷画像からの情報検出における情報埋
め込み手法の改良

○佐古 新・棟安実治 (関西大)

14. 深度情報を用いたエッジ保存平滑化の画像リサイジングへの
応用

○古賀崇了 (徳山高専)・末竹規哲 (山口大)

15. 輝度値の順序統計量を用いたロバストトリラテラルフィルタ
○畔津忠博 (山口県立大)・末竹規哲・内野英治 (山口大)
16. 空間適応型 TV フィルタにおける λ マップ生成法に関する
検討 田中 大・○三浦 翔・辻 裕之・
木村誠聡 (神奈川工科大)
17. [招待講演] ヤマハ研究開発センターにおける音楽向け信
号・情報処理技術の紹介 近藤多伸 (ヤマハ)

8日

1. 心音における雑音抑圧手法の一検討
○須藤 隆 (東芝/横浜国大)・田中宏和 (東芝)・杉本千佳・
河野隆二 (横浜国大)
2. 複素線形予測を用いた指紋照合に関する一検討
○屋良朝貴・舟木慶一 (琉球大)
3. 被災情報共有無線ネットワークの平常時利用: 適応的観光
ルート推薦手法の提案と有用性確認実験
○黒島理礼 (山口大)・村本祥吾・渡邊貴弓・
浦上美佐子 (大島高専)・松野浩嗣 (山口大)
4. [チュートリアル講演] 粒子フィルタによる対象追跡の動向
川本一彦 (千葉大)
5. 構造要素型動的輪郭モデルを用いた輪郭抽出アルゴリズムに
関する一検討 ○浦田悟志・安川 博 (愛知県立大)
6. ウェーブレット変換を用いた単一画像による三次元画像計測
法 ○川崎 梢・田口 亮 (東京都市大)

◆日本知能情報ファジィ学会共催

◎7日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

日時: 3月7日 (木) 18:30~20:30

会場: シャンボールガーデン クリエート浜松店
(浜松市早馬町 2-1. TEL [053] 456-0639)

申込先: 田中 豪 (名古屋大)

E-mail: tanakago@nsc.nagoya-cu.ac.jp

【問合先】

吉澤真吾 (北見工大)

E-mail: yosizawa@mail.kitami-it.ac.jp

★コンピューテーション研究会 (COMP)

専門委員長 今井桂子 副委員長 伊藤大雄

幹事 全 眞嬉・河村彰星

日時 3月18日 (月) 9:30~17:30

会場 岐阜大学産官学融合本部インキュベーション施設1階ミー
ティングルーム (岐阜市柳戸 1-1. 岐阜大学バス停より徒歩 5
分. <http://www.yugo-gifu.jp/access/index.html> <http://www.gifu-u.ac.jp/view.rbz?cd=393> 金子美博)

議題

1. 動的計画法を用いた上界計算法による最大重みクリーク抽出
アルゴリズムの提案 ○清水悟司・山口一章・斎藤寿樹・
増田澄男 (神戸大)
2. 制限されたカクタスにおける恒久的頂点被覆数について
○井上翔太・荒木 久・藤戸敏弘 (豊橋技科大)
3. ストリームに対する $O(\log \log n)$ 領域を用いた Reservoir
sampling ○園田尚人・山内由紀子・来嶋秀治・
山下雅史 (九大)

特別企画: 「計算限界解明」チュートリアル講演第2回

4. [チュートリアル講演] 計算複雑さへの招待(2): アルゴリ
ズムから攻める計算複雑さの下界証明 河内亮周 (東工大)

第一種研究会開催案内

午後 一般 (13:20~)

5. 大規模疎行列を扱う ZDD の演算を高速化する飛び越しリン
ク構造 湊 真一 (北大)
6. Succinct Indices Based on Zero-Suppressed Binary Decision
Diagrams ○Shuhei Denzumi (Hokkaido Univ.)・
Jun Kawahara (NAIST)・Koji Tsuda (AIST CBRC/JST)・
Hiroki Arimura (Hokkaido Univ.)・
Kunihiko Sadakane (NII)・
Shin-ichi Minato (Hokkaido Univ./JST)
7. C7-彩色可能な平面グラフにおける内周の下界値に関する考
察 ○浅野竜男・上嶋章宏 (阪電通大)
8. だまし絵迷路生成に関する複数のハミルトン閉路構成法の比
較評価 ○柳谷不比等・上嶋章宏 (阪電通大)
9. An $O(n \log n)$ optimal morphing algorithm for two polylines
in the plane Xuehou Tan (Tokai Univ.)
10. Merkle の基準の Schnorr 及び Kurtz ランダムネス版
宮部賢志 (京大)
11. 半順序を持つコード語上の非コードについて
守屋悦朗 (早大)

招待講演

12. [フェロー記念講演] 計算理論の意義と影響力: 情報社会に
おける役割 徳山 豪 (東北大)

☆COMP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

4月24日 (水) 神戸大 [締切済]

【問合先】

全 眞嬉 (東北大学院情報科学研究科)

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3-09

E-mail: jinhee@dais.is.tohoku.ac.jp

——関西支部における開催——

★情報理論研究会 (IT)

専門委員長 鎌部 浩 副委員長 大橋正良

幹事 井坂元彦・野村 亮 幹事補佐 古賀弘樹

★情報セキュリティ研究会 (ISEC)

専門委員長 松本 勉 副委員長 田中俊昭・櫻井幸一

幹事 四方順司・伊豆哲也 幹事補佐 岩田 哲

★ワイドバンドシステム研究会 (WBS)

専門委員長 佐々木重信 副委員長 眞田幸俊・前原文明

幹事 小野文枝・藤井雅弘 幹事補佐 松波 勲・石橋功至

日時 3月7日 (木) 10:30~18:15

8日 (金) 10:30~16:25

会場 関西学院大学大阪梅田キャンパス (大阪市北区茶屋町 19-
19 アプローチタワー 14 階. JR: 大阪駅より徒歩 10 分, 阪
急: 梅田駅より徒歩 5 分. (キャンパス 開室時刻 10:00)
http://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/access/index.html TEL
[06] 6485-5611 (会場) TEL [079] 565-7952 井坂元彦)

議題 IT・ISEC・WBS 合同研究会

7日午前 IT (1405 教室) (10:30~12:10)

1. Universal Coding for Asynchronous Slepian-Wolf Coding
Systems ○Tetsunao Matsuta・
Tomohiko Uyematsu (Tokyo Inst. of Tech.)

告 21

2. 逆シャノン定理による通信路の再現に関する研究
○長井大地・小川朋宏（電通大）
3. 量子通信路のノイズに関する順序と情報量に関する研究
○岡澤太志・小川朋宏（電通大）
4. ユニバーサル符号の符号語長を用いた定常マルコフ情報源の
次数推定法 ○金澤慎司・植松友彦（東工大）
- ISEC (1406 教室) (10:30~12:10)
5. 効率的な倍ブロック長ハッシュ関数に関する一考察
○澤田 剛・宮地充子（北陸先端大）
6. Fail-stop 署名の安全性要件に関する考察 ○野村昌弘・
中村勝洋（千葉大）
7. Improved Elliptic Curve Scalar Multiplication Using Triple
Formula Atsuko Miyaji・○Cuinan Yang (JAIST)
8. インドクリプト 2012 参加報告
○安田貴徳（九州先端研）・佐々木 悠（NTT）・
櫻井幸一（九大）
- 7 日午後 IT (1405 教室) (13:40~14:55)
9. 最適 2 元線形定重み符号群の一般的構成法 ○笠原正雄・
平澤茂一（早大）
10. 多元 LDPC 符号の確率的重み分布計算法について (II)
○鶴見淳一（神戸大）・廣友雅徳（佐賀大）・
森井昌克（神戸大）
11. Sum-Product 及び Two-bit Bit Flipping アルゴリズムを組み
合わせた復号法の性能評価 ○松下晃生・鎌部 浩（岐阜大）
- ISEC (1406 教室) (13:40~14:55)
12. ソフトウェア実装 AES の選択入力文法によるサイドチャネ
ルセキュリティ評価 ○齋藤翔平・岸川 剛・
松本 勉（横浜国大）
13. RL78 における暗号プリミティブのソフトウェア実装性能評
価 ○村上ユミコ・松井 充（三菱電機）
14. LED パイロットランプを通じたサイドチャネル攻撃におけ
る高速光検出器の効果 ○齋藤翔平・松本 勉（横浜国大）
- IT (1408 教室) (13:40~14:55)
15. Lossless Data Compression via Substring Enumeration のマ
ルコフ情報源に対する最悪冗長度 ○岩田賢一（福井大）・
有村光晴（湘南工科大）・嶋 優希（福井大）
16. 線形ネットワーク符号を用いた際の Multisource-Multicast
問題へのアプローチ 三宅茂樹（NTT）
17. 関数に対する最小ストレージ再生成符号に関する一検討
○吉田隆弘・地主 創（青学大）・松嶋敏泰（早大）
- IT (1405 教室) (15:05~16:20)
18. Compressed Encoding を利用した Rank Modulation におけ
る極小支配集合とその構成 ○神林雄也・渋谷智治（上智大）
19. ハミング符号を用いたフローティング符号の構成—一般パラ
メータにおける性能評価— ○岡前直由・藤原 融（阪大）・
楯 勇一（奈良先端大）
20. 2次元重み制約に適した反復コセット符号化法
○小林 豊・和田山 正（名工大）
- ISEC (1406 教室) (15:05~16:20)
21. 最大周期系符号に基づく積和型公開鍵暗号, $K(II) \Sigma \Pi PKC$
に関する考察—新しい暗号法の提案とその効果—
笠原正雄（早大）
22. ランダム符号付きナップザック暗号 林 彬（金沢工大）
23. Graphics Processing Unit を用いた GF(2¹⁶) 上の効率的な
計算手法の検討 ○田中哲士（九大/ISIT）・
安田貴徳（ISIT）・櫻井幸一（九大/ISIT）

- WBS (1408 教室) (15:05~16:20)
24. シングルキャリア通信におけるスパース通信路推定の検討
○西澤祐貴・宮嶋照行（茨城大）
25. クリッピングアンドフィルタリングを用いた OFDMA 及び
SC-FDMA の特性比較 ○グエン ヒウ バオ チュン・
落合秀樹（横浜国大）
26. 周波数領域拡散及び繰り返し並列干渉キャンセラを適用した
空間変調 OFDM の特性評価 ○中村正祐・
佐藤正知（東京都市大）
- 招待講演 (ISEC/WBS) (1405 教室) (16:35~18:15)
27. [招待講演] セキュリティ技術標準化の軌跡—暗号からクラ
ウド, M2M のセキュリティまで— 宝木和夫（産総研）
28. [招待講演] 高速時変伝送路に有効な差動時空符号化に関す
る検討 久保博嗣（立命館大）
- 8 日午前 IT/ISEC (1405 教室) (10:30~12:10)
1. 定重み符号の線形複雑度に関する考察
○戒田高康（近畿大）・鄭 俊如（九州女子大）
2. (k, n) しきい値法における多数決を用いた不正検出方式と
その性能評価 ○島崎憲明・古賀弘樹（筑波大）
3. 情報理論的 Non-malleability の定式化の関係性について
○井上大輔・四方順司（横浜国大）
4. 量子鍵配送と量子中継のレート理論の根源的欠陥について
広田 修（玉川大）
- ISEC (1406 教室) (10:30~12:10)
5. 非加工接触型 IC カードのレーザー照射によるフォールト攻
撃 ○大野 仁・土屋 遊・遠山 毅・岸川 剛・
齋藤翔平（横浜国大）・佐々木明彦（森田テック）・
佐藤 証（東大）・松本 勉（横浜国大）
6. 不正 CAN 通信阻止のための ECU 内蔵監視機構
○関口大樹・田邊正人・畑 正人・吉岡克成・
松本 勉（横浜国大）
7. Quadruple-Rail 表現を利用した耐電力解析ソフトウェア実装
○洲崎智保・前川 晃・峯松一彦・岡村利彦（NEC）
8. レジスト倒壊パターンを用いたナノ人工物メトリクス
○松本 勉・花木健太・鈴木僚介・関口大樹（横浜国大）・
法元盛久・大八木康之（大日本印刷）・成瀬 誠（NICT）・
堅 直也・大津元一（東大）
- WBS (1408 教室) (10:30~11:45)
9. TV ホワイトスペースを用いた無線 LAN における Quiet Peri
od の導入法に関する検討 ○結城真澄・佐々木重信（新潟大）
10. DS/UWB 無線パケット伝送における同期捕捉の精度に関す
る一検討 ○猪子卓也・佐々木重信（新潟大）
11. 変形擬 3 進 M 系列を用いる DLL のジッタ解析
○山形正哉・羽羽裕真（茨城大）
- 8 日午後 招待講演 (IT) (1405 教室) (13:40~14:30)
12. [招待講演] 分散情報源符号化とメディア処理への応用
仲地孝之（NTT）
- IT (1405 教室) (14:45~16:25)
13. Word Prediction by PPM algorithm on Thai and English
Languages ○Sosouphanh Soukalom・
Tomohiro Ogawa (Univ. of Electro-Comm.)
14. 有限サイズの Invertible Bloom Lookup Tables の性能評価
○湯川大地・和田山 正（名工大）
15. 物理的特徴を用いた認証方式における各利用者の認証誤りを
考慮した認証精度評価に関する一考察 ○石井 智（早大）・
吉田隆弘（青学大）・松嶋敏泰（早大）

16. An Analysis on Non-Adaptive Group Testing based on Sparse Pooling Graphs

Tadashi Wadayama (Nagoya Inst. of Tech.)

ISEC (1406 教室) (14:45~16:25)

17. 検索可能暗号における安全性定義の再考 ○田貝浩一・四方順司 (横浜国大)

18. How to Reconstruct dp and dq from Their Fraction
Shigeyoshi Imai・Kaoru Kurosawa・
○Takuma Ogasawara (Ibaraki Univ.)

19. 秘匿検索の実システム適用に関する考察 ○伊藤 隆・平野貴人・森 拓海・服部充洋・松田 規 (三菱電機)

20. Efficient Strictly CCA-Secure Proxy Re-Encryption Scheme
○Shota Kanno・Kaoru Kurosawa (Ibaraki Univ.)・
Takahiro Matsuda・Goichiro Hanaoka (AIST)

IT/WBS (1408 教室) (14:45~16:25)

21. 移動履歴を用いる複数の送信機の位置推定及び送信情報の誤り率特性
○原田康平・森島 佑・岡 育生・阿多信吾 (阪市大)

22. しきい値復号法による Spinal 符号 ○森島 佑・岡 育生・阿多信吾 (阪市大)

23. 信号点数を拡大したトレリスシェイピングに基づく OFDM 信号の PAPR 低減に関する検討 ○松岡雅樹・吉沢竜太・落合秀樹 (横浜国大)

24. 時空間符号化伝送における選択受信による特性改善方式
○千竈航平・サグァンウォントーン イサダ・四家 帝・山崎彰一郎・松嶋智子 (職能開発大)・田中宏和 (東芝)

◆IEEE IT Society Japan Chapter 共催

◎7日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆IT 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月24日(金) 福井あわら温泉まつや千千 [3月9日(土)]
テーマ:記録素子用符号化, 一般 (フラッシュメモリ符号化に関するワークショップ併催)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

情報理論研究会幹事

E-mail: it-sec@mail.ieice.org (幹事, 幹事補佐)

☆ISEC 研究会

【問合先】

岩田 哲 (名大)

TEL [052] 789-5722, FAX [052] 789-5723

E-mail: isec-sec@mail.ieice.org (幹事, 幹事補佐)

☆WBS 研究会

【問合先】

藤井雅弘 (宇都宮大)

TEL & FAX [028] 689-7118

E-mail: fujii@is.utsunomiya-u.ac.jp

★マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究会(EMM)

専門委員長 馬場口 登 副委員長 西村 明・新見道治

幹事 青木直史・日置尋久 幹事補佐 鶴木祐史・川村正樹

日時 3月7日(木) 13:30~18:00

8日(金) 9:00~12:15

会場 ATR 会議室 01 (相楽郡精華町光台 2-2-2. <http://www.>

atr.jp 西村竜一 (NICT))

議題 画質・音質評価, 知覚・認知メトリクス, 人間視聴覚システム, 一般

7日

1. Wet Paper 符号を利用した QR コードへの情報重畳
○新見道治・野田秀樹 (九工大)

2. 再符号化に耐性を持つ可逆的情報ハイディングを利用した JPEG 画像のプライバシー保護 ○榎谷冬樹・新見道治・野田秀樹 (九工大)

3. 動きベクトル推定とエッジを考慮した色伝播に基づく動画カラリゼーション ○大谷まゆ・日置尋久 (京大)

4. モノラル-ステレオ変換によるオーディオトリックアートの可能性 青木直史 (北大)

5. Audio-visual integration between speech sound and lip movement: analyses through psychological measurement and functional magnetic resonance imaging

○Takahiro Shinohara (Doshisha Univ.)・

Hiroshi Riquimaroux (Doshishsha Univ./NSBNRC)

6. [招待講演] デジタルとアナログをつなぐ UX デザインへの取り組み 高橋 徹 (ATR)

8日

1. マルチ画面向けデジタルサイネージ編集システムの開発
○神田準史郎・椿 泰範・吉田 浩・三浦 紳 (三菱電機)

2. マルチモーダル情報に含まれる因果関係の獲得と利用
○西村竜太郎・長谷川 修 (東工大)

3. 長時間音声を聴くための時間節約技術とその FPGA 実装
○鈴木達弘・高橋弘太 (電通大)

4. Angle QIM を用いた音楽電子透かしの性能評価・向上に関する研究
○渡邊 涼・山口和彦 (電通大)

5. 線形予測誤差拡張による音響信号へのリバーシブル情報ハイディング 西村 明 (東京情報大)

6. スペクトル拡散型電子透かしにおける通信路推定を用いた復号法
○寺西直緒・川村正樹 (山口大)

◎7日, NICT ラボツアーの後に懇親会を予定していますので奮って御参加下さい。

★ITS 研究会 (ITS)

専門委員長 羽瀨裕真 副委員長 児島史秀・山里敬也

幹事 高取祐介・和田友孝 幹事補佐 大野光平・羽多野裕之

日時 3月11日(月) 9:30~16:00

会場 京都大学吉田キャンパス本部構内総合研究 8 号館 (旧工学部 8 号館) 1 階講義室 1 (京都市左京区吉田本町. JR/近鉄: 京都駅から市バス 206 系統東山通北大路バスターミナル行乗車 35 分京大正門前下車 (「千本通」ではなく「東山通」に乗車). <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access> http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r_y.htm (59 の建物) 村田英一)

議題 ITS 情報処理, 一般

ITS-1. ドライバの認知状態共有の効果

○志堂寺和則 (九大)・内海 章・多田昌祐・

山本直樹 (ATR)・松尾典義・鳥居武史 (富士重工)

ITS-2. 画像による顔姿勢推定を利用したドライバの運転挙動評価
○乗富修蔵 (ATR/同志社大)・多田昌祐・内海 章・

山本直樹 (ATR)・松尾典義・鳥居武史 (富士重工)・

志堂寺和則 (九大)

- ITS-3. 後方車両認識及び危険度解析の一手法 ○金子直人・井出 将・杉田善哉・福井正博 (立命館大)
- ITS-4. スマートフォンを用いた倉庫内作業プローブシステムに関する一検討 ○麻生敏正・黒川久幸 (東京海洋大)
5. 駐車場案内システムによる案内効果に関する検討 ○立松和也・香取照臣・泉 隆 (日大)
6. ドライバの個人特性を考慮したベクション刺激の効果の検証 ○岡田若奈・田子和利 (名古屋電機)・山本浩司・高橋秀喜・亀岡弘之 (中日本高速道路)・小根山裕之 (首都大東京)

午後

- ITS-7. Simulation Studies on the Benefit of Route Guidance Generated from Imperfect Traffic Data
○Zilu Liang (Univ. of Tokyo)・John Polak (ICL)・Yasushi Wakahara (Univ. of Tokyo)
- ITS-8. スマートフォンを用いた地震波検出に関する検討 ○宇賀大貴・永長知孝 (関東学院大)
- ITS-9. 路車・車々間通信におけるダミーユーザを用いた位置追跡防止手法の提案 ○寺本 翼・野口 悟・垣内正年・猪俣敦夫・藤川和利 (奈良先端大)
- ITS-10. 反射構造物密度モデルを考慮したRSSIによる接近移動物体検知 ○日坂翔馬 (東大)・大野光平・伊丹 誠 (東京理科大)・上條俊介 (東大)
- ITS-11. マルチクラスゾーン ITS 情報通信方式におけるセクタアンテナ及びシャドウイングに関する検討 ○後藤 建・長谷川孝明 (埼玉大)
- ITS-12. 屋内外無線LAN位置推定における専用アクセスポイントの設置効果について ○野田真吾・間邊哲也・長谷川孝明 (埼玉大)
- ITS-13. ハンドル型電動車いすにおけるゲーム用 Kinect センサを用いた危険検出に関する一検討 ○坂元優太・金 帝演・長谷川孝明 (埼玉大)
- ITS-14. スペクトル拡散方式を用いた可視光車車間通信・測距統合システムの一検討 水井 潔 (関東学院大)

◆電気学会; ITS 研究会主催

◎研究会終了後、懇親会を予定しておりますので御参加下さい。

【問合せ先】

高取祐介 (神奈川工科大学工学部電気電子情報工学科)
〒243-0292 厚木市下荻野 1030
TEL [046] 242-0030 (内線 3365)
E-mail : takatori@ele.kanagawa-it.ac.jp

★技術と社会・倫理研究会 (SITE)

専門委員長 中西通雄 副委員長 吉開範章・岡田仁志
幹事 鈴木一弘・杉山典正 幹事補佐 山肩大祐・宮田純子

★インターネットアーキテクチャ研究会 (IA)

専門委員長 中村素典
副委員長 秋山豊和・石橋圭介・中村 豊
幹事 衛藤将史・北辻佳憲
幹事補佐 垣内正年・塚本和也・義久智樹・山本 寛

日時 3月14日(木) 10:40~17:30
15日(金) 10:00~16:30

会場 東大寺総合文化センター (奈良市水門町 100, JR 大和路線・近鉄奈良線: 奈良駅から市内循環バス「大仏殿春日大社

前」下車徒歩 5 分。http://culturecenter.todaiji.or.jp/access-map.html)

議題 インターネットと情報倫理教育, 一般

14 日午前 セキュリティ 1

- IA-1. トラフィックパラメータのクラスタリングによる異常検知手法の特性調査 ○巽 康平・秋山豊和 (京都産大)
- IA-2. Web SSO における PAKE を用いた相互認証機構の設計と実装 ○杉山晃平・秋山豊和 (京都産大)
- IA-3. LISP を用いたトラフィック局所化による DDoS 攻撃緩和手法に関する一実験 ○齋藤利文・榎本真俊・樫山寛章・門林雄基 (奈良先端大)
- IA-4. 協調型侵入検知システムの開発フレームワークの提案と実装 ○尾花悦正・榎本真俊・樫山寛章・門林雄基 (奈良先端大)

14 日午後 ワイヤレス (14:00~)

- IA-5. An Efficient Policy Retrieval and Wi-Fi Control for ANDSF System ○Dae Sun Kim・Yujin Noishiki・Yoshinori Kitatsuji・Hidetoshi Yokota (KDDI R & D Labs)
- IA-6. Cognitive MANET における通信チャンネル切替を考慮した TCP の提案と詳細評価 ○木場 俊・塚本和也・鶴 正人・尾家祐二 (九工大)
- IA-7. 無線マルチホップ型スマートメータのためのデータ連結転送方式における再送制御手法の検討 ○石崎誠人・野林大起・池永全志 (九工大)
- IA-8. IEEE1888 ネットワークへの ZigBee デバイスのプラグイン・アーキテクチャ ○落合秀也 (東大/NICT)・寺西裕一 (NICT/阪大)・江崎 浩 (東大)
- アーキテクチャ/応用
- IA-9. 新世代ネットワークアーキテクチャ ZNA における Information Centric Networking の提案 ○近藤賢郎・Heryanto・金子晋文・寺岡文男 (慶大)
- IA-10. 河川洪水の危険指標生成モデルの提案 ○廣井 慧 (慶大)・妙中雄三 (東大)・松井加奈絵 (慶大)・横山 仁 (都環研)・砂原秀樹 (慶大)
- IA-11. レスポンスタイムを一定時間内とするための帯域使用率に基づくフロー間優先制御方式の提案と評価 ○石川圭也・妙中雄三・中山雅哉 (東大)
- IA-12. 自立分散セッションマイグレーションによる需要変動に基づくサーバ構成の検討 ○白井 健・地引昌弘 (NICT)・作元雄輔 (首都大東京)・高野知佐 (広島市大)・会田雅樹 (首都大東京)・西永 望 (NICT)

15 日午前 セキュリティ 2

- IA-1. SSH におけるユーザ認証方式の識別 ○佐藤彰洋・中村 豊・池永全志 (九工大)
- IA-2. 複数設備提供者間の情報秘匿型ネットワーク資源割当手法 ○間野 暢・水谷后宏・明石 修 (NTT)
- SITE-3. カクテルパーティ効果を利用した音声の聞き分けによる個人認証システムに関する考察 ○竹田昂生・稲葉宏幸 (京都工繊大)
- SITE-4. 危険性の判定機能を有する能動型侵入検知システムの提案 ○牛田 敦・稲葉宏幸 (京都工繊大)

15 日午後 情報セキュリティ/一般

- SITE-5. インターネット倫理国際シンポジウム ISIE2012 に参加して 江澤義典 (関西大)
- SITE-6. 情報セキュリティに関する脅威資料への認知効果についての検討 ○神田大彰・栗野俊一・吉開範章 (日大)

SITE-7. 価値交換システムにおけるゲーム理論的解析

○田島佳明・宮田純子 (神奈川大)・

森住哲也 (ネットエスアイ東洋)・木下宏揚 (神奈川大)

SITE-8. 知的財産分野へのデジタル・フォレンジックの利用可能性に関する一考察
須川賢洋 (新潟大)

プライバシー

SITE-9. デジタルカメラで読み取り可能な品質劣化の少ない不可視コード埋め込み手法に関する検討
○森田雅治・

稲葉宏幸 (京都工繊大)

SITE-10. フレーム順序操作に耐性を有するカラー動画用多ビットパッチワーク電子透かしの提案
○四宮武史・

稲葉宏幸 (京都工繊大)

SITE-11. ベジェ曲線を用いた電子透かしの提案

○工藤敬文・宮田純子 (神奈川大)・

森住哲也 (ネットエスアイ東洋)・木下宏揚 (神奈川大)

SITE-12. Wi-Fi/Bluetooth 通信が引き起こす位置プライバシー問題に関するフィールド実験

○折尾彰吾・上田 浩 (京大)・上原哲太郎 (情報セキュリティ研)・

津田 侑 (京大)・吉村豪康・山村智英・

野村怜一 (富士ゼロックスシステムサービス)

◆情報処理学会；インターネットと運用技術研究会連催

☆SITE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月 東京 [未定] テーマ：知的財産，一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

鈴木一弘

E-mail : kazuhiko@tutetuti.jp

○公式 Web サイト <http://www.ieice.org/ess/site/>

☆IA 研究会

【問合先】

IA 研究会事務局 (九工大電子情報工学科尾家研究室内)

TEL & FAX [0948] 29-7652

E-mail : ia-submission@mail.ieice.org

○IA 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/ia/jpn/index.htm>

——中国支部における開催——

★マイクロ波研究会 (MW)

専門委員長 大平 孝

副委員長 黒木太司・中津川征士・川上憲司

幹事 加屋野博幸・河合 正 幹事補佐 鴨田浩和・清水隆志

日時 3月6日 (水) 10:00~17:10

7日 (木) 8:40~17:05

8日 (金) 9:50~16:55

会場 (6日) 広島工業大学広島校舎 201号室 (7-8日) 広島大学

東広島キャンパス学生会館 2階レセプションホール ((6日)

広島市中区中島町 5-7. <http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/access/hiroshima/> (7-8日) 東広島市鏡山 1-3-1.

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/access/higashihiroshima/>

TEL [082] 424-6269 藤島 実 (広島大))

議題 マイクロ波一般

6日午前

第一種研究会開催案内

1. 小型可変整合回路を用いた帯域切替型電力増幅器

○古田敬幸・岡崎浩司・植橋祥一 (NTTドコモ)

2. ゲート接地容量を分散配置した高出力 CMOS カスコードトランジスタ
○嘉藤勝也・宮下美代・新庄真太郎・堀口健一・

森 一富 (三菱電機)

3. 高速 GaN HEMTs バックコンバータ

○新庄真太郎 (三菱電機)・Young-Pyo Hong・

Hamed Gheidi・Donald F. Kimball・Peter M. Asbeck (UCSD)

4. 広帯域低雑音可変利得増幅器を用いた広帯域受信フロントエンド IC の一検討
○山口 陽・加保貴奈・川島宗也・

上原一浩 (NTT)

5. 注入パルス間隔を自動調整するサブハーモニック注入同期発振器
○堤 恒次・津留正臣・谷口英司 (三菱電機)

6日午後

6. デュアルモードリング共振器及び半波長共振器を組み合わせた準ミリ波帯の超広帯域帯域通過フィルタの設計

王 媛媛・○馬 哲旺・大平昌敬 (埼玉大)・陳 春平・

穴田哲夫 (神奈川大)

7. 小型積層型デュアルバンド同時通過型フィルタ

○高儀雄太・佐藤 圭・植橋祥一 (NTTドコモ)

(16:15~)

8. インダクタの評価指標
○天川修平・藤島 実 (広島大)

9. 300-GHz-Band 20-Gbps ASK Receiver MMIC Integrated with On-Chip Dipole Antenna
○Ho-Jin Song・

Jae-Young Kim・Katsuhiko Ajito・Makoto Yaita・

Naoya Kukutsu (NTT)

7日午前

1. Study on Slow Wave Characteristics of the Transmission Line Employing Various PAGS Structures on Semiconducting Substrate
○Jang-Hyeon Jeong・Sung-Jo Han・

Ki-Jun Son・Young Yun (Korea Maritime Univ.)

2. High Isolation Design Technique for Multiple Coupled Line Power Divider
○Sung-Jo Han・Jang-Hyeon Jeong・

Ki-Jun Son・Young Yun (Korea Maritime Univ.)

3. Study on Basic RF characteristics of transmission lines employing additional ground plane on semiconducting substrate
○Ki-Jun Son・Jang-Hyeon Jeong・Sung-Jo Han・

Young Yun (Korea Maritime Univ.)

4. 抵抗値ばらつきによる特性劣化の小さいアイソレーション抵抗並列装荷型電力分配器
○廣田明道・田原志浩・湯川秀憲・

大和田 哲・山口喜次 (三菱電機)

5. 高耐電力向け広帯域直交2偏波2周波数帯共用導波管給電回路
○湯川秀憲 (三菱電機)・小林亮介 (三菱電機エンジニアリング)・

吉田幸司・水野友宏・大和田 哲 (三菱電機)

6. 短絡位置が交互に異なる2層クロスタイを有するスローウェーブ伝送線路
○森本康夫・湯浅 健・

大和田 哲 (三菱電機)

7. ミリ波帯マルチビーム誘電体レンズアンテナの検討

川村一代・○榎原 晃・河合 正 (兵庫県立大)・北内 篤・

松井宏康 (DXアテナ)

7日午後 招待講演 (12:50~)

8. [招待講演] 無線 40 Gb/s を目指した 60 GHz 帯 CMOS ダイレクトコンバージョン型無線機の研究
岡田健一 (東工大)

9. [招待講演] 準ミリ波以上の周波数領域における LC 電圧制御発振器の共振器回路の Q 値向上手法の検討

○伊藤信之・板野由佳・森本正太郎 (岡山県立大)

柴垣信彦 (日立)

- 10. [招待講演] テラヘルツ集積回路に向けたオンチップ伝送線路のモデル化に関する考察 ○土谷 亮・小野寺秀俊 (京大)
- 11. [招待講演] センサネット向けサブ 50μW, 0.5V 動作 315 MHz 帯トランシーバ回路 ○高宮 真 (東大)・齋藤 晶 (半導体理工学研究センター)・井口俊太・本田健太郎・鄭 雲飛 (東大)・渡辺和紀 (半導体理工学研究センター)・桜井貴康 (東大)

IEEE MTT-S Japan Chapter 特別講演

- 12. [特別講演] 高 Q 値の導波路リング共振器カプラを用いた選択的な二次元導波路電力伝送 ○野田聡人・篠田裕之 (東大)
- 13. [特別講演] 120 GHz 帯無線リンクに用いる 10 Gb/s BPSK 変復調 MMIC ○高橋宏行・小杉敏彦・枚田明彦・村田浩一・久々津直哉 (NTT)
- 14. [特別講演] ハイブリッド共振器を用いた小型・低背の LTCC アンバランス-バランスフィルタ ○田村昌也 (パナソニック)・タオヤン・伊藤龍男 (カリフォルニア大ロサンゼルス校)
- 15. [特別講演] 2012 年ヨーロッパマイクロ波会議出席報告 ○河合邦浩 (NTT ドコモ)・本城和彦 (電通大)・ボカレル ラメシュ (九大)・黒木太司 (呉高専)・陳 春平 (神奈川大)・鴨田浩和 (ATR)

8 日午前

- 1. 分数量容量を用いたセルラ送信器用 DCO ○中村宝弘 (日立)・乗松崇泰 (ルネサスマイクル)・魚住俊弥・上田啓介 (ルネサス エレクトロニクス)・山脇大造 (ルネサスマイクル)
- 2. FSK 変調信号入力時の整流器動作の解析 ○榎 裕翔 (鹿児島大)・吉田賢史 (JAXA)・西川健二郎 (鹿児島大)・川崎繁男 (JAXA)
- 3. ダイオードリニアライザの高周波化に関する検討 ○能登一二三・安永吉徳・川上憲司 (三菱電機)

特別招待講演

- 4. [特別招待講演] アナログ・RF CMOS 集積回路技術の現状と今後の動向—ミリ波と ADC を中心として— 松澤 昭 (東工大)

8 日午後 招待講演

- 5. [招待講演] Trend of Autonomous Wireless Sensor Network Toshihiko Hamasaki (Hiroshima Inst. of Tech.)
- 6. [招待講演] 超低電力 RF CMOS トランシーバ回路技術に関する研究 ○伊藤浩之・李 尚曄・池田 翔・蔣 浩・石原 昇・益 一哉 (東工大)
- 7. [招待講演] A High Efficiency CMOS UWB Impulse Radio (UWB-IR) Transmitter for Low Power Applications ○Ramesh Pokharel・Ruibing Dong (Kyushu Univ.)
- 8. [招待講演] 近接電磁界を用いた非接触低電力高速インターフェース ○石黒仁揮・黒田忠広 (慶大)
- 9. 高機能オシロスコープを用いた非線形負荷インピーダンス測定 ○崎原孫周・大平 孝 (豊橋技科大)
- 10. ポーラーループにおける小形な群遅延補償回路の構成検討 ○松永直子・岡 俊英・堀口健一・森 一富・檜枝護重 (三菱電機)
- 11. 透過法による強磁性共鳴半値幅測定 ○三浦太郎 (ザ・ミュー)・清水 基 (TDK-EPC)
- 12. TG3c ミリ波デバイスシミュレーター-PHY タイミング同期制御方式— ○沼田秀司・丸山哲弘 (日立情報通信エンジニアリング)・羽生 広・

◆IEEE MTT-S Japan Chapter, IEEE MTT-S Kansai Chapter, IEEE MTT-S Nagoya Chapter 協賛

◎6 日 14:00~16:00 に中国支部による一般向け講演会が開催されます。

「あなたは回路図をみて Q ファクタを計算できますか」

大平 孝 (豊橋技科大)

◎6 日と 7-8 日で会場が異なりますので、御注意下さい。

◎6 日と 7 日研究会終了後に懇親会を予定しております。

☆MW 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

4 月 18 日 (木), 19 日 (金) 機械振興会館 [締切済] テーマ: マイクロ波超伝導, マイクロ波一般

5 月 30 日 (木), 31 日 (金) 龍谷大 [3 月 8 日 (金)] テーマ: マイクロ波一般

6 月 27 日 (木), 28 日 (金) 名工大 [4 月 7 日 (日)] テーマ: マイクロ波信号発生と計測技術/一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

- 鴨田浩和 (ATR) TEL [0774] 95-1541, FAX [0774] 95-1508 E-mail: kamoda@atr.jp
- 加屋野博幸 (東芝) TEL [044] 549-2110, FAX [044] 520-1801 E-mail: hiroyuki.kayano@toshiba.co.jp

—四国支部における開催—

★教育工学研究会 (ET)

専門委員長 中村直人 副委員長 小西達裕 幹事 國宗永佳・渡辺健次 幹事補佐 西尾典洋・森本容介

日時 3 月 29 日 (金) 9:25~17:30
会場 愛媛大学城北地区 (松山市文京町 3. 伊予鉄道市内電車場合環状線 (古町方面行き): 赤十字病院前下車, 北へ徒歩約 2~5 分。 <http://www.ehime-u.ac.jp/access/johoku/index.html> TEL [089] 927-8354 佐々木隆志)

議題 学習データの蓄積と利活用支援/一般
午前 (A 会場) (9:25~13:00)

- 1. Web 集合知を用いた大規模専門辞書の一構築手法の提案 ○郭 炳君・千種康民・山崎洋行 (東京工科大)・服部泰造 (東京国際大)
- 2. 探究実践型授業モデルの開発と実践 ○藤原明生・田村武志 (神戸情報大)
- 3. 旧 NICER の「利用頻度順」検索と新教材登録機能について—学習デジタル教材・指導案の蓄積と利活用支援— 澤井 進 (学習ソフトウェア情報研究センター)
- 4. 視写教育支援のための筆記過程の時系列解析 ○嶺 竜治・安藤ハル (日立)・鈴木慶子 (長崎大)
- 5. 日本語文提示システム使用記録にもとづく読み困難要因の推定 ○村山慎二郎・青木恭太 (宇都宮大)・原田浩司 (鹿沼みどり小学校)・小田部夏子 (国際福祉大)
- 6. ノートテイキング力向上支援のための筆記過程の時系列解析 ○安藤ハル・嶺 竜治 (日立)・鈴木慶子 (長崎大)
- 7. 拡張性を有する学習支援システムアーキテクチャのグループ

学習環境への適用検討 ○仲林 清 (千葉工大)・

森本容介 (放送大)

午後 (A 会場) (13:00~15:20)

8. 学生のワークフロー分析に基づいた e シラバス設計モデルの
作成と実装評価について ○池田瑞穂・鍋山卓臣・

田村智裕・内田啓太郎・水野五郎 (関西学院大)

9. ページ移動履歴と理解度の関係に関する検討

○渡邊栄治 (甲南大)・尾関孝史 (福山大)・
小濱 剛 (近畿大)

10. Presuming Learner Personas from Portfolios with Non-
negative Matrix Factorization ○Dinh Dong Phuong・

Fumiko Harada・Hiromitsu Shimakawa (Ritsumeikan Univ.)

11. 演習科目におけるブレンド型授業の授業分析—オペレーショ
ンズリサーチの場合— 宮地 功 (岡山理科大)

12. 質疑応答データの蓄積とフィードバックによる e ラーニング
教材の改善効果 ○篠田有史 (甲南大)・吉田賢史 (早大)・

松本茂樹 (甲南大)・河口 紅 (NPO きんぴす)

13. 作問学習支援システムモンサクンを用いた特別支援学級での
作問演習の試み ○山元 翔・平嶋 宗 (広島大)

(A 会場) (15:20~17:00)

14. 点字書籍の利活用支援システム 大武信之 (筑波技大)

15. 参照ベクトルを用いたソースコード類似性検出手法への類似
度メトリクスの適用と授業課題ソースコード採点機能の実現に
関する検討 大野麻子 (阪産大)

16. e-Learning による数学演習問題の答案の再利用について

○岩根典之・齋藤夏雄 (広島市大)

17. e-Learning 用 Common Lisp 処理系の実装—スペシャル変数
とレキシカルスコープ— ○三谷廣嗣・白石啓一 (香川高専)

18. e-Learning の学習継続とソーシャルメディアの関係の考察

○金西計英・光原弘幸 (徳島大)・三好康夫 (高知大)・
松浦健二 (徳島大)

午前 (B 会場) (9:30~13:00)

19. オープンソースソフトウェア利用マニュアル自動生成システ
ムの試作 ○渡邊修平・村上幸一 (香川高専)

20. オープンソースソフトウェア利用支援システムでのインス
トール検証機能の提案 ○村上幸一 (香川高専)・王 哲・

船曳信生 (岡山大)

21. 概念マップ作成における擬似力覚呈示効果の評価

○塩田 剛・柏原昭博 (電通大)

22. 放射思考を用いた習熟度判定による授業支援システムの開発
吉田博哉 (神戸情報大)

23. プレゼンテーションドキュメントの意味的構造作成支援の評
価 ○柴田康生・柏原昭博 (電通大)・

長谷川 忍 (北陸先端大)

24. 研究活動における計画の遂行を支援するシステムの提案

○松島健志・國宗永佳・新村正明 (信州大)

25. 学術コンテンツの個人管理を可能とするポータルシステムの
開発 ○寺門卓馬・足立紘亮・國宗永佳・新村正明 (信州大)

午後 (B 会場) (13:00~15:20)

26. 例題提示と学習者間評価による作問学習支援システムの開発
○島田真也・國宗永佳・新村正明 (信州大)

27. リアルタイム視線表示機能を持つ絵本読み聞かせ支援システ
ム 湯川和秀・辻田直哉・柴田邦道・上野康治 (同志社大)・

高橋一夫 (常磐会短大)・○金田重郎 (同志社大)

28. 受講者の動作情報と生体情報を併用するリアルタイム教育支
援システム ○山下将吾・三巻祐介・萱野彩香・河合 純・

金田重郎 (同志社大)

29. タブレット端末を活用した英語教材作成システムの開発
—CSV フォーマットへの対応— ○東 勝也・

白石啓一 (香川高専)

30. 指導案オーサリングシステム TeaPoT II の試作

岩井憲一 (滋賀大)

31. 学習者の課題関連認知マップを正しいマップに誘導するナビ
ゲーションシステム ○伊藤佳輝・米澤宜義 (工学院大)

(B 会場) (15:20~17:30)

32. 任意の動画再生区間とノートの任意位置を双方向リンクする
電子ノートの開発 ○寺田 諒・米澤宜義 (工学院大)

33. 毎回の講義評価を利用した教員の講義改善を支援するための
講義映像フィードバックシステム ○米谷雄介・

東本崇仁 (東京理科大)・古田壮宏 (奈良教大)・

赤倉貴子 (東京理科大)

34. Eclipse を用いたオブジェクト指向プログラミング教育支援
視覚化システムの設計と実装 ○大城正典・

永井保夫 (東京情報大)

35. 統計データ処理実習のための教材データベースと連携する対
話型学習支援システム ○吉根勝美 (南山大)・

磯本征雄 (名古屋女子大)・

長谷川 信 (岐阜聖徳学園大短大部)

36. パケット経路制御学習アプリの開発とアンケート解析

川西千晶・堀 幸雄・○今井慈郎 (香川大)

37. 投稿型自主学习素材共有システム “S-Quiz” における外部
リソースを用いた問題作成促進 ○天野弘彬・林 敏浩・

垂水浩幸 (香川大)

◎2 会場 (A 会場, B 会場) によるパラレルセッションとなりま
す。御注意下さい。

☆ET 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月26日(日) 和歌山大 [3月8日(金)] テーマ:新しいイ
ンタラクションを取り入れた学習の分析と支援/一般

6月22日(土) 南山大名古屋キャンパス [4月8日(月)]
テーマ:教育・学習支援に対する新展開/一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

渡辺健次 (広島大)

TEL [082] 424-7155

E-mail: wtnbk@hiroshima-u.ac.jp

◎原稿締切日までに原稿がアップロードされない場合には、自動
的に発表キャンセルとなります。原稿がない発表は認めていま
せんので御注意下さい。

——九州支部における開催——

★有機エレクトロニクス研究会 (OME)

専門委員長 白井博明 副委員長 加藤景三

幹事 松田直樹・中村二郎 幹事補佐 鴻野晃洋

日時 3月5日(火) 9:45~18:00

会場 産業技術総合研究所九州センター図書館会議室(鳥栖市宿
町 807-1. <http://unit.aist.go.jp/kyushu/ci/access/index.html>
松田直樹)

議題 バイオ, エレクトロニクス, 材料, 界面, その場観察, そ

の他一般

1. スラブ光導波路分光法を用いたITO電極とチトクロームcの直接電子移動反応のその場観察—極微量吸着量の電気化学的手法と分光法の比較— ○松田直樹・岡部浩隆(産総研)
2. 半導体製造及びプラズマ・バイオ科学のためのプラズマ源に関する研究 ○本村大成・笠嶋悠司・上杉文彦・菊永和也・福田 修(産総研)
3. フォトリフラクティブポリマー動作における暗電流の影響と高速化 ○佐々高史・藤原 隆(理研)
4. 電気光学ポリマーの低損失化 ○杉原興浩・室伏貴信・蔡 斌・タン スサント フレディ・戒能俊邦(東北大)
5. 金属ナノ粒子の導波路分光スペクトル 猿渡竜也・○河津博文(近畿大)・岡部浩隆・松田直樹(産総研)
6. テラヘルツ帯液晶素子の応答速度改善及び閾値電圧の低下 ○熊谷孝幸(阪大)・伊東良太(秋田県立大)・吉田浩之・久保 等・藤井彰彦(阪大)・能勢敏明(秋田県立大)・斗内政吉・尾崎雅則(阪大)
7. 窒化炭素系分子メレムの自己組織化構造の電気化学的制御とpH依存性 ○坂田憲紀・青野正志・上村 忍(熊本大)・小松民邦(高機機構)・國武雅司(熊本大/JST)
8. 光架橋性オリゴヌクレオチドからのDNAデンドリマー自己組織化膜形成—単分子膜の化学構造と電気化学特性— ○中野幸二・澤田貴文・森 美詞・石松亮一・今任稔彦(九大)
9. 導電性高分子の電気化学的重合—ポリピロールの形態制御— ○小野田光宣(兵庫県立大)・Bansi D. Malhotra(アリ-工大)
10. [招待講演] 高分子材料の二次元赤外相関解析 森田成昭(阪電通大)
11. [招待講演] シリコンに共有結合により接合したアルキル自己集積化担分子膜の表面電位と電子状態 ○杉村博之・下阪健治・ヘレラ マービン・ウスタリス・一井 崇・邑瀬邦明(京大)
12. 局所領域における静電気の制御に関する研究 ○菊永和也・野中一洋(産総研)
13. 温度制御型光ピンセットを用いたソフトマテリアルの局所物性解析 ○春藤淳臣・堀 耕一郎・David P. Penaloza・田中敬二(九大)
14. 汎用的な材料の電子構造評価手法としての光電子収量分光法 ○中山泰生・佐藤友哉・金城拓海・宮内拓也・江澤 拓・大澤佑介・山下 剛・町田真一・野口 裕・コスワッタゲ ラシカ・石井久夫(千葉大)
15. 表面処理及び腐食過程解析における表面測定技術 井上 墨・阿倍俊介・伊藤航平・砂原 祥・鈴木良治・廣畑洋平・○野田和彦(芝浦工大)

☆OME研究会今後の予定

3月8日(金) 機械振興会館 テーマ:有機エレクトロニクス, 一般

【問合先】

松田直樹(産総研)

E-mail: naoki.matsuda@aist.go.jp

中村二郎(NTT)

E-mail: jnaka@aecl.ntt.co.jp

★システム数理と応用研究会(MSS)

専門委員長 平石邦彦 副委員長 中村祐一

幹事 中村正樹・山口真之介 幹事補佐 西脇大輔

★ソフトウェアサイエンス研究会(SS)

専門委員長 中島 震 副委員長 結縁祥治

幹事 鷲崎弘宜・高田喜朗 幹事補佐 小林隆志

日時 3月6日(水) 13:20~18:00

7日(木) 9:30~16:50

会場 福岡県志賀島休暇村(福岡市東区大字勝馬1803-1. JR博多駅より鹿児島本線香椎駅経由で、終点西戸崎駅からバス25分. <http://www.qkamura.or.jp/shikano/access/> TEL [0948] 29-7572 山口真之介(九工大))

議題

6日

1. 個人に最適した宅内ピークカット促進アプリケーションの考察 ○徳田啓介・まつ本真佑・中村匡秀(神戸大)
2. MapReduceを用いた大規模消費電力ログの体現ビュー実現手法 ○伊勢勇輝・山本晋太郎(神戸大)
3. ホームネットワークにおける個人適応型消費電力可視化サービスの検討 ○渡邊雄一・徳田啓介・中村匡秀・まつ本真佑(神戸大)
4. 機械学習とtf-idf法を用いたスパムメール分類における重要単語選択パラメータの振る舞い ○石崎慎太郎・橋村有紀・杉井 学・松野浩嗣(山口大)
5. プログラムの理解とアルゴリズムの可視化のための支援ツール—階層型グラフ描画に基づく流れ図の自動生成— ○高原 嶺・槇森文哉・山内雅弘(近畿大)・高藤大介・田岡智志・渡邊敏正(広島大)
6. Revisiting Delta-Notch signalling in Drosophila through logical modelling and analysis ○Mayuka Onishi・Hiroshi Matsuno・Adrien Faure(Yamaguchi Univ.)
7. 多様な評価基準を有する研究室配属問題における考察 ○中村早希・能上慎也(東京理科大)
8. 音声つぶやき時空間コミュニケーション 内平直志(東芝)
9. 複数言語対応かつ算出式変更可能なバグローカリゼーションフレームワークの提案 ○下條清史・坂本一憲・鷲崎弘宜・深澤良彰(早大)
10. コーディング規約違反の局所性に着目した自動検出不可能な違反の検出に向けて ○高井康勢・渥美紀寿(名大)・小林隆志(東工大)・山本晋一郎(愛知県立大)・阿草清滋(京大)
11. バグ報告に対して修正候補となるソースコードを予測する手法の提案 ○河居寛樹・上野秀剛(奈良高専)・伊原彰紀(奈良先端大)
12. プログラミング学習における誤り訂正問題の自動生成方法の提案 ○蜂巢吉成・吉田 敦(南山大)
13. データ依存の伝播確率に基づく欠陥箇所特定支援 ○村松沙那恵(名大)・小林隆志(東工大)・阿草清滋(京大)・渥美紀寿(名大)

7日午前

1. 確率ハイブリッドシステムの離散抽象化—遺伝子トグルスイッチの解析への適用— ○福井康仁・小林孝一・平石邦彦(北陸先端大)
2. An Application of Game Automaton to Quantitative Supervi-

- sory Control ○Sasinee Pruekprasert・Toshimitsu Ushio・Takafumi Kanazawa (Osaka Univ.)
3. Low Address Collision Rate in Multiple Hash Tables
Eleazar Jimenez Serrano (Kyushu Univ.)
4. ワークフローネットのスーパークラス抽出問題と一解法
○西 颯麻・山口真悟 (山工大)
5. 成果物アクセスの時間的局所性を考慮した変更コンテキストモデル
○丸岡寛典 (名大)・小林隆志 (東工大)・阿草清滋 (京大)
6. タスクマイグレーション機能を持つマルチコアスケジューリング解析
○中堂園貴幸・結縁祥治 (名大)
7. 整数解を導出するための単体法とゴモリカットの合成について
○伏見政晃・西田直樹・酒井正彦・草刈圭一朗・坂部俊樹 (名大)
- 7日午後
8. [招待講演] サッカーエージェントの意思決定におけるオンライン適応技術の検討
秋山英久 (福岡大)
9. 契約記述の変更傾向の開発履歴情報を用いた調査
○吉岡一樹・岡野浩三・楠本真二 (阪大)
10. MetricsViewer: サービス指向リポジトリマイニングを活用したソフトウェアメトリクス可視化ツール
○坂元康好・まつ本真佑・中村匡秀 (神戸大)
11. 「匿名性の損失」の水準測定
岩井 淳 (群馬大)
12. マルチカーエレベータ制御における動的なゾーン割当
○石原寛己・加藤昇平 (名工大)
13. マルチカーエレベーターの複循環運行方式におけるシャフト間連携制御
○グエン クワン フーン・高橋宏治 (東工大)
14. AGV の搬送経路計画問題に対する局所探索手法
○井上健輔・宮本俊幸 (阪大)
15. 電子掲示板でのいじめ問題に関するマルチエージェントシミュレーション
○長 大祐・山口真之介・大西淑雅 (九工大)・津森伸一 (近畿短大)・若菜啓孝・佐藤直樹・西野和典 (九工大)

☆MSS 研究会

【問合先】

山口真之介 (九工大)
TEL [0948] 29-7572
E-mail: yamas@iizuka.isc.kyutech.ac.jp

☆SS 研究会

【問合先】

鷲崎弘宜 (早大)
TEL & FAX [03] 5286-3272
E-mail: washizaki@waseda.jp

◎最新の情報は SIGSS 研究会ホームページで御確認下さい。
<http://www.washi.cs.waseda.ac.jp/sigss/>

★ネットワークシステム研究会 (NS)

専門委員長 漆谷重雄 副委員長 平松 淳
幹事 木下和彦・栗本 崇 幹事補佐 武田知典

★情報ネットワーク研究会 (IN)

専門委員長 浅見 徹 副委員長 小林秀承
幹事 堀 賢治・五十嵐弓将 幹事補佐 田坂和之・野村啓仁

◎本研究会は NS 研究会と IN 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 3月7日 (木) 9:00~12:10
8日 (金) 9:00~16:10

会場 沖縄残波岬ロイヤルホテル (中頭郡読谷村字宇座 1575。那覇空港から約 40 km。タクシーまたは車で約 70 分。http://www.daiwaresort.jp/okinawa/access/)

議題

- 7日午前 無線 リソース制御・解析 (会場 1) (9:00~10:20)
- NS-1. 自律分散型コグニティブ無線網における確率的再センシング機構を持つスペクトラム・ハンドオフ機能のスループット性能に対する影響
○小西康晴・増山博之 (京大)・笠原正治 (奈良先端大)・高橋 豊 (京大)
- NS-2. 周波数共用型コグニティブ無線におけるスペクトラム・センシングの検知精度を考慮したスループット解析
○山本 究・高橋 豊 (京大)・笠原正治 (奈良先端大)・増山博之 (京大)
- NS-3. IEEE 802.16j リレーネットワークにおけるトラフィック要求量に応じたタイムスロット割当の改善手法
○北山智也・長谷川 剛・谷口義明・中野博隆 (阪大)
- NS-4. IEEE 802.11 マルチホップネットワークにおける干渉を考慮したデータ伝送時の消費電力量解析
○通阪 航・長谷川 剛・村田正幸 (阪大)
- 無線 配信・システム (会場 1) (10:30~12:10)
- NS-5. [奨励講演] 無線 LAN 環境におけるピース分割とオーバヒアリングを用いたコンテンツ配信の送信スケジューリング方式
○横瀬広明・大坐島 智・加藤聰彦 (電通大)
- NS-6. Wi-Fi 環境における効率的なリアルタイムマルチキャスト
○カンニャウォン ブンバディット・山垣則夫・小倉一峰・植田啓文・藤田範人 (NEC)
- NS-7. 無線 LAN AP における混雑度可視化に向けた一検討
○金井謙治・甲藤二郎 (早大)・村瀬 勉 (NEC)
- NS-8. 無線 LAN オフロードのための最低利用可能帯域を事前に推定する WiFi 割り当てサーバの基礎検討
○小川 慧 (東工大)・檜原 茂 (奈良先端大)・飯田勝吉 (東工大)
- NS-9. 多ノードが接続された Wi-Fi 環境におけるバケット衝突回避手法の提案
○山垣則夫・小倉一峰・植田啓文・藤田範人 (NEC)
- 無線 省電力・RoD (会場 2) (9:00~10:20)
- NS-10. Radio-On-Demand Networks における省電力性能と通信負荷を考慮した端末帰属制御手法
○藤本 要・熊副和美・野林大起・福田 豊・池永全志 (九工大)・原 幸宏 (NEC 通信システム)
- NS-11. Radio-On-Demand Networks における周辺の無線環境を考慮した端末帰属集約手法の検討
○熊副和美・野林大起・福田 豊・池永全志 (九工大)・田中利康 (NCOS)

NS-12. オンデマンド型 AP を用いた Radio-On-Demand WLAN 実証実験評価とその考察 ○阿部憲一 (NEC 通信システム)・

長谷川晃朗 (ATR)・阪田史郎 (千葉大)・池永全志 (九工大)・四方博之 (関西大)

NS-13. IEEE 802.11n における MIMO とフレームアグリゲーションの適用による省電力制御方式 ○佐藤裕介・

阪田史郎 (千葉大)・阿部憲一・伊藤哲也 (NCOS)・小室信喜 (千葉大)

無線 制御 (会場 2) (10:30~12:10)

NS-14. Mesh slicing: Improving the robustness of wireless mesh networks via network virtualization ○Yilong Deng・

Akihiro Nakao (Univ. of Tokyo)

NS-15. モバイルルータ協調動作方式の検討 ○王子有紗・

小川将克 (上智大)・山岸佑輔・三好 匠 (芝浦工大)

NS-16. すれ違い通信によるメッセージ伝達特性

○岸 俊介・坂本直志 (東京電機大)

NS-17. IEEE 802.11n に基づくシームレスなハンドオーバーの実験の実装と評価 ○出水達也・相田 仁 (東大)

NS-18. マルチホップ無線環境における通信安定化のためのパケット転送順序制御手法の性能評価 ○亀山健太郎・

古閑宏幸 (北九州市大)・嶋村昌義 (東工大)・福田 豊・池永全志 (九工大)

フロー制御 (会場 3) (9:00~10:20)

NS-19. Control over Precision of Flow Volume Sampling using Random Batch Sampling

○Marat Zhanikeev (Tokyo Univ. of Science)・

Yoshiaki Tanaka (Waseda Univ.)

NS-20. マルチレイヤサービスネットワークにおけるフロー経路を考慮したフロー解析方法 ○青木道宏・漆谷重雄 (NII)

NS-21. トラフィックの性質に基づいた適応型トラフィック制御手法 ○高野了成・岡崎史裕・工藤知宏 (産総研)

NS-22. Ouroboros Switch: SDN Beyond Flow-Tuple Matching ○Liang Li・Akihiro Nakao・Ping Du (Univ. of Tokyo)

光 NW・デバイス (会場 3) (10:30~12:10)

NS-23. ドメイン情報を制限した大規模光パス網のトポロジ設計法 ○筒井竜乃介・橋 拓至 (福井大)

NS-24. 光バースト交換ネットワークにおける経路重複度を考慮したデフレクショナルルーティング ○田中英明・見越大樹・

竹中豊文 (日大)

NS-25. 広域同期型光スイッチ網における専用線サービスの遅延品質保証 ○原 直也・岡本佳祐・高橋達郎 (京大)

NS-26. 位相シフトクロックによる時刻同期制御方式

○竹内清史・長川大介・三部 健 (三菱電機)

NS-27. 水晶の個体差による時刻ずれを削減する時刻同期通信方式 ○長川大介・安藤康臣・三部 健 (三菱電機)

トラヒック (会場 4) (9:00~10:20)

NS-28. 通信速度に対するユーザ体感品質に基づいた帯域割当方式の提案とその評価 ○菊地 徹・三好 匠 (芝浦工大)

NS-29. ブロードバンドサービスにおける通信品質とユーザ満足度の関係性に関する評価 ○渋谷恵美・立花篤男・

長谷川輝之 (KDDI 研)

NS-30. 再生型 on-off 到着過程を用いたインターネット・トラヒック同定 ○原 健三・増山博之 (京大)・

笠原正治 (奈良先端大)・高橋 豊 (京大)

NS-31. カオスを利用した送信レート制御における流体近似を用いたスループット特性評価 ○高橋友里 (首都大東京)・

高野知佐 (広島市大)・作元雄輔・会田雅樹 (首都大東京)

省電力設計・制御 (会場 4) (10:30~12:10)

NS-32. 低消費電力光ネットワーク実現のための動的ライトパス設定手法 ○伊藤耕平・平田孝志・村口正弘 (東京理科大)

NS-33. 長短の履歴情報を用いた省電力化のための動的リンク数制御手法の検討 ○山下泰明・福田 豊・池永全志・

尾家祐二 (九工大)

NS-34. マルチテナント型データセンタにおける低消費電力を実現する仮想網構築法の検討 ○宮島貴生・橋 拓至 (福井大)

NS-35. スマートハウスにおける MILP による家電利用時間の最適化 ○丸山 優・見越大樹・竹中豊文 (日大)

NS-36. 数値計画法を用いたネットワーク設計方法一問題規模削減に向けた一検討一

○石橋賢太郎 (富士通九州ネットワークテクノロジズ)・

今井悟史 (富士通研)・

日下部雄三 (富士通九州ネットワークテクノロジズ)・山田亜紀子・

宗宮利夫 (富士通研)

呼処理 (会場 5) (9:00~10:20)

NS-37. 大容量トラヒックに対する平準化処理のモデル化による処理効率の評価検討 ○芝原知樹・深澤謙一・澤田政宏・

齊藤祐吉 (NTT ドコモ)

NS-38. 固定電話番号アドレス及びメールサーバのドメイン名により電子メールパケットを転送するツリー状リング網の提案

○龍野秀雄・安川 博 (愛知県立大)・

水野恒雄 (水野国際特許事務所)

NS-39. 大規模 SIP サービスノードクラスタにおける接続遅延特性のシミュレーション評価 ○岩淵桂大・西園敏弘 (日大)

NS-40. 自動音声応答装置と顧客の再呼があるインターネット・コールセンタの性能解析 ○橋川康佑 (京大)・

フン ドック トウアン (東工大)・笠原正治 (奈良先端大)・

高橋 豊 (京大)

ストリーミング (会場 5) (10:30~12:10)

NS-41. 分散映像配信システムにおける動的サーバ切替方式の提案 高橋英士 (NEC)

NS-42. 高速切替可能な多視点動画に適した P2P ライブストリーミングシステム ○近藤大嗣・藤本章宏・

廣田悠介 (阪大)・戸出英樹 (阪府大)・村上孝三 (阪大)

NS-43. 階層型キャッシュサーバ環境における経路の排反性を利用した高品位ストリーミング手法 ○藤本章宏・

廣田悠介 (阪大)・戸出英樹 (阪府大)・村上孝三 (阪大)

NS-44. Performance Evaluation of HTTP Streaming under Handover Events in LTE Networks ○Tomoya Nozaki・

Jiro Katto (Waseda Univ.)

NS-45. コネクション直列化による TCP Incast の回避

長田繁幸・○梶田和俊・福島行信・横平徳美 (岡山大)

IT システム (会場 6) (9:00~10:20)

NS-46. ICT テストベッドにおける大規模検証実験の柔軟な構築に関する研究 ○田部英樹・井上朋哉・

篠田陽一 (北陸先端大)

NS-47. ネットワーク実証実験環境のモジュール単位構築に関する研究 ○村上正太郎・知念賢一・篠田陽一 (北陸先端大)

NS-48. インターネットに拡散する地域観光・防災情報を統合管理する地域情報プラットフォームの検討 ○土屋 健・

広瀬啓雄・三代沢 正・石森秀明 (諏訪東京理科大)・

小柳恵一 (早大)

NS-49. 産業ネットワークにおけるエネルギー管理通信の検討

○安藤康臣・池田祐明（三菱電機）

仮想化・運用1（会場6）（10：30～12：10）

IN-50. ARM サーバの電力対性能比に関する一報告

○車谷駿介・外山将司（NTT）

IN-51. 二次元スライス化パケットバッファにおける電力オーバーヘッドを最小化するスライス化パラメータ

○奥田兼三・阿多信吾（阪市大）・黒田泰斗・矢野祐二（ルネサエレクトロニクス）・岩本 久（阪市大）・井上一成（奈良高専／阪大）・岡 育生（阪市大）

IN-52. インタークラウドにおけるリソース性能測定方式の評価

○首藤裕一・波戸邦夫（NTT）

IN-53. 分散処理可能な Android アプリケーション構成の一検討

○外山将司・車谷駿介・千葉一深（NTT）

IN-54. ネットワーク規模が単位サイズ当りの人気度を考慮した複製配置法へ及ぼす影響

○小原遼平（東工大）・菅原真司（名工大）・山岡克式（東工大）

ルーティング1（会場7）（9：00～10：20）

IN-55. 通信履歴を利用してデータ転送を制限するDTN技術の実装

○山本拓郎・橋 拓至（福井大）

IN-56. Shortest Path Betweenness を用いた仮想ネットワークの高速再構成法

○浦山康洋・橋 拓至（福井大）

IN-57. IEEE802.11 ステーション消費電力削減のための Flexible Multicast Service におけるマルチキャスト配送パターン決定手法の評価

○森澤雄太・川原圭博・浅見 徹（東大）

IN-58. アドホックネットワークにおけるセキュア分散データ転送のための経路重複ノード数を低減する複数経路に関する考察

○木村安里・河野英太郎・角田良明（広島市大）

午前 ルーティング2（会場7）（10：30～12：10）

IN-59. ノード位置情報を利用した制御情報交換のための無線 MAC プロトコルの検討

○上田 聖・川原憲治・塚本和也・尾家祐二（九工大）

IN-60. 第3の無線 IP アクセス手段としての仮想シングルセル

山田喬彦・○西村俊和（立命館大）

IN-61. 無人ヘリによる道路・鉄道網の被災情報収集経路決定法

○松尾瞭汰・仲 真則・巳波弘佳（関西学院大）

IN-62. アトラクタ選択モデルに基づく階層化経路制御手法の提案と評価

○竹下絵莉奈・若宮直紀（阪大）

IN-63. IEEE 802.11n フレームアグリゲーションにおけるトラフィック特性を考慮した動画・音声通信性能評価

○若月 峻・阪田史郎（千葉大）

センサ NW1（会場8）（9：00～10：20）

IN-64. M2M デバイス設定管理技術の提案と実装

○荒井大輔・堀 賢治・井戸上 彰（KDDI 研）

IN-65. スマートメータリング向け無線センサネットワークにおけるトラフィック量に応じたマルチアクセス制御方式

○柴川 輝・阪田史郎（千葉大）

IN-66. データの提供者と利用者の要望を最適化するセンサデータ開示度制御手法の検討

○角田啓介・小池幸生・矢原大司・箕浦大祐・佐藤 敦（NTT）

IN-67. 自然エネルギー発電を利用した WSN の広域・長期運用手法

○汪 少哲・岩井将行・瀬崎 薫（東大）

ソーシャル NW・セキュリティ（会場8）（10：30～12：10）

IN-68. ソーシャルマッシュアップに向けたレコメンデーションシステムの設計

○瀧川大樹・小坂隆浩（同志社大）

IN-69. Comparative study of financial and voting-based reputation systems

○Marat Vyshegorodtsev

Daisuke Miyamoto・Yasushi Wakahara（Univ. of Tokyo）

IN-70. パーソナルデータ保護活用における高速な秘匿共通集合演算の実装と評価

○石井 淳・前大道浩之・依田育生（NTT）

IN-71. 医療・健康データのセキュアな保存・検索方式—Secure EHR の構築に向けて—

○真野拓也・川原崎雅敏（筑波大）

IN-72. ID・認証管理機能の最適化と汎用化に向けた一考察

○西亀健太・片山忠則・水谷祥史（NTT コミュニケーションズ）

8日午前 センサ NW（会場1）（9：00～10：20）

NS-1. Wireless Sensor Networks において Query Tree algorithm を用いた RFID タグ検知時における HSN ノードの多層配置及び検知済タグの事前通知方式

○宮川卓也・原 進一郎・小泉達也・笹瀬 巖（慶大）

NS-2. モバイル端末を用いた参加型センシングのためのセンサ情報蓄積手法の提案と評価

○丹羽絢也・岡田和也・奥田 剛・門林雄基・山口 英（奈良先端大）

NS-3. 情報収集型無線センサネットワークにおける耐故障性を考慮した迂回マルチパス型情報収集プロトコルの提案

○藤田圭佑・高木由美・太田 能・玉置 久（神戸大）

NS-4. バッテリ長寿命化のためのセンサネットワーク設計問題

○小野司郎・巳波弘佳（関西学院大）・羽田明生・土屋隆司（鉄道総研）

車々間（会場1）（10：30～11：50）

NS-5. 車載デバイス・ネットワーク方式の提案

○西山博仁・徳永雄一・守田圭佑（三菱電機）

NS-6. 車載デバイス・ネットワーク方式の遅延性能評価

○守田圭佑・西山博仁・千田修一郎・徳永雄一（三菱電機）

NS-7. 車載デバイス・ネットワーク方式の遅延性能解析

○千田修一郎・守田圭佑・西山博仁・徳永雄一（三菱電機）

NS-8. 車載装置向けデバイス制御用ソフトウェア追加方法

○伊藤益夫・徳永雄一（三菱電機）

8日午後 車々間・無線マルチホップ（会場1）（13：00～14：20）

NS-9. An Efficient Flooding Scheme for V2V Communications Considering Intersections of Urban Area

○Ke Cao・Atsushi Kinoshita・Yumi Takaki・Chikara Ohta・Hisashi Tamaki（Kobe Univ.）

NS-10. 都市環境を想定したシミュレーションによる車々間情報配信手法の性能評価

○木下敦志・曹 軻・高木由美・太田 能・玉置 久（神戸大）

NS-11. 車々間通信システムを利用したアドホックネットワーク構築の可能性—大規模災害時急性期用暫定情報配信経路確保の実現にむけて—

嶋津恵子（慶大）

NS-12. 無線マルチホップ型スマートメータのためのデータ連結転送方式の検討

○石崎誠人・野林大起・池永全志（九工大）

午後 無線 マルチホップ（会場1）（14：30～16：10）

NS-13. MANET における主経路の局所補間マルチパスルーティング方式

○神子島俊昭・高見一正（創価大）

NS-14. MANET における伝搬遅延推定に基づく Opportunistic Routing

○山本 嶺（早大）・山崎 託・三好 匠（芝浦工大）・田中良明（早大）

NS-15. 無線伝送路の空間相関を考慮したメッシュ型マルチパスルーティング

○山本航平・松田崇弘・滝根哲哉（阪大）

NS-16. 無線マルチホップネットワークにおける信頼度情報に基づくルーティング手法の一検討

○小原一哉（阪大）

阿部洋丈（筑波大）・馬場健一・下條真司（阪大）

NS-17. 電波干渉モデルが IEEE 802.16j リレーネットワークの

性能に与える影響 ○三根量輔・長谷川 剛・谷口義明・中野博隆 (阪大)

8 日午前 モバイル NW (会場 2) (9:00~10:20)

NS-18. モバイル端末における RRC 状態遷移に伴う通信遅延を考慮したメッセージ配信方式の提案 ○城島貴弘・大西健夫 (NEC)

NS-19. モバイル環境における TCP を用いたインタラクティブ通信の性能改善技術の検討
○小口直樹 (総研大/富士通研)・阿部俊二 (NII)

NS-20. MDT における QoE に基づくログ収集手法
○泉川晴紀 (KDDI 研)・安永隆一・鯨井勝弘・寺地重巡・白井良和 (KDDI エンジニアリング)・小林 直・杉山敬三 (KDDI 研)

NS-21. 次世代音声コーデックを用いた VoLTE サービスの既存網とのインターワーキングに関する一検討 ○三田貴子・江原宏幸 (パソニック)

移動管理 (会場 2) (10:30~11:50)

NS-22. 多様なアクセス網を想定した軽量な移動管理方式の考察
○東 信博・松本 実・辻河 亨・安川正祥・則武克誌 (NTT)

NS-23. 低移動性端末の効率的な移動管理・通信制御方式の検討・評価
○馬場宏基・松本 実・安川正祥・則武克誌 (NTT)

NS-24. サーバ移動サービスにおける最適サーバ配置
○福島行信 (岡山大)・村瀬 勉 (NEC)・横平徳美 (岡山大)・須田達也 (Univ. Netgroup)

NS-25. サーバ移動サービスにおける移動先決定アルゴリズム—複数サーバ移動の場合— ○山中麻人・福島行信 (岡山大)・村瀬 勉 (NEC)・横平徳美 (岡山大)・須田達也 (Univ. Netgroup)

8 日午後 CCN (会場 2) (13:00~14:20)

NS-26. ツリー型コンテンツセントリックネットワークにおける経路情報集約方式
○植田一暁・山下雄規 (京大)・朝香卓也 (首都大東京)・高橋達郎 (京大)・松原大典 (日立)

NS-27. コンテンツ指向ネットワークにおけるインネットワーク誘導拡張方式の相互作用に関する評価 柳生智彦 (NEC)

NS-28. Video Streaming over Content Centric Networking: Experimental Studies on PlanetLab ○Suphakit Awiphan・Takeshi Muto・Yu Wang・Zhou Su・Jiro Katto (Waseda Univ.)

NS-29. トランジットコスト削減のための ISP 間協調に基づく CCN キャッシュ共有手法 ○松田一仁・長谷川 剛・村田正幸 (阪大)

8 日午後 映像配信・キャッシュ (会場 2) (14:30~16:10)

NS-30. 仮想化無線 AP を用いて網内アドタゲティングを実現するための新しい設計手法と性能評価 ○西田祐二・中尾彰宏 (東大)

NS-31. タイムザッピングサービスのためのキャッシュ制御方式の検討 ○竹内真也・黄 民錫・金子 豊・砂崎俊二 (NHK)

NS-32. 蓄積型コンテンツ配信ネットワークの有効性に関する検討
○山下誉幸 (関西大)・柳生智彦 (NEC)・山本 幹 (関西大)

NS-33. キャッシュネットワークにおける複数 Breadcrumbs の検討
○神藤慎二・三原大輝・山本 幹 (関西大)

NS-34. 容量を考慮したキャッシュ配置に基づくクエリ誘導方式
○堂 佳介・巳波弘佳 (関西学院大)

8 日午前 MPLS・ルーチング (会場 3) (9:00~10:20)

NS-35. ツリー上に多数のデータ源を配備する多対多共有マルチキャストツリー構築法 ○張 善明・竹下秀俊 (慶大)・栗本 崇 (NTT)・岡本 聡・山中直明 (慶大)

NS-36. 位置依存マルチキャストアドレスの経路集約効果
○岡田和也・奥田 剛・山口 英 (奈良先端大)

NS-37. MPLS-TP P2MP LSP を利用したダイナミックマルチキャスト配信 ○石川貴彦・大内宏之・岩井隆典・濱野貴文・並木雅俊 (NTT)

NS-38. マルチパス転送における順序整理バッファを考慮した経路選択アルゴリズムの数値解析と性能評価 ○吉永祐太・嶋村昌義・飯田勝吉 (東工大)

OpenFlow (会場 3) (10:30~11:50)

NS-39. マルチドメイン OpenFlow ネットワークにおけるフローの一貫性維持方法に関する一検討 ○芦田優太・小出俊夫・下西英之 (NEC)

NS-40. IP・OpenFlow ハイブリッド環境における経路制御方式の検討 ○北田裕之・小島久史・高谷直樹・松林泰則 (NTT)

NS-41. OpenFlow による移動端末通信制御のスケラビリティ向上方式とその実装 ○飯星貴裕・渡邊義和・森田 弦・才田好則・狩野秀一 (NEC)

NS-42. In-network Cache を利用したマルチキャスト配信システムの OpenFlow による実装 ○川住 涼・廣田悠介 (阪大)・戸出英樹 (阪府大)・村上孝三 (阪大)

8 日午後 ネットワーク分析・理論 (会場 3) (13:00~14:20)

NS-43. 包含階層に着目したインターネットポロジの成長の分析
○中田 侑・荒川伸一・村田正幸 (阪大)

NS-44. 大規模ネットワークにおけるログ情報の可視化
○木村達明・森 達哉・豊野 剛・石橋圭介・塩本公平 (NTT)

NS-45. 故障時においてもサーバへの可到達性を保障し距離増大を抑制する高信頼リンク決定法
○前田奈緒・巳波弘佳 (関西学院大)

NS-46. 2 リンク同時故障に対してサーバへの可到達性を高く保つ保護リンク決定法 ○今川廣二・巳波弘佳 (関西学院大)

DTN (会場 3) (14:30~15:50)

NS-47. DTN における Erasure code を用いた情報共有プロトコル
○山下雄規・植田一暁・新熊亮一 (京大)・朝香卓也 (首都大東京)・高橋達郎 (京大)

NS-48. 異種無線網連携による効率的なデータ転送方式の検討と評価
山村新也 (富士通九州ネットワークテクノロジ)

NS-49. Underwater Sensor Network における DTN ルーティングの一検討 ○山崎唯史・高野淳宏・甲藤二郎 (早大)・近藤逸人 (東京海洋大)

NS-50. Underwater Sensor Network における AUV 移動とデータ送信を用いた消費エネルギーの削減 ○高野敦宏・甲藤二郎 (早大)・近藤逸人 (東京海洋大)

8 日午前 クラウド (会場 4) (9:00~10:20)

NS-51. OpenStack を用いた複数データセンターにおける運用管理手法の評価 ○池田泰明・毛受 崇・山本恭弘・浦賀雅博 (NTT 西日本)

NS-52. 仮想 L2 ネットワークと連携した仮想デスクトップサービスの運用管理に関する考察 ○有道啓史・田島佳武・横関大子郎・坂井 博 (NTT)・青木道宏・漆谷重雄 (NII)

NS-53. クラウド環境での企業向け ID 管理に関して
○岩淵琢磨・後藤厚宏 (情報セキュリティ大)

NS-54. ネットワーク内遊休計算資源における最適利用数の動的

予測を用いた複数情報同時探索スケジューリング手法
○三浦 力・菅原真司・石橋 豊 (名工大)
オーバーレイ (会場 4) (10:30~11:50)
NS-55. パケット損失制御による P2P 形トラヒック局在化手法
とその評価 ○水谷光貴・三好 匠 (芝浦工大)
NS-56. ALM における予期しないノード離脱に対する影響を軽
減した経路構築手法の提案 ○木村大樹・
高橋信行 (公立はこだて未来大)
NS-57. 大規模なノード離脱に耐性のある重畳クラスタ木型動画
配信システム ○元橋智紀・藤本章宏・廣田悠介 (阪大)・
戸出英樹 (阪府大)・村上孝三 (阪大)
NS-58. AS 間接続関係を用いたオーバーレイネットワークの可視
化 ○宮村(中村) 浩子 (原子力研)・Hsiang-Yun Hu・
吉田雅裕 (東大)・大坐畠 智 (電通大)・中尾彰宏・
高橋成雄 (東大)
8 日午後 ネット設計 信頼性 (会場 4) (13:00~14:20)
NS-59. 故障時の通信経路長増加を抑制する高信頼リンク決定法
○西田幸平・巳波弘佳 (関西学院大)
NS-60. ノード破壊によるネットワーク分断を抑制する保護ノ
ード決定法 ○松井知美・山本真也・巳波弘佳 (関西学院大)
NS-61. 生物ネットワークの特性に基づく情報ネットワークシス
テム冗長化手法 ○岡崎拓郎・長谷川 剛・村田正幸 (阪大)
NS-62. 大規模故障後の効率的な通信路復旧を実現する波長パス
設定順序決定法の検討 ○鎌村星平・島崎大作・宮村 崇・
笹山浩二 (NTT)
ネット設計 マルチレイヤ (会場 4) (14:30~16:10)
NS-63. Virtual Network Topology Designs and Evaluations
○Taiju Mikoshi・Toyofumi Takenaka (Nihon Univ.)・
Ryuta Sugiyama・Akeo Masuda・Kohei Shiimoto・
Atsushi Hiramatsu (NTT)
NS-64. 耐故障性を備えたマルチレイヤネットワークの設計手法
と評価 ○大室陽貴・見越大樹・竹中豊文 (日大)
NS-65. サーバ障害を考慮したデータセンタ高信頼化設計法
○小倉敬司・巳波弘佳 (関西学院大)
NS-66. ネットワーク省電力化を実現するマルチレイヤ設計技術
○今井悟史・山田亜紀子・宗宮利夫 (富士通)
NS-67. アトラクタ選択法を用いた光バストポロジ決定アルゴリ
ズムの検討 ○島崎大作・鎌村星平・宮村 崇 (NTT)・
小泉佑揮・荒川伸一 (阪大)・笹山浩二 (NTT)・
村田正幸 (阪大)
8 日午前 SIP サーバ (会場 5) (9:00~10:20)
NS-68. NGN ASF & SSF のソフトウェア構成法
○松本友里・原 大輔・榎渕健一・金丸 翔・
堀川健史 (NTT)
NS-69. NGN ASF & SSF におけるサービス毎リソース制御方式
○榎渕健一・原 大輔・金丸 翔・松本友里・
堀川健史 (NTT)
NS-70. IP 電話網で用いる制御信号プロトコル群の解析手法に
関する検討 ○永瀬高志・小林丈朗・三輪直人 (NTT 西日本)
NS-71. Predictive Discarding of SIP Registration for Fast
Service Recovery ○Takeshi Usui (NICT)・
Takeshi Kubo (KDDI)・Kohei Sugiyama・
Atsushi Tagami (KDDI Lab)・Nozomu Nishinaga (NICT)
自律分散 (会場 5) (10:30~11:50)
NS-72. MapReduce による大規模分散システムのシミュレ
ーション ○杉野好宏・華井雅俊・首藤一幸 (東工大)

NS-73. Simulation of Large-Scale Distributed Systems with a
Distributed Graph Processing System ○Masatoshi Hanai・
Kazuyuki Shudo (Tokyo Inst. of Tech.)
NS-74. ハイブリッド型 Peer-to-Peer ネットワークにおける共
有コンテンツの分割と更新差分を用いた効率的なバージョン管
理手法 ○林 利信・菅原真司・石橋 豊 (名工大)
NS-75. 非構造化 Peer-to-Peer ネットワークにおける自律的な
管理領域の分割を用いた情報探索手法 ○山本貴之・
菅原真司・石橋 豊 (名工大)
8 日午後 セキュリティ分析 (会場 5) (13:00~14:20)
NS-76. ベイジアンネットに基づくプライバシーを保護した情報
推薦モデルの評価 ○伊藤道臣・西園敏弘 (日大)
NS-77. ユーザ履歴情報の分散管理に基づくプロバイダ間連携に
よるプライバシー保護 ○松崎大樹・西園敏弘 (日大)
NS-78. センサデータを活用する社会に向けたプライバシーに係
る課題の多角的考察 ○麻生享路・後藤厚宏 (情報セキュリティ大)
NS-79. セキュリティ対策の企業間情報連携サービスに関する検
討 ○長内 仁・後藤厚宏 (情報セキュリティ大)
セキュリティ ソフトウェア (会場 5) (14:30~15:50)
NS-80. Android アプリケーション利用の安全性を高めるアプリ
ケーション動作の「見える化」 ○林 里香・
後藤厚宏 (情報セキュリティ大)
NS-81. 解析済みマルウェアとの差分抽出による静的解析の効率
化手法の提案 ○羽田大樹・後藤厚宏 (情報セキュリティ大)
NS-82. ソーシャル情報を用いたコミュニティセンシングシス
テムにおける提供情報の匿名化と高精細化の両立に関する研究
○長谷川洋佑・飯田勝吉 (東工大)
NS-83. IP アドレス解放後の送信者詐称攻撃の防御を目的とす
る DHCP の拡張方式のプロトタイプ実装と評価
○大石真央・大溝拓也・飯田勝吉 (東工大)
8 日午前 分散技術 (会場 6) (9:00~10:20)
IN-84. Zipf 分布型の処理要求に適したスケールアウト手法にお
ける負荷分散と記憶域擬似最小化 ○山下高生・栗田弘之・
高田直樹・南 拓也・太田賢治 (NTT)
IN-85. ボルツマン分布の特性に基づいたシステム局所化と均一
化の調和を実現する自律分散的秩序形成技術 ○作元雄輔・
会田雅樹 (首都大東京)・下西英之 (NEC)
IN-86. 消費電力とデータ転送効率に基づく自律分散的に構成し
たクラスタの評価 ○濱本 亮・高野知佐 (広島市大)・
会田雅樹 (首都大東京)・石田賢治 (広島市大)
IN-87. 自律分散的構造形成技術が形成するクラスタ構造の漸近
安定性を保証する為の自律調整機構 ○高山裕紀・
会田雅樹 (首都大東京)
通信プロトコル・信頼性 (会場 6) (10:30~11:50)
IN-88. DNS を用いる利用が容易で高信頼な通信ノード情報提供
方式 ○北村 浩 (NEC/電通大)・阿多信吾 (阪市大)・
村田正幸 (阪大)
IN-89. WAN 高速化に適した高速転送プロトコルの提案と評価
○亀山裕亮・佐沢真一・佐藤裕一 (富士通研)
IN-90. WAN 環境向け高速転送プロトコルのシンクライアント
適用と評価 ○島田大地・亀山裕亮・佐沢真一・
佐藤裕一 (富士通研)
IN-91. WAN 高速化技術における高速通信プロトコルの適応的
選択による性能改善技術の検討 ○武藤亮一・小口直樹・
高野陽介・朝永 博 (富士通研)
8 日午後 仮想化・運用 2 (会場 6) (13:00~14:20)

IN-92. IPv6 ネットワークとセッション変動型アドレスの併用による安全なコンテンツ指向ネットワークの実現

○阿多信吾 (阪市大)・

北村 浩 (NEC/電通大)・村田正幸 (阪大)

IN-93. 仮想マシン起動時間に対する支配要素の特定と、起動時間短縮手法の提案 ○近藤 毅・首藤裕一・波戸邦夫 (NTT)

IN-94. マルチテナント型データセンタにおける性能と耐障害性を考慮した仮想化ネットワーク配置方式

○小川祐紀雄 (日立)・長谷川 剛・村田正幸 (阪大)

IN-95. 汎用仮想ノードによる SpringOS の動的実験規模拡張

○知念賢一・篠田陽一 (北陸先端大)

NW 運用 (会場 6) (14:30~15:50)

IN-96. 災害時の道路網変化を考慮した Virtual Segment 方式におけるベースノード復旧順序決定法 ○辻 広志・

巳波弘佳 (関西学院大)

IN-97. 再生可能エネルギーを用いた災害に強いネットワーク構成の検討 ○田中貴大・相田 仁 (東大)

IN-98. Failure Detection and Recovery Mechanism in Multi-homed HIMALIS Network ○Ved P. Kafle・

Yusuke Fukushima・Hiroaki Harai (NICT)

IN-99. 階層的な適応型経路制御における階層間相互作用に関する検討 ○山本 宏・若宮直紀・村田正幸 (阪大)

8 日午前 トラヒック理論 (会場 7) (9:00~10:20)

IN-100. 多項式近似とスプライン近似を用いた通信路推定の SC-FDMA への適用 渡邊郁大 (電通大)

IN-101. GI/GI/1 待ち行列における待ち時間の分散近似式に関する一考察 ○田村健範・星 健太郎・甲藤二郎 (早大)

IN-102. 能動的適応制御型待ち行列 (AACQ) の評価一検知・制御パラメータ ○山中慧太・能上慎也 (東京理科大)

IN-103. ペイメントを考慮した Jockeying のある待ち行列システムの評価 ○米倉沙紀・能上慎也 (東京理科大)

品質制御 (会場 7) (10:30~11:50)

IN-104. マルチレート無線 LAN 環境における Video フローの通信品質を保証するアクセスポイント選択方式 ○山下 豊・

阪田史郎・塩田茂雄 (千葉大)・村瀬 勉 (NEC)・

小室信喜 (千葉大)

IN-105. 無線 LAN の協調動作による無線資源の効率利用手法の検討 中村信之 (OKI)

IN-106. 帯域が異なるフローへのノード毎に異なる優先度付与方式 ○林 裕平・山岡克式 (東工大)

IN-107. 結合振動子のカオスを利用した送信レート制御における隣接条件及びパラメタ設計 ○蛸名俊之介・

高橋友里 (首都大東京)・高野知佐 (広島市大)・作元雄輔・

会田雅樹 (首都大東京)

8 日午後 トラヒック制御 (会場 7) (13:00~14:20)

IN-108. モバイルクラウド環境におけるリソース最適化のための TCP スループット予測 ○富田千智・外山将司・

赤間浩樹 (NTT)

IN-109. TCP スループット予測技術の映像ストリーミング制御への応用とその評価 ○吉田裕志・里田浩三 (NEC)

IN-110. パーストセンサデータ配送プロトコル NeBuST の性能評価 ○兼子佑樹・松垣博章 (東京電機大)

IN-111. 6LowPAN の経路制御プロトコル RPL による間欠動作を考慮した低遅延経路構築手法 ○香川翔一・阪田史郎・

小室信喜 (千葉大)

コンテンツ配信・制御 (会場 7) (14:30~16:10)

IN-112. コンテンツ利用行動に基づく事前配信手法の検討

○横田将裕・竹下 恵・西松 研・長谷川治久 (NTT)

IN-113. 共同体験型コミュニケーションサービスにおけるコンテンツ同期配信方式 ○大塚雅博・水野 修 (工学院大)

IN-114. jQuery を活用したモバイルコンテンツとデスクトップコンテンツの共有化手法 ○永塚優輝・

坂本直志 (東京電機大)

IN-115. 複数カメラ環境における ROI を利用した遠隔 Visual Feedback 制御 ○工藤 裕・高杉耕一・筒井章博・

依田育生 (NTT)

IN-116. CMS と連携する講義室内ネットワーク制御システムの開発 ○足立絃亮・牛込翔平・園生 遥・國宗永佳・

新村正明 (信州大)

8 日午前 位置情報 (会場 8) (9:00~10:20)

IN-117. 災害時避難誘導システムにおける最速避難経路決定問題 ○高山祐紀・巳波弘佳 (関西学院大)

IN-118. ヒューマンモビリティモデルに基づく移動経路特性推定法 ○奥 康治・藤原明広・巳波弘佳 (関西学院大)

IN-119. 端末間の協調連携による地下街での位置推定法

○山口貴広・高見一正 (創価大)

IN-120. 無線センサネットワークにおける画像転送のための動的タイムスロット割当て方式 ○長井亮介・阪田史郎・

小室信喜 (千葉大)

センサ NW2 (会場 8) (10:30~11:50)

IN-121. 実環境における無線センサネットワークを使用した位置推定アルゴリズムの評価 堀内 崇 (電通大)

IN-122. すれちがい通信を利用した避難誘導における混雑地周辺での迂回経路選択の影響 ○藤原明広・

巳波弘佳 (関西学院大)

IN-123. 圧縮センシングを用いた土壌水分モニタリングのセンサノードへの実装と土壌水分センサの性能比較

○佐々木達哉・鈴木 有・川原圭博・浅見 徹 (東大)

IN-124. 時系列センサデータを用いたトマト群落内光透過率の可視化 ○下城拓也・森戸 貴・鈴木 誠・

李 斗煥 (東大)・近藤 勇・福田直也 (筑波大)・

森川博之 (東大)

☆NS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

4 月 18 日 (木), 19 日 (金) 輪島商工会議所 [締切済] テーマ: トラヒック, NW 評価, 性能, リソース管理・制御, トラヒックエンジニアリング, NW 信頼性・レジリエンシ, 一般

5 月 16 日 (木), 17 日 (金) 総研大 [未定] テーマ: 高度プロトコル・ネットワーク技術 (IP 及び高位レイヤルーティング・フィルタリング, マルチキャスト, 品質・経路制御, IPNW の利用技術 (P2P, P4P, オーバレイ, SIP, NGN), ネットワークシステム関連技術 (システム構成法, インタフェース, アーキテクチャ, ハードウェア・ソフトウェア・ミドルウェア), 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

NS 研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: ns-secretariat@mail.ieice.org

武田知典 (NTT) TEL [0422] 59-7434

栗本 崇 (NTT) TEL [0422] 59-3121

◎最新情報は, NS 研ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/ns/jpn/>

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

☆IN 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

4月18日(木), 19日(金) 京都府中小企業会館 [締切済]

テーマ: ホームネットワーク, グリーン・省電力 ICT, スマートグリッド, 省エネルギー, 障害対策・BCP, データ分析・処理基盤, ビッグデータ及び一般

5月16日(木), 17日(金) 機械振興会館 [3月4日(月)]

テーマ: ワイヤレスインターネット, マルチホップネットワーク, メッシュネットワーク, ネットワーク符号化, クロスレイヤ技術, 無線通信及び一般

6月20日(木), 21日(金) 福井大 [4月5日(金)]

テーマ: Web サービス/ SOA/ ROA 基盤, ソーシャルネットワーク (SNS), 認証/ ID 管理, ネットワークコーディング, データ分析・処理基盤及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

IN 研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: in_ac-kanji-2007@mail.ieice.org

堀 賢治 (KDDI 研)

TEL [049] 278-7651, FAX [049] 278-7510

田坂和之 (KDDI 研)

TEL [049] 278-7574, FAX [049] 278-7510

◎IN 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/in/jpn/>

◎なお、原稿の締切日を過ぎますと技報への掲載ができなくなり、原稿なしでの御発表となります。プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

★ライフインテリジェンスとオフィス情報システム研究会(LOIS)

専門委員長 若原俊彦 副委員長 岡本 学

幹事 杵渕哲也・山元規靖 幹事補佐 茂木 学

日時 3月7日(木) 9:10~17:00

8日(金) 9:10~17:00

会場 宮古島マリナーターミナル2階大研修室(宮古島市平良字下里108-11. 山元規靖(福岡工大))

議題 ライフログ活用技術, オフィスインフォメーションシステム, ライフインテリジェンス, 及び一般

7日 センサネットワークとログ記録

1. 圃場管理のためのフィールドセンサー情報のグラフ化とアラート機能の開発 ○藤井宏次朗・渡邊修平・村上幸一(香川高専)

2. 遺伝的アルゴリズムを用いたオープンソースソフトウェアの自動パフォーマンス・チューニング手法の提案 ○菅生瑞稀・村上幸一(香川高専)

3. Coretex-M4F と MAD-SS を使用した長距離通信可能なセンサーノードの開発 ○澤田直哉・瀬川典久・澤本 潤・杉野栄二(岩手県立大)・玉置晴朗・矢澤正人(数理設計研)・後閑政昭(岩手県立大)

4. 異種データベースの仮想化技術—NoSQL データベース Cassandra の仮想化— ○杉山暢彦・澤本 潤・杉野栄二・瀬川典久(岩手県立大)

画像ログ

5. 被写体と閲覧者の親密度を考慮した開示制御の提案

○小西葉月・小松知世・長竹祐美子・白鷹靖子・小館亮之(津田塾大)・茂木 学・深山 篤・下村道夫(NTT)

6. 写真共有サービスにおける共有写真の選択支援についての提案

○白鷹靖子・小西葉月・小松知世・長竹祐美子・小館亮之(津田塾大)・茂木 学・深山 篤・下村道夫(NTT)

7. 閲覧ログを利用した写真閲覧者の行動評価に関する研究

○小松知世・白鷹靖子・小西葉月・長竹祐美子・小館亮之(津田塾大)・茂木 学・深山 篤・下村道夫(NTT)

8. 個人の食事画像ログに特化したメニュー認識

○杉山春樹・相澤清晴(東大)・小川 誠(foo.log)

9. 類似食事検出のための画像クラスタリング ○天野宗佑・相澤清晴(東大)・佐藤陽平・小川 誠(foo.log)

7日午後 システム応用

10. システム運用管理における修正した運用フローの運用設計へのフィードバック ○柳瀬隆史・小野寺佐知子・難波 功(富士通研)

11. SCM における配送センターの有効性について

○多田純一・能上慎也(東京理科大)

12. 店舗の需要予測のための人の商品選択モデルの構築

○藤田真理奈・河本 健・相菌敏子・荒 宏視(日立)

個人情報保護と匿名化技術

13. 在宅医療介護情報連携システムにおける連結可能匿名化とハイブリッド暗号方式を組み合わせたセキュアな個人情報管理手法

○立田太一・溝口 航・白石善明・矢口隆明・岩田 彰(名工大)

14. PHR における秘密分散を用いた医療消費者主導型開示先制御

○溝口 航・立田太一・白石善明・矢口隆明・岩田 彰(名工大)

15. 秘密計算上の関係代数演算アルゴリズムの改良

○濱田浩気・五十嵐 大・千田浩司(NTT)

16. 既知データ分布に対する個人情報保護を考慮したユーザ参加型センシングに関する検討

○青木俊介・岩井将行・瀬崎 薫(東大)

17. 攪乱再構築法による電力データの高度匿名化

○菊池 亮(NTT)・長谷川 聡(筑波大)・五十嵐 大(NTT)

ソーシャルメディア

18. 情報セキュリティ行動をツイートする情報共有システムの検討

○原 賢・三浦大樹(電通大)・関 良明(NTT)・諏訪博彦(電通大)

19. 情報セキュリティ行動をツイートする情報共有システムの実装

○三浦大樹・原 賢(電通大)・関 良明(NTT)・諏訪博彦(電通大)

20. What Does the Chirping Tell Us? Summarizing People's Opinion on Ongoing Events Using Tweets

○Khan Muhammad Asif Hossain・Guangwen Liu・Masayuki Iwai・Kaoru Sezaki(Univ. of Tokyo)

8日午前 ログ活用

1. コンテキストを含めた辞書引き履歴活用方法の検討—1. 履歴記録ツールの設計と実装—

○吉田 葵・中濱亜耶・大塚亜未・青柳龍也(津田塾大)

2. コンテキストを含めた辞書引き履歴活用方法の検討—2. 語彙学習のためのフラッシュバックシステム— ○中濱亜耶・吉田 葵・大塚亜未・青柳龍也 (津田塾大)
3. コンテキストを含めた辞書引き履歴活用方法の検討—3. 英単語復習エージェントの提案— ○大塚亜未・吉田 葵・中濱亜耶・青柳龍也 (津田塾大)
4. カテゴリ階層型検索におけるキーワード抽出手法の高精度化 ○横 俊孝・若原俊彦 (福岡工大)
- ログ分析と推定 (10:40~12:00)
5. モニター調査型ログ収集による競合サイト間の比較分析 ○藤村 滋・塩原寿子・内山 匡 (NTT)
6. ユーザ間の新聞記事推薦ログを活用したインフルエンサ推定方法の研究 ○佐藤 妙・伊藤浩二・藤田将成・小林 稔 (NTT)
7. 携帯端末用日本語入力システムの予測入力に位置情報を用いる有効性の検討 ○足澤 憲・澤本 潤・杉野栄二・瀬川典久 (岩手県立大)
8. 観光行動分析における個人の趣向や属性が与える影響について—沖縄県における外国人観光客移動データの分析— ○披田野清良・大木哲史 (早大)
- 8日午後 ライフログ (12:40~)
9. 認知症高齢者向けライフログをベースとした傾聴支援システムの検討 ○松山陽子・佐藤生馬・藤野雄一 (公立はこだて未来大)
10. 子育て支援のための乳児のライフログに関する研究 ○金澤莉奈・佐藤生馬・藤野雄一 (公立はこだて未来大)
11. ライフログの構造化とナビゲーション 寺岡照彦 (ヤフー)
12. 他者のライフログからの類似した印象を持つイベント抽出法の検討 ○濱野和人・藤岡大輔・原 直・阿部匡伸 (岡山大)・望月理香・渡部智樹 (NTT)
13. GPS データから抽出した滞在地のネットワークにおける個人の特徴分析 ○藤岡大輔・原 直・阿部匡伸 (岡山大)
- セキュリティ
14. トラフィックデータを対象とした N-gram 確率密度を用いたマルウェア感染検知手法に関する一検討 ○川元研治 (早大)・市野将嗣・大月優輔 (電通大)・畑田充弘 (NTT)・吉浦 裕 (電通大)・甲藤二郎 (早大)
15. 標的型メール対策システムの振る舞いと表現の検討 ○片山佳則・吉岡孝司・寺田剛陽・森永正信・津田 宏 (富士通研)
16. 生体認証における2次のRenyiエントロピーに基づく情報量評価尺度の解釈 ○赤尾直彦・披田野清良 (早大)
17. スマートフォンにおける利用環境に応じた機能制御機構の実装と評価 ○佐藤亮太・知加良 盛・奥田哲矢・栢口 茂 (NTT)
- ネットワーク活用
18. 印刷された識別子と携帯情報機器を用いた避難所等用情報管理支援 中山 健 (津田塾大)
19. 学会における参加者同士のコミュニケーション促進システムの構築 ○仙道 航・瀬川典久・澤本 潤・杉野栄二 (岩手県立大)
20. 個人運用音楽配信サイトの構築と運用 檜垣泰彦 (千葉大)
- ◎7日の研究会終了後、18:00より懇親会を予定していますので、御参加下さい。

【問合先】

山元規靖 (福岡工大情報工学部)

告 36

〒811-0295 福岡市東区和白東 3-30-1

FAX [092] 606-0758

E-mail: nori@fit.ac.jp

★イメージ・メディア・クオリティ研究会 (IMQ)

専門委員長 会津昌夫 副委員長 堀田裕弘・山田光穂
幹事 杉山賢二・中口俊哉 幹事補佐 杉本 修・前田 充

★コミュニケーションクオリティ研究会 (CQ)

専門委員長 山崎達也 副委員長 高橋 玲・板倉英三郎
幹事 布目敏郎・岡本 淳 幹事補佐 立花篤男

★画像工学研究会 (IE)

専門委員長 如澤裕尚 副委員長 藤井俊彰・井口和久
幹事 内藤 整・久保田 彰 幹事補佐 浜本隆之・坂東幸浩

★マルチメディア・仮想環境基礎研究会 (MVE)

専門委員長 柳田康幸 副委員長 小林 稔
幹事 井手一郎・蔵田武志・米澤朋子
幹事補佐 三上 弾・杉本麻樹・酒田信親

★福祉情報工学研究会 (WIT)

専門委員長 大倉典子 副委員長 井野秀一
幹事 縄手雅彦・渡辺寛望・若月大輔
幹事補佐 酒向慎司・和田親宗・前田義信

◎本研究会はIMQ/IE/MVE/WIT (共催) 研究会とCQ研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 3月11日 (月) 9:20~17:30

12日 (火) 9:45~16:35

会場 福岡工業大学 (福岡市東区和白東 3-30-1. JR 鹿兒島本線: 福工大前駅, 福工大口から徒歩5分. <http://www.fit.ac.jp/daigaku/gaiyo/koutsu> TEL [092] 852-3460 (代表) 有田大作 (九州先端科学技研))

議題 メディア・コミュニケーションの品質と福祉、及び一般
11日午前 MVE(1): ナビゲーション・センシング (9:20~11:00)

MVE-1. 歩行時における仮現運動を利用した振動刺激提示手法の提案 ○大地 徹・柳田康幸 (名城大)

MVE-2. 白杖歩行と盲導犬歩行における音声ナビの役割—歩行訓練支援に向けて— ○蔵田武志・関 喜一・

興梠正克 (産総研)・石川 准 (静岡県立大)

MVE-3. 指先皮膚温度変化に基づく集中度推定方法に関する一考察 ○新島有信・藪内 勉・篠原章夫・小林 稔 (NTT)

MVE-4. 深度センサによる高齢者の見守りシステム ○黒澤 瞬・渋沢 進 (茨城大)

IMQ(1) (9:20~11:00)

IMQ-5. HDR 画像客観評価方法の主観評価実験による検証 ○本土雄大・相良直哉・杉山賢二 (成蹊大)

IMQ-6. 映像視聴時における複数の生体信号を用いた感情の推定 ○大谷琢哉・工藤博章・松本哲也 (名大)・

竹内義則 (大同大)・大西 昇 (名大)

IMQ-7. 色覚異常者の混同色の測定によるモニタの色合い補正 ○高木啓貴・工藤博章・松本哲也 (名大)・

竹内義則 (大同大)・大西 昇 (名大)
IMQ-8. 4K テレビ観視時の臨場感の主観品質とその構成要素に関する検討 ○杉本 修・内藤 整 (KDDI 研)
IE(1) (9:45~11:00)
IE-9. 複数の視点固定型パン・チルト・ズームカメラを用いた不審者検出法に関する研究 溝口慶範 (早大)
IE-10. ベイジアンネットワークを用いた店舗内における消費者の行動認識に関する研究 ○鄭 曜・大谷 淳 (早大)
IE-11. Local Binary Pattern 特徴量を用いた AdaBoost による顔検出手法の検討 ○飯田裕介・丸田英徳・黒川不二雄 (長崎大)
MVE(2)/CEA(1): 食メディア (調理支援) (11:10~12:25)
MVE-12. 直感的刺激に基づき共同注意を促す Cooking Assistant Robot ○佐野睦夫・金元優香・野田尚吾・宮脇健三郎 (阪工大)・福留奈美 (お茶の水女子大)
MVE-13. カメラと荷重センサの統合による机上物体に対するハンドリング開始・終了の検出 ○安岡竜太・橋本敦史・船富卓哉・美濃導彦 (京大)
MVE-14. 調味料使用量の自動計測システムの開発及び評価 ○中村和晃 (阪大)・船富卓哉・橋本敦史 (京大)・上田真由美 (流通科学大)・美濃導彦 (京大)
IMQ(2) (11:10~12:25)
IMQ-15. 画素解像度の違いが主観的印象に与える影響 ○林 亮輔・堀田裕弘 (富山大)
IMQ-16. 画素解像度の違いにより得られた主観的印象の日中比較 ○劉 芳芳・林 亮輔・堀田裕弘 (富山大)
IMQ-17. 符号化動画の主観的心理因子と生体情報との関連性 ○堀田裕弘・砂原一輝・上田愛美・田村隆行・高本考一・西条寿夫 (富山大)・杉本 修 (KDDI 研)
IE(2) (11:10~12:25)
IE-18. 旅行地のイメージに基づく旅行検索システムの開発と評価 ○金澤裕也 (慶大)・日高洋祐 (JR 東日本)・小川克彦 (慶大)
IE-19. 機械学習による劣化ナンバープレート数字認識の方法と性能比較 福谷祐貴・青木健太郎・福水洋平・山内寛紀 (立命館大)
IE-20. サポートベクターマシンを用いた Depth 動画からの寝返り判定に関する基礎的検討 ○峰崎雄大・大谷 淳 (早大)
11 日午後 MVE(3)/CEA(2): 食メディア (レシピ) (13:40~14:50)
MVE-21. 料理レシピの補足情報における味に関するコツの抽出 ○横井 聡・林 泰宏 (名大)・道満恵介 (中京大)・井手一郎 (名大)・水野勇渡・小尻智子 (関西大)・瀬田和久 (阪府大)
MVE-22. 大量の画像付き料理レシピからの学習による料理に含まれる素材推定 ○松長大樹 (名大)・道満恵介 (中京大)・出口大輔・井手一郎・村瀬 洋 (名大)
MVE-23. 料理レシピの記述に従った家庭内調理映像の要約 ○林 泰宏 (名大)・道満恵介 (中京大)・出口大輔・井手一郎・村瀬 洋 (名大)
WIT(1): 視覚障害(1) (13:35~14:50)
WIT-24. Web の構造の音声表現—スクリーンリーダーにおける Speacons の有効性— ○池谷 恵・永田結香・渡辺隆行 (東京女子大)・西本卓也 (オラビジャパン)
WIT-25. 視覚障害者向けデータ放送からの地震・津波情報の触覚ディスプレイによる振動提示 ○清水俊宏・坂井忠裕

半田拓也 (NHK)
WIT-26. 視覚障害者向けの飲食店メニュー情報取得支援システム ○小林慎平・松本哲也 (名大)・竹内義則 (大同大)・工藤博章・大西 昇 (名大)
CQ(1) (14:00~14:50)
CQ-27. OpenFlow ネットワークにおけるマルチパス・マルチキャスト・ファイル転送 ○築地巧明 (九工大)・永田 晃 (ネットワーク応用技研)・鶴 正人 (九工大)
CQ-28. QoE-aware gaze-based bit allocation for networked video encoding ○Yunlong Feng (SOKENDAI)・Gene Cheung・Yusheng Ji (NII)
IE(3) (14:00~14:50)
IE-29. RGB 画像からの 3 次元復元結果と Depth 画像との比較による光源位置推定法に関する基礎的検討 ○林田智樹・高橋昌平・奥屋武志・大谷 淳 (早大)・川村春美 (NTT)
IE-30. カメラで撮影した文書画像の湾曲・射影歪の除去 ○楊 広宇・松本哲也 (名大)・竹内義則 (大同大)・工藤博章・大西 昇 (名大)
MVE(4): インタフェース (15:00~16:15)
MVE-31. 拡張現実感における擬似触覚を用いた仮想物体の重量知覚に関する一検討 ○大塚隆史・小川剛史 (東大)
MVE-32. 手術室内環境及び術者に柔軟に適応可能な超音波装置インターフェースの実装と評価 ○渡部夏子・田野俊一・橋山智訓・市野順子 (電通大)・三木健司 (昭和病院)・岩田 満 (都立産技高専)・望月宏史 (電通大)
MVE-33. ユーザの指の動きに基づいたソフトウェアキーボード ○松本信義・大和淳司 (NTT)
WIT(2): リハビリ・看護 (15:00~16:15)
WIT-34. 靴型歩行計測装置における位置計測精度の評価 ○滝川大介 (九工大)・和田 太・蜂須賀研二 (産医科大)・和田親宗 (九工大)
WIT-35. 立ち上がり動作における支持基底面及び重心可視化システム ○中村正樹・浦島 智・鳥山朋二 (富山県立大)・佃 哲夫・川端重樹・佐野一成 (おおくまセントラル病院)・荷宮敏弘 (向山病院)
WIT-36. 看護師向け指さし呼称検出システムの試作 ○浦島 智・中村正樹・鳥山朋二 (富山県立大)・大島淳一・中川美都子・野村忠雄 (富山県高志リハビリテーション病院)
CQ(2) (15:00~16:15)
CQ-37. 触覚伝送における客観品質評価法の提案 ○鈴木 希・桂 誠一郎 (慶大)
CQ-38. 通信制約下での視覚通信のための画像処理 ○矢代大祐・市川陽介 (三重大)
CQ-39. 自由視点映像及び力覚メディアを用いた遠隔制御システムにおける視点変更の効果 ○三宮大弥・長田純矢・福嶋慶繁・石橋 豊 (名工大)
IE(4) (15:00~16:15)
IE-40. 領域マッチングを用いたカラリゼーションの性能改善 ○関 拓巳・八島由幸 (千葉工大)
IE-41. イメージワーピングによる画像強調の一検討 ○松原由佳・尾島修一 (崇城大)
IE-42. 背景スプライトを用いた動画の非線形サイズ手法の一検討 ○白鳥晃啓・八島由幸 (千葉工大)
特別講演 (16:30~17:30)
共通-43. [特別講演] 錯覚応用インタフェースと五感情報通信 鳴海拓志 (東大)

12日午前 MVE(5):3次元画像処理(10:10~11:00)

MVE-1. 物体が存在し得る錐体空間の多重スリットによる可視化 ○中野一成・亀田能成・大田友一(筑波大)

MVE-2. 3次元動きベクトルを用いた複数点群間の特徴点マッチング ○植西一馬・岩切宗利(防衛大)

WIT(3):発達障害(9:45~11:00)

WIT-3. 発達障害教育実践に試用可能な身体姿勢保持ゲームの試作開発—特別支援学校での試用版まで— ○佐藤 滋・森川 治(産総研)

WIT-4. 口文字盤読み取り支援システムの検討
伊藤史人(一橋大)

WIT-5. 非言語情報読み取りスキルを用いた自閉症スペクトラム指数の測定 ○田中宏季・サクリアニ サクティ・グラム ニュービック・戸田智基・中村 哲(奈良先端大)

CQ(3)(9:45~11:00)

CQ-6. 視聴覚メディア間の同期判断に関わる脳活動の検討—Functional MRIを用いた脳活動によるQoEの評価に向けて— ○伊奈嵩紘・田中悟志・石橋 豊(名工大)・荒牧 勇(中京大)・定藤規弘(生理研)・岩田 彰(名工大)

CQ-7. 双方向映像コミュニケーションの品質評価に関する一検討 ○松本頼明・藤井哲郎(東京都市大)

CQ-8. 音楽技能習得における3D映像の活用可能性について
○馬田一郎・伊藤禎宣(NICT)・小川純一(ヤマハ)・安藤広志(NICT)

MVE(6):映像メディア(11:10~12:25)

MVE-9. 体験記録ハイライトの実現へ向けた体験時の感情状態の分析 ○武田十季・浦 哲也・熊野史朗・小笠原隆行・西田京介・定方 徹・小林 稔(NTT)

MVE-10. Twitter ツイートを用いたスポーツ試合におけるイベントの検出 ○富田大志・出口大輔・井手一郎・村瀬 洋(名大)

MVE-11. ニューストピックの時系列意味構造における主要なストーリー遷移の推定 ○加藤光佑・出口大輔・井手一郎・村瀬 洋(名大)

WIT(4):聴覚障害(1)(11:10~12:25)

WIT-12. ユーザ属性を考慮した字幕付与方法の検討
○白井洋輔・柳村舞衣・篠崎隆宏・堀内靖雄・黒岩真吾(千葉大)・遠藤俊樹・宇都宮栄二(KDDI研)

WIT-13. Kinectとパーティクルフィルタによる手話認識手法の検討 ○古谷佳大・今村大輔・堀内靖雄・川本一彦・篠崎隆宏・黒岩真吾(千葉大)

WIT-14. ジャーク最小モデルに基づく経由点を用いた複数話者の手話運動情報からの単語認識法
○猪狩晋平・福村直博(豊橋技科大)

CQ(4)(11:10~12:25)

CQ-15. 構音障がい者の発話音声の聴き取りにおける符号化の影響 ○大西 仁・小笠原誠持(放送大)

CQ-16. モバイルソフトフォンサービスの片道遅延時間の評価法提案 ○恵木則次・岡本 淳・林 孝典(NTT)

CQ-17. 映像解像度に対し拡張したITU-T勧告P.1201.1モデルの有効性検証 ○浦田勇一朗・山岸和久(NTT)

12日午後 MVE(7):アーカイブ・ミュージアム(13:30~14:45)

MVE-18. 博物館における収蔵物管理作業支援システム
○工藤康之・川嶋稔夫(公立はこだて未来大)

MVE-19. 印刷物のための反射率分布の推定 ○平原壮紀・

川嶋稔夫(公立はこだて未来大)

MVE-20. 名札を用いた鑑賞者の鑑賞方向センシングにおける展示物の配置間隔の影響 ○ソ ミギョン・苗村 健(東大)

WIT(5):視覚障害(2)(13:30~14:45)

WIT-21. 相互に連動したCUIとGUIとを備えたユニバーサルデザインの点字教材作図システム ○藤芳 衛・

大澤彰子(大学入試センター)・小山田寛史(日立情報通信エンジニアリング)・藤芳明生(茨城大)

WIT-22. 自動点字翻訳プログラムの触地図利用への最適化
○菅野亜紀(神戸大病院)・三浦研爾(神戸大)・大田美香(神戸大病院)・喜多伸一(神戸大)・渡辺哲也(新潟大)・前田英一・高岡 裕(神戸大病院)

WIT-23. タッチパネル点字—筆式入力IPPITSUに基づくスマートフォン向けIMEの開発 ○関根 豊・牛田啓太(群馬高専)・長谷川貞夫(桜雲会)

MVE(8):アート・ゲーム(14:55~15:40)

MVE-24. 複数本バルーンにより構成されるバルーンアートの構造解析 ○浦 正広・山田雅之・遠藤 守・宮崎慎也(中京大)・安田孝美(名大)

MVE-25. ロールプレイングゲームを用いたセルフメンタルリハビリテーションシステムの提案 ○米澤 将・藤瀬雅大・夏目季代久(九工大)

WIT(6):視覚障害(3)(14:55~16:35)

WIT-26. 数学グラフの触図翻訳システム開発について
○陳 建軍・高木 昇(富山県立大)

WIT-27. 2次元情報の触覚提示における力覚誘導方式と効果
○坂井忠裕・半田拓也・清水俊宏(NHK)・村山慎二郎(リクルート)

WIT-28. 赤外線測距センサを用いた電子白杖の障害物検知精度の評価 ○月川誠二・和田親宗(九工大)

WIT-29. TECHTILE Toolkitを利用した視覚障害者のためのインタラクティブシステムの開発(第2報)—視覚障害者による評価— ○伊藤孝浩(芝浦工大)・家室 証(東大)・南澤孝太(慶大)・大倉典子(芝浦工大)

◆食メディア研究会協賛

☆IMQ研究会今後の予定 []内発表申込締切日
5月17日(金) 成蹊大 [3月15日(金)] テーマ:イメー
ジ・メディア・クオリティ全般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

杉山賢二(成蹊大)
E-mail: sugiyama@st.seikei.ac.jp

◎IMQ研究専門委員会ホームページ (<http://www.imqa.jp/confcall.html>)も御覧下さい。

☆CQ研究会今後の予定 []内発表申込締切日
4月18日(木), 19日(金) 佐渡島開発総合センター [締切
済] テーマ:サービス品質, クラウド, SDN (Software-
Defined Network), コンテンツ配信, 一般

【問合先】

布目敏郎(名工大)
TEL & FAX [052] 735-7785
岡本 淳(NTT)
TEL [0422] 59-6526, FAX [0422] 59-6364
E-mail: cq_ac-kanji@mail.ieice.org

◎最新情報は, CQ研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cq/jpn/>

☆IE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

4月26日(金) 中大理工学部後楽園キャンパス〔締切済〕
テーマ:画像処理・符号化及び一般

【問合先】

久保田 彰 (中大)
E-mail: ie-kanji2012@mail.ieice.org

☆MVE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月17日(金), 18日(土) 阪大〔未定〕テーマ:未定(情報処理学会; EC 研究会連催, VR 学会; アート&エンターテインメント研究委員会協賛)

6月25日(火), 26日(水) 東大山上会館〔未定〕テーマ:未定(VR 学会共催, HI 学会; SIGVR, 映像情報メディア学会; HI 研究会連催)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

井手一郎(名大)・蔵田武志(産総研)・米澤朋子(関西大)
E-mail: mve-apply2012@mail.ieice.org

☆WIT 研究会

【問合先】

西本卓也(東大)
TEL & FAX [03] 5841-6902
E-mail: nishimoto@m.ieice.org

★フォトニックネットワーク研究会 (PN)

専門委員長 和田尚也

副委員長 荒木壮一郎・坂野寿和・戸出英樹

幹事 大木英司・長谷川 浩

幹事補佐 荒川伸一・品田 聡・釣谷剛宏

日時 3月11日(月) 10:30~16:40

12日(火) 13:20~15:40

会場 沖縄県青年会館(那覇市久米2-15-23. ゆいレール:旭橋
駅下車, 徒歩5分. <http://www.okiseikan.or.jp/new/page.php?26>)

議題 フォトニックネットワーク関連技術, 一般

11日午前

1. 環境変化に対する適応性を備えた波長ルーティングネットワークのための自己組織化制御 ○小泉佑揮・荒川伸一(阪大)・鎌村星平・島崎大作・宮村 崇・平松 淳(NTT)・村田正幸(阪大)

2. アトラクター選択にもとづく仮想網制御におけるアトラクターの決定方式の提案と評価 ○大場斗士彦・荒川伸一・小泉佑揮・村田正幸(阪大)

3. 管理型自己組織化に基づく複数 VNT 制御の実証実験
○荒川伸一(阪大)・宮村 崇(NTT)・小泉佑揮(阪大)・島崎大作・鎌村星平・笹山浩二・塩本公平(NTT)・村田正幸(阪大)

11日午後

4. エラスティック光ネットワークにおけるパス集約を考慮した動的な周波数資源割当手法 ○若林直弘・廣田悠介(阪大)・戸出英樹(阪府大)・村上孝三(阪大)

5. サーバラックからの複数リンクを利用したデータセンター向け光パケットスイッチネットワーク ○大下裕一・

村田正幸(阪大)

6. [奨励講演] スーパーチャネル信号光を活用したルータオフロードによるトランスポートネットワーク省電力化に関する一検討 ○吉兼 昇・釣谷剛宏(KDDI 研)

7. [奨励講演] 光 CDM を用いた光ブロードキャストネットワークの構成及び通信手法 ○福田達也・馬場健一・下條真司(阪大)

8. [招待講演] 光アクセスネットワークにおける波長アンバンドリングの最新動向 笠 史郎(ソフバンクテレコム)

9. [招待講演] 次世代セルラーネットワークを支える光アクセス技術 ○縣 亮・難波 忍(KDDI 研)

12日

1. Implementation of Link-Load Ranking Scheme in OSPF-TE Networks Nattapong Kitsuwat
○Eiji Oki (Univ. of Electro-Comm.)

2. RZ 光パルスの時間遅延を利用した UWB-IR QPSK の検討
○小原友里・三浦浩志・大柴小枝子(京都工繊大)

3. 信号改ざん攻撃に対する光 CDMA 及び Y-00 量子暗号の防御特性 ○岩越丈尚・広田 修(玉川大)

4. ビスマス系エルビウム添加ファイバ及びビスマス系高非線形ファイバを用いた短共振器型能動モード同期ファイバリングレーザによる超平坦光周波数コム生成 ○福地 裕・土田智之・前田譲治(東京理科大)

5. 光無線融合技術システムにおける Wi-Fi on Fiber 伝送特性の検討 ○今井一貴・大柴小枝子(京都工繊大)・伊藤正紀・関 昇平(OKI)

◎11日研究会終了後, 懇親会を予定しております. 参加人数の把握のため, 事前に幹事までお申し込み下さい. また, 12日9:30~12:00は同会場でPN学生ワークショップを開催します.

【問合先】

大木英司(電通大)
TEL [042] 443-5195, FAX [042] 443-5926
E-mail: oki@ice.uec.ac.jp

長谷川 浩(名大)
TEL [052] 789-4423, FAX [052] 789-3641
E-mail: hasegawa@nuee.nagoya-u.ac.jp

★コンピュータシステム研究会 (CPSY)

専門委員長 天野英晴 副委員長 安里 彰・吉永 努

幹事 入江英嗣・中野浩嗣 幹事補佐 井上浩明

★ディペンダブルコンピューティング研究会 (DC)

専門委員長 梶原誠司 副委員長 金川信康

幹事 中村友洋・土屋達弘

日時 3月13日(水) 13:00~18:20

14日(木) 8:45~15:55

会場 対馬市交流センター会議室(対馬市厳原町今屋敷661. 対馬空港からバスで約30分. http://www.pref.nagasaki.jp/bunka/halls/mappage/iki_tusima/tusima_koryu.html)

議題 組込み技術とネットワークに関するワークショップ
ETNET2013

13日 EMB:リアルタイムオペレーティングシステム
(13:00~14:40)

1. SafeGを用いた汎用 OS の監視手法 ○三浦功也・戸川 望 (早大)
太田貴也・Sangorin Daniel・本田晋也・高田広章 (名大)
2. メモリ保護対応 RTOS におけるメモリ保護機能のテスト
○風間佳之 (日本電気通信システム)・作道直樹 (サニ-技研)・
段 慧・木戸脇有美 (富士ソフト)・平橋 航・
海上智昭・嶋原一人・本田晋也・高田広章 (名大)
3. 分散共有メモリ機構を持つ組み込み制御システム向け分散リアルタイム OS
○知場貴洋・兪 明連・
横山孝典 (東京都市大)
4. RTOS から Linux へのマイグレーション及び RTOS 教育のための RTOS on POSIX の開発 清水尚彦 (東海大)
- EMB：車載システム (14：50～16：30)**
5. 自律走行車両のための GPS/QZSS 併用測位手法
○周 天宇・中西恒夫・久住憲嗣・福田 晃 (九大)
6. 既存 ECU を変更不要な車載 LAN 向け侵入検知手法
○大塚敏史・石郷岡 祐 (日立)
7. 車載ネットワークにおける CAN-Ethernet プロトコル変換アルゴリズム ○松村 潤・松原 豊・高田広章 (名大)・
大井正也・豊島真澄・岩井明史 (デンソー)
8. 車載制御システム向けパーティショニング機構
○土本幸司・川島裕崇・本田晋也・高田広章 (名大)
- EMB：組み込みソフトウェア開発 (16：40～18：20)**
9. 派生開発からプロダクトライン開発への移行のためのグローバル/ローカルフィードバックモデルの統合プロセス
○中西恒夫・久住憲嗣・福田 晃 (九大)
10. 組み込み製品開発へのソフトウェア開発手法適用に関する一考察—ET ロボコンを活用した事例— ○大原貴都・
八木将計・深谷直彦 (日立)
11. アーキテクチャ指向開発における形式手法適用に関する考察
○張 漢明・野呂昌満・澤田篤史・
吉田 敦・蜂巣吉成 (南山大)
12. テスト視点からのレビューの欠陥発見の容易性向上の試み
○羽田 裕・石山康介・青木教之 (日本電気通信システム)
- SLDM：システムレベル設計技術 (13：25～14：40)**
13. 焼きなまし法を用いた TDMA スケジューリング技術
○杉原 真・岩永明人 (九大)
14. TLMu を用いた組み込みマルチコアのシミュレーション
○紅林修斗・稗田拓路・谷口一徹・富山宏之 (立命館大)
15. 2 コアアーキテクチャを対象とするトレーススペースキャッシュシミュレーションの精度評価 ○多和田雅師・
柳澤政生・戸川 望 (早大)
- SLDM：低電力化・高信頼化 (14：50～16：30)**
16. エラー検出回復方式を用いた可変レイテンシ回路のための高速な性能見積もり手法 ○安藤健太 (阪大)・
高橋篤司 (東工大)
17. 細粒度電源管理を考慮した基本ブロックレベル消費エネルギー推定手法 ○中村駿介・青木康平・内田充哉・
谷口一徹・富山宏之・福井正博 (立命館大)
18. 大規模集積回路の信頼性ホットスポット見える化に関する一試行 ○木下克也・鷲見知彦・石原 完・
林 磊・福井正博 (立命館大)
19. 容量充電式の独立電源を伴う低消費電力オペアンプ動作に関する考察 ○森山新平・中武繁寿 (北九州市大)
- SLDM：動作合成 (16：40～17：30)**
20. フロアプランを考慮したマルチクロックドメイン指向の低電力化高位合成手法 ○阿部晋矢・史 又華・柳澤政生・
21. 高位合成における多面体最適化のためのスレッド構成手法
○須田瑛大・高瀬英希・高木一義・高木直史 (京大)
- 14 日午前 EMB：スケジューリング・省電力 (8：45～10：25)**
1. アスペクト指向による組み込み OS スケジューラのカスタマイズ
○阿部一樹・安島光紀・兪 明連・
横山孝典 (東京都市大)
2. CSP 理論にもとづいた制御モデルのマルチコア実装向けタスク割当て ○大川 禎・枝廣正人 (名大)・久村考寛 (NEC)
3. 電力需要のピークカットに貢献する蓄電池マネジメント手法
○西原 英・谷口一徹・加藤晋也・福井正博 (立命館大)
4. 実行時間の変動を利用するリアルタイムスケジューリング
田中清史 (北陸先端大)
- EMB：プロセッサ・ハードウェア (10：35～12：15)**
5. 世界最小ソフトプロセッサの設計と応用
○田中雄一郎・笹河良介・佐藤真平・吉瀬謙二 (東工大)
6. リアルタイムシステムにおける TLB ミスの影響調査と改善手法 ○加藤寿和・石川拓也・本田晋也・高田広章 (名大)
7. リアルタイム組み込みシステム向けのリソースパーティショニング用ハードウェア支援技術の開発
○本村哲朗・近藤雄樹・山田哲也・高田雅士・仁藤拓実・
野尻 徹・十山圭介 (日立)・斎藤靖彦・
西 博史 (ルネサスエレクトロニクス)・佐藤未来子・
並木美太郎 (東京農工大)
8. サービス指向ルータ向け問合せ処理用ハードウェアの検討
松谷宏紀 (慶大)
- 14 日午後 EMB：組み込みシステム (13：15～14：55)**
9. Android における OS 可視化環境の開発
○中川裕貴・Praween Amontamavut (拓殖大)・
西野洋介 (八王子桑志高校)・早川栄一 (拓殖大)
10. モデル変換と振る舞い検証を活用した組み込み制御ソフトウェア設計法
○田村雅成・兪 明連・
横山孝典 (東京都市大)
11. An Evaluation for RAM Usage of TCP/IP Protocol Stack on Embedded Systems 宮内信仁 (三菱電機)
12. 組み込みシステムへの故障対処機能追加に関する一提案
徳永寿郎 (三菱電機)
- 14 日午前 CPSY：省電力化機構 (8：45～10：25)**
- CPSY-13. SOTB を用いたマイコンの電力最適化
○北森邦明・王 蔚涵・蘇 洪亮・天野英晴 (慶大)
- CPSY-14. 低消費電力アクセラレータ CMA の計算完了時間の予測機構
○津坂章仁・伊澤麻衣・宇野理恵・
小崎信明・天野英晴 (慶大)
- CPSY-15. センサノード低消費電力化のためのノーマリーオフ動作検証環境の構築と評価 ○中川和歩・堀 遼平・
熊木武志・木股雅章・藤野 毅 (立命館大)
- CPSY-16. インプリサイズ計算モデルにおける温度を考慮した DVFS 制御
○溝谷圭悟・上田陸平・高須雅義・
千代浩之・松谷宏紀・山崎信行 (慶大)
- CPSY：管理機構 (10：35～12：15)**
- CPSY-17. 複数コンピュータによる仮想化 IO 共有技術におけるデバイス管理手法の拡張
○林 佑樹・樋口淳一・鈴木 順・吉川隆士 (NEC)
- CPSY-18. 超高速並列演算コアを用いたモルフォロジカルパターンスペクトラムの実装と評価
○塚田靖史・竹田知弘・本多隼也・小倉 武・

熊木武志・藤野 毅 (立命館大)

CPSY-19. Responsive Link における伝送路符号化方式の動的切替手法
○高橋昌裕・久村雄輔・吉住 修・水頭一壽・松谷宏紀・山崎信行 (慶大)

CPSY-20. クラウドシステム管理のための可視化ツールの開発
○落合秀晴・早川栄一 (拓殖大)

14 日午後 CPSY : 演算機構 (15 : 05~15 : 55)

CPSY-21. バリア同期付き非同期メモリマシンのモデル
中野浩嗣 (広島大)

CPSY-22. 浮動小数点演算器アレイの構成のための評価環境
○伊藤勇也・高瀬英希・高木一義・高木直史 (京大)

14 日午後 DC : ディベンダブルシステム (13 : 40~14 : 55)

DC-23. 制御システムセキュリティのためのセキュリティバリアデバイス
○戸田賢二・海老原一郎・瀬河浩司・高橋孝一・森川 治・古原和邦 (産総研)

DC-24. 大規模 FPGA を用いた規模拡張可能な高速ネットワーク侵入検知システムの開発
○関山 守・戸田賢二・神徳徹雄 (産総研)

DC-25. ディベンダブルネットワークオンチッププラットフォームによる車載制御の実証に向けて
○中井一貴・Chammika Mannakkara・Vijay Holimath・米田友洋 (NII)

DC : デジタル回路 (15 : 05~15 : 55)

DC-26. 桁上げビットの二重化によるセルフチェックング桁上げ先見加算器
○三苫晃弘 (京大)・鬼頭信貴 (中京大)・高木直史 (京大)

DC-27. 部分二重化を用いたオンライン誤り検出可能な乗算器
○秋元一志 (京大)・鬼頭信貴 (中京大)・高木直史 (京大)

◆情報処理学会 ; システム LSI 設計技術研究会 / 組込みシステム研究会連催

☆CPSY 研究会

【問合先】
山崎信行 (慶大)
E-mail : yamasaki@ny.ics.keio.ac.jp

☆DC 研究会

【問合先】
土屋達弘 (阪大大学院情報科学研究科)
E-mail : t-tutiya@ist.osaka-u.ac.jp

○最新情報は、DC 研究会ホームページを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/iss/dc/jpn/index.html>

★ヒューマン情報処理研究会 (HIP)

専門委員長 金子寛彦 副委員長 安藤英由樹・石井雅博
幹事 梅村浩之・渋井 進
幹事補佐 和田有史・清河幸子・齋藤晴美

日時 3月13日 (水) 9:00~17:40
14日 (木) 9:00~17:50

会場 沖縄産業支援センター (那覇市字小禄 1831. <http://www.okinawa-sangyoushien.co.jp/modules/tinyd01/index.php?id=4>)

議題 力触覚の計算, 手, 一般

13 日午前

1. スマートフォン利用における入力画面デザインに関する再検討
○高トククン・板倉直明・水戸和幸・水野統太 (電通大)

2. 補助物体の反力に力覚デバイスの仮想力を重畳する力覚拡張呈示に関する研究—ゴムシートを利用した穿刺力覚の呈示—
○栗田雄一・大塚浩之 (広島大)・永田和之 (産総研)・辻 敏夫 (広島大)

3. 指先への多点分布力覚提示による 3 次元形状の認知
○半田拓也・坂井忠祐・清水俊宏 (NHK)・篠田裕之 (東大)

4. EyeGlance 入力インタフェースのアルゴリズムの検討
○伊藤雄太・板倉直明・水戸和幸・水野統太 (電通大)

5. 上肢切断肢の形状変形を利用した生体計測技術の提案
○森 貴彦・田中優岐 (岐阜高専)・吉川憲一・片根大輔 (茨城医大病院)・島島博之 (大宮義研)・清水如代 (茨城医大病院)・原 友紀 (筑波大)

6. 手はどのようにに知覚されるのか? —臀部における触判断の検討—
○大森馨子 (神奈川大)・巖島行雄 (日大)・五十嵐由夏・和氣洋美 (神奈川大)

7. 両手指タッピング動作における視覚情報に関する脳電位の時間周波数特性
○三澤秀明・中村公祐・常盤達司・福田浩士・樋脇 治 (広島市大)

8. 手指随意運動における運動中断動作に対する単発経頭蓋磁気刺激による干渉
○常盤達司・石丸尚之・福田浩士・樋脇 治 (広島市大)

9. ハンドトラッキング機能を搭載した空中超音波触覚ディスプレイ
星 貴之 (名工大)

10. 視覚障害者のための近傍環境におけるラインセンシング型触覚知覚インタフェース
○中村紗誉・栗原洋輔・蜂須 拓・佐藤未知・福嶋政期 (電通大)・梶本裕之 (電通大/JST)

11. 拡張現実感における手による仮想物体操作の位置ずれ補正
○小野晃弘・角所 考 (関西学院大)・船富卓哉・飯山将晃 (京大)

12. 有限要素法による振動シミュレーションに基づいた力触覚レンダリング
○須佐育弥・三武裕玄・長谷川晶一・佐藤 誠 (東工大)

13 日午後 (14 : 40~)

13. [招待講演] 彫刻家の手 能勢裕子 (彫刻家)

14. [招待講演] 製品設計支援のための手の計算機モデル Dhairya Hand
宮田なつき (産総研)

15. [招待講演] 複数視点からの距離画像を用いた手形状識別
○福井和広・大川泰弘 (筑波大)・加藤伸子・岡崎彰夫 (筑波技大)

16. [招待講演] デブスカメラによる手指全関節角度推定
星野 聖 (筑波大)

14 日午前

1. [招待講演] 手の痛みと認知神経ロボティクス
○住谷昌彦 (東大)・宮内 哲 (NICT)・熊谷晋一郎・相宅玲志 (東大)・吉川雅博・松本吉史 (産総研)・山田芳嗣 (東大)

2. 対象物の厚さに依存する摩擦感に関する触錯覚
○中山雅野 (慶大)・福本雅朗 (NTTドコモ)・稲見昌彦・舘 暉 (慶大)

3. マルチスリットディスプレイにおける三次元認知に関する研究
安藤英由樹 (阪大)

4. フィードバック機能を備えた指文字練習システムの試作
○高林大輔・大川泰弘 (筑波大)・加藤伸子・岡崎彰夫 (筑波技大)・福井和広 (筑波大)

5. Textile Toolkit を用いた位置情報を伴う振動触覚の記録再生

- の検討 ○上田雄太・南澤孝太・館 暉(慶大)
6. 手の日常基本動作が可能な多自由度動力義手
○小金澤鋼一・伊藤 祥(東海大)
7. 視触覚クロスモーダル現象を用いたタッチパネルへの触覚的
手掛かり付加 ○横山 牧(電通大)・蜂須 拓・佐藤未知・
福嶋政期(電通大/学振)・梶本裕之(電通大/JST)
8. 医学教育訓練用マネキンの造形方法に関する基礎的研究
○足立吉隆・中村朝夫(芝浦工大)・小山博史(東大)・
岡本 弘(芝浦工大)
9. フレーム可動型両手多指ハプティックインタフェースの開発
○周東正高・赤羽克仁・佐藤 誠(東工大)

14 日午後 (13:50~)

10. 音声対話における親密度と話し方の関係
中里 取(名桜大)
11. 熟練手作業のモーションキャプチャ ○三浦裕樹・
大沢哲史・山本正信(新潟大)
12. 物理シミュレータ搭載高解像度ハプティックコントローラに
よる機能分散 ○村石辰徳・赤羽克仁・佐藤 誠(東工大)
13. 機械学習を用いた振動触覚信号の評価 ○嵯峨 智・
出口光一郎(東北大)
14. 1-DOF ワイヤ駆動型力覚提示装置におけるデバイス自身が
持つ受動粘性の動的制御 ○肥後明豪・赤羽克仁・
佐藤 誠(東工大)
15. 6 自由度力覚提示装置 SPIDAR-I の提示力等方性について
○田島寛之・赤羽克仁・佐藤 誠(東工大)
16. ヒトの中手指節関節の筋骨格構造に示唆を得た転動関節モデ
ル—筋協調の力学モデリング— ○遠藤有紗・
西川 敦(信州大)
17. 1 自由度ハプティックマウスによる段差提示手法
○矢野博明・鈴木洋志・岩田洋夫(筑波大)
18. インビジブルレッドを用いた不可視駆動システムの開発
○福島 明・赤羽克仁・佐藤 誠(東工大)
19. 仮想把持物体を介した干渉状態の非接地型力覚提示装置を用
いた提示—力覚レンダリング法の検討— 小粥大敬・
○藤田欣也(東京農工大)
20. RSVP 課題における漢字刺激の画像特徴量の影響
○矢後妃奈子・中山 実(東工大)

☆HIP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5 月 30 日(木), 31 日(金) 沖縄産業支援センター [3 月 15
日(金)] テーマ: コミュニケーション支援及びヒューマン
情報処理一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

安藤英由樹(阪大大学院情報科学研究科)
E-mail: hide@ist.osaka-u.ac.jp

★情報通信マネジメント研究会 (ICM)

専門委員長 高野 誠 副委員長 阿多信吾・登内敏夫
幹事 吉原貴仁・増田 健 幹事補佐 野村祐士

日時 3 月 14 日(木) 9:40~11:50
15 日(金) 9:40~16:40

会場 屋久島環境文化村センターレクチャー室(熊本郡屋久島町
宮之浦 823-1. 宮之浦港から徒歩 5 分, 屋久島空港からバス 25

分あるいはタクシー 20 分, 安房港からバス 40 分あるいはタク
シー 30 分. https://www.yakushima.or.jp/htdocs/index.php?action=pages_view_main&page_id=26)

議題 エレメント管理, 管理機能, 理論・運用方法論, 及び一般
14 日

- 複数ノードの同時離脱におけるグループ暗号鍵の更新
堀池 聡(兵庫大)
- IMS 網における CUG/PNP 通信に対する輻輳制御方式の提案
○野副忠佑・藤田宏介・佐久間美能留(NTT)
- An interdomain overlay network structure for efficient
interdomain routing based on ISP alliance ○Xun Shao・
Go Hasegawa・Yoshiaki Taniguchi・
Hiroataka Nakano(Osaka Univ.)
- サービスオーダ種別を考慮した平準化方式の検討
○坂田浩亮・吉田俊介・大野陽介(NTT)
- 〔特別講演〕 TMF マネジメントワールドアメリカス 2012 報
告 ○蔣 海鷹・北井 敦(NTT コムウェア)・
宮澤雅典(KDDI 研)
- 〔特別講演〕 TTC における網管理専門委員会の活動と網管理
標準化動向 大毛忠文(NTT コムウェア)

15 日午前

- アクセス位置によりサービス品質が異なるクラウドコン
ピューティング環境の最適複数資源同時割当て方式
○栗野勇輝・栗林伸一(成蹊大)
- OpenFlow 技術を用いたネットワーク機能動的配置制御方式
○蔣 海鷹・川原浩一・渡邊岳彦・山田洋一(NTT コムウェア)
- OSGi を用いたアプリケーション実行環境における CPU リ
ソース制御方式の検討 ○小池幸生・矢原大司・箕浦大祐・
佐藤 敦(NTT)
- ハードウェア仮想化環境へウォッチドッグタイムの適用を可
能にする方式の提案 ○市川雄二郎・坂下幸徳・
名倉正剛(日立)
- mSCTP を用いた広域ライブマイグレーション後の性能劣化
防止策 ○小峰瞭芽・栗林伸一(成蹊大)
- インバンド化された OpenFlow 制御プレーンにおける統一的
トポロジー把握方法に関する一検討 ○小出俊夫・
下西英之(NEC)

15 日午後

- OSS 共通データ基盤の実装法に関する一考察 ○武 直樹・
西尾 学・瀬社家 光(NTT)
- サービス監視用 OSS におけるスケールアウト方式の提案
○村松宏基・青山晋也・藤部秀樹・中村 修・
高橋和秀(NTT ドコモ)
- 複数リクエストのキューイング方式によるストレージ設定の
高速化機構 ○中島 淳・柴山 司・坂下幸徳・名倉正剛・
篠原大輔(日立)
- 大規模ネットワークから収集される情報の可視化方式に関す
る検討 ○立石直規・田原光穂・丹治直幸・
瀬社家 光(NTT)
- トラフィック量を用いたネットワークポロジ推定技術の検討
○丹治直幸・田原光穂・立石直規・瀬社家 光(NTT)
- 移動体通信網におけるサービス中断判定及び圏数推定技術
の実装 ○阿部政浩・久野友也・田村宏直・古谷雅典・
高橋和秀(NTT ドコモ)
- リモートサイトでの TCP パッシブ計測による 3G/LTE 無線
品質推定方式 ○岡田純代・野村祐士(富士通研)

14. IT システムの運用手順における動作環境の事前検証
○國井 雅・飯塚大介 (日立)
15. 運用手順書からの自動実行フロー生成 ○麻岡正洋・難波 功 (富士通研)
16. IT システム向け障害対処プラン自動生成システムの検討
○永井崇之・名倉正剛・中島 淳・森村知弘・平島陽子 (日立)

◎14 日 13:00~17:00, 2013 年情報通信マネジメントワークショップを開催します。

テーマ: 大容量コンテンツ・サービス時代の ICT 管理
詳細は以下を御覧ください。

<http://www.ieice.org/icm/jpn/icmws/icmws201303.html>

☆ICM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5 月 9 日 (木), 10 日 (金) 弘前大 [未定] テーマ: サービス管理, 運用管理技術, セキュリティ管理, 及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

ICM 研究会幹事

E-mail: icm-kanji@mail.ieice.org

◎<http://www.ieice.org/icm/jpn/>

◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●2013 年情報通信マネジメントワークショップ

委員長 高野 誠

日時 平成 25 年 3 月 14 日 (木) 13:00~17:00

会場 屋久島環境文化村センター (熊毛郡屋久島町)

テーマ 大容量コンテンツ・サービス時代の ICT 管理

概要

大容量コンテンツの流通やスマートフォンなどの高機能端末の登場, 及びネットワークサービスの普及により, ネットワーク上の流通トラフィックがますます多様化している。その結果, ネットワークオペレーション及びマネジメント上の問題がますます複雑化すると考えられ, アプリケーションプロバイダ, サービス事業者, 及び通信事業者が連携をしながら解決していく必要があると考えられる。本ワークショップでは, 複雑化する事例を参照しつつ, 各者に求められる管理技術の将来的な方向性について議論する機会を提供することを目的とする。

プログラム

【招待講演】 ハイパージャイアントの台頭がネットワーク運用に及ぼす影響について 亀井 聡 (NTT コミュニケーションズ)

【招待講演】 キャリアコアネットワークにおける SDN に対する期待と課題 (仮題) 佐藤裕昭 (NTT ドコモ)

【招待講演】 大容量コンテンツへの運用対応 (仮題) 川村聖一 (NEC ビッグロブ)

【招待講演】 パケット解析技術の現状と問題点 (仮題) 野村祐士 (富士通研)

【招待講演】 ユーザによるトラフィック経路制御が ISP に与えるインパクト 長谷川 剛 (阪大)

パネルディスカッション

パネルチェア: 高野 誠 (NTT)

第一種研究会開催案内, 第二種研究会開催案内

パネリスト: 招待講演者 5 名

懇親会 プログラム終了後に懇親会を開催します。また, 本懇親会にて 2012 年の ICM 研究賞, ICM 功労賞, ICM 英語セッション奨励賞の表彰式を行う予定です。

【参加費と参加申し込み】

参加費 一般 10,000 円, 学生 5,000 円

参加登録 ICM 研究会 HP (<http://www.ieice.org/icm/jpn/>) の「トピックス」欄の案内に従い, ICMWS2013 参加登録ページから登録をお願い致します。

参加登録締切 3 月 1 日 (金)

カジュアルウェアでの参加をお勧めします。

【問合先】

吉原貴仁 (KDDI 研)

E-mail: icm-kanji@mail.ieice.org

<http://www.ieice.org/icm/jpn/>

主催 情報通信マネジメント研究専門委員会

●第 50 回機能集積情報システム研究会

委員長 肥川宏臣 (関西大)

期日 平成 25 年 3 月 15 日 (金)

会場 宮崎大学木花キャンパス工学部 B209 講義室 (宮崎市学園木花台西 1-1. <http://www.miyazaki-u.ac.jp/guide/map/ki-bana>)

本研究会は, デイバングブルコンピューティング研究専門委員会の下での第二種研究会として開催します。本研究会は, 平成 3 年に設置された「ウェーハスケール集積システム時限研究専門委員会」以降, 複数の時限研究専門委員会の下での研究会を経て現在の研究会に引き継がれました。

近年の LSI 製造技術の進歩により, 大規模かつ斬新な情報処理機能をシリコン・ウェーハあるいは大規模 IC チップ上に集積・実装する情報システム FIIS (Functional Integrated Information System) の構築技術が注目されています。そこで, 本研究会では次に示す幅広い研究分野を対象としています。

まず, IC チップ製造段階では, チップの歩留まり解析, 歩留まり向上設計法, レイアウト解析, フォールト・トレラント手法などがあげられます。また, IC チップ上の情報システム構築 (SOC: System On Chip) 技術としては, IC 内部の欠陥検出法 (テスト手法や BIST: Build In Self Test) や誤り訂正・回復技術, 故障を許容する高並列プロセッサや相互結合網の再構成方式, 耐故障再構成可能情報システムの構築技術, 動的再構成可能情報システムの構築技術, 低消費電力技術などがあげられます。更には, 故障モデルの解析, 信頼度解析, 性能評価などの理論的解析手法もあげられます。

本機能集積情報システム (FIIS) 研究会は, 上述したような技術を, 応用分野の枠を超えた高性能・高信頼性・低消費電力のマイクロ情報システム実現のための強固な枠組みであると捉えています。本研究会では上記内容を中心としていますが, それらにとらわれず, 各種応用研究を含めた広い研究分野からの研究発表を歓迎致します。

今回の第 50 回機能集積情報システム研究会は, 宮崎大学 (宮崎市) で開催致します。皆様奮って御参加下さい。

プログラム

1. メニーコアプロセッサを用いた進化計算の並列化と耐故障能力に関して ○佐藤裕二 (法政大)・佐藤未来子 (東京農工大)
2. 稼働コア数の動的増減とパワーゲーティングによる Linux

サーバの低消費電力化 ○田本和之・相川 勝・

山森一人 (宮崎大)

3. 自律故障補償可能なパルスニューラルネットワークのハードウェア設計 ○富高 譲・相川 勝・山森一人 (宮崎大)

4. 任意視点の多眼ステレオ法に対する並列化手法

○福士 将 (山口大)・関口直紀 (KDDI)・阿部 亨 (東北大)

5. セルラーハードウェアプラットフォーム上の多値画像を対象としたピクセルレベルスネークスの実装 ○辻 雄爾・

藤田智弘・熊木武志 (立命館大)・中西 衛 (NTT)・

小倉 武 (立命館大)

6. 指文字認識システムのハードウェア実装 ○戒田圭司・大橋俊介・肥川宏臣 (関西大)

7. 分割符号化手法による CMOS 論理回路の配線消費電力削減 ○陸橋瑞光・末永美幸・上田勝彦・肥川宏臣 (関西大)

8. 低消費電力を指向したバス反転回路の論理単純化に関する考察 ○稲岡智哉・亀井惇平・市原英行・岩垣 剛・

井上智生 (広島市大)

9. TSV 削減型 3 次元 FPGA におけるスイッチブロックテスト ○前橋孝太・難波一輝・北神正人 (千葉大)

○最新の情報は Web ページ (<http://kaneko-www.cs.titech.ac.jp/fiis/>) を御覧下さい。研究会終了後に懇親会 (会費 5,000 円程度) を予定しております。御参加を希望される方は、下記問合せ先まで御連絡下さい。

参加資格 特に制限はありません

参加費 1,000 円 (会場でお支払い下さい。学生は無料です。)

【問合せ先】

金子晴彦 (東工大大学院情報理工学研究科)

E-mail : hkaneko@fuji.cs.titech.ac.jp

主催 ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会

●第 4 回通信行動工学研究会

委員長 竹市博臣 副委員長 原田悦子・中村 元

日時 平成 25 年 3 月 16 日 (土) 11:20~18:00

会場 早稲田大学早稲田キャンパス 11 号館 704 室 (<http://www.waseda.jp/jp/campus/waseda.html>)

テーマ 通信行動を制御・支援するサービス技術

インターネットをはじめとする情報通信技術によって、私たちの生活から世界の仕組みまでが急激に変化しています。この変化に対応すべく、通信行動工学研究会では、私たちが情報をやりとりする場面を、ヒューマンサイエンス、情報通信技術、社会科学といった様々な見地から理解し、産業に広く応用することを目指しています。

第 4 回研究会は、特に、通信行動を制御・支援するサービス技術に関連する、最新の研究成果を集めました。様々な分野から多くの方々に参加して頂き、意義深いディスカッションができることを期待しています。

プログラム

1. 高齢者向け緊急通報サービスにおけるユーザの通信行動
緒方啓史 (アズビル)
2. 待ち時間における認知プロセスに年齢が与える影響
原田悦子 (筑波大)・新井田 統 (筑波大/KDDI 研)
3. 鉄道利用者の生活パターンを用いた駅の分類手法の開発
相蘭敏子 (日立)
4. 行動観察を用いたオフィスビルの省エネ改修における BEMS の開発
久保隅綾 (大阪ガス)

5. 固視微動と視覚 田中靖人 (脳神経科学研/三城)・

藤江博幸・玉田靖明・藤江龍登 (三城)

6. 散逸構造論からみたトラヒック行動、適応、構造変化—
下川信祐 (NTT)

7. ラウンドテーブルディスカッション

◎懇親会 (18:00~20:00)

参加費 2,000 円 (発表資料代 1,000 円含; 懇親会費は含まれません)

【問合せ先】

E-mail : cbe-info@mail.ieice.org

<http://www.ieice.org/~cbe/index.html>

主催 通信行動工学時限研究専門委員会

共催 早稲田大学国際情報通信研究センター

●第 1 回ネットワークソフトウェア研究会

実行委員長 新津善弘 (芝浦工大)

研究会の内容

ネットワークシステム研専配下の第二種研究会であり、ネットワークの変革がソフトウェア技術にもたらすインパクトや、ソフトウェアの技術革新がネットワークサービスに及ぼす変革に対して問題意識を持ち、ネットワークソフトウェア技術に対する要求条件や実現技術について研究・実用化の両面に関して議論をします。

期日 平成 25 年 4 月 18 日 (木)、19 日 (金)

会場 輪島商工会議所 (輪島市)

テーマ ネットワークサービスソフトウェアの仮想化技術+一般 (ネットワークシステム研究会 (NS) との併催)

概要

ネットワーク技術の進歩は著しく、今後もイノベティブな新サービスの登場が期待される。新たなサービスを迅速かつ低コストに提供するために、サーバやネットワークリソースなど、ネットワークシステムの構成要素全体を抽象化し、動的に管理可能とする仮想化技術が注目されている (例えば SDN: Software Defined Network)。一方で、仮想化環境においては、ネットワークを形成する物理装置の役割が多様化されることから、予せぬ問題が発生し、それらの原因解析に多くの時間を費やすことも懸念される。本研究会では、以下のようなテーマで研究発表を募り、ネットワークサービスソフトウェアの仮想化に向けて幅広く議論を行う。

- ・イノベティブなネットワークサービスを実現するための基盤ソフトウェア技術
- ・ネットワークシステム全体を抽象化し、動的に管理するための仮想化ソフトウェア技術
- ・ネットワークシステムの仮想化にあたり、信頼性を保つためのソフトウェア技術
- ・仮想化されたネットワークのサービス障害解析を容易化するためのソフトウェア技術
- ・その他一般

本研究会の特徴

参加者の産学のバランスがよく、更に時間にとらわれず活発に議論する風土がありますので、発表者は様々な角度から多数のフィードバックを得ることができます。また、他研究会には例を見ない独特の発表形式を採用しておりますので、発表者は目的に応じた議論を自由に展開することができます。これにより、検討結果の発表だけでなく検討経過や問題提起等についても発表・議

論して頂けます。

また、本研究会では、議論を促進することを目的としてディスカッション賞を設けています。受賞対象は有意義なディスカッションを頂きました参加者となりますので、是非活発な議論をお願い致します。

発表形式：下記2種類の発表形式からお選び下さい。

- ・一般講演：掘り下げた議論を御希望の方向け
1件当たり約50分（質疑含む）という十分な時間をかけ、深く掘り下げた議論や多様な視点からの広範なフィードバック獲得が可能となります。
- ・ポジションペーパー：構想段階等にて意見を収集したい方向け
1件当たり約5～10分程度で、一般講演するほどの内容ではないが、是非意見交換をしたい内容などについて、発表者の目的に応じた自由な形式で議論して頂けます。

[各種締切]

- 一般講演申込み：3月18日（月）
- 一般講演原稿提出：4月4日（木）
- ポジションペーパー申込み：4月4日（木）
- 研究会参加申込み：4月4日（木）
- 参加費振り込み：4月17日（水）

【一般講演の申込と原稿提出】

申込方法

講演者氏名、共著者名、所属、講演題目、概要（400字程度）、連絡先（住所、E-mailアドレス、電話番号、FAX番号）、講演者の方の参加費種別（一般/学生）を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。講演者の方は参加申込もされたものとみなします。下記参加申込に関する注意事項も合わせて御確認下さい。

原稿提出方法

PDFファイルにて、電子メールでお送り下さい。原稿の体裁は規定していませんが、PowerPointなどの発表スライドを原稿として提出される場合は、1ページ当たり1スライドとなるようPDF化して下さい。発表スライドで頂きました原稿は、投稿状況に応じて1ページ当たり2スライドまたは4スライドの形式で予稿集へ掲載させていただきますので、あらかじめ御了承下さい。

【ポジションペーパーの申込と原稿提出】

申込方法は、上記の一般講演と同様です。原稿は、PDFファイル（A4判1枚・様式自由）にて、電子メールでお送り下さい。※ポジションペーパーの申込・原稿提出は上記期日を過ぎてからも受け付けます。ただし期日以降の申込・原稿提出を御希望の方は、事前に電子メール等にてお問い合わせ下さい。また期日以降の申込では予稿集に氏名・所属が掲載されませんので御注意下さい。

【参加申込】 氏名、所属、連絡先（住所、E-mailアドレス、電話番号、FAX番号）、参加費種別（一般/学生）を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。研究会に参加した方々の議論・意見交換活性化のため、当日紙配布する参加者名簿に氏名・所属・E-mailを掲載予定ですが、問題等ございましたら御連絡下さい。

【参加費（予定）と参加費支払方法】

一般 6,000円 学生 3,000円

参加費を下記の期日までにお振り込み下さい。なお、振込後の参加費の返還には応じかねますので、御了承下さい。請求書もしくは領収書が必要な場合は、参加申込の際にその旨をお知らせ下さい。

振込先 みずほ銀行 三鷹支店
口座名：ネットワークソフトウェア研究会
口座番号：普通 4298770

【講演・参加申込先・原稿提出先】

原 大輔（NTT）
〒180-8585 武蔵野市緑町3-9-11
TEL [0422] 59-6941
E-mail：nws-kanji@mail.ieice.org

【研究会全般に関する問合せ先】

奥谷武則（NTT）
TEL [0422] 59-3805

主催 ネットワークシステム研究専門委員会ネットワークソフトウェア研究会実行委員会 <http://www.ieice.org/~nws/>

◇ ◇ 第二種研究会発表募集案内 ◇ ◇

●第5回情報ネットワーク科学（NetSci）研究会

委員長 会田雅樹（首都大東京）
副委員長 中村 元（KDDI）・成瀬 誠（NICT）・
巳波弘佳（関西学院大）

期日 平成25年5月24日（金）
会場 首都大学東京秋葉原キャンパス
講演申込締切 3月15日（金）

◎講演申込に必要な情報や連絡先など詳細については情報ネットワーク科学研究専門研究会のホームページに掲載致しておりますので、御参照下さい。 <http://www.ieice.org/~netsci/>

◎第5回情報ネットワーク科学研究会では招待講演3件：原 辰次氏（東大）、齊藤圭司氏（慶大）、小頭秀行氏（KDDI研）も予定致しております。

【問合せ先】

井上 武（JST ERATO）・久保 健（KDDI研）
村山立人（NTT）・作元雄輔（首都大東京）
E-mail：netsci-admin@mail.ieice.org

主催 情報ネットワーク科学時限研究専門委員会

●第28回量子情報技術研究会

委員長 枝松圭一（東北大）

研究会の内容

情報科学と量子力学を融合させた新しい分野、量子情報科学に関する研究会です。情報を担う物理系の量子力学的側面を積極的に生かした新しい情報処理原理の研究とそこから開かれる新しい学問体系の構築及び新しい情報技術パラダイムの創生を目指して、情報科学、物理学、光エレクトロニクスを含む理学、工学、数理学に携わる研究者間に自由な討論の場を提供し、この研究分野の発展を図ることを目的としています。

期日 平成25年5月27日（月）、28日（火）

会場 北海道大学創成科学研究棟大会議室（札幌市北区北21条西10丁目）

発表募集内容

発表募集分野（申込状況によっては査読可能性あり）：量子情報、量子計算、量子暗号など広く量子情報技術に関わる理論的研究、

実験的研究, 計算機科学的研究, 数学的研究, 及びその他関連分野
定員 150名

参加費

事前振込み 一般 6,000 円, 学生 1,000 円
当日会場払い 一般 7,000 円, 学生 2,000 円

(懇親会は別途)

研究会参加申込要領

参加申込は下記 Web にて受け付けます。

<http://staff.aist.go.jp/s-kawabata/qit/>

講演(口頭, ポスター)申込, 予稿集原稿 PDF 提出は電子情報通信学会の Web システムを使用する予定。

講演申込締切

口頭講演: 4月12日(金)

ポスター講演: 4月26日(金)

予稿集原稿提出 4月26日(金)

参加申込締切 5月2日(木)

【問合先】

富田章久(北大)・竹内繁樹(北大)・長谷川俊夫(三菱電機)

E-mail: qit28@ml.hokudai.ac.jp

主催 量子情報技術時限研究専門委員会

共催 応用物理学会; 量子エレクトロニクス研究会, 物質・デバイス領域共同研究拠点, 北海道大学電子科学研究所

●第3回安全・安心な生活のための情報通信システム(ICSSSL)研究会

委員長 岡田和則(NICT) 副委員長 田村 裕(中大)

安全・安心な生活のための情報通信システム(ICSSSL)時限研究専門委員会では, 下記のとおり, 第3回研究会を開催致しますので, 研究発表を募集致します。皆様の御応募をお待ちしております。

私たちの日常生活は, 東日本大震災などの大地震や豪雨, 豪雪等の自然災害, 交通事故, 誘拐等児童への犯罪等の様々な脅威に

さらされています。これらの被害を避ける, 軽減する, 更には, 大規模災害時の復興や地域再生のために, 情報通信システムが果たせる役割は大きいと考えられます。当研究会では, 真に役立つシステムの実現のため, これらの情報通信技術の研究開発だけでなく, 災害時に求められる情報の在り方などの社会科学分野などの学際的な検討を目指しています。

対象分野: 安全・安心な生活のための情報通信システムに関する以下の分野

- ・アドホックネットワーク構築技術 ・輻輳制御技術
- ・高信頼無線アクセス技術 ・コグニティブ無線技術
- ・広帯域無線伝送技術 ・ネットワークシステム設計技術
- ・最適配置技術 ・ITS 技術
- ・センサネットワーク構築技術 ・災害情報学
- ・災害時行動心理学 ・危機管理情報学

上記に限らず, 幅広い分野からの研究発表を募集致します。

発表を御希望される方は, 論文題目, 著者名, 所属, 連絡先を下記幹事までお知らせ下さい。

期日 平成25年6月13日(木), 14日(金)

会場 芝浦工業大学豊洲キャンパス(江東区豊洲3-7-5)

発表申込締切: 4月5日(金)

【申込先・問合先】

中野敬介(新潟大)

TEL & FAX [025] 262-6751

E-mail: nakano@ie.niigata-u.ac.jp

川上 博(NTTドコモ)

TEL [046] 840-3870, FAX [046] 840-3781

E-mail: kawakamih@nttdocomo.co.jp

◎最新情報を研究会 Web ページで掲載致しますので御参照下さい。 <http://www.ieice.org/ess/icsssl/>

主催 安全・安心な生活のための情報通信システム時限研究専門委員会

協賛 IEEE Circuits and Systems Society Japan Chapter, 日本シミュレーション学会多次元移動通信網研究専門委員会

——各種証明, 閲覧の手数料について——

電子情報通信学会では, 各種の証明, 閲覧について, 下記のとおり料金を頂きますので御了承下さい。

なお, 突然来局された場合すぐに対応できない場合がありますので, 必ず前もって御連絡下さるようお願い致します。

TEL [03] 3433-6691 ※は, TEL [03] 3433-6692

種類	内容	料金(税込)	備考
証明手数料	特許証明	会員 200円/件 非会員 500円/件	
	在会証明書	無料	
閲覧手数料	会誌・論文誌※ 技術研究報告 各種大会論文集 その他本会出版物	会員 無料 非会員 300円/冊 コピー 10円/枚	料金は1冊(綴)ごととします。

(注) 会員からの依頼で非会員が代行される場合は, 非会員の料金となります。

● 2013年総合大会開催案内 ●

本総合大会は、4 ソサイエティ、1 グループが合同で開催する大会です。奮って参加されますようお願い致します。会員以外の方の御参加も歓迎致します。

期 日 2013年3月19日(火)~22日(金)
 会 場 岐阜大学(岐阜市)
 (会場内は駐車禁止ですので公共機関を御利用下さい)
 交 通 JR岐阜駅(北口)バスロータリー9番のりばから岐阜大学・病院線(バス系統C70)または、岐南町線(バス系統N45)に乗車の上、「岐阜大学」下車、徒歩約1分。(所要時間約35分, 310円)

2013年総合大会ホームページ
http://www.toyoag.co.jp/ieice/G_top/g_top.html

主なイベント内容: 上記ホームページにて御確認下さい。
 ◎ 聴講参加について
 <聴講参加> (本会会員: 不課税, 本会会員外: 消費税込)

【当日申込み (DVD 含む)】

会 員 名誉員・正 員	10,000 円
学生員 (DVD なし)*	無料
学生員 (DVD 購入)**	3,000 円
60歳以上の会員***	3,000 円
非会員 社会人	20,000 円

学生 (DVD なし)	3,000 円
学生 (DVD 購入)	6,000 円

- 【凡 例】
- * DVDを必要とされない「学生員」は無料で聴講できますので事前申込みの必要はございません。総合受付までお越しければ参加章をお渡し致します。(会員証を提示して頂きますので御持参下さい。)
 - ** 会場で会員証を提示して下さい。
 - ***年金以外の収入がない方が対象となります。

※この機会に入会されますと、会員扱いとさせていただきます。
 ※電気学会、照明学会、映像情報メディア学会、情報処理学会の会員及び本会と協定を締結した海外の学会の会員は会員扱いとなります。

- 2013年FIT (情報科学技術フォーラム)
 会期: 2013年9月4日(水)~6日(金)
 会場: 鳥取大学(鳥取市)
- 2013年ソサイエティ大会
 会期: 2013年9月17日(火)~20日(金)
 会場: 福岡工業大学(福岡市)
- 2014年総合大会
 会期: 2014年3月18日(火)~21日(金)
 会場: 新潟大学(新潟市)

電子情報通信学会 編 現代電子情報通信選書 《知識の森》シリーズ新刊のご案内

本選書は、最近、電子情報通信でまとまった知識が必要とされている分野について、周辺分野の専門技術者・研究者、学生も含めて体系的な知識が得られるようまとめたものです。

デバイスからカメラのシステムまで最新の技術を網羅!

『画像入力とカメラ』

【監修】寺西信一 (パナソニック株式会社) ○定価5250円(本体5000円+税) / A5判・404頁

本書は、撮像デバイスから、カメラの光学系、各種機能の実現法、さらに不可視画像用のデバイスについて、概要から最新技術までをていねいに解説したものです。本分野の専門家だけでなく読み進められるように図などを多く掲載しました。

- ◎このような方におすすめ
- 画像入力やカメラの構造に興味を持ち、その分野の専門家を目指す学生
 - カメラ開発に携わる研究者や実務者

◆目次◆

1部 撮像デバイス 撮像デバイスの歴史と基礎 / 代表的な撮像デバイス / 特徴ある撮像デバイス / 撮像デバイスを支える技術 2部 カメラ カメラの基礎 / カメラの光学系 / 放送用・家庭用カメラ / 各種カメラ / カメラ機能 3部 不可視画像入力 赤外線 / テラヘルツ / 生体認証 / デバイスと応用 / 超音波 / pH, イオン / デバイスと応用



発行: オーム社 〒101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1 電話03(3233)0641 (代表) <http://www.ohmsha.co.jp/>



【会期】 2013年9月4日(水)～6日(金)
【会場】 鳥取大学鳥取キャンパス (鳥取市)

電子情報通信学会情報・システムソサイエティ (ISS) 並びにヒューマンコミュニケーショングループ (HCG) と情報処理学会 (IPSJ) とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム (FIT: Forum on Information Technology)」を開催しており、2013年9月には第12回目を鳥取大学で開催します。

本フォーラムは、両学会の大会の流れを汲むものですが、従来の大会の形式に捉われずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきております。

皆様の研究成果発表の場として、論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

論文誌への道!

「FIT 査読付き論文」で優秀論文を論文誌へ推薦する制度

FIT では、情報分野のより一層の活性化を目的として、「FIT 査読付き論文」について優秀な論文を FIT として電子情報通信学会または情報処理学会の論文誌へ推薦する制度がございます。「FIT 査読付き論文」の申込みと合わせて「論文誌への推薦希望」も受け付け致しますので、御希望の方は、Web からの講演申込みの際に「論文誌への推薦希望」欄にチェックを入れて下さい。論文誌へ推薦されるためには、完成度の高い論文であることが求められます。論文誌への推薦可否結果は、2013年6月21日(金)に推薦を希望された皆様にお知らせする予定です。本制度を利用し是非チャレンジして下さい。

※論文誌掲載の採否は、それぞれの学会の論文誌編集委員会が決定致します。

【FIT 論文表彰制度】

FIT の特徴の一つは、船井ベストペーパー賞、FIT 論文賞、ヤングリサーチャー賞からなる論文表彰制度がありますが、今回の FIT よりこれに加えて FIT 奨励賞を新たに創設致しました。皆様、是非ともチャレンジして下さい。

船井ベストペーパー賞	FIT 査読付き論文で採択された論文の中から、査読会議において各分野の応募総数の5%を上限として優秀な論文を推薦し最終的に10件程度の論文を選定。選定された論文の中から受賞論文3件程度を選定。受賞論文には、表彰式 (FIT2013 会期中) にて賞金 20 万円を船井情報科学振興財団より贈呈。
FIT 論文賞	上記船井ベストペーパー賞と同様の選定手続きを経て選定された論文10件程度の中から受賞論文7件程度を選定。受賞論文には、表彰式 (FIT2013 会期中) にて賞金 5 万円を FIT 推進委員会より贈呈。
ヤングリサーチャー賞	発表件数の1.5%を上限として、2013年12月31日現在で33歳未満の講演者(査読付き論文及び一般論文)を対象に優れた発表を選定。受賞者には賞金3万円を次回のFIT2014の表彰式にてFIT推進委員会より贈呈。

※いずれの賞も、電子情報通信学会または情報処理学会の会員であること。

【申込みの方法, 注意事項】

講演申込み及び論文原稿投稿は FIT2013Web サイトよりお願い致します。

一人が複数の発表を行うことを認めます。ただし、内容が極めて類似したものを数件にわたって発表することはできません。なお、会場数、会期日数など制約によりプログラム編成上、講演分野の変更を行うこともございますのであらかじめ御了承下さい。

【講演募集内容】

最近行った研究及び調査の報告、または成果を上げた新しい企画及び試験結果の報告、新製品の紹介等で、学術的に価値のある未発表のものに限ります。

論文の種類には、FIT 査読付き論文と FIT 一般論文があります。

FIT 査読付き論文 (4~8 ページ程度)

FIT 査読付き論文 (論文誌推薦希望) (6~8 ページ程度)

査読者や読者に研究内容が十分に伝わるように、最大8ページ程度に制限緩和された論文ページ数を活用して下さい。

- 【注1】 査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一般論文として扱います (一般論文での発表となります)。
- 【注2】 FIT 査読付き論文を受け付ける研究分野 (研究会) については、Web ページの募集分野で最新情報を御確認下さい。
- 【注3】 FIT 査読付き論文を受け付ける研究分野 (研究会) の選択は申込者様御自身の責任において適切に選択して下さい。
- 【注4】 申込締切後、研究会での査読を行う際に、該当研究会で明らかに分野違い (研究会違い) と判断された論文については、査読プロセスには乗らずにクイックリジェクト (即不採録) され FIT 一般論文扱いとなりますのであらかじめ御了承下さい。
- 【注5】 FIT 査読付き論文でページ数が4ページ以上ない場合はクイックリジェクト (即不採録) され FIT 一般論文扱いとなります。
- 【注6】 FIT 査読付き論文 (論文誌推薦希望) でページ数が6ページ以上ない場合は「論文誌推薦はしない」に即決し、FIT 査読付き論文としてのみの査読になります。
- 【注7】 御自身の論文内容と一致した分野 (査読受け入れ研究会) がない場合には、申し訳ございませんが FIT 査読付き論文として受け入れることができませんので、FIT 一般論文でのお申込みをお願い致します。

■申込主要日程

- 登録申込/投稿受付開始 : 2013年3月6日(水)
- 登録申込締切/査読用原稿の投稿締切 : 2013年4月17日(水)
- 査読の採否結果通知 : 2013年6月21日(金)
- 論文誌への推薦可否結果通知 (推薦希望者のみ) : 2013年6月21日(金)
- 最終原稿投稿締切 : 2013年7月1日(月)

FIT 一般論文 (2~8 ページ程度)

情報技術に関する研究成果や調査報告等、広く募集致します。論文ページ数は2~8ページ程度になります。

また、査読を行わない分、登録申込・投稿受付開始並びに投稿締切が、「査読付き論文」の申込に比べて約2か月遅くなります。

■申込主要日程

登録申込/投稿受付開始：2013年4月24日（水）
登録申込締切：2013年5月23日（木）
最終原稿投稿締切：2013年7月1日（月）

【募集分野】

以下の15の分野で論文の募集を行います。

なお論文募集、FIT 査読付き論文の査読などは、電子情報通信学会（情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ）と情報処理学会との研究会で進めます。各分野に対応する研究会は以下ようになります。

※は電子情報通信学会情報・システムソサイエティ、◇は電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ、☆は情報処理学会を示します。

FIT 査読付き論文の募集は行わず FIT 一般論文のみの募集となる研究会がございますので御注意下さい。

は FIT 査読付き論文も受け付ける研究会（研究分野）

● A：モデル・アルゴリズム・プログラミング

A-1 ☆アルゴリズム (AL)
A-2 ☆数理モデル化と問題解決 (MPS)
A-3 ☆プログラミング (PRO)
A-4 ※コンピュータシミュレーション (COMP)

● B：ソフトウェア

B-1 ☆ソフトウェア工学 (SE)
B-2 ☆ハイパフォーマンスコンピューティング (HPC)
B-3 ☆システムソフトウェアとオペレーティング・システム (OS)
B-4 ☆デジタル・ドキュメント (DD)
B-5 ※ソフトウェアサイエンス (SS)
B-6 ※知能ソフトウェア工学 (KBSE)

● C：ハードウェア・アーキテクチャ

C-1 ☆システム LSI 設計技術 (SLDM)
C-2 ☆計算機アーキテクチャ (ARC)
C-3 ☆組み込みシステム (EMB)
C-4 ※コンピュータシステム (CPSY)
C-5 ※ディペンダブルコンピューティング (DC)
C-6 ※リコンフィギュラブルシステム (RECONF)
C-7 ※再生可能集積システム (RIS)

● D：データベース

D-1 ☆データベースシステム (DBS)
D-2 ☆情報基礎とアクセス技術 (IFAT)
D-3 ※データ工学 (DE)

● E：自然言語・音声・音楽

E-1 ☆自然言語処理 (NL)
E-2 ☆音声言語情報処理 (SLP)
E-3 ☆音楽情報科学 (MUS)
E-4 ※言語理解とコミュニケーション (NLC)
E-5 ※音声 (SP)

● F：人工知能・ゲーム

F-1 ☆知能システム (ICS)
F-2 ☆ゲーム情報学 (GI)
F-3 ※人工知能と知識処理 (AI)
F-4 ※情報論的学習理論と機械学習 (IBISML)

● G：生体情報科学

G-1 ☆バイオ情報学 (BIO)

G-2 ※ニューロコンピューティング (NC)
G-3 ※ME とバイオサイバネティクス (MBE)
G-4 ※医用画像 (MI)
G-5 ※身体性情報学 (IEB)

● H：画像認識・メディア理解

H-1 ☆コンピュータビジョンとイメージメディア (CVIM)
H-2 ※パターン認識・メディア理解 (PRMU)

● I：グラフィクス・画像

I-1 ☆グラフィクスと CAD (CG)
I-2 ☆オーディオビジュアル複合情報処理 (AVM)
I-3 ☆エンタテインメントコンピューティング (EC)
I-4 ☆デジタルコンテンツクリエーション (DCC)
I-5 ※画像工学 (IE)

● J：ヒューマンコミュニケーション&インタラクション

J-1 ☆ヒューマンコンピュータインタラクション (HCI)
J-2 ※異文化コラボレーション (IC)
J-3 ※クラウドネットワークロボット (CNR)
J-4 ◇ヒューマンコミュニケーション基礎 (HCS)
J-5 ◇ヒューマン情報処理 (HIP)
J-6 ◇ヒューマンプロンプト (HPB)

● K：教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

K-1 ※教育工学 (ET)
K-2 ※サイバーワールド (CW)
K-3 ※マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント (EMM)
K-4 ◇マルチメディア・仮想環境基礎 (MVE)
K-5 ◇福祉情報工学 (WIT)

● L：ネットワーク・セキュリティ

L-1 ☆インターネットと運用技術 (IOT)
L-2 ☆コンピュータセキュリティ (CSEC)
L-3 ☆セキュリティ心理学とトラスト (SPT)
L-4 ※情報通信システムセキュリティ (ICSS)

● M：ユビキタス・モバイルコンピューティング

M-1 ☆グループウェアとネットワークサービス (GN)
M-2 ☆ユビキタスコンピューティングシステム (UBI)
M-3 ☆モバイルコンピューティングとユビキタス通信 (MBL)
M-4 ☆高度交通システム (ITS)
M-5 ☆マルチメディア通信と分散処理 (DPS)

● N：教育・人文科学

N-1 ☆コンピュータと教育 (CE)
N-2 ☆人文科学とコンピュータ (CH)
N-3 ☆電子化知的財産・社会基盤 (EIP)
N-4 ☆教育学習支援情報システム (CLE)

● O：情報システム

O-1 ☆情報システムと社会環境 (IS)
O-2 ※ライフインテリジェンスとオフィス情報システム (LOIS)
O-3 ※ソフトウェアインタプライズモデリング (SWIM)
O-4 ※サービスコンピューティング (SC)
O-5 ※減災情報システム (DRIS)

【使用言語】

日本語または英語

〔論文ページ数・講演時間〕

FIT 一般論文ページ数：2～8 ページ程度
 FIT 査読付き論文ページ数：4～8 ページ程度
 FIT 査読付き論文（論文誌推薦希望）：6～8 ページ程度
 ※3 ページ目以降から1 ページ当り 3,000 円のページチャージ
 講演時間：1 件 20 分（発表時間 15 分，質疑時間 5 分）

〔講演使用機器〕

FIT 査読付き論文，FIT 一般論文とも PC プロジェクターとします。PC は各自持参をお願いします。

〔講演者の資格〕

講演者の資格は以下のとおりです。

会 員	電子情報通信学会，情報処理学会，電気学会，照明学会，映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会（IEEK，APSIPA，ECIT，IEEE/ComSoc，KICS，VDE/ITG，KIEES，CIC，IEEE/PHO，IEEE/MTT-S，IEEE/CS，KIISE）または情報処理学会と協定を締結した海外の学会（ACM，IEEE，IEEE/CS，KIISE，CSI）の個人会員に限ります。
非会員	上記の学会会員以外の方。

〔講演参加費（税込み）〕

講演参加費は，基本原稿掲載料 2 ページ，講演料，聴講料，論文集 DVD-ROM，プログラム，参加章の代金を含みます。なお，DVD-ROM は FIT 開催前に講演者の方に送付しますが，プログラム，参加章は会場でのお引き渡しとなります。

また，登録申込締切り後，講演の取消しをされても講演参加費

等お申込内容に基づく費用につきましてはお支払いを頂くこととなりますので御注意下さい。

正会員	10,000 円
学生会員	6,000 円
一般非会員（社会人）	20,000 円
学生非会員	12,000 円

〔エキストラページ費用（税込み）〕

エキストラページ（3 ページ目以降）を利用された場合には，講演参加費にプラスして以下の費用を頂きます。

エキストラページ費：1 ページ当り 3,000 円

〔別刷代（FIT 査読付き論文の採択者のみ）（税込み）〕

FIT 査読付き論文に採択された方には論文の別刷（100 部）を御購入頂きます。別刷代は，エキストラページの有無に関わらず 20,000 円となります。

〔講演者予稿分冊頒布〕

講演者には，御自身の論文が掲載されている講演論文集を 1 部に限り，8,000 円で，講演申込時に同時受付致します。御希望の方は講演申込書の「講演論文集を希望する」にチェックをお願いします。

なお，講演論文集の一般販売は，個人購入の場合 1 部 12,000 円，団体購入の場合 15,000 円となります。

〔最新情報確認のお願い〕

FIT2013 に関する最新情報は，FIT2013Web サイトへ逐一掲載してまいりますので御確認をお願い致します。

総合版ハンドブック

「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開を開始しております。一般公開は，会員限定β版での公開後 3 か月を経過した一部のコンテンツが対象となります。

閲覧にあたっては，本会ホームページ（トップページ）→「総合版ハンドブック「知識ベース」」または，以下の URL からお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>



●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 …… ●

—— 関西支部 ——

●電気四学会関西支部「平成 25 年度合同報告会・講演会」

日 時 平成 25 年 4 月 19 日（金） 13:00～19:30
 会 場 中央電気倶楽部 5 階ホール（大阪市北区堂島浜 2-1-25
 ドージマ地下センター南詰を右側に上り、右へ約 50 m、
 左側のレンガ造り建物）

合同報告会 13:00～14:00 5 階ホール

- (1) 各退任支部長挨拶
- (2) 報告
 - a. 平成 24 年度事業報告及び平成 25 年度事業計画
 - b. 平成 24 年度決算報告及び平成 25 年度予算
- (3) 各新支部長の紹介及び挨拶
- (4) 新役員紹介

講演会 14:00～16:00 5 階ホール

特別講演

- | | |
|-------------|------|
| ・電気学会 | 支部長 |
| ・電子情報通信学会 | 新支部長 |
| ・照明学会 | 支部長 |
| ・映像情報メディア学会 | 新支部長 |

表彰式 16:00～16:30 5 階ホール

- ・電気関係学会関西連合大会奨励賞 表彰
- ・電気学会優秀論文発表賞 表彰
- ・電子情報通信学会関西支部優秀論文発表賞 表彰
- ・照明学会関西支部優秀論文発表賞 表彰
- ・映像情報メディア学会関西支部優秀論文発表賞 表彰

引継役員会 16:30～18:00 214 号室ほか

懇親会 18:00～19:30 5 階ホール
 （会費：4,000 円 ただし、受賞者は無料）
 懇親会参加御希望の方は、下記の連絡先にお申込み下さい。当日、会場においても受け付け致します。

連絡先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25
 中央電気倶楽部内 関西電気関連学会事務センター
 TEL〔06〕6341-2529, FAX〔06〕6341-2534
 denki4g@ares.eonet.ne.jp

主 催 電子情報通信学会・電気学会・照明学会・映像情報メ
 ディア学会各関西支部

協 賛 電気設備学会関西支部

—— 東海支部 ——

●平成 24 年度第 4 回一般講演会

日 時 平成 25 年 3 月 11 日（月） 15:00～16:30
 会 場 ウィンクあいち 1303 会議室
 （名古屋市中村区名駅 4-4-38）

演 題 指静脈認証技術の開発

講 師 長坂晃朗（日立）

参加費 無料

参加資格 会員以外の方でも入場できます。

その他 詳しくは東海支部 HP：<http://www.ieice.org/tokai/>を
 御覧下さい。

主 催 電子情報通信学会東海支部

—— 本会・ソサイエティ・

研究専門委員会等主催・共催 ——

●フォトニックネットワークシンポジウム 2013

—— 確かな社会基盤を支えるポスト 100 Gb/s 光伝送技術 ——

主 催 総務省、通信ソサイエティ
 共 催 YRP 研究開発推進協会、独立行政法人情報通信研究機構
 デジタルコヒーレント技術の研究開発により 100 Gbit/s 光
 伝送システムが実用フェーズに入ってきましたが、モバイルトラ
 ヒックの増大、また災害時の対応の観点からも光基幹伝送の更なる
 ブロードバンド化が求められています。本シンポジウムでは、
 400 Gbit/s を目指すデジタルコヒーレント光伝送技術の研究開
 発状況を共有し、その重要性を震災・モバイルの側面から議論し
 ます。また、ネットワークの次の研究課題・日本として今後取り
 組んでいくべき情報通信の研究開発課題を明らかにしていきます。
 研究開発を先導してきたトップレベルの研究者による御講
 演、及びパネル討論を予定しています。光通信技術に関する最新
 動向と今後の光通信ビジネス・産業の方向性を把握する場とし
 て、会員の皆様の積極的な御参加をお願い致します。

日 時 3 月 12 日（火） 10:00～17:15
 場 所 YRP ホール（横須賀リサーチパーク・YRP センター 1
 番館）
 〒239-0847 横須賀市光の丘 3 番 4 号

参加費 無料

プログラム

1. 基調講演 松澤 昭（東工大）
2. 特別講演 今瀬 真（NICT）
3. 技術講演：ネットワークの未来像と研究課題
 富澤将人（NTT）、Mr. Lorenzo Longo（BROADCOM）、原井
 洋明（NICT）、森田逸郎（KDDI 研）、荒川賢一（NTT ドコモ）
4. パネルディスカッション：Big Data 時代の光ネットワークの
 ビジョンを語ろう！
 コーディネータ：北山研一（阪大）
 パネリスト：松澤 昭（東工大）、今瀬 真（NICT）、富澤
 将人（NTT）、Mr. Lorenzo Longo（BROADCOM）、原井洋
 明（NICT）、森田逸郎（KDDI 研）、荒川賢一（NTT ドコモ）
 ※技術展示も併設実施する予定です。
 ※シンポジウム終了後に懇親会を予定。
 ※プログラムは変更の可能性がありますので、詳細は Web
 ページを御参照下さい。

【参加申込先】 こちらのフォームからお申込み下さい。

<http://www.omc.co.jp/photonic2013>

【問合先】 フォトニックネットワークシンポジウム 2013 事務局
 TEL〔03〕5362-0117
 FAX〔03〕5362-0121
 E-mail：photonic2013@omc.co.jp

—— 本 会 が 協 賛 等 の も の ——

（※は参加費割引あり）

KAST 教育講座「“名刺” で血液分析？ ペーパーマイクロ分析
 チップの技術と可能性」

期 日 平成 25 年 3 月 7 日（木）

会 場 かながわサイエンスパーク（川崎市）

問合先 神奈川科学技術アカデミー教育研修グループ 石川
 TEL〔044〕819-2033, FAX〔044〕819-2097

GEMAP 市民公開セミナー—災害復興の高齢者医療における ICT 利活用—

期 日 平成 25 年 3 月 11 日 (月)
会 場 東京国際フォーラム (東京都千代田区)
問合せ GEMAP ホームページ <http://gemap.jp/index.html>

第 27 回エレクトロニクス実装学会春季講演大会「東北を実装技術のニューフロンティアへ！」(※)

期 日 平成 25 年 3 月 13 日 (水)~15 日 (金)
会 場 東北大学川内北キャンパス (仙台市)
問合せ エレクトロニクス実装学会
TEL (03) 5310-2010
taikai27-info@jiep.or.jp <http://www.e-jisso.jp>

第 8 回ロボット聴覚システム HARK 講習会

期 日 平成 25 年 3 月 19 日 (火)
会 場 京大百年周年記念時計台会館 (京都市)
問合せ HARK13-Reg@zeus.kuis.kyoto-u.ac.jp
<http://winnie.kuis.kyoto-u.ac.jp/HARK/>

2012 年度全国高専女子フォーラム

期 日 平成 25 年 3 月 26 日 (火)
会 場 一橋講堂 (東京都千代田区)
問合せ 奈良工業高等専門学校総務課 端無・中村
TEL (0743) 55-6013, FAX (0743) 55-6019
rikeigokoro@elec.nara-k.ac.jp
<http://rikeigokoro.jp/jyoshi-forum/>

第 19 回第 1 種 ME 技術実力検定試験, 講習会

講演会 東京会場 期日 平成 25 年 4 月 7 日 (日)
会場 帝京平成大学 (東京都豊島区)
大阪会場 期日 平成 25 年 4 月 14 日 (日)
会場 新梅田研修センター (大阪市)
検定試験 期日 平成 25 年 6 月 16 日 (日)
(札幌会場) 北海道大学 (札幌市), 他
問合せ 同検定試験事務局
TEL & FAX (03) 3813-5521 jimu@megijutu.jp

第 30 回強誘電体応用会議 (FMA-30)

期 日 平成 25 年 5 月 22 日 (水)~25 日 (土)
会 場 コープイン京都 (京都市)
問合せ 東京工業大学大学院理工学研究科
材料工学専攻内 強誘電体応用会議事務局 鶴見敬章
fma@ceram.titech.ac.jp
<http://fma.ceram.titech.ac.jp>

ワイヤレス・テクノロジー・パーク 2013 (WTP 2013)

期 日 平成 25 年 5 月 29 日 (水)~31 日 (金)
会 場 東京ビッグサイト (東京都江東区)
問合せ ワイヤレステクノロジーパーク 2013 運営事務局 日本
イージェイケイ 担当 菅野
TEL (03) 6459-0444, FAX (03) 6459-0445
kanno@ejk-japan.co.jp

ナノ学会第 11 回大会

期 日 平成 25 年 6 月 6 日 (木)~8 日 (土)
会 場 東京工業大学百年記念館 (東京都目黒区)
問合せ 同大会事務局 (東京工業大学原子炉工学研究所尾上研究室内)
TEL & FAX (03) 5734-3073
nano2013@nr.titech.ac.jp

平成 25 年度医療機器安全基礎講習会 (第 35 回 ME 技術講習会)

期 日 平成 25 年 6 月 16 日 (日)~7 月 28 日 (日) (計 7 回)
会 場 仙台国際センター (仙台市), 他
問合せ 医療機器センター医療事業部
FAX (03) 3813-8733 iryjo@jaame.or.jp

第 21 回春季信頼性シンポジウム (※)

期 日 平成 25 年 6 月 12 日 (水)
会 場 日本科学技術連盟千駄ヶ谷本部ビル (東京都渋谷区)
問合せ 日本信頼性学会 (日本科学技術連盟東高円寺ビル内)
TEL (03) 5378-9853, FAX (03) 5378-9842
reaj@juse.or.jp

NIMS Conference 2013

期 日 平成 25 年 7 月 1 日 (月)~3 日 (水)
会 場 つくば国際会議場 (つくば市)
問合せ 物質・材料研究機構外部連携部門学術連携室学術交流
チーム 八月朔日早苗
TEL (029) 859-2890 内線: 2890
FAX (029) 859-2161 HOZUMI.Sanae@nims.go.jp

第 23 回環境工学総合シンポジウム 2013

期 日 平成 25 年 7 月 10 日 (水)~12 日 (金)
会 場 東京海洋大学品川キャンパス (東京都港区)
問合せ 日本機械学会環境工学部門 担当 村山
TEL (03) 5360-3506, FAX (03) 5360-3509
murayama@jsme.or.jp

Dynamics and Design Conference 2013 (D & D2013), 第 13 回「運動と振動の制御」シンポジウム (MoViC2013)「海を越え、国を越え、世代を超えて！」(※)

期 日 平成 25 年 8 月 26 日 (月)~30 日 (金)
会 場 九州産業大学 (福岡市)
問合せ 日本機械学会 担当 大竹
TEL (03) 5360-3505, FAX (03) 5360-3509
otake@jsme.or.jp

第 31 回日本ロボット学会学術講演会 (※)

期 日 平成 25 年 9 月 4 日 (水)~6 日 (金)
会 場 首都大学東京南大沢キャンパス (八王子市)
問合せ 日本ロボット学会学術講演会係
TEL (03) 3812-7594, FAX (03) 3812-4628
seminar@rsj.or.jp

Final Symposium on JST-ANS Binaural Active Audition for Humanoid Robots (BINAHR)

期 日 2013年3月18日(月)
会 場 京都大学百周年時計台記念館(京都市)
問合先 京都大学大学院情報学研究所 奥乃 博
TEL [075] 753-5376, FAX [075] 753-5977
okuno@i.kyoto-u.ac.jp

EVTec 2014 & APE Japan 2014

期 日 2014年5月22日(木)~24日(土)
会 場 パシフィコ横浜(横浜市)
問合先 自動車技術会国際課 吉田
TEL [03] 3262-8214, FAX [03] 3261-2204
globe@jsae.or.jp

スケジュールリング国際シンポジウム 2013 (ISS2013) (※)

期 日 2013年7月18日(木)~20日(土)
会 場 東京国際交流館プラザ平成(東京都江東区)
問合先 日本機械学会 担当 大竹
TEL [03] 5360-3505, FAX [03] 5360-3509
otake@jsme.or.jp

複写される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複写を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複写については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター((社)学術著作権協会が社内利用目的の複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はございません。(社外頒布目的の複写については、許諾が必要です。)

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F FAX [03] 3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

Please obtain permission from the following Japan Reproduction Rights Center (JRRC) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.

Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

Website <http://www.jaacc.jp/> E-mail: info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619

——第13回(平成25年度)材料科学技術振興財団
山崎貞一賞——

授賞論文: 論文の発表, 特許の取得, 方法・技術の開発等を通じて, 実用化につながる優れた創造的業績を上げている人。
授賞対象分野: (1) 材料, (2) 半導体及び半導体装置, (3) 計測評価, (4) バイオサイエンス・バイオテクノロジー

応募締切: 平成25年4月30日(火) 必着

件数及び賞金: 各分野それぞれに賞状及び副賞(18金メダル・賞金300万円)

問合せ先 材料科学技術振興財団 山崎貞一賞事務局
TEL [03] 3415-2200, FAX [03] 3415-5987
prize@mst.or.jp http://www.mst.or.jp/prize/

——平成25年度地方発明表彰——

本事業の趣旨

本発明表彰は, 各地方における発明の奨励・育成を図り, 科学技術の向上と地域産業の振興に寄与することを目的として, 全国を北海道, 東北, 関東, 中部, 近畿, 中国, 四国及び九州の8地方に分け, 各地方において優秀な発明・考案・意匠を完成された方々, 発明等の実施化に尽力された方々, 発明等の指導・奨励・育成に貢献された方々の功績を称え表彰するものです。

発明, 考案及び意匠の要件

(1) 発明・考案(次のいずれも具備すること。)

①特許または実用新案登録されているもので, 平成24年12月末時点で権利が存続していること。②発明, 考案は進歩性に優れ, かつ実施効果が顕著で科学技術の向上及び地域産業の発展に寄与していると認められること。③新しい技術の発展性を創出していると認められること。④応募時において係争関係にない, もしくは係争が終了していること。

(2) 意匠(次の要件をいずれも具備すること。)

①意匠登録されているもので, 平成25年12月末時点で権利が存続していること。②意匠は製品化され, 広く一般に利用されて地域産業の発展, 生活文化の向上に大きく寄与していると認められること。③現状, 機能など構成要素が極めて優れており, 新しい意匠の潮流を形成することが期待されること。④募集時において係争関係にない, もしくは係争が終了していること。

応募者等の資格

- (1) 応募者は, 当該特許・実用新案・意匠の権利を有すること。
- (2) 発明者・考案者・創作者は, 日本国籍を有するかまたは, 当該発明, 考案及び意匠を日本国内において完成させ, 上部, 本事業の趣旨に適合すると発明協会が認めた者であること。
- (3) 当該発明・考案及び意匠で, 過去に叙勲・国家褒章を受賞または発明協会主催の全国発明表彰あるいは本表彰を受賞していないこと。

締切日 平成25年3月30日(土) 各都道府県支部事務局 必着
問合せ先 発明協会 発明奨励グループ 発明奨励チーム
TEL [03] 3502-5431, FAX [03] 3502-3485
shourei@jiii.or.jp

電子情報通信学会 編

現代電子情報
通信選書

《知識の森》シリーズ新刊のご案内

本選書は、最近、電子情報通信でまとまった知識が必要とされている分野について、周辺分野の専門技術者・研究者、学生も含めて体系的な知識が得られるようまとめたものです。

今、注目の新しいエネルギー源！

『宇宙太陽発電』

【監修】篠原真毅(京都大学) ○定価3990円(本体3800円+税) / A5判・312頁

本書は、宇宙太陽発電について、全体を俯瞰できるような概要から実現のための要素技術、システムまでを丁寧に解説したものです。本分野の専門家でなくても読み進められるように図などを多く掲載しました。

◎このような方におすすめ

- 宇宙太陽発電に興味を持ち、その分野の専門家を目指す学生
- 宇宙産業や太陽発電、マイクロ波伝送技術に携わる研究者や実務者

◆目次◆

宇宙太陽発電 / 宇宙太陽発電のためのマイクロ波無線電力伝送技術 / 地上受電システム / マイクロ波無線電力伝送の地上応用 / SPS無線送電の影響



発行：オーム社 〒101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1 電話03(3233)0641 (代表) http://www.ohmsha.co.jp/

●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合先：電子情報通信学会編集出版部
TEL〔03〕3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

——教官・教員募集——

●大分大学

公募人員 工学部知能情報システム工学科 教授1名
専門分野 知的システムインタフェース、協調作業支援、Web
コンピューティング
応募資格 博士またはPh.D.の学位を有し、大学院博士後期課程の教育及び研究指導ができる方
着任時期 平成25年7月1日以降のできるだけ早い時期
応募締切 平成25年4月12日(金)必着
問合先 工学部知能情報システム工学科長 西野浩明
TEL〔097〕554-7876, hn@oita-u.ac.jp
詳細 <http://www2.cc.oita-u.ac.jp/eng/koubo.html> を参照

●名古屋大学

募集人員 准教授1名
所 属 大学院情報科学研究科情報システム学専攻ソフトウェア論講座
専門分野 実践的ソフトウェア工学
応募資格 博士の学位を有する方
着任時期 平成25年10月1日以降の早い時期
応募期限 平成25年4月26日(金)当日消印有効
問合先 平成24年度情報システム学専攻長 結縁祥治
yuen@is.nagoya-u.ac.jp
詳細 <http://www.is.nagoya-u.ac.jp/>を御覧下さい

●早稲田大学

公募人員 理工学術院(電気・情報生命工学科, 電気・情報生命専攻)専任講師または准教授1名
専門分野 信号処理/機械学習の基礎とその応用に関する分野
担当講義 回路理論及び自身の専門に関する科目
応募資格 博士の学位を有すること
着任時期 平成26年4月以降のできるだけ早い時期
応募締切 平成25年5月13日(月)必着
問合先 電気・情報生命工学科主任 小林正和
TEL〔03〕5286-3006, office@eb.waseda.ac.jp
詳細 <http://www.eb.waseda.ac.jp>

●神奈川工科大学

募集人員 准教授または任期制助教1名
専門分野 デジタル家電・音響分野またはエネルギー・家電制御分野
担当予定授業科目 電気電子回路と電気磁気学等
応募資格 博士の学位を有する方(取得見込み者を含む)
着任時期 平成25年9月1日以降なるべく早い時期
応募締切 平成25年5月31日(金)必着

求人欄, お知らせ

問合先 ホームエレクトロニクス開発学科教授 黄 啓新
TEL〔046〕291-3168, koh@he.kanagawa-it.ac.jp
詳細 <http://www.kait.jp/recruit>

●富山大学

職 名 教授1名
所 属 大学院理工学研究部生命・情報・システム学域(電気電子システム工学科担当)
研究分野・専門分野 情報通信に関わる応用研究分野
採用予定年月日 平成25年10月1日以降できるだけ早く
応募締切 平成25年5月31日(金)必着
問合先 大学院理工学研究部教授 中島一樹(工学部電気電子システム工学科長)
TEL〔076〕445-6720, kazukin@eng.u-toyama.ac.jp
詳細 <http://www.u-toyama.ac.jp/jp/employ/index.html>

◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL: <http://www.ieice.org/jpn/koukoku/kyokanshainboshu.html>

◎次回締切 5月号掲載分 平成25年3月25日(月)必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページに掲載しております。下記からお入り頂くと今月号だけではなく、締切前の求人が全て御覧になれます。

URL: <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanboshu.html>

●…………… お 知 ら せ ……………●

——平成25年度会費お払込みのお願い——

平成25年度(平成25年4月~平成26年3月)の会費(追加ソサイエティ代等含む)のお払込みを12月初旬にお願いしましたが、1月中旬で入金の確認がとれない方につきましては、2月初旬に再度振込用紙をお送りしておりますのでお支払いをお願いします。

なお、本年5月末日までにお支払いの確認がとれない場合は7月号から会誌の送付及び論文誌の閲覧が停止してしまいますので、お早めのお支払いをお願い致します。

※法人会員(維持員・特殊員)の御請求は平成25年4月末にお送りする予定です。

——転勤・引越し及び

学生員申請の届出について——

住所変更及び所属変更等の内容を本会Webサイト上「会員サービス→マイページ」より御連絡下さい。※最初にマイページ専用のパスワード登録が必要となります。

書面(E-mail, FAX, 郵送)でも承りますので、「会員番号, 氏名, 変更内容(住所), 連絡先電話番号」を明記の上、事務局会員サービス部会員課宛てに御連絡下さい。

毎月1日までに御連絡を頂いたものは翌月号の発送から変更となります。

なお、転居先不明等で長期にわたり届出がありませんと、停止していた間の会誌等をお送りできない場合もありますので、お早めに御連絡下さいませようお願いします。

また、4月以降大学院等への進学で学生員の継続を希望される方は、Webサイト上「会員サービス→学生員申請」より御申請下さい。

書面（E-mail、FAX、郵送）でも承りますので、「学生員申請」と明記し、「会員番号、氏名、学校（院）名、博士・修士課程別、修了予定年月」を御連絡下さい。

E-mail: kaiin@ieice.org, FAX [03] 3433-6659

——平成 25 年 3 月号及び 4 月号

和・英論文誌特集・小特集テーマ——

和・英論文誌編集委員会

（基礎・境界ソサイエティ）

4月号 [和文] ビックデータ時代を支えるセキュリティ・プライバシー保護技術小特集

（通信ソサイエティ）

3月号 [和文] ネットワーク社会のさらなる発展を支える光通信技術論文特集

4月号 [和文] 多様化する電磁環境における EMC 対策設計・評価技術特集

（エレクトロニクスソサイエティ）

3月号 [英文] ・SQUID & its Applications
・Recent Progress in Molecular and Organic Devices

4月号 [英文] Solid-State Circuit Design—Architecture, Circuit, Device and Design Methodology

（情報・システムソサイエティ）

3月号 [和文] 学生論文特集

3月号 [英文] ・Foundations of Computer Science
・Face perception and recognition

4月号 [和文] 医用画像特集

4月号 [英文] Medical Imaging

平成 25 年度電子情報通信学会 技術研究報告 予約募集案内

◎技術研究報告予約募集について

平成 25 年 4 月以降 26 年 3 月までの 1 か年分の技術研究報告の予約を募集致します。一旦御予約頂きますと、中止のお申し出がない限り次年度以降自動的に継続されます。平成 25 年 4 月より新規に予約を希望される方は、次ページの予約申込書に御記入の上、お申込み下さい（<http://www.ieice.org/jpn/books/kenkyuhoukoku.html> からもお申込み頂けます）。平成 24 年度中に既に予約されている場合は、別途変更通知をお送りしておりますので、次ページの予約申込書では追加、変更等を行わないで下さい。☆電磁界理論の予約申込みは電気学会事業サービス第 2 課研究会資料年間予約担当〔TEL (03) 3221-7313〕へお願い致します。

申込方法 「平成 25 年度技術研究報告予約申込書（新規用）」に送付先住所、氏名、電話番号、数量等を御記入の上、お送り下さい。

予約申込締切 平成 25 年 3 月 29 日（金）締切を過ぎてお申込みの場合、4 月分からお届けできないことがありますので御注意下さい。

送金方法 1) 現金書留の場合 予約申込書を必ず同封して下さい。

2) 郵便振替の場合 局所定の振替用紙を御利用の上、通信欄に「平成 25 年度技術研究報告予約代」と御記入下さい。申込書は別途、御送付下さい。
口座番号 00120-0-35300
口座名義 一般社団法人 電子情報通信学会

3) 銀行送金の場合 申込書に送金日、送金額のメモを同封して御送付下さい。

三菱東京 UFJ 銀行 本店 普通 7636756

口座名義人 一般社団法人 電子情報通信学会

4) 前払いが原則ですが、やむを得ず請求書等が必要な場合は、その旨申込書にメモを付けて下さい。また、各機関所定の請求書が必要な場合は申込書に添付して下さい。

その他 技術研究報告は研究会開催月の翌月中旬頃研究会別に送付先住所へお送り致します（研究会に参加された場合は会場で受領できます）。内容物の不足、誤配につきましては受領後速やかに御連絡下さい。お申し出が遅い場合、在庫切れによりお送りできないことがありますので、御注意下さい。

申込・問合せ先 〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内
電子情報通信学会大会・研究会部研究会課
TEL [03] 3433-6691, FAX [03] 3433-6659
E-mail: ken@ieice.org

◎研究会の「取扱う主要研究分野」について

各研究専門委員会の「取扱う主要研究分野」を作成致しましたので、技術研究報告の予約申込み、研究発表などに御利用下さい。

なお、技術研究報告の予約・購入は会員外でも可能ですが、研究発表及び聴講参加は原則として会員に限ります。

※予約申込み書は次ページに掲載

平成 25 年度技術研究報告予約申込書（新規用）

*予約番号

送付先	〒	TEL ()	—
		E-mail :	

*研究会の情報や技術研究報告についてお知らせします。

(単位：円)

記号 (略称)	研究会名	本体価格	消費税	予約価 (税込)	数量	合価
CAS	回路とシステム	13,700	685	14,385		
IT	情報理論	9,200	460	9,660		
R	信頼性	9,000	450	9,450		
US	超音波	11,100	555	11,655		
EA	応用音響	10,700	535	11,235		
NLP	非線形問題	18,100	905	19,005		
VLD	VLSI 設計技術	16,900	845	17,745		
ISEC	情報セキュリティ	16,900	845	17,745		
SIP	信号処理	11,000	550	11,550		
WBS	ワイドバンドシステム	5,800	290	6,090		
MSS	システム数理論と応用	8,000	400	8,400		
TL	思考と言語	8,600	430	9,030		
SITE	技術と社会・倫理	10,500	525	11,025		
SSS	安全性	3,600	180	3,780		
ITS	ITS	9,700	485	10,185		
SIS	スマートインフォメディアシステム	12,700	635	13,335		
IMQ	イメージ・メディア・クオリティ	6,500	325	6,825		
A・P	アンテナ・伝播	13,000	650	13,650		
SANE	宇宙・航行エレクトロニクス	20,500	1,025	21,525		
SAT	衛星通信	8,400	420	8,820		
EMCJ	環境電磁工学	9,400	470	9,870		
NS	ネットワークシステム	19,400	970	20,370		
IN	情報ネットワーク	14,900	745	15,645		
CS	通信方式	15,700	785	16,485		
EE	電子通信エネルギー技術	5,100	255	5,355		
OCS	光通信システム	8,100	405	8,505		
RCS	無線通信システム	22,700	1,135	23,835		
CQ	コミュニケーションクオリティ	12,700	635	13,335		
PN	フォトニックネットワーク	13,500	675	14,175		
OFT	光ファイバ応用技術	8,800	440	9,240		
ICM	情報通信マネジメント	11,200	560	11,760		
MoNA	モバイルネットワークとアプリケーション	12,300	615	12,915		(名称変更)
IA	インターネットアーキテクチャ	13,600	680	14,280		
SR	ソフトウェア無線	12,700	635	13,335		
ASN	知的環境とセンサネットワーク	18,800	940	19,740		(新設)
SRW	短距離無線通信	8,100	405	8,505		(新設)
EMD	機構デバイス	14,600	730	15,330		
MR	磁気記録・情報ストレージ	7,000	350	7,350		
SCE	超伝導エレクトロニクス	4,900	245	5,145		
EID	電子ディスプレイ	6,900	345	7,245		
ED	電子デバイス	13,900	695	14,595		
CPM	電子部品・材料	20,100	1,005	21,105		
SDM	シリコン材料・デバイス	20,000	1,000	21,000		
MW	マイクロ波	13,500	675	14,175		
ICD	集積回路	12,100	605	12,705		
OME	有機エレクトロニクス	7,900	395	8,295		
OPE	光エレクトロニクス	18,800	940	19,740		
LQE	レーザ・量子エレクトロニクス	14,800	740	15,540		
EST	エレクトロニクスシミュレーション	20,300	1,015	21,315		
MWP	マイクロ波・ミリ波フォトニクス	17,200	860	18,060		
MBE	ME とバイオサイバネティクス	11,300	565	11,865		
LOIS	ライフインテリジェンスとオフィス情報システム	11,000	550	11,550		
IE	画像工学	12,700	635	13,335		
NLC	言語理解とコミュニケーション	3,300	165	3,465		
CPSY	コンピュータシステム	9,000	450	9,450		
COMP	コンピュータシミュレーション	9,500	475	9,975		
AI	人工知能と知識処理	3,900	195	4,095		
SS	ソフトウェアサイエンス	8,300	415	8,715		
DE	データ工学	4,200	210	4,410		
PRMU	パターン認識・メディア理解	11,800	590	12,390		
DC	ディバンプブルコンピューティング	11,600	580	12,180		
NC	ニューロコンピューティング	14,000	700	14,700		
KBSE	知能ソフトウェア工学	8,400	420	8,820		
SP	音声	10,100	505	10,605		
ET	教育工学	6,500	325	6,825		
MI	医用画像	16,600	830	17,430		
SWIM	ソフトウェアインタプライズモデリング	4,800	240	5,040		
RECONF	リコンフィギャラブルシステム	7,800	390	8,190		
ICSS	情報通信システムセキュリティ	11,300	565	11,865		
IBISML	情報論的学習理論と機械学習	9,500	475	9,975		
EMM	マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント	14,100	705	14,805		
CNR	クラウドネットワークロボット	11,300	565	11,865		
SC	サービスコンピューティング	5,600	280	5,880		
HCS	ヒューマンコミュニケーション基礎	10,200	510	10,710		
HIP	ヒューマン情報処理	9,300	465	9,765		
MVE	マルチメディア・仮想環境基礎	16,400	820	17,220		
WIT	福祉情報工学	6,900	345	7,245		
一組	上記一揃え	882,300	44,115	926,415		
	合 計			件		円

電子情報通信学会 各研究専門委員会の取扱う主要研究分野 <78部門>平成25年度

◎基礎・境界ソサイエティ

研究会名	取 扱 う 主 要 研 究 分 野
回路とシステム (CAS)	◎回路理論 (線形及び非線形, 受動及び能動, 時変及び時不変, 集中定数及び分布定数) ○モデリングとシミュレーション ○回路のCAD ◎各種フィルタ ◎アナログ・デジタル回路 ◎A-D・D-A 変換回路 ◎電子回路応用 ○信号理論と 信号処理アルゴリズム ◎アナログ・デジタル信号処理回路 ○VLSI システム ◎ニューラルネット ○組合せアルゴ リズム ◎グラフとネットワーク ○システムと制御 ○オペレーションズリサーチ ◎大規模システム ○電力システム における回路とシステム技術
情報理論 (IT)	◎シャノン理論 ○情報基礎理論・基礎数論 ◎情報源符号化 ◎データ圧縮 ○画像符号化 ○音声符号化 ◎通信路符 号化 ◎記録符号化 ◎誤り訂正・検出符号 ◎符号化変調 ◎マルチユーザ情報理論 ◎確率過程 ○仮説検定・パラ メータ推定 ◎大偏差理論 ○制御理論 ○組合せ理論 ○暗号理論 ○情報セキュリティ ○信号理論 ○信号検出論 ○信号処理 ○通信方式論 ○知的情報論と推論機構 ◎量子情報理論 ○光情報理論 ◎情報理論応用 ○遺伝情報
信頼性 (R)	◎信頼性・保全性理論 ◎高信頼性設計 ○信頼性試験 ○信頼性成長と予測のモデル ○異常の予知・診断 ◎故障解析 ○ソフトウェア信頼性 ○人間信頼性 ○保全方式と支援 ○データ収集と処理 ◎信頼性・保全性管理
*1 超音波 (US)	◎超音波の情動的応用 (計測, 探知, 通信など) ◎強力超音波応用 ○超音波物理 ○超音波化学 ○弾性振動 ○超音波 伝搬 ◎超音波用電気音響変換器 ○超高周波超音波 ○弾性表面波 ◎医用超音波 ◎水中音響
*1 応用音響 (EA)	◎音響信号, 音波, 機械振動を対象とするシステム (電気音響変換器, 電話機, 放送機器, オーディオ機器, 通信端末シ ステム, 音響信号処理システム, 音場制御システム, 騒音制御システムなど) 及びその要素に関連する技術 ○前記システム とその要素における受音, 送音, 信号伝送, 処理, 記録, 再生機器技術 ○装置, 部品, 材料技術 ○ヒューマン・マシ ンインタフェース技術 ◎音場及び音響環境技術 ○音楽音響, 楽器に関連する技術 ◎音響信号の解析, 処理, ソフトウ ェア関連技術 ○音響測定, 計測技術 ○音響学の基礎理論及び新たな応用技術
非線形問題 (NLP)	◎電気回路, 電磁気, 機械, 制御, システムなどにおける非線形問題 ◎カオス, フラクタル, ソリトン, ニューラルネッ トワークなどの理論と応用 ◎大規模非線形電気・電子回路における現象と数値解析 ○境界領域における非線形現象 ○ 非線形問題に関連した応用数学 ○生物, 心理, 経済, 社会現象などに関連した非線形問題 (サイバネティクス, 神経回 路モデル, 反応・拡散過程, 形態形成など)
VLSI 設計技術 (VLD)	◎VLSI 設計方法論 (IP に基づく設計技術, 設計環境などを含む) ◎システム記述言語, ハードウェア記述言語 ◎ハード ウェア/ソフトウェア協調設計手法 (組込みシステム, コンパイラ技術などを含む) ◎自動合成手法 (システム合成, 動作・ 機能合成, 論理合成) ◎設計検証手法 (シミュレーション, 形式的手法) ◎レイアウト手法 (自動配置配線など) ◎テス ト手法 (テスト生成, テスト容易化設計など) ◎テクノロジーCAD (プロセス・デバイスシミュレーション, デバイスモデ リングなど) ◎回路設計手法 (デジタル回路, アナログ回路) ◎ディープサブミクロン設計技術 (Design for Manufac turability, Signal/Power Integrity) ◎再構成可能VLSI とその応用 (エミュレーション技術を含む) ◎設計事例 (新アー キテクチャとCAD など) ◎最適化技術 (性能, 面積, 電力, 信頼性など) ◎VLSI CAD に応用可能な基盤アルゴリズム
情報セキュ リティ (ISEC)	◎暗号理論 ○計算手法 ◎暗号方式 ○暗号解析 ○鍵配送, 鍵管理 ○秘話, スクランプル ◎認証, デジタル署名 ○暗号プロトコル ○零知識証明 ○アクセス制御, 情報流制御, 推論制御 ○個人識別技術 ◎ネットワークセキュリ ティ ○データベースセキュリティ ○ソフトウェア保護, 著作権保護 ○プライバシー保護 ◎セキュリティマネジメン ト ○コンピュータ犯罪 ◎暗号技術の各種応用分野
信号処理 (SIP)	◎デジタルフィルタ ◎高速変換アルゴリズム ○高速デジタル処理 ○線形予測理論 ○スペクトル推定・システム 同定 ◎適応信号処理 ○通信用信号処理 ○制御用信号処理 ○信号処理用VLSI ◎光信号処理 ○多次元信号処理 ○ 非線形信号処理 ◎シグナルプロセッサ ◎ニューロン信号処理 ◎人工知能と信号処理の融合 ○知的信号処理 ○マル チメディア信号処理
ワイドバン ドシステム (WBS)	◎符号の構成理論 (拡散符号の構成法, 誤り訂正符号との併用など) ◎方式設計・評価理論 (各種応用システムの設計, 他 方式との比較・評価など) ◎変復調法・変復調理論 (変復調法, 変復調回路, 変復調デバイス, マルチキャリア伝送, 時間・ 空間信号処理など) ◎同期方式・デバイス (同期回路, 同期方式, 同期用デバイスなど) ◎多元接続法 (CDMA (符号分 割多元接続), SDMA (空間分割多元接続), 及びTDMA, FDMA との併用など) ◎各種応用分野 (グリーンワイヤレス, スペクトル拡散法を用いる各種公衆通信, パーソナル通信, 無線LAN, 電力線搬送, コンシューマ通信, マルチメディア情 報通信, ITS (高度交通システム), 計測・測距, ソフトウェアラジオ, 光CDMA, 光空間処理, 量子情報通信, OFDM, デジタル放送, 有線通信, xDSL, 電力線通信, UWB), 及び同一の原理・現象が適用可能な各種境界領域
システム数 理と応用 (MSS)	○システム数論基礎理論 (グラフ, ベトリネット, ネットワーク, ワークフローネット, 並行システム, システム最適化, ハイブリッドシステム, 分散システム, マルチエージェントシステム, ゲーム理論, 離散事象システム理論など) ○システ ム設計・検証の数論 (形式的モデル化技術, 形式検証, 故障診断, 性能評価, シミュレーション, フォールトトレランスな ど) ○サイバーフィジカルシステムの数論 (組込みシステム, ネットワーク化制御, センサネットワーク, 協調制御, リア ルタイムシステムなど) ○ヒューマンファクターの数論 (人間行動の解析とモデル化, ビジネスプロセス, サービスサイ エンスなど) ○数論的手法の応用・ケーススタディ (エレベータ制御, 生産スケジューリング, AGV 制御, オンデマンドバ ス制御, 大規模ソフトウェア設計などシステム数論的手法の実システムへの応用) ○新しい数論的手法 (オープンシステム サイエンス, システムバイオロジーなど)
思考と言語 (TL)	○思考と言語の心的過程 ○思考と言語を司る脳機能 ○円滑なコミュニケーションを支える言語的・非言語的機能 ○思 考と言語に関係する, 学習・発達過程, 障害・加齢現象, リハビリ, 癒し, 情緒, その他様々な活動の観測・分析・定式化・ モデル化・考察 ○上記の知見に基づく言語処理システム, 情報検索システム, 思考支援システム, 教育システム, メディア 処理, 及び, コンテンツ創成の理論, Semantic Web, Semantic Computing などのネットワークコミュニケーション基礎技術
技術と社会 ・倫理 (SITE)	情報通信と倫理, コンピュータ倫理, 倫理学, 思想・哲学, 情報化と人間の変容, プライバシーと個人情報保護, 暗号と倫 理, 知的財産権と倫理, PL 法と倫理, 通信の秘密と倫理, マスメディアと倫理, 情報通信倫理綱領, 職業倫理, 医療情報倫 理, 経営倫理, 情報通信倫理教育, ネットワーク社会と制度, 情報リテラシー, マルチメディアコンテンツと倫理, セキュ リティポリシー, デジタルデバイド

安全性 (SSS)	○総合的安全分野 安全の基本, 安全の尺度, リスク, 安全関係の法律・規格, 安全教育, 点検, PSA, フォールトトレランス, フェールセーフ, ヒューマンファクタ, ソフトウェア 安全性解析 (FTA, FMEA, ランクマトリクス, ETA, RCA, ベトリネット) ○個別的安全分野 交通安全, 製品安全, 産業安全, 原子力関係, 医療関係, 食品関係, 防災防犯関係 (地震, 洪水, 台風, 雷, 情報・防犯システム, 警戒システム) 環境分野 (排水・汚染, CO ₂ 問題, 環境ホルモン, 農業, バイオなど)
ITS (ITS)	◎ ITS と社会生活に関する総合的研究 (福祉・エコロジー・法制度・保険制度・経済波及効果, 消費者・市民の立場からの要望など) ◎ ITS 関連産業のサービスを含めた総合的見地からの研究 (ITS 技術の研究・開発・施策の動向, ITS 関連の開発機構・コンソーシアムなどの動向, 情報通信業界・自動車機器業界・交通インフラ業界などの動向, 国際標準化への貢献, ITS システムアーキテクチャなど) ◎ ITS 通信技術 (衛星通信・放送・携帯電話・PHS・ミリ波通信, 光通信・光電波融合, 路車間通信・車々間通信・人車間通信, ETC・ビーコン, DSRC, インターネット・無線 LAN・無線 MAN・無線 PAN, アドホックネットワーク, センサネットワーク, ネットワークアーキテクチャなど) ◎ ITS エレクトロニクス技術 (ナビゲーションシステム, 自動走行システム・自動誘導システム・安全運転支援システムなど) ◎ ITS ヒューマン技術 (音声認識・音声合成などヒューマンインタフェース (HMI), 歩行者関連技術など) ◎ ITS インフラ技術 (交通管理技術, ビーコン・料金所路側機器, 道路状況監視・自動運転レーン, 車両誘導・運行管理, 緊急車両の運行支援 (緊急時通報, 緊急車両の経路誘導など), タクシーなど最適配車・運行管理, デマンド交通など) ◎ 航空・海上・陸上 ITS 技術 (航空・船舶・鉄道関連技術など) ◎ ITS センシング技術 (測位・測距, 画像センシング, レーダ, プローブシステム, 交通渋滞計測・交通気象観測, 障害物探査・路面状態計測, 視界計測・眠気・疲労計測, 走行映像モニタ記録, 燃料補給スケジューラなど) ◎ ITS ポジショニング技術 (GPS, 磁気マーカ, ペイントマーカ, 無線タグなど) ◎ ITS 画像技術 (画像認識, 交通流計測, 歩行者検出, レーンキーピング, 突発事象計測など) ◎ ITS 情報技術 (OS・ソフトウェア技術・データベース技術, 交通予測・気象予測, デジタル地図・地理情報 (GIS)・観光情報・建物情報, 電子決済・セキュリティ, マナー・倫理など) ◎その他 ITS に関連するあらゆる研究
スマートインフォメディアシステム (SIS)	スマートパーソナルシステム (パーソナル情報システム, スマートホームエレクトロニクス, パーソナルヒューマンインタフェース, スマートモバイルシステム) ソフトコンピューティング (ニューロ・ファジィシステム, エボリューショナルシステム, 環境適応システム, ヒューマン適応システム) 知的マルチメディア処理システム (適応メディア処理, 非線形メディア処理, メディア認識処理, 感性・心理を考慮した情報処理) システムオンシリコン (超高速メディアシステム, 超小型情報処理システム, 超低消費電力型メディアシステム, ユビキタスシステム) RFID 関連技術全般 (RFID (IC タグ・IC カード) を利用したシステムにおけるハードウェア技術, 及びシステム技術)
イメージ・メディア・クオリティ (IMQ)	[通信・放送, カメラ, ディスプレイ, 印刷, CG などイメージングメディアの画質・質感の評価法に関わる基盤技術] 視覚の心理物理モデル (動き知覚モデル, 奥行き知覚モデル, 色覚モデル), 像評価測度論 (統計解析, 多変量解析, 数量化理論, 評定尺度法, 系列範疇法), 像評価計測論 (眼球運動・視線計測, 「感動」計測, 没入感計測, デバイス物理測定), 主観評価方式 (n 対比較法, 動画像提示法, DSIS, DSCQS, SSCQE), 像情報特性解析 (階調・色再現特性, 解像力, ダイナミックレンジ, 量子化信号解析), 観察環境と視覚特性 (光源, 明度・色順応, 暗所・明所視, 色の見え・質感モデル), 画質評価システム (画質評価自動化アルゴリズム, ハード・ソフト実現) [各メディア固有の評価技術] 撮像系像評価 (光学系像評価, 光電変換特性, センサ物性, 熱雑音評価, 色再現評価・Q-factor), 通信系像評価 (伝送方式, QoS, 没入感評価, 臨場感評価), 放送系像評価 (超高精細 TV, 伝送色方式, デジタル素材伝送, 3D テレビ放送), 蓄積系像評価 (パッケージメディア像評価, 映像ネットアーカイブ, 映像ネット検索, 医用画像), 処理系像評価 (画像符号化誤差像評価), 表示系像評価 (表示デバイス特性評価, 動き視認性評価, 3D 像評価, MPRT), 印刷系像評価 (像形成微細モデル, 色再現性, 印刷適性, 階調再現評価), 生成系像評価 (仮想・複合現実感評価, 光線追跡評価)

◎通信ソサイエティ

研究会名	取 扱 う 主 要 研 究 分 野
アンテナ・伝播 (A・P)	[電波伝搬・非通信利用] 電波・光波の伝搬, 回折と散乱, 移動伝搬, 屋内伝搬, 対流圏・電離圏伝搬, 電力伝送, 電波計測・リモートセンシング, 電波環境測定 [アンテナ一般] アンテナ理論, アンテナ素子, アレーアンテナ, 開口面アンテナ, ミリ波アンテナ, 小型アンテナ, 設計・解析手法, 人体の影響 [アンテナシステム] アンテナ測定, アンテナ給電回路, アダプティブアンテナ, MIMO アンテナシステム, 到来波推定, 光技術・光電波融合技術
宇宙・航行エレクトロニクス (SANE)	[衛星技術] 衛星システム, 衛星サブシステム・搭載機器, 衛星ミッション機器開発・利用, 小型衛星, 宇宙ステーション, 軌道上サービス, 姿勢・軌道制御 [電子・電波応用システム] レーダ, 測距・測位, 時刻標準, マイクロ波・光通信, データ中継, トラッキング, テレメトリ・コマンド, エネルギー伝送 [リモートセンシング] 地球・科学観測システム, 防災応用関連技術, センサ技術, データ処理・記録・伝送装置 [航法・交通管制] 衛星測位, GNSS, GPS, 準天頂衛星, シュードライト, 航空機・道路管制, 位置情報サービス
衛星通信 (SAT)	[衛星通信・衛星放送システム] 固定衛星通信システム, 移動衛星通信システム, 放送衛星システム, 衛星間通信システム, 静止衛星システム, 非静止衛星システム, 周波数共用技術, 干渉軽減技術 [衛星・地球局ハードウェア] 衛星搭載機器, 地球局装置, 移動端末機器 [衛星応用システム] 衛星・陸上統合システム, 衛星・陸上補完システム, 遠隔教育・医療, 災害対策・防災, デジタルデバイス対策, 衛星インターネット, 衛星センサネットワーク, システムコスト分析 [通信関連要素技術] 変復調方式, 符号化技術, 光通信技術, アクセス方式, 誤り訂正, セキュリティ技術, 通信プロトコル, 測位 [制御・管理関連技術] ネットワーク制御・管理方式, リソース制御・管理方式, 軌道・姿勢制御
環境電磁工学 (EMC)	[EMC 対策・設計技術] 伝送線路問題, 電子回路の EMC 設計, PCB 周辺の EMC 問題, EMC に関する回路解析, 近傍・遠方電磁界解析, プローブ技術, 電磁氣的結合問題, 整合回路 [EMC 測定技術と国際規格] エミッション測定, イミュニティ測定, アンテナ係数, 標準, 電磁環境評価技術, EMC に関する国際規格, EMC に関する標準, 周波数の有効利用 [EMC 材料技術・電磁波の生体効果] 電波吸収体, 電磁シールド, フィルタ, センサ, 材料定数測定, EMC に関するメタマテリアル, SAR 評価と解析技術, 電磁波の医療応用 [通信に関する EMC 問題] PLC (電力線搬送通信), 無線 LAN と電磁環境, 携帯情報端末と EMC 問題, 通信障害, シグナルインテグリティ, ケーブル, コネクタ, ブロードバンド通信の EMC 問題 [放電ノイズ・雑音] ESD (静電気放電), 電気接点, サージ, 過渡変動, 雷, 自然雑音, 人工雑音, 波源推定

ネットワークシステム (NS)	<p>〔ネットワークアーキテクチャ〕 ユビキタスネットワーク, モバイルネットワーク, アドホック・センサネットワークネットワーク, オーバレイ・P2P ネットワーク, NGN・新世代ネットワーク, SDN/OpenFlow, プログラマブルネットワーク, 有線無線シームレスネットワーク</p> <p>〔ネットワークシステム構成技術〕 サーバクライアント構成技術, システムソフトウェア, システムハードウェア, スイッチングシステム, トランスポートシステム, システム信頼性向上技術, システム仮想化技術, クラウドシステム構成技術</p> <p>〔ネットワーク制御とプロトコル〕 ルーチング, マルチキャスト, セッション・VoIP 制御, フロー制御・キューイング, クロスレイヤ制御, 有線・無線 LAN プロトコル, トラヒックエンジニアリング, TCP/IP</p> <p>〔ネットワークアプリケーション実現技術〕 ストリーミング, VoIP, コンテンツ配信, Web サービス, ネットワークソフトウェア, セキュリティ, 認証技術, プライバシー</p> <p>〔ネットワーク品質と管理〕 トラヒック評価, 通信トラヒック理論, 品質評価, ネットワーク性能評価, QoS/QoE, 信頼性・ロバスト性, トラヒック・品質管理, ネットワーク・システム管理</p>
情報ネットワーク (IN)	<p>〔ネットワークアーキテクチャ〕 IP ネットワーク, モバイルネットワーク, 次世代・新世代ネットワーク, フォトニックネットワーク, オーバレイネットワーク, センサネットワーク, ユビキタスネットワーク, 情報家電ネットワーク</p> <p>〔ネットワークサービス〕 インターネットサービス, ブロードバンドサービス, Web サービス/SOA/ROA, コンテンツ配信/流通, 通信放送融合, ソーシャルネットワーク, プライベートネットワーク (VPN), 認証/ID 管理</p> <p>〔ネットワーク理論〕 ネットワークアルゴリズム, プロトコル, ルーチング, マルチキャスト, トラヒック理論, トラヒック計測, 性能評価</p> <p>〔ネットワーク制御〕 ネットワーク管理, リソース管理, ポリシー管理, デバイス管理, セッション管理</p> <p>〔ネットワーク技術〕 実装技術, ソフトウェア技術, 分散処理技術, セキュリティ技術, 信頼性技術, 仮想化技術, グリーニング技術, 相互接続技術/標準化</p>
通信方式 (CS)	<p>〔伝送方式〕 ブロードバンドアクセス方式, パケット伝送方式, 電力線通信方式, 光伝送方式, 超高速伝送方式, 多重化方式, 同期方式</p> <p>〔変復調・符号化方式と信号処理〕 変復調方式, 誤り検出・訂正符号, 符号化方式, デジタル信号処理, 信号処理プロセッサ, ネットワークコーディング</p> <p>〔ネットワークアーキテクチャ〕 アクセスネットワーク, 広域 Ethernet, 光通信ネットワーク, ホームネットワーク, 次世代・新世代ネットワーク, 経路・トラヒック制御, ネットワークセキュリティ, ネットワークサバイバリティ</p> <p>〔無線ネットワークと応用〕 無線 LAN/MAN, PAN (Personal Area Network), BAN (Body Area Network), センサネットワーク, アドホックネットワーク, コグニティブ無線, 光無線融合</p> <p>〔ネットワークのサービスと活用〕 ネットワークサービス, ブロードバンドサービス, 映像配信・通信, サービス用端末, 医療応用, 教育応用</p>
電子通信エネルギー技術 (EE)	<p>〔電力用部品〕 半導体デバイス, 磁性デバイス, 大容量キャパシタ, 圧電デバイス, マイクロエレクトロニクス応用技術</p> <p>〔電力変換装置〕 DC-DC コンバータ, 整流器, インバータ, アクティブフィルタ, ソフトスイッチング, 新しい電力変換回路技術・制御技術</p> <p>〔電源システム〕 電力供給システム, 無停電電源システム, 小形化・高密度化・集積化, 実装・冷却技術, 計測・解析・シミュレーション, 信頼性, EMC, 新しい産業用・家電用の電源</p> <p>〔エネルギーシステム〕 太陽光発電, 燃料電池発電, 風力発電, エネルギー伝送・供給システム, 省エネルギーシステム, 超伝導技術, 熱利用技術, 水素エネルギー利用技術</p> <p>〔電池〕 高エネルギー密度化, 長寿命化, 高信頼化, 保守・管理技術</p>
光通信システム (OCS)	<p>〔光ファイバ伝送路〕 光ファイバケーブル・コード, 通信用光ファイバ, 光線路保守監視・試験技術, 接続・配線技術, 光ファイバ測定技術, 光コネクタ, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ</p> <p>〔光通信方式〕 光変復調方式, 多値光変復調, コヒーレント光通信, 光増幅・中継技術非線形・偏波問題, アナログ光伝送, 空間・可視光伝送, 量子通信</p> <p>〔光通信機器〕 光中継装置, 光クロスコネクタ (OXC), 光分岐挿入多重 (OADM), 光送受信機・光端局装置, 光通信用デジタル信号処理, 誤り訂正, 光多重・分離装置, 光通信計測</p> <p>〔デバイスのシステム応用〕 分散補償デバイス, 光信号処理, 合分波器, 光ファイバ型デバイス, 発光, 受光素子, 光スイッチ素子, 光測定器, 光通信用 LSI</p> <p>〔光通信網・規格〕 コア・メトロシステム, 海底伝送システム, 光アクセスシステム・次世代 PON, イーサネット, 光伝送網 (OTN), 高速インタフェース, 伝送監視制御, 光伝送システム設計・ツール</p>
無線通信システム (RCS)	<p>〔無線通信理論〕 周波数有効利用技術, 通信路容量評価, 変復調理論, 適応信号処理, 情報理論, 符号理論, セキュリティ, ネットワーク構成</p> <p>〔無線伝送方式〕 移動通信方式, 固定通信, 光無線通信, ダイバーシチ, 適応リンク制御, 誤り制御, MIMO, 適応等化・干渉キャンセラ</p> <p>〔無線アクセス方式〕 多元接続 (マルチアクセス), マルチキャリア, 無線 LAN/PAN, 無線リソース制御, 放送技術 (ブロードキャスト), 協力・協調通信, 同期技術, MAC</p> <p>〔無線ネットワーク技術〕 マルチホップネットワーク, 無線中継 (リレー), センサネットワーク, ハンドオーバー, QoS 制御, 分散ネットワーク, ヘテロジニアスネットワーク, クロスレイヤ技術</p> <p>〔無線通信標準化・実装技術〕 回線設計, 移動機・基地局装置, 制御装置, 変復調回路, 標準化技術, 無線センシング技術, 無線伝搬測定, 環境電磁</p>
コミュニケーションオリティ (CQ)	<p>〔ユーザ体感品質〕 QoE, 主観/客観品質評価, 多次元評価, サービスの個人/環境適応化, ユーザビリティ, インセンティブ/ユーザ効用, ユーザ行動</p> <p>〔情報通信サービスの性能〕 音声・音響・映像メディア, 力覚メディア, クロスモーダル・マルチモーダル, メディア同期, サービス記述言語, Web サービス, インタラクティブシステム, 超臨場感通信</p> <p>〔ネットワーク性能〕 QoS, 品質測定・設計・制御・管理, トラヒック測定・制御, QoS マッピング, 公平性, 信頼性・安全性</p> <p>〔QoS/QoE 技術の応用〕 ソーシャルネットワークサービス, 社会インフラでの最適資源配分, サービス品質とビジネスモデル, 品質基準と標準化, 耐災害性評価, 仮想世界のコミュニケーション</p> <p>〔品質技術を支える基盤〕 コミュニケーション心理, コミュニケーションデザイン, メディア品質と感性, 品質知覚と脳情報通信, 人体へのサービス安全性</p>

<p>フォトリックネットワーク (PN)</p>	<p>〔光ネットワークデバイス〕基盤デバイス技術, 新デバイス技術, 新素材・新現象, 実装技術, 光スイッチ, 光信号処理, 光ラベル処理, 光メモリ</p> <p>〔光ネットワークシステム〕光パケットスイッチング, 光バーストスイッチング, 光バススイッチング, 光多重化, 光ラベル変復調, 光アクセス技術, イーサネット技術, 光空間通信</p> <p>〔光ネットワーク制御・管理〕光ネットワーク運用管理, 光ネットワーク設計, トラヒックエンジニアリング, ルーチング, シグナリング, GMPLS, ドメイン間経路制御, ネットワーク監視</p> <p>〔光ネットワークアプリケーション〕ブロードバンドアプリケーション, 大容量コンテンツ転送, 高品位映像転送, グリッドコンピューティング, オーバレイネットワーク, 高速通信プロトコル</p> <p>〔光ネットワークアーキテクチャ〕新世代ネットワーク, beyond IP ネットワーク, レイヤ間インタワーキング, 光ネットワークテストベッド, 相互接続試験, 光電気融合技術, 低消費電力化技術</p>
<p>光ファイバ応用技術 (OFT)</p>	<p>〔光ファイバセンシング〕光ファイバプローブ, 光ファイバジャイロ, 光ファイバセンサデバイス, 分布型光センシング, リモート光センシング, 光ファイバ計測, 光リフレクトメトリ</p> <p>〔光ファイバデバイス〕光信号/情報処理, 光ファイバ干渉デバイス, 光ファイバ増幅, 光ファイバレーザ, 光合分波デバイス, 光フィルタ</p> <p>〔光ファイバシステム〕画像/照明/表示, 加工システム応用, 医療システム応用, バイオシステム応用, ハイパワーシステム応用, 環境システム応用, 光通信応用</p> <p>〔光ファイバ配線敷設・保守運用技術〕光配線試験, 光配線管理, 光配線信頼性, 光配線設計, 光配線施工, 光接続・コネクタ・インターコネクション, 光配線部品</p> <p>〔光ファイバ・光ケーブル設計技術〕光ファイバ特性測定, 光ファイバ信頼性, 光伝搬解析, 光ファイバ特性解析, 光ケーブル・光コード, 各種用途光ファイバ</p>
<p>情報通信マネジメント (ICM)</p>	<p>〔エレメント管理・ネットワーク管理〕モバイル・無線ネットワーク, IP ネットワーク, オーバレイネットワーク, アクセスネットワーク, 端末管理, センサ・アドホックネットワーク, ホームネットワーク, ユビキタスネットワーク</p> <p>〔サービス管理・ビジネス管理〕マルチメディアサービス管理, データサービス管理, ホスティング, SNS, グリッド・クラウド, 仮想化, ビジネスモデル, 法・倫理</p> <p>〔管理機能〕FCAPS, SLA, イベント管理, ポリシーベース管理, 自律管理, エージェントベース管理, 管理アーキテクチャ, ヒューマンインタフェース</p> <p>〔運用管理技術〕管理モデル・管理プロトコル, モニタリング, トラヒックエンジニアリング, QoS, 品質評価, NMS 基盤, 複雑系, P2P</p> <p>〔理論・運用方法論〕制御理論, 最適化理論, 経済理論, シミュレーション, データマイニング, 実証手法, 開発方法論, オントロジー・意味モデリング</p>
<p>モバイルネットワークとアプリケーション (MoNA) (名称変更)</p>	<p>〔モバイルネットワーク技術〕モバイル NW アーキテクチャ, モビリティサポート, モバイルストリーミング, モバイルマルチキャスト, モバイル向けフロー制御, モバイルアプリケーション QoS, 車両間通信ネットワーク, モバイルユビキタス NW</p> <p>〔モバイル端末技術〕端末アーキテクチャ, 端末メディア提示, モバイル端末向け情報家電 NW, モバイルシンクライアント</p> <p>〔モバイルアプリケーション技術〕モバイル信号処理, モバイルアプリケーション品質評価, モバイル感性通信, モバイルコンテンツ技術, モバイル通信放送融合, モバイルクロスレイヤ処理</p> <p>〔モバイルサービス技術〕安心・安全モバイルサービス, モバイルコンテキストアウェア, モバイルサービス評価, モバイルネットワーク/端末連携</p>
<p>インターネットアーキテクチャ (IA)</p>	<p>〔インターネット活用事例と社会〕グリーン IT, 教育応用, 医療応用, 高齢者・障害者支援, ビジネスコンティニュイティ, 著作権管理, インターネット放送, ネットワーク中立性</p> <p>〔インターネットの相互接続・運用管理〕インターネット運用・管理技術, 設定自動化, トラヒックコントロール技術, スケーラビリティ, 相互運用性, QoS, アイデンティティマネジメント (IDM), エンタープライズネットワーク, キャンパス情報システム</p> <p>〔ネットワークアーキテクチャとプロトコル〕新世代ネットワーク, オーバレイと P2P ネットワーク, マルチホーム, ネットワーク仮想化, IPv6, 経路制御, トランスポートプロトコル, ワイヤレスインターネットプロトコル, モビリティサポート</p> <p>〔インターネットアプリケーションとミドルウェア〕研究開発テストベッド構築・利用, センサ応用, 映像ストリーミング, オープンテクノロジー, マッシュアップ, リッチクライアント, クラウドコンピューティング</p> <p>〔インターネットセキュリティ〕セキュリティポリシーと情報倫理, 個人情報保護, 電子メールと SPAM 対策, トレースバック技術, VPN (仮想閉域網), PKI (公開鍵基盤), IDS/IPS (侵入検出/防御システム)</p>
<p>ソフトウェア無線 (SR)</p>	<p>〔ソフトウェア無線〕ソフトウェア無線アーキテクチャ, 広帯域・マルチバンドアンテナ, リコンフィギャラブル RF 回路, 高速高効率 A-D・D-A 変換器, リコンフィギャラブルロジック, 無線環境認識, 環境適応通信, ソフトウェアダウンロード</p> <p>〔コグニティブ無線〕スペクトルセンシング, 異システム間ローミング, ダイナミックスペクトルアクセス, チャネルアグリゲーション, コグニティブ無線用 MAC, ロードバランス, コグニティブネットワーク</p> <p>〔無線分散ネットワーク〕協調センシング, 周波数共有, 与干渉・被干渉回避, 分散 MIMO, 適応リソース制御, 協調・連携通信, クロスレイヤ最適化, 分散ネットワーク同期</p> <p>〔無線機実装〕ソフトウェア無線機, コグニティブ無線機, 無線信号処理実装, プロトタイプハードウェア, 技術基準適合証明, 無線機互換性保証, ミドルウェア, API</p>
<p>知的環境とセンサネットワーク (ASN) (新設)</p>	<p>〔ユビキタスセンシング・アクチュエーション技術〕空間センシング, バイタルセンシング, モバイルセンシング, アンビエントインタフェース, デバイス/アプライアンス技術, 組み込みソフトウェア, センシング・制御理論</p> <p>〔アドホック・メッシュ・センサネットワーク〕MAC/ルーティングプロトコル, QoS 制御, マルチホップ・協力通信, セキュリティ, クロスレイヤ設計, エナジーハーベスティング, グリーンワイヤレス, 通信・ネットワーク理論</p> <p>〔アンビエントインテリジェンス〕センサデータベース, コンテキスト抽出, マイニング, 位置情報技術, ストリーム処理, プライバシー・セキュリティ, ビッグデータ, 学習・信号処理</p> <p>〔システム基盤〕大規模広域化, デイベンダビリティ, IoT, M2M・D2D, サイバーフィジカル, 運用管理, 自律分散制御</p> <p>〔システム応用〕農林水産支援システム, 医療・健康システム, 防災・減災システム, スマート空間, 産業支援システム, 社会インフラシステム, 広域センシングシステム</p>

短距離無線通信 (SRW) (新設)	<p>[短距離無線通信用伝搬・アンテナ] 屋内伝搬特性, 屋外伝搬特性, 車内伝搬特性, ポータブル (無) 指向性アンテナ, ビーフォーミング, チャネルモデル, MIMO, スマートグリッド</p> <p>[短距離無線通信用物理層・RF] 変復調, 誤り訂正, 同期, 復調, 等化器, OFDM, MIMO, RF TRX</p> <p>[短距離無線通信用 MAC] CSMA / CA, 超高速伝送用 MAC, スループット, ストリーミング, 干渉回避, 共存性, ピコネットワーク, アドホック</p> <p>[ネットワーク・セキュリティ] ピアツーピア直接通信, アクセスポイント制御, アドホック, コグニティブ, TVWS, スマートグリッド, リレーネットワーク, セキュアードネットワーク</p> <p>[短距離無線通信用実装技術] ASIC 化技術, ミリ波 RFCMOS, 化合物半導体 RF, 低雑音 RF 受信機, 低消費電力化 HW 実現技術, 低消費電力化 SW 実現技術, 小型・軽量実装技術</p>
--------------------	--

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	取 扱 う 主 要 研 究 分 野
機構デバイス (EMD)	◎基礎:◎接触理論 ◎接続基礎 ◎接触界面現象 ◎熱問題 ◎トライボロジー ◎放電物理 ◎デバイス設計 ◎光-電気ハイブリッド ◎デバイス・部品:◎リレー ◎スイッチ ◎コネクタ ◎ブレーカ ◎小型モータ ◎アクチュエータ ◎光コネクタ ◎光スイッチ ◎材料:◎接点 ◎パネ ◎モールド ◎導電性樹脂 ◎はんだ ◎環境・信頼性:◎環境調和 (リデュース, リユース, リサイクル) ◎寿命・信頼性 ◎評価法 ◎設計法 ◎電磁環境との調和設計 ◎微細加工技術・デバイス:◎ MEMS・NEMS ◎その他 ◎応用:◎電力・通信・制御 ◎実装 ◎家電 ◎自動車 ◎コンピュータ及びその周辺機器 ◎交流・直流 ◎高周波応用
磁気記録・情報ストレージ (MR)	◎情報記録の原理 (磁気, 光, その他) ◎記録再生理論 ◎記録再生用材料・部品 (記録媒体, ヘッドなど) ◎信号処理, 変復調, サーボ, トライボロジー技術 ◎情報記録装置及びシステム ◎記録関連評価・計測技術 ◎その他記録関連技術
超伝導エレクトロニクス (SCE)	◎超伝導集積回路 (単一磁束量子デジタル回路, デジタル・アナログ混成回路, 新機能回路など) ◎超伝導センシングデバイス (SQUID, SSPD, SIS ミキサ, STJ, MKIDS, TES など) ◎超伝導量子標準デバイス (電圧標準, 電流標準など) ◎超伝導量子コンピュータ ◎超伝導受動デバイス (フィルタなど) ◎超伝導デバイス製造技術 (薄膜技術, ジョセフソン接合技術, 新機能デバイスなど) ◎回路設計技術 ◎実装及びシステム化技術 (高周波実装技術, 極低温実装技術, 極低温環境生成技術など) ◎超伝導デバイスの応用 (情報処理, 通信, 計測・分析, 医療・バイオ, 新規応用など)
電子ディスプレイ (EID)	◎発光・非発光ディスプレイデバイス (CRT, VFD, PDP, LED, LCD, ECD, EPID, OLED, MEMS, フレキシブルディスプレイ, 電子ペーパーのほか, 新方式デバイス) ◎ディスプレイデバイス材料 (蛍光体, 発光半導体, 液晶, エレクトロクロミック材料, エレクトロフォレティック材料など) ◎ディスプレイ周辺部材と駆動回路 (新ドライバ素子, 駆動方式, アクティブマトリクス, バックライト, タッチパネルなど) ◎ディスプレイ方式とシステム (カラーディスプレイ, 投写型, 大型ディスプレイ, 三次元ディスプレイ, ディスプレイシステムとサブシステム) ◎ディスプレイ評価と設計 (評価法, 人間工学, シミュレーション, 設計法など)
電子デバイス (ED)	◎電子デバイス及び集積回路:光通信, 移動体通信, マイクロ波, ミリ波, テラヘルツ波, 超高速デジタル, 撮像・ディスプレイ・センサ, 電力変換・発電などのシステムに利用されるもの ◎デバイスの種類:FET, HEMT, HBT, バイポーラデバイス, ダイオード, パワーデバイス (IGBT, サイリスタなど), TFT, MOS・MIS・ショットキー接合による各種デバイス, 太陽電池, 各種センサ, 量子効果デバイス, 単一電子デバイス, カーボンナノチューブデバイス, 真空ナノデバイス, 電子管, MEMS, フィルタ, その他の新デバイス ◎扱う材料:化合物半導体 (Ⅲ-V, Ⅲ-IVなど), SiGe, SiC, ダイアモンド, カーボン, アモルファス半導体, 多結晶半導体, 酸化物半導体, 強・常誘電体, 超伝導材料, 有機材料, その他の電子材料 ◎プロセス技術:結晶成長, ヘテロ接合形成, 超微細構造形成, 表面・界面制御, 電極・パッシベーション, ビーム応用など ◎モデリングとシミュレーション:デバイス/プロセス, 熱, 応力, 回路など ◎電子デバイスにおける諸現象:電子輸送, ひずみ, ノイズ, 非線形現象, カオスなど
電子部品・材料 (CPM)	◎誘電体・圧電体・磁性体・導体・半導体材料, 有機電子材料, フォトニクス材料, 実装関連材料など各種電気・電子材料とその物性 ◎結晶育成技術, 薄膜・厚膜形成技術 ◎センサ, 記憶・記録, 圧電, 電気化学などの電子部品 ◎回路部品, ハイブリッド IC の設計・製造法など, 実装技術及び信頼性評価
電磁界理論 (EMT)	◎電磁界の基礎理論 ◎相対論 (重力波を含む) ◎数学的解析理論と応用 ◎数値解法理論, 計算電磁気学 ◎量子電磁力学 ◎波動情報処理 ◎他系との結合理論と解析 (レーザー, プラズマ, 電子ビームを含む) ◎非線形問題 ◎放射, 伝搬 ◎散乱・回折 ◎周期構造 ◎ランダム媒質・粗面 ◎過渡解析 ◎高周波漸近解法 ◎逆問題・逆散乱 ◎導波路
シリコン材料・デバイス (SDM)	◎材料:◎単結晶 ◎多結晶 ◎アモルファス ◎Si デバイス・プロセスに関わる材料 (絶縁膜, 強誘電体, 高誘電率膜, 金属, 有機材料, ガス, 薬品など) ◎物性評価技術 ◎プロセス技術:◎エピタキシャル成長 ◎CVD ◎スパッタ ◎MBE ◎酸化 ◎ドーピング ◎光・イオンプロセス ◎リソグラフィ ◎エッチング ◎浅層・薄膜化 ◎配線技術等 ◎実装技術:◎多層配線・コンタクト・TSV ◎SiP ◎三次元パッケージ ◎信頼性技術 ◎素子構造:◎MOS ◎バイポーラ ◎SIT ◎高耐圧デバイス ◎電力用デバイス ◎TFT ◎SOI ◎三次元素子 ◎LSI メモリセルセンサ ◎Si ヘテロ素子 ◎Si の新素子 ◎ニューロチップ技術 ◎素子分離 ◎デバイス評価技術 ◎低温動作デバイス ◎BiCMOS など ◎太陽電池 ◎機能ナノデバイス:◎カーボンナノチューブ ◎グラフェン ◎モデリング・信頼性:◎ホットキャリア効果 ◎LDD 構造 ◎耐放射線素子 ◎プロセスシミュレーション ◎デバイスモデリング ◎信頼性評価技術など ◎System on Glass, System on Panel ◎半導体生産技術:◎クリーン化技術 ◎製造装置技術 ◎自動化技術 ◎アセンブリ技術
マイクロ波 (MW)	マイクロ波, ミリ波, サブミリ波, テラヘルツ波領域における材料, 回路, 素子 (デバイス), 各種技術, 応用・システム ◎材料 (誘電体, 磁性材料など) ◎回路:◎受動回路 (伝送線路, 導波路, 素子) ◎回路合成, ◎能動回路 (デバイス, MMIC), ◎準光学的回路・素子 (アクティブアンテナ等を含む) ◎素子 (半導体デバイスなど):◎光制御マイクロ波・ミリ波素子, ◎非線形応用回路・素子, ◎弾性波素子, ◎超伝導素子, ◎電子管 ◎各種技術:◎電磁界解析 (CAD, シミュレーション), ◎回路実装技術, ◎計測技術 (センサを含む), ◎マイクロ波・ミリ波フォトニクス, ◎超伝導応用技術, ◎マイクロ波・ミリ波フォトニクス ◎応用・システム:◎電力応用, ◎電磁波と生体との相互作用 (医療応用など), ◎システム応用・通信装置 (高周波用デジタル技術を含む)

集積回路 (ICD)	◎ LSI 回路, デバイス技術 ○ LSI デバイス技術 (バイポーラ, CMOS, SOI, BiCMOS, GaAs その他化合物, 量子効果デバイスなど) ○ LSI 回路技術 (高速化, 低消費電力化, 低雑音化, 高精度化など) ◎メモリ LSI ○汎用メモリ (DRAM, SRAM, ROM, 不揮発性メモリ, 強誘電体メモリ, シンクロナス DRAM など) ○専用メモリ (画像用メモリ, 通信用メモリ, FIFO, 連想メモリ, 知能メモリなど) ◎プロセッサ ○汎用マイクロプロセッサ ○マイクロコントローラ ○専用プロセッサ ○ DSP (音声用, 通信用, 画像用など) ○ AI プロセッサ・ニューロ LSI ◎システム LSI ○各種専用 LSI ○通信用 LSI ○ ASIC 技術 (ゲートアレー, セルベース LSI, コアベース LSI, システム ASIC FPGA など) ○マルチメディア LSI (マルチメディア用 LSI, エンタテイメント用 LSI など) ◎アナログ LSI ○基本アナログ回路 (演算増幅器, 高周波回路など) ○データ変換器 (A-D 変換器, D-A 変換器など) ○フィルタ回路 (能動フィルタ, スイッチトキヤパシフィルタなど) ○アナログ・デジタル混載 LSI ◎集積化センサ (イメージセンサ, IR センサ, 圧力センサなど) ◎新概念の LSI ○インタフェース技術 ○クロック関連技術 (PLL, クロックドライバなど) ◎ LSI 実装技術 (LSI パッケージ, TAB, マルチチップモジュールなど) ◎ LSI 測定・評価・解析技術 (LSI テスタ, 故障解析など) ◎ LSI フォールトトレラント技術 (ECC, 冗長回路など) ◎ LSI テスト容易化設計 (スキャンパス, BIST など) ◎ VLSI 設計技術 ◎ LSI CAD 応用技術 (アーキテクチャ, 回路, 合成など) ◎ LSI 応用技術
有機エレクトロニクス (OME)	○分子電子デバイス, 分子素子, 有機トランジスタ ○液晶表示素子, 有機 EL 素子, 有機電子ペーパー, 有機感光体, 有機膜センサ, バイオセンサ, ガス・イオンセンサ, バイオチップ ○光導波路, 光スイッチ, 光コネクタ, フォトリフラクティブ ○電解コンデンサ, 線路素子, 有機太陽電池, 有機光電池, ポリマー電池, 有機ラジカル電池 ○分子メモリ, 有機光記録, 極微細加工レジスト, フォトケミカルホールバーニング, 人工筋肉 ○有機半導体, 有機導電材料, 有機絶縁材料, 有機超伝導体, 有機磁性材料, 液晶材料, 有機相転移材料, 有機光非線形材料, 有機ナノ材料
光エレクトロニクス (OPE)	光・電子集積回路 (OEIC) 集積フォトニクス 光導波路解析 導波型光デバイス (各種材料) 光デバイス設計 面型光デバイス 空間光学デバイス 光ファイバ (ホーリーファイバ・マルチコア・マルチモードファイバ並びに接続技術を含む) 光モジュール・コンポーネント 光インタコネクション 光センサ 光計測 光スイッチ 光変調器 光・光制御光メモリ 光情報処理・光信号処理 光メモリ 適応型デバイス 光 MEMS フォトニック結晶 (パッシブ) シリコンフォトニクス
レーザ・量子エレクトロニクス (LQE)	半導体レーザ, 発光ダイオード, 光増幅器 (半導体・ファイバアンプ) 光変調器 (半導体・LN), 光検出器 (半導体・他), 光スイッチ (半導体・LN) 半導体光集積回路 (OOIC・OEIC), フォトニック結晶 (アクティブ) アクティブ光モジュール (発光・受光・光変調・光増幅) 波長変換, 光ソリトン, 超短光パルス 非線形光学, 位相共役光学, 量子光学, レーザ分光 光半導体結晶成長・素子プロセス, 光材料物性
エレクトロニクスシミュレーション (EST)	電子工学一般に関するシミュレーション技術, 技法 (電磁波, 回路, 半導体, システムなど) シミュレーション高速化技術 (並列分散処理, GPGPU, 高速アルゴリズムなど) 高精度計算技術 既存シミュレータの比較検証 (規範問題の提示など) 複合シミュレーション技術 (電磁波と機械/化学/熱などのマルチフィジックスシミュレーション) シミュレータ向け共通プラットフォーム技術 技術教育用電磁界解析シミュレータの構築 最適設計法
マイクロ波・ミリ波フォトニクス (MWP)	マイクロ波・ミリ波・サブミリ波帯光デバイス及び駆動回路 光制御マイクロ波・ミリ波デバイス 光マイクロ波融合デバイス及びサブシステム マイクロ波・ミリ波技術による光信号の制御 フォトニクス技術によるマイクロ波・ミリ波の検知・計測 フォトニクス技術によるマイクロ波ミリ波信号及び超高速電気信号の発生と制御 フォトニックネットワークと協調したマイクロ波・ミリ波無線システム 光ファイバによるマイクロ波ミリ波の伝送 (ROF: Radio on Fiber) 光ファイバ給電ワイヤレスアクセスシステム 光制御アンテナ及びフェーズドアレー フォトニクス技術による未開拓電波領域の利用・新展開 電波応用技術によるコヒーレント光の利用・新展開 電波と光無線の共存共栄・新展開 環境情報取得・環境計測に向けた電波技術と光波技術の協調・新展開 電波と光波との融合技術に係る実用化開発と標準化動向

◎情報・システムサイエティ

* 2 ME とバイオサイバネティクス (MBE)	ME 関連 ◎医用計測・解析・制御 ○医用機器の開発 ◎医用画像処理 ○医療情報システム ○生体補綴・人工臓器 ○再生医療工学 ○分子・細胞工学 ○リハビリ工学 ○臨床工学 ○その他の医工学に関連したもの バイオサイバネティクス関連 ◎神経・生理システムの機能計測・解析 ○感覚・中枢系における情報処理 ◎生体システムの計測・解析・モデリング・シミュレーション ◎生体信号処理 ○バイオインフォマティクス ○フィジオーム ○バイオセンサ ○その他の生体工学に関連したもの
ライフインテリジェンスとオフィス情報システム (LOIS)	◎ライフログ (ライフログ活用技術, ライフインテリジェンス, ライフログデータ解析) ◎オフィスモデル (業務モデル, BPR, 情報共有, XML, 文書構造, 文書処理, ワークフロー) ◎コミュニケーション (共同作業を支援する技術) (電子メール, グループウェア, CMS, ブログ, SNS, ソーシャル Web, 仮想共有環境, 仮想オフィス) ◎データマイニング (ライフログやオフィスなどの情報抽出技術) (行動履歴, 行動分析, ユーザ状況推定, 顧客情報マイニング, ナレッジマネジメント, メールマイニング, レコメンド, パーソナライズ, 人工知能応用) ◎システムアーキテクチャ (Web サービス, 情報システムガイドライン, SOA, WebAPI, RSS, マッシュアップ, SLA) ◎ネットワーク (クラウドコンピューティング, SaaS, センサネットワーク, ユビキタスネットワーク, VPN, P2P) ◎セキュリティ (匿名化技術, ユーザプロファイルハンドリング, アクセス制御, コンピュータウイルス, スパム, プライバシー, 著作権管理) ◎ヒューマンインタフェース (可視化, モバイルインタフェース, リッチインタフェース, Ajax) ◎その他オフィスアプリケーション (意思決定支援, 学内情報システム, CTI, CRM, インターネット家電, IPTV, 電子書籍)
画像工学 (IE)	◎画像基礎 (画像情報論, 視覚特性, 画像評価, 画像符号化, 色彩信号処理, 走査方式) ○画像デバイス・装置・入出力・記録技術 ◎画像通信・画像応用システム (静止画通信, TV 電話・会議通信, 蓄積画像通信, HDTV, CATV, 3D 画像通信, 画像情報処理システム, オーディオビジュアル) ◎画像処理・計測 (画像処理手法, 文書画像処理, 3D 画像入出力, CG 応用, 画像処理装置・プロセッサ) ◎画像データベース (画像構造化・蓄積・検索・機能図形処理) ○マルチメディア・コンピューティング (ビジュアルインタフェース, ビジュアルランゲージ, ハイパメディア, 映像ハンドリング)
言語理解とコミュニケーション (NLC)	◎テキストマイニング, ◎大規模 Web テキスト (ブログ, 掲示板, FAQ サイト, SNS など) からの知識獲得・活用, ○大規模言語資源 (コーパス, 辞書など) の構築・活用, ○主観表現処理 (評判, 意見, 感情表現処理など), ○集合知のための基盤技術 (機械学習, 推論など), ○自然言語処理のための基盤技術 (形態素解析, 構文解析, 係り受け解析, 意味解析など), ○集合知を利用したシステム開発 (情報検索, 情報フィルタリング, 機械翻訳, 文書要約, 質問応答など), ○自然言語理解のための基礎理論, ○対話処理 (音声対話, 対話分析など)
コンピュータシステム (CPSY)	○コンピュータハードウェア (論理回路, 記憶装置, 入出力装置, コンピュータ端末, スーパーコンピュータなど) ◎ VLSI コンピュータ (VLSI アーキテクチャ, マイクロコンピュータ, メモリ, システムオンチップ, チップマルチプロセッサなど) ◎コンピュータシステム (次世代コンピュータ, 並列処理システム, グリッド, PC クラスタ, 分散処理システム, 組込みシステム, 自律システム, コンピュータ通信, 運用管理, 実時間処理, 実世界とコンピュータシステムなど) ◎ストレージシステム ○システムソフトウェア (オペレーティングシステム, データベース, 言語プロセッサ, エディタなど) ○アプリケーションソフトウェア (コンピュータグラフィックス, CAD, 生産管理システム, シミュレーションなど) ○マン・マシンインタフェース ○コンピュータネットワーク (ネットワークインタフェース, 通信機構ソフトウェア, クラウドコンピューティングなど)

コンピュータシオン (COMP)	計算可能性の理論, 計算量理論, オートマトン理論, 形式言語理論, 計算の変換と検証, グラフ理論, 組合せ論, アルゴリズムとデータ構造, 量子計算, 分子計算, 並列/分散計算, 知能処理基礎論, 学習理論, 発見科学, 計算におけるランダム性, 符号/暗号理論, 記号計算, 計算幾何学, 計算生物学, 離散最適化, 数理計画法, メタヒューリスティクス, 複雑ネットワークの理論
人工知能と知識処理 (AI)	◎知的エージェント ◎マルチエージェント ◎コミュニティウェア ◎ソーシャルネットワーク ◎知的コミュニケーション ◎知的インタフェース ◎知識メディア ◎知的学習環境 ◎知能ロボット ◎Web インテリジェンス ◎セマンティック Web ◎情報フィルタリング ◎データマイニング ◎ナレッジマネジメント ◎人工生命 ◎遺伝的アルゴリズム ◎ニューラルネットワーク ◎知識表現と推論 ◎協調問題解決 ◎知識獲得と学習 ◎知識共有と再利用 ◎エキスパートシステム
ソフトウェアサイエンス (SS)	◎ソフトウェア基礎理論 ◎仕様記述と検証 ◎モデル検査 ◎定理自動証明 ◎SAT 応用 ◎計算モデル ◎自動合成・変換 ◎並列分散処理 ◎実時間処理 ◎プログラミング ◎言語設計 ◎言語処理系と実装技術 ◎プログラム意味論 ◎型検査と型推論 ◎プログラム解析 ◎プログラミング技法と支援環境 ◎ソフトウェア工学 ◎要求分析 ◎設計論 ◎テスト技法 ◎保守と発展 ◎ソフトウェアプロセス ◎ツールと開発環境 ◎品質管理 ◎プロジェクト管理 ◎メトリクス ◎システムソフトウェア ◎組込みシステム技術 ◎実時間 OS ◎ネットワーク技術 ◎セキュリティ ◎Web 応用 ◎メディア応用
データ工学 (DE)	◎データベース設計理論とそのツール (データベース設計論, データベース言語, 問合せ言語, SQL, ユーザインタフェース, セキュリティなど) ◎データモデル論 (リレーショナルデータベース, オブジェクト指向データベース, 演繹データベース, 半構造データベースなど) ◎データベースシステム構築技術 (ファイルシステム・物理編成, 大容量記憶システム・記憶装置, RAID (ディスクアレイ), SAN, NAS, 問合せ処理と最適化, システム性能評価, SSD, フラッシュメモリなど) ◎トランザクション処理 (並行処理制御方式, 障害回復など) ◎データベースシステムアーキテクチャ (並列・分散データベースシステム, アクティブデータベース, モバイルデータベース, マルチ (フェデレーティド) データベース, 省電力データベースなど) ◎高度データベース応用 (マルチメディアデータベース, ストリームデータベース, リアルタイムデータベース, ワークフローとデータベース, データウェアハウスと OLAP, データマイニング, ビッグデータとデータベース, 科学及び統計データベース, 時間・空間データベース, コンテンツ管理, ユビキタス情報システム, 生物情報学, 可視化情報学, 芸術情報など) ◎ WWW (XML, WWW とデータベース, サーチエンジン, 電子商取引, WWW 応用システム, ソーシャルコンピューティング, クラウドソーシングなど) ◎情報検索 (情報検索システム, デジタルライブラリーなど) ◎その他データ工学一般
パターン認識・メディア理解 (PRMU)	◎パターン認識・メディア理解の基礎 (認識理論, 理解モデル, 学習理論, 特徴抽出, 識別理論など) ◎パターン認識・メディア理解の手法 (セグメンテーション, パターン解析, 動き解析, パターン記述, 照合手法, 正則化, 学習機構, 自己組織化, ニューラルネットなど) ◎パターンメディアの認識・理解 (文書, 文字, 図形, 図面, 地図, 画像, 顔, ジェスチャ, 映像, 音声, 音響, 色彩, マルチメディア, 時空間パターン, 地理的分布パターン, 社会活動パターンなど) ◎コンピュータビジョン (三次元復元, センサ融合, アクティブビジョンなど) ◎パターンの知覚・認知 (知覚モデル, 認知モデルなど) ◎パターン生成 (知的グラフィックス, パターン生成モデルなど) ◎パターン認識の応用とシステム (産業応用, 医療応用, 教育応用, 図書館応用, 交通応用, メディア変換, 複合現実感, バーチャルリアリティ, マルチモーダルインタフェース, 知能ロボット, ウェアラブルコンピュータなど) ◎パターン認識・メディア理解のツール (専用ハードウェア, ソフトウェアライブラリー, データベースなど)
ディベンダブルコンピューティング (DC)	◎ディベンダブルコンピューティング (ディベンダブルシステム, ディベンダブルコンピューティングシステム, ディベンダブルコンピュータ, ディベンダブルネットワーク, ディベンダブルソフトウェア, ディベンダブルハードウェアなど) ◎フォールトトレラントシステム (並列/分散/協調システム, オペレーティングシステム, データベースシステム, リアルタイムシステム, アシテラシスシステム, 計算機ネットワーク, システム設計方法論/ツールなど) ◎フォールトトレラントソフトウェア (プログラミング, データ構造, プロセス間通信と同期, トランザクション処理, 例外処理, システム再構成, 誤り回復など) ◎フォールトトレラントハードウェア (故障予防, 故障マスク, 故障検出・診断・再構成, 機能回復, フェールセーフ, 誤り検出/訂正符号, 欠陥回避設計, VLSI 関連など) ◎設計・検証・テスト (テスト生成, テスト容易化設計, テストシナシス, 自己テスト, 故障診断, 故障検証, プログラム検証/テスト, プロトコル検証/テスト, 論理/故障シミュレーションなど) ◎信頼性・安全性・セキュリティ・保守と診断・性能評価 (システムの信頼性, システムの安全性, 遠隔診断, 解析モデル, シミュレーション, 計測・評価方法, 性能評価ツールなど) ◎フォールトトレランス応用技術 (プロセス制御, ロボティクス, ニューラルネットワーク, ファジィシステム, ファクトリオートメーション, オフィスオートメーション, 電子式料金システム, 医用システムなど)
* 3 ニューロコンピューティング (NC)	◎脳・生体の計測・分析・定式化・モデリングと工学的構成 (視覚聴覚を含む感覚・知覚系, 運動・制御系, 学習・記憶系, 思考を含む高次脳機能) ◎ニューラルネットワークのモデル・計算論 ◎計算論的神経科学 ◎認知科学の計算論的・脳科学的基盤研究 ◎学習理論 ◎確率的情報処理 ◎記憶 ◎学習 ◎自己組織化 ◎パターン認識 ◎特徴抽出 ◎高次情報処理 ◎遺伝的アルゴリズム ◎ソフトコンピューティング ◎人工生命 ◎複雑系ネットワーク ◎ニューロインフォマティクス ◎ニューラルネットワークのハードウェア化 ◎ニューラルネットワークの応用 ◎ブレインマシンインタフェース
知能ソフトウェア工学 (KBSE)	Web サービス, エキスパートシステム開発ツール, XML, エンタプライズモデリング, オブジェクト指向ソフトウェア工学, オントロジー, 形式仕様, CASE, ソフトウェアアーキテクチャ, ソフトウェア開発の知的支援, ソフトウェア開発プロセス, ソフトウェア工学教育, ソフトウェア再利用, 知識の表現・獲得・管理・利用, 知的エージェント, 知的 CAI, 知的ヒューマンインタフェース, ドメイン分析・モデリング, ビジネスモデリング, プログラム知識, プログラムの意味と理解, 分散協調ソフトウェア開発, モデルドリブンアーキテクチャ, ユビキタスソフトウェア工学, 要求工学, ワークフロー
* 1 音声 (SP)	◎音声処理の基礎理論 ◎音声信号処理 ◎音声の生成過程 ◎音声の知覚過程 ◎音声分析 ◎音声符号化 ◎音声合成・韻律・声質 ◎感情音声 ◎歌声 ◎音声認識・理解・対話 ◎話者識別・照合 ◎音声の品質の測定・評価 ◎音声福祉応用 ◎音声・聴覚・言語障害の補助 ◎音声言語処理 ◎音声の強調・復元・分離 ◎音声の検索・要約 ◎言語識別 ◎言語/外国語の音声教育 ◎音声コミュニケーションデバイス ◎音声コミュニケーションシステム ◎音声データベース ◎マルチモーダルインタフェース ◎バイモーダル音声処理 (リップリーディング, リップシンク)
教育工学 (ET)	◎教育工学基礎 (認知科学, 知識工学, 人間工学, 行動科学, 個別教育, グループ・協調学習, 指導・学習モデル) ◎教育支援システム (e ラーニング, ILE, ITS, CAI, マルチメディア利用, ネットワーク利用, 衛星利用, 遠隔教育, 学習環境, ヒューマンインタフェース, プレゼンテーション) ◎教育設計・計画 (教材構造分析, カリキュラム開発, テストシステム, データ解析) ◎分野別教育 (工学教育, 情報処理教育, 情報教育, 研究者育成, 人材育成, 感性教育) ◎対象別教育 (大学・高専教育, 初等中等教育, 企業内教育, 特別支援教育, 障害者教育, 看護教育, 福祉教育, リフレッシュ教育, 生涯教育)

医用画像 (MI)	医用画像に関連するイメージサイエンス, 画像情報理論, 像形成理論 人体・その他の生体の画像の生成理論と実現技術 (CT (X線, 光, その他), MRI, 超音波, PET, RI, 機能画像化, 組成画像化, 医用動画像など) 画像化のための生体信号検出・計測・処理技術 医用画像の表示 (人体可視化) 技術, 画像診断・治療におけるインタフェース技術, 仮想現実 (VR)・複合現実の技術と医用応用 医用画像の認識・理解と応用 医用画像の圧縮, 蓄積・検索 (医用画像データベース), 伝送の理論と諸技術 コンピュータ支援診断 (CAD), コンピュータ外科, 手術支援 (術前, 術中支援), 治療計画, 仮想化内視鏡システム, ナビゲーション診断 医用画像システム (PACS, 遠隔診断 (テレラジオロジー, テレパソロジーなど), RIS, HIS, 3D 解剖図と教育など), 医用画像と身体論
ソフトウェアインテグレーション (SWIM)	[インタプライズモデル化技術] インタプライズに関する下記の三本柱を実務上可能とする技術 (含む, それらの記述関連やシームレス連携を可能にするツールなど) ◎ビジネス実施方式 (ビジョンや戦略などの方針面は与件であるとする) ○ビジネスモデル (BM: 収益獲得の在り様や方法) の革新 ○ビジネス実施方法の革新 (ビジネスプロセス (BP), ビジネスルール (BR) など) ◎インタプライズ IS (情報システム) の実動化技術 ○3B モデル (BM, BP, BR) の実動化 (Model Enaction) ○サービス連携による実動化 ○その他の技術による実動化 ◎検証技術 ○ビジネス実施方式, IS 実動化技術各々の妥当性, 正当性などの検証 ○ビジネス実施方式, IS 実動化技術間の妥当性, 正当性などの検証 [情報システム一般] 経営情報システム ○ソーシャルエンタプライズ (社会システム) ○ビッグデータ活用システム ○CPS (Cyber Physical System) [IT 基盤] ○従来型基盤 ○ Web 利用基盤 ○ SOA, ESB ○ ASP, XaaS ○ クラウドコンピューティング ○マッシュアップ
リコンフィギャラブルシステム (RECONF)	リコンフィギャラブルシステム関連技術 (リコンフィギャラブルアーキテクチャ, リコンフィギャラブルシステム用デバイス, リコンフィギャラブルシステム用アルゴリズム, システム設計言語, システム記述言語, 開発環境, API, コンパイル技術, 並列リコンフィギャラブルマシン, リコンフィギャラブルコネクション技術, アプリケーション, ソフトウェア無線) 新しいアーキテクチャ (コンフィギャブルプロセッサ, 動的リコンフィギャラブルプロセッサ, 動的適応型アーキテクチャ, 仮想ハードウェア, 進化するハードウェア) FPGA/PLD 関連技術 (FPGA/PLD のデバイスアーキテクチャ, FPGA/PLD の回路設計技術, FPGA/PLD の CAD/DA 技術, FPGA の省電力設計, FPGA/プロセッサ協調処理技術, エミュレーション技術とラビッドプロトタイピング, FPGA/PLD を用いた各種アプリケーション)
情報通信システムセキュリティ (ICSS)	{ネットワーク, アドホックネットワーク, P2P, センサネットワーク, RFID, 無線 LAN, モバイルネットワーク, ホームネットワーク, クラウドネットワーク, スマートグリッド} に関するセキュリティ技術, アクセス制御, コンテンツセキュリティ, DRM, CDN, プライバシー保護, 電子商取引, 公開鍵認証基盤, セキュリティ・アーキテクチャ, セキュリティ・プロトコル, セキュリティ実装技術, セキュア OS, セキュリティ評価
情報論的学習理論と機械学習 (IBISML)	学習理論基礎, 機械学習, 統計数理, データマイニング, パターン認識・識別学習理論, 統計的自然言語処理, 統計的信号処理, 機械学習応用 (バイオインフォマティクス, マーケティング, ロボティクス, セキュリティ, 金融工学, 生命科学, ネットワーク解析, システム解析, ソーシャルネットワーク, Web 解析などにおける学習)
マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント (EMM)	◎コンテンツセキュリティ (メディアセキュリティ, 著作権管理, 真正性保証, フォレンジクス, プライバシー保護, コンテンツデリバリネットワーク, アクセス制御, 秘匿通信, 匿名通信, 秘密分散, 難読化, 電子透かし, デジタル指紋, ステガノグラフィ, ステガナリシス) ◎コンテンツ統合 (異種メディア融合, 異種メディア横断検索, マルチメディアアーカイブシステム) ◎コンテンツ設計 (臨場感生成, ユニバーサルメディア, デジタルエンタテインメント) ○コンテンツ処理 (メディア修復, マルチメディア・アノテーション, マルチメディア自動要約) ○コンテンツ評価 (画質・音質評価, 知覚・認知メトリクス, 人間視聴覚システム)
クラウドネットワークロボット (CNR)	[異種ロボット間協調・連携の研究] 異種ネットワーク連携, ロボットサービス連携, 遠隔操作, ロボット安全管理, 標準化など [ヒューマン・ロボット・インタラクションの研究] ユーザ行動・状況情報, ロボット・コミュニケーション, 高度情報対話, 標準化など [ネットワークロボットのためのクラウド型データ連携の研究] クラウドサービス対応セキュリティ, 個人情報利活用, 空間台帳, ユーザ台帳, データマイニング, ネットワークロボットによるデータ活用, パーソナルファブリケーション, パザール型ロボット開発, EV クラウド, フィールドロボティクス, サイバーフィジカルメディア, スマートシティ, 標準化など
サービスコンピューティング (SC)	SOA, Web サービス, サービス連携, サービス発見, サービス選択, サービス運用・管理, サービスのセキュリティ, SLA, ポリシー QoS, ESB, CPS (Cyber Physical Systems), クラウド (SaaS, PaaS, IaaS) の運用, クラウドのパフォーマンス, 教育クラウド, 医療クラウド, ワークフロー, ビジネスプロセス, BPM, クラウドソーシング, Web API, マッシュアップ, Linked Data サービス, モバイルサービス, ユビキタスサービス, ストリームサービス

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

ヒューマンコミュニケーション基礎 (HCS)	◎コミュニケーション科学 ○ヒューマン・メディア論 ○情報意味理解科学 ○あいまい情報処理論 ○ヒューマンモデル構築 ○ヒューマン・エラー発生過程 ○対話モデル構築 ○創造・思考支援環境 ○協調作業支援環境 ○障害者・高齢者用コミュニケーション支援 ○非言語的コミュニケーション手法 ○心理学・行動科学・社会心理・組織論 ○顔・表情の認知・理解・モデリング ○顔・表情の情報処理 ○感性情報処理論 ○マルチモーダルコミュニケーション論 ○ロボットコミュニケーション論
ヒューマン情報処理 (HIP)	◎感覚・知覚情報処理 (視聴覚情報処理, ヒューマンビジョンシステムとモデル, 視聴共感, マルチモーダル情報処理) ○感性と認知 (感性情報処理, 感情表出と認知, 実・仮想空間の知覚と認知, 画像と音響の評価技術) ○生体信号処理 (ヒューマン機能の計測と解析, 生体信号処理と解析, 生体運動の理解と生成) ○ヒューマンインタフェース (ヒューマンインタフェース技術, 人間・機械インタラクション, マルチモーダルインタフェース, コミュニケーション支援)
マルチメディア・仮想環境基礎 (MVE)	◎メディア処理・メディア応用 ◎バーチャルリアリティ・複合現実感 ◎ヒューマンインタフェース ○臨場感通信
福祉情報工学 (WIT)	視覚障害者支援 (点字翻訳, 音声合成, スクリーンリーダ, 文字認識, 画像認識, 画面拡大システム, 触覚ディスプレイ, 白杖, 歩行訓練, 歩行誘導システム) 聴覚・言語障害者支援 (手話認識, 手話合成, 音声認識, 自動要約, 発話訓練, 字幕, 遠隔コミュニケーションシステム, 補聴器, 構音障害, コミュニケーションエイド) 盲聾者支援 (指字, 点字翻訳, 触覚ディスプレイ) 肢体不自由支援 (電動車いす, コミュニケーションエイド, 機器操作インタフェース, 運動障害性構音障害) 知的障害者支援 (学習補助, 認知訓練, 認知支援) 高齢者支援 (高齢者感覚特性, 高齢者用インタフェース, 補聴器, モニタリングシステム) 情報保障関連 (自動筆記システム, 点字資料自動作成システム, Web アクセシビリティ) 福祉情報機器 (機器設計, 福祉機器の情報工学的検証, ユニバーサルデザイン, 福祉ロボット, 自立移動支援) 福祉情報工学基礎 (情報工学を福祉に用いるための基礎的検討など) 福祉情報工学一般 (日常生活動作 (ADL) 支援, QOL 向上支援, 感覚代行, コミュニケーション, 評価技法, 福祉研究倫理, その他)

* 1 日本音響学会 * 2 日本生体医工学会 * 3 日本神経回路学会とそれぞれ共催

——アナログ回路技術小特集

(英文論文誌 A) 論文募集——

アナログ回路技術小特集編集委員会

基礎・境界サイエティではアナログ回路技術に関連した小特集を1993年以来、その時々によさわしいテーマを掲げて毎年行ってきました。今回も引き続き最新の研究成果を発表・共有する場として、アナログ回路技術の広範な分野から論文を御投稿頂く「アナログ回路技術小特集」を平成26年3月号に企画致しました。

今日のLSI技術は、ネットワーク通信網に革命的な進歩をもたらし、更に生活、医療、環境分野へとその応用範囲を拡大しつつあります。これら発展するシステムLSI技術には、高効率かつ高速で動作するデジタル信号処理部と、高度なセンシング機能と多種多様な通信機能をコンパクト及び小電力で実現するアナログ回路が必要となります。加えて、今日の環境意識の高まりから、電源マネジメント技術も搭載されるようになっていきます。

また、これら回路の性能限界を追求すれば、デジタルとアナログ部を協調させた融合技術も必要となってきます。このような基本回路技術とともに、アナログ・デジタル混載システムでは、システムの機能、性能、設計コスト等の制約の下で、必要な機能をどのようにアナログとデジタルに切り分けするかが重要となります。

更に、アナログ回路設計においては、ミリ波帯までの信号処理の発達に適応可能なデバイスのモデリングとキャラクタライゼーション、大規模LSI設計のためのシステムから回路レベルまでをシームレスに設計するためのモデリング技術や、アナログ回路の様々な設計資産の標準化による設計の効率化手法などが、高精度、高信頼度、高効率設計のための重要な鍵となると考えられます。

このような背景から、この小特集では、デバイスからシステムに至る種々のレベルにおけるアナログ回路及びアナログ混載回路の設計手法、シミュレーション技術、試験評価方法、その他関連のアナログ回路技術に関して最新の成果や将来の課題を広く議論することを目的としました。多数の論文の御投稿をお願い申し上げます。

1. 対象分野

アナログ回路設計技術、アナログ・デジタル混載システム技術、及びこれに関連する基礎理論、応用、及び実現技術

- ・低電圧・低消費電力アナログ回路、MEMS用アナログ回路技術
- ・アナログ・デジタル混載システム・回路・LSI技術
- ・ミリ波・RF帯アナログ回路、ネットワーク・通信システム用アナログ回路、知能システム用回路
- ・オペアンプ、増幅器、比較器、アクティブフィルタ、発振回路、乗算回路、基準電流源回路、基準電圧源回路
- ・センサ回路、A-D変換器、D-A変換器、変復調器、PLL、SC回路、 $\Sigma\Delta$ 変調回路
- ・電源マネジメント回路、DC-DC変換器、AC-DC変換器
- ・環境発電回路技術、エネルギーハーベスト回路
- ・デジタル回路(メモリ、マイコン、DSPなど)におけるアナログ回路技術
- ・非線形電子回路、カオス回路、ニューラルネットワーク
- ・Built-In Self Test、雑音解析技術、基板結合雑音の解析-低減技術

- ・回路最適化技術、回路性能補償技術
- ・アナログ回路向けのデバイスモデリングとシミュレーション技術
- ・アナログ設計CADの利用技術
- ・アナログレイアウトCAD
- ・ビヘイビアモデリングとシステムレベルシミュレーション技術
- ・その他、関連するアナログ回路技術

2. 論文の執筆と取扱い

通常の論文と同一とし、原則として、論文は刷り上がり8ページ程度、レターは刷り上がり2ページ程度とします。詳細はInformation for Authorsに従って下さい。Information for Authorsは、http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html から入手できます。なお、査読後の再提出期間は短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。

3. 投稿方法

電子投稿を推奨します。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx から登録を行って下さい。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Transactions”で[Special-EA] Analog Circuit Techniques and Related Topicsを選択して下さい。[Regular-EA]を決して選択しないで下さい。

手順2: 印刷したConfirmation Sheet of Manuscript Registration及びCopyright Transfer and Page Charge Agreementにサインをしたものを論文投稿締切日である平成25年5月29日(水)(必着)で下記宛て送付して下さい。送付方法は、郵送、FAX、スキャンしPDF化したもののメール添付、のいずれの手段でも構いません。これらの書類がないと査読が開始されません。

4. 論文投稿締切日 平成25年5月29日(水) 必着

5. 送付先及び問合せ先

関屋大雄(千葉大)
 千葉大学大学院融合科学研究科
 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33
 TEL [043] 290-3258, FAX [043] 290-3258
 E-mail: sekiya@faculty.chiba-u.jp

6. 小特集編集委員会

- 委員長 浅井秀樹(静岡大)
 幹事 関根かをり(明大)、関屋大雄(千葉大)、和田和千(明大)
 委員 石黒仁揮(慶大)、伊藤信之(岡山県立大)、佐藤高史(京大)、佐藤隆英(山梨大)、島 健(神奈川大)、鈴木仁人(ソニー)、谷本 洋(北見工大)、ニコデムスレディアン(東工大)、兵庫 明(東京理科大)、古田雅紀(東芝)、堀田正生(東京都市大)、松本 修(ルネサスエレクトロニクス)、松谷康之(青学大)、武藤浩二(長崎大)、安田 彰(法政大)、山脇大造(ルネサスマバイル)、湯川 彰(eMemory)、吉田 毅(広島大)

7. 付記

- *論文採録の場合は掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。
- *投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本学会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので

御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。http://www.ieice.org/eng/member/OM-appli.html

*採録論文数が多い場合には、一部次月以降に掲載される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

——イメージメディアクオリティ小特集

(英文論文誌 A) 論文募集——

イメージメディアクオリティ小特集編集委員会

情報通信ネットワークやデジタル映像機器の普及により、画像は我々の生活にとって欠かせないメディアとなってきました。このようなイメージメディアは撮像・通信・放送・蓄積・表示・印刷・生成等の様々な分野で扱われていますが、これまでは個々の分野において独立に画像品質「イメージメディアクオリティ」が議論され、国際標準化が進んできました。このような状況を踏まえ、この分野の研究開発の方向性とその国際的な位置付けを考慮して、英文論文誌 A で小特集（平成 26 年 2 月号）を企画致しました。多くの方々の積極的な投稿を期待しております。

1. 対象分野

撮像・通信・放送・蓄積・表示・印刷・生成に関するイメージメディアクオリティ関連技術全般

- ・撮像デバイス (CCD, CMOS)
- ・画像入力装置 (カメラ・ファクシミリ・スキャナ・三次元など)
- ・QoS 制御, モバイル端末, スケーラブル符号化
- ・デジタル放送, 素材伝送, 立体テレビ, 超高精細度テレビ
- ・アーカイブ, データベース, Web システム
- ・表示デバイス (CRT, LCD, PDP, EL, 三次元など)
- ・ハードコピー (プリンタ), 印刷技術 (網点, 誤差拡散)
- ・画像符号化 (符号化画質評価, 主観画質反映符号化など)
- ・画質主観評価法 (DSIS, DSCQS, SSCQE など)
- ・画質客観評価法 (VQEG など)
- ・画像再現, 画像修復, CG, CV, アニメーション
- ・視覚の心理・生理, 色彩論, 色再現, 高臨場感, 感性情報
- ・セキュリティ (電子透かし, 個人認証)
- ・ヒューマンインタフェース, 福祉 (高齢者, 障害者用システム)

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とし、原則として刷り上がり 8 ページ以内とします。詳細は、学会の英文論文誌投稿のしおり (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.htm より) を御参照下さい。また、査読後の再提出 (条件付採録) の期間が通常の 60 日以内よりも短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。また、採録論文数が多い場合には、一般論文として掲載される場合がありますのであらかじめ御了承下さい。なお、論文採録の場合は掲載別刷代をお支払い頂きます。

3. 論文投稿締切日 平成 25 年 5 月 31 日 (金) 必着

4. 論文投稿方法

投稿は、学会の投稿システム <https://review.ieice.org/register.aspx> から御投稿下さい。なお、Web での登録の際、[Special-EA] Image media quality を選択して下さい。なお、著作権譲渡承諾書 (Copyright Transfer and Page Charge Agreement) 及び確認書 (Confirmation Sheet) は、下記問合せ先に御送付下さい。送付方法は、郵送、FAX、スキャンし PDF 化したもののメール添付、のいずれの手段でも構いません。これらの書類がないと査読が開始されません。

論文特集原稿募集

5. 小特集編集委員会

委員長 杉山賢二 (成蹊大)

幹事 中口俊哉 (千葉大)

委員 会津昌夫 (キヤノン), 稲積泰宏 (富山大), 大橋剛介 (静岡大), 岡本 淳 (NTT), 工藤博章 (名大), 黒木修隆 (神戸大), 斉藤新一郎 (ソニー), 杉本 修 (KDDI), 高木幸一 (KDDI), 羽鳥好律 (東工大), 浜本隆之 (東京理科大), 坂東幸浩 (NTT-AT), 堀田裕弘 (富山大), 前田 充 (キヤノン), 森 由美 (日本 IBM), 森本一成 (京都市工繊大), 山田光徳 (東海大), 吉田育弘 (シャープ)

6. 問合せ先

中口俊哉 千葉大学大学院工学研究科

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33

TEL [043] 290-3296, FAX [043] 290-3296

E-mail: nakaguchi@faculty.chiba-u.jp

——ホワイトスペースの有効利用技術小特集

(英文論文誌 B) 論文募集——

ホワイトスペースの有効利用技術小特集編集委員会

新規の無線サービスにとって、周波数の確保は最重要課題の一つであり、周波数枯渇問題の早期解決が望まれています。これを解決する新たなアプローチとして、コグニティブ無線技術等を用いたホワイトスペースの有効利用技術が注目を浴びています。テレビ放送業務で未利用の周波数を二次利用するテレビホワイトスペースでは、テレビ受信者を保護しつつ周波数を有効利用するために、高精度・高機能的な環境認識技術、ダイナミックで高効率な周波数利用技術の確立のみならず、法整備やテレビ事業者、新規無線サービス事業者等の関係者間の議論も必要となります。テレビ以外のホワイトスペース有効利用においては、情報理論に基づく基礎理論検討から、ホワイトスペース利用の応用分野から実装・実験に関する幅広い検討が求められています。本小特集 (平成 26 年 2 月号掲載) は、テレビホワイトスペースに限定せず、広い意味でのホワイトスペースを有効利用する技術の研究をより一層促進するために企画致します。

1. 対象分野

以下の分野を対象と致します。

- ・プロトタイプ/周波数観測・測定/ホワイトスペース利用のためのモデリング
- ・アーキテクチャ・実装/ハードウェア/ソフトウェア無線
- ・スペクトルセンシング/ホワイトスペース利用のための周波数観測技術
- ・ホワイトスペースデータベース/無線環境マップ
- ・ホワイトスペース利用のための無線リソースマネジメント・シェアリング・割当
- ・ホワイトスペース利用のための物理・MAC レイヤ技術
- ・ホワイトスペース利用のためのネットワーク技術
- ・ホワイトスペース利用のためのセキュリティ技術
- ・ホワイトスペース利用のための情報理論
- ・ホワイトスペース利用の応用 (センサネットワーク・高度交通システム・セルラシステム)
- ・法制度と標準化 (IEEE 802.22, 802.11af, 802.19, P1900.4a)

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、刷

り上がり8ページを標準とします。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間(通常は60日)を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx から登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体(TeX/Word)、図、著者の写真、biographyも投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Type of Section (Issue)/Transactions”で[Special-EB] Technologies for Effective Utilization of Spectrum White Spaceを選択して下さい。[Regular-EB]を決して選択しないで下さい。

手順2: 登録時に生成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 平成25年6月5日(水) 必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

梅林健太

東京農工大学工学部電気電子工学科

〒184-8588 小金井市中町2-24-16

TEL & FAX [042] 388-7483

E-mail: ume_k@m.ieice.org

6. 小特集編集委員会

委員長 眞田幸俊(慶大)

幹事 梅林健太(東京農工大)、藤井成生(電通大)

委員 Alexander M. Wyglinski (Worcester Polytechnic Institute), Janne Lehtomaki (University of OULU), Minseok Kim (東工大), 有吉正行 (ATR), 石津健太郎 (NICT), 梅比良正弘 (茨城大), 佐々木重信 (新潟大), 猿渡俊介 (静岡大), 芝宏礼 (NTT), 塚本和也 (九工大), 藤井啓正 (NTTドコモ), 矢野一人 (ATR)

7. 付記

* 締切日を厳守して下さい。

* 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代(別刷50部含む)が必要となります。

* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

電子情報通信学会 編

現代電子情報
通信選書

《知識の森》シリーズ新刊のご案内

本選書は、最近、電子情報通信でまとまった知識が必要とされている分野について、周辺分野の専門技術者・研究者、学生も含めて体系的な知識が得られるようまとめたものです。

エコ時代に必須となる電磁ノイズ対策のすべて!

『電子システムの電磁ノイズ—評価と対策—』

【監修】井上 浩(秋田大学) ○定価3570円(本体3400円+税)/A5判・240頁

本書は、電磁ノイズ対策について、全体を俯瞰できるような概要から理論、材料、設計技術、評価まで、現場での対策ができるよう丁寧に解説したものです。本分野の専門家でなくても読み進められるように図や具体例を多く掲載しました。

◎このような方におすすめ

- 電子システムなどのノイズ対策に興味を持っている技術者・研究者
- EMC関連に携わる実務者 ● 電気・電子工学関連の学生

◆目次◆

電子システムを取り巻く電磁環境/電磁波ノイズ発生と伝搬の基礎理論/システムと回路の電磁環境設計/放電と電磁ノイズ/電磁環境用材料の設計と評価手法/電磁ノイズの計測と評価



発行: オーム社 〒101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1 電話03(3233)0641 (代表) <http://www.ohmsha.co.jp/>

論文特集論文募集カレンダー

◎基礎・境界ソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
VLSI 設計と CAD アルゴリズム小特集	・25年3月14日(木) ・英文誌 A 25年12月号	瀬戸謙修：東京都市大学工学部電気電子工学科 TEL [03] 5707-0104 (2801), FAX [03] 5707-1229 E-mail : kseto@tcu.ac.jp	10月号	A 分冊 10～12月号 EA 分冊 10～12月号
バイオメトリクス小特集	・25年3月12日(火) ・和文誌 A 25年12月号	伊藤康一：東北大学大学院情報科学研究科 TEL [022] 795-7169, FAX [022] 263-9308 E-mail : ito@aoki.ecei.tohoku.ac.jp	12月号	A 分冊 12～2月号
暗号と情報セキュリティ小特集	・25年3月22日(金) ・英文誌 A 26年1月号	寺西 勇：日本電気(株)情報・ナレッジ研究所セキュアシステム TG TEL [044] 396-3131, FAX [044] 431-7680 E-mail : teranisi@ah.jp.nec.com	1月号	A 分冊 1～3月号 EA 分冊 1～3月号
システム数理学と応用小特集	・25年3月31日(日) ・英文誌 A 26年2月号	橋爪 進：名古屋大学大学院工学研究科化学・生物工学専攻 TEL [052] 789-3594, FAX [052] 789-3267 E-mail : hashi@nuce.nagoya-u.ac.jp	1月号	A 分冊 1～3月号 EA 分冊 1～3月号
学生論文特集	・25年5月7日(火) ・和文誌 A 26年2月号	栗原正純：電気通信大学 E-mail : kurihara@uec.ac.jp	2月号	A 分冊 2～4月号
イメージメディアクオリティ小特集	・25年5月31日(金) ・英文誌 A 26年2月号	中口俊哉：千葉大学大学院工学研究科 TEL [043] 290-3296, FAX [043] 290-3296 E-mail : nakaguchi@faculty.chiba-u.jp	3月号	A 分冊 3～5月号 EA 分冊 3～5月号
アナログ回路技術小特集	・25年5月29日(水) ・英文誌 A 26年3月号	関屋大雄：千葉大学大学院融合科学研究科 TEL [043] 290-3258, FAX [043] 290-3258 E-mail : sekiya@faculty.chiba-u.jp	3月号	A 分冊 3～5月号 EA 分冊 3～5月号

◎通信ソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
光応用電磁界計測技術の最新動向小特集	・25年6月10日(月) ・和文誌 B 26年3月号	大西輝夫：(株)NTT ドコモ先進技術研究所 TEL [046] 840-6230 E-mail : teruo.onishi@m.ieice.org	11月号	B 分冊 11～1月号
知的環境を実現するセンサネットワークの基盤と応用技術論文特集	・25年3月4日(月) ・和文誌 B 25年12月号	内田大誠：日本電信電話(株)未来ねっと研究所 TEL [046] 859-2369, FAX [046] 855-1497 E-mail : usn-an-2013@mail.ieice.org	12月号	B 分冊 12～2月号
情報通信分野における新しい情報ネットワーク科学の展開小特集	・25年3月15日(金) ・英文誌 B 25年11月号	井上 武：(独)科学技術振興機構 ERATO 湊離散構造処理系プロジェクト TEL [011] 728-8280, FAX [011] 728-8277 E-mail : netsci-ss@mail.ieice.org	12月号	B 分冊 1～3月号 EB 分冊 12～2月号
持続可能な社会の実現に向けたネットワーク・システム技術小特集	・25年3月14日(木) ・英文誌 B 25年12月号	萬代雅希：上智大学理工学部情報理工学科 TEL [03] 3238-3272, FAX [03] 3238-3272 E-mail : ns-ss2013-kanji@mail.ieice.org	12月号	B 分冊 1～3月号 EB 分冊 12～2月号
通信技術の革新を担う学生論文特集	・25年5月23日(木) ・和文誌 B 26年2月号	佐波孝彦：千葉工業大学情報工学科 TEL [047] 478-0532, FAX [047] 478-0549 E-mail : saba@m.ieice.org	1月号	B 分冊 1～3月号
柔軟な ICT システムとサービスに向けた管理技術小特集	・25年5月17日(金) ・英文誌 B 26年1月号	吉原貴仁：KDDI 研究所 TEL [03] 6678-6126, FAX [03] 6678-0457 E-mail : icm-trans-si@mail.ieice.org	2月号	B 分冊 2～4月号 EB 分冊 2～4月号

ホワイトスペースの有効利用技術小特集	・25年6月5日(水) ・英文誌 B 26年2月号	梅林健太：東京農工大学工学部電気電子工学科 TEL [042] 388-7483, FAX [042] 388-7483 E-mail : ume_k@m.ieice.org	3月号	B分冊 3～5月号 B分冊 3～5月号
--------------------	---------------------------------	---	-----	------------------------------

◎エレクトロニクスソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
情報ストレージのための最新要素技術小特集	・25年3月25日(月) ・英文誌 C 25年12月号	三浦健司：岩手大学工学部電気電子・情報システム工学科 TEL [019] 621-6458, FAX [019] 621-6458 E-mail : kmiura@iwate-u.ac.jp	12月号	C分冊 12～2月号 EC分冊 12～2月号
大学発マイクロ波論文特集	・25年3月29日(金) ・和文誌 C 25年12月号	石川 亮：電気通信大学大学院情報理工学研究科情報・通信工学専攻 TEL [042] 443-5788, FAX [042] 443-5230 E-mail : r.ishikawa@uec.ac.jp	1月号	C分冊 1～3月号
電磁界理論の進展とその応用小特集	・25年4月5日(金) ・英文誌 C 26年1月号	安藤芳晃：電気通信大学大学院情報理工学研究科情報・通信工学専攻 TEL [042] 443-5160, FAX [042] 443-5160 E-mail : y-ando@uec.ac.jp	1月号	C分冊 1～3月号 EC分冊 1～3月号

◎情報・システムソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
ヒューマンコミュニケーション特集～価値ある生活環境構築のための情報技術～	・25年3月28日(木) ・和文誌 D 26年1月号	安藤英由樹：大阪大学 TEL [06] 6879-7830 E-mail : hide@ist.osaka-u.ac.jp	12月号	D分冊 12～2月号
学生論文特集	・25年6月2日(日) ・和文誌 D 26年3月号	一般社団法人電子情報通信学会 和文論文誌 D 担当 TEL [03] 3433-6692 E-mail : wabun-d1@ieice.org	2月号	D分冊 2～4月号

IEICE Communications Express (ComEX)

投稿のご案内

IEICE Communications Express 編集委員会

通信ソサイエティでは、2012年6月にWebを用いたオンライン英文レター誌 IEICE Communications Express (ComEX)を創刊致しました。査読付き原著論文のオンラインジャーナルで、下記の特徴を有します。

- Webを用いた論文公開により世界中の読者へ発信可能
- 動画等のマルチメディアコンテンツの掲載が可能
- 迅速な論文公開(目標:投稿受付から約1ヵ月での掲載)

2013年5月31日までに投稿されますと**掲載料が半額になるキャンペーン**を実施しております。この機会に、是非、速報性の高いComEXへの論文投稿を御検討下さい。

○ 対象分野

基礎、光、ネットワーク、無線、無線システム、マルチメディアシステムなど、通信ソサイエティ英文論文誌と同一分野

詳細は、下記 URL をご参照下さい。

<http://www.comex.ieice.org/>

○ 問合せ先

一般社団法人 電子情報通信学会 編集出版部 (comex@ieice.org)

IEICE Communications Express 編集委員会 (2012年10月1日現在)

編集委員長: 菊間信良(名工大)

編集副委員長: 山田寛喜(新潟大), 太田能(神戸大)

編集委員: 大槻知明(慶大), 上山憲昭(NTT), 関口高志(三菱電機), 関屋大雄(千葉大), 関谷勇司(東大), 太郎丸真(福岡大), 長谷川幹雄(東京理科大), 原井洋明(NICT), 萬代雅希(上智大), 藤元美俊(福井大), 松本隆太郎(東工大), 米永一茂(NTT), Jian Yang(清華大)

アドバイザーメンバ(国内):

青山友紀(慶大), 井上友二(トヨタIT開発センター), 酒井善則(放送大), 吉田進(京大)

アドバイザーメンバ(海外):

Vijay K. Bhargava (The University of British Columbia, Canada) ,
Nevil Brownlee (The University of Auckland, New Zealand) ,
Serge Fdida (Pierre and Marie Curie University, France) ,
Lajos Hanzo (University of Southampton, UK) ,
Jim Kurose (University of Massachusetts, USA) ,
Kyeong-Sik Min (Korea Maritime University, Korea) ,
Toshio Morioka (Technical University of Denmark, Denmark) ,
Theodore S. Rappaport (New York University, USA) ,
Raymond Wai-Ho Yeung (The Chinese University of Hong Kong, China)

IEICE Electronics Express 投稿ご案内

IEICE Electronics Express 編集委員会

**完全ペーパーレスの査読つき英文論文誌で
あなたの素晴らしい研究成果を
すばやく公開しませんか？**

IEICE Electronics Express (ELEX) は、2004年4月に創刊した web を用いたペーパーレス英文論文誌です。論文投稿から掲載までの更なる迅速化を図るために、2012年4月からは随時発行を開始致しました。エレクトロニクス分野の最新の研究成果の優先権確保や、海外も含めての情報発信のために是非 ELEX への投稿をご検討下さい。

ELEX の特徴

1. 投稿，出版，閲覧ともに，すべてオンライン上で処理。
2. 投稿から論文掲載まで平均 65 日（2011 年度実績），最短 10 日。
3. カラー画像，マルチメディアファイル（動画）に対応。
4. IEEE Xplore, Scitation, ScienceDirect といった海外の様々な電子ジャーナルサイト上に掲載されている論文と相互にリンク。
5. Science Citation Index Expanded (SCIE) にも収録。Impact Factor も取得しています。

詳細は ELEX ホームページ <http://www.elex.ieice.org> をご覧下さい。
連絡先： elex@ieice.org（編集出版部 ELEX 担当）